

平成 30 年度

甲州市母子保健調査報告書

令和 2 年 3 月

山梨大学大学院総合研究部医学域 社会医学講座

山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター

はじめに

甲州市母子保健調査（甲州プロジェクト）は1988年（昭和63年）7月に通称「塩山プロジェクト」として始まりました。2005年（平成17年）11月に塩山市、勝沼町、大和村が市町村合併をして甲州市となっても関係各位のご支援、ご協力のもとで調査は継続され、昭和、平成、そして令和の30年以上にわたって継続されています。

さて、母子保健、学校保健に関連する国の政策の動きが活発になってきました。

2018年（平成30年）12月に成育基本法が成立しました。これは次代の社会を担う成育過程にある者の個人としての尊厳が重んぜられ、その心身の健やかな成育が確保されるために成育医療等基本方針を策定して、成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策を総合的に推進するいうものであり、2020年2月から成育基本法等協議会で検討がはじまりました。

2020年（令和2年）6月からは2年前検討された乳幼児健康診査、妊婦健診の自分の情報をマイナポータル（マイナンバーを使った個人のサイト）で閲覧ができるシステムの運用が始まります。これは、親子が引っ越した時などに自治会が情報を共有でき、いち早く支援できるようになります。本格的なデータヘルス時代の母子保健情報の利活用の到来です。甲州市母子保健調査はその基盤となります。学校健診のデータも同様にデジタル化して個人の健康増進に役立てられるような基盤整備が検討されています。

2020年（令和2年）度中には、母子保健法の改正による子育て世代包括支援センターが全国の市区町村に設置されます。切れ目のない支援を行うための拠点となる施設です。

母子保健法の改正では2回の産婦健診に加えて、産後ケアが制度化されました。産後ケアを必要とする出産後1年を経過しない女性及び乳児に対して、心身のケアや育児のサポート等（産後ケア）を行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保するものです。

以上の政策のほとんどについて甲州市は先取りをして早くから取り組んでいるものと理解しています。これからも、より甲州市で子育てがしたい市民の割合を増やせるように、データの利活用の面から寄与したいと思います

2020年（令和2年）3月

山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座 山縣然太郎

甲州市母子保健調査プロジェクト組織

甲州市役所 健康増進課

課長 藤 政司
課員 武藤 陽子 岡部 裕美 徳良 裕子 村田 ひろみ
横瀬 愛 小池 あゆみ 荻原 恵美香 木納 よし哉
中村 恵理

山梨大学大学院総合研究部医学域 社会医学講座

教授 山縣 然太郎
准教授 横道 洋司
講師 三宅 邦夫
助教 小島 令嗣 (報告書作成担当)
助教 秋山 有佳
助教 大岡 忠生
大学院生 太田 昭生 大岡 忠生 野田 北斗 長野 康平 春山 佳代
平出 諒太 田中 深雪 岩淵 正博 山崎 さやか 浦中 桂一
久島 萌 日吉 恭則 原田 直輝 大山 裕冬 須田 みゆき
岡 猛 小林 克也 大友 一央 池谷 政直 北山 哲也
佐藤 大地

ライフサイエンス特進コース学生

池田 公司郎 小村 慶和

技術専門職員 今井 小絵

技術補佐員等 山田 七重 川村 由美子 安達 麻衣子

[報告書(表・グラフ)作成担当] 小澤 有紀 岡田 あゆみ

山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター

センター長 山縣 然太郎
特任准教授 大西 一成
特任助教 佐藤 美理
特任助手 小田和 早苗

目次

I. 調査実施概要	1
II. 調査結果概要	5
III. 調査回答者の属性	15
III - 1. 母子健康手帳交付時	17
III - 2. 出生時	20
III - 3. 3ヶ月児健診時	27
III - 4. 1歳6ヶ月児健診時	29
III - 5. 2歳児健診時	41
III - 6. 3歳児健診時	47
III - 7. 5歳児健診時	59
IV. 調査結果	71
IV - 1. 母子健康手帳交付時	73
IV - 2. 1歳6ヶ月児健診時	105
IV - 3. 3歳児健診時	139
IV - 4. 5歳児健診時	175
V. 調査票	211
V - 1. 母子健康手帳交付時調査票	213
V - 2. 1歳6ヶ月児健診時調査票	216
V - 3. 3歳児健診時調査票	220
V - 4. 5歳児健診時調査票	224
VI. 個別研究	229
VI - 1. Sex Differences in Birth Weight and Physical Activity in Japanese Schoolchildren.	231
VI - 2. 子どものスポーツ活動と Grit（やり抜く力）の関連	232
VI - 3. 中学生におけるインターネット依存の経年推移 甲州思春期調査 3年間の集計より	233
VI - 4. 5歳時の発達障害に関連する1歳6カ月および3歳時の生活関連因子に関する長期縦断調査	234
VI - 5. 子どものスポーツ活動と先延ばし傾向の関連	236
VI - 6. 小学生の Grit と運動・スポーツ活動の関連－自尊感情関与の可能性	237
VI - 7. 小学生における通学方法の違いと肥満の関連	238
VI - 8. 3歳児の不慮の事故による医療機関受診と1歳6ヶ月時の生活要因との関連	239
VI - 9. 5歳児健診30年間の推移～甲州プロジェクトより	240

VI - 10.	山梨県甲州市における妊婦の妊娠前の食事内容の変化 —甲州プロジェクト 30 年の記録—	241
VI - 11.	1 歳 6 ヶ月児の睡眠と母親の就労の関連について ～甲州プロジェクト 30 年の記録～	242
VI - 12.	小学生の先延ばし傾向と肥満の関連	243
VI - 13.	日本の思春期児童における不正咬合と口腔関連 QoL との関連について	244
VI - 14.	幼少期から思春期にかけての起床・就寝時刻の軌跡とその関連因子 甲州市母子保健縦断調査より	245
VI - 15.	妊娠前の母親の炭水化物摂取状況と児の低出生体重との関連 —甲州市母子保健縦断調査より—	246
VI - 16.	インターネット依存尺度の中学生の回答における男女差の検討	247
VI - 17.	母親の妊娠初期の喫煙習慣とその子どもの永久歯先天性欠如の関連性 —甲州市母子保健長期縦断調査より—	248

I . 調査実施概要

I. 調査実施概要

I. 調査実施概要

1. 調査の目的

甲州市における妊娠、出産、育児、母子の健康、生活習慣等の母子保健の現状を把握し、今後の母子健康行政に役立てることを目的とするものである。

2. 調査対象

妊婦に関しては平成 30 年度に母子健康手帳交付を甲州市で申請した妊婦に対して行った。児に対しては、平成 30 年度に甲州市で実施された 1 歳 6 ヶ月児健診、2 歳児歯科健診、3 歳児健診、5 歳児健診受診者を対象とした。なお、体格データについては、上記の健診時に加え、出生時のデータを使用し、家族形態や生活様式、妊娠中の体重増加については、3 ヶ月児健診時のデータから集計を行った。

3. 調査方法

調査の実施はアンケート用紙を各健診の受診予定者に、健診案内とともにあらかじめ郵送し、記入の上、健診時に持参する形式をとった。健診当日に記入漏れの事項や事故に関する二次質問などを面接で聴取した。

4. データの保管及び、集計方法

データの入力は Microsoft Access2016 を用い、統計ソフト SAS ver9.4 による単純集計を行った。Microsoft Excel 2016 を用いて図表化を行った。

I. 調査実施概要

II. 調查結果概要

II. 調查結果概要

II. 調査結果概要

1. 対象と回収率

甲州市において、平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月の間）に、母子健康手帳交付をした妊婦、1 歳 6 か月児(1.6 歳児と略)健康診査、2 歳児歯科健康診査、3 歳児健康診査、5 歳児健康診査を、それぞれ受診した幼児とその母親を対象として行った。妊婦に対しては母子健康手帳交付時に直接自記式調査を行った。1.6 歳、3 歳、5 歳の各健診時では健診日の 2, 3 週間前に自宅に郵送した調査票を前もって記入した上で健診日に持参してもらい、未記入者は当日記入する形で調査を行った。各健診における回収率は例年高く、これらの調査から得られる結果はほぼ悉皆調査と考えられ、甲州市の母子の実態を把握していると考えられる。

妊婦の調査年月		回答者数	対象者数	回収率
母子手帳交付時	平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月	151	-	-
児の出生期間		出生数		
出生時	平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月	142		
対象児の出生年月		受診者数	対象者数	回収率
1 歳 6 か月児健診	平成 28 年 9 月～平成 29 年 8 月生	166	171	97.1%
2 歳児健診	平成 27 年 11 月～平成 28 年 10 月生	164	177	92.7%
3 歳児健診	平成 26 年 10 月～平成 27 年 9 月生	208	214	97.2%
5 歳児健診	平成 25 年 3 月～平成 26 年 2 月生	203	211	96.2%

2. 分析対象者数、無回答の取り扱い

上記の解析対象者全員から、記入漏れや無回答を解析対象から除外し、各分類の頻度と有効回答数に対する割合を算出した。質問項目によっては、複数回答もしくは、前質問での選択者のみの回答もある。

3. 妊婦・母親の生活習慣及び就労

両親の年齢

母親の年齢は、母子手帳交付時、平均 31.1 歳と、昨年度平均 31.3 歳と変わらなかった。父親の年齢のばらつきが母親の年齢のばらつきよりも大きいことは例年と変わらなかった。

	母子手帳	1.6 歳	3 歳	5 歳
母親の平均年齢±標準偏差(歳)	31.1±4.9	33.7±5.6	35.1±5.3	37.1±5.1
父親の平均年齢±標準偏差(歳)	32.7±5.1	35.9±6.5	37.1±6.1	39.2±6.1

届出

母子手帳交付の届出週数は平均 8.5 週であり、昨年度の 8.6 週と変わらなかった。12 週までの届出は 95.4%であり、昨年度 96.2%と変わらなかった。9 週未満での届出は 57.6%と、昨年度の 57.1%より増加した。そして 21 週以降の届け出は 0 人 (0%) であった。

妊娠の計画

妊娠が計画的であったものの割合は 56.3%であり、昨年度の 55.8%と変わらなかった。

育児希望数

子供の希望は本人が 2 人もしくは 3 人を希望する人が 78.6%を占めており、昨年度 85.1%より減少した。わからないと答えた人は 11.3%と横ばいだった。夫は 2 人もしくは 3 人を希望する人が 76.5%であった。4 人以上を希望している人は妻が 3.3% (5 人)、夫が 2.9% (4 人) であった。わからないと答えている人は妻が 11.3% (17 人) 夫が 17.9% (25 人) であった。

喫煙

妊娠初期の喫煙率は 2.7%であり、昨年度の 1.9%からやや増加した。

妊娠初期の夫の喫煙率は 45.9%であり、昨年度 44.8%とほぼ同等だった。夫の過去の喫煙率は 19.9%であった。妊娠を契機に禁煙を行っている割合は、妊婦 (9.9%) に比べ夫 (2.1%) は少なかった。夫以外の同居家族の喫煙率は 9.4%で、昨年度の 19.7%より減少した。

1.6 歳児健診時における母親の喫煙率は 4.2%であり、昨年度の 5.2%から減少した。

飲酒

妊娠により飲酒をやめた割合は 41.7%であり、昨年度の 35.9%よりも増加した。妊娠中も飲酒をすると回答した割合は 4.5%→1.3%と減少していた。

妊婦の食生活

朝食を毎日食べている人は 68.2%であり、昨年度 71.2%と同程度だった。朝食をまったく食べないと回答した人は 9.0%→13.9%と増加していた。

就労状況(就労率)

妊娠時、1.6 歳、3 歳、5 歳児健診時それぞれの就労率は、昨年度と比較して 66.7%→71.5%、59.5%→59.0%、75.2%→72.6%そして 76.9%→80.3%と妊娠時と 5 歳で増加していた。また出産後パート職に就く人の割合は 29.4~44.4%であった。

	母子手帳	1.6 歳	3 歳	5 歳
仕事をしている	108 (71.5)	98 (59.0)	151 (72.6)	163 (80.3)
仕事をしているが現在休職中	12 (8.0)	23 (13.9)	20 (9.6)	11 (5.4)
仕事はしていない(専業主婦)	30 (19.9)	45 (27.1)	37 (17.8)	29 (14.3)
学生である	1 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
合計	151 (100)	166 (100)	208 (100)	203 (100)

就労状況（就労日数、就労時間）

各年齢すべてにおいて、就労日数の最頻値は5日であった。就労時間は、昨年度と同様いずれの年齢も8時間と4～6時間の2峰性の分布が認められ最頻値は8時間であった。

4. 発育

1.6歳、3歳、5歳児の発育、肥満度

各年齢の身長、体重の平均値はほぼ例年通りであった。肥満度20%以上の割合は、1.6歳、3歳、5歳児でそれぞれ3.0%（5人）、0.9%（2人）、2.0%（4人）と、1.6歳児では増加したが3歳児と5歳児では減少した。

男児	1.6歳	3歳	5歳
平均身長±標準偏差(cm)	79.4±2.1	95.4±3.2	106.9±4.0
平均体重±標準偏差(kg)	10.7±0.8	14.4±1.4	17.7±2.7

女児	1.6歳	3歳	5歳
平均身長±標準偏差(cm)	77.8±2.7	95.2±3.3	105.8±4.1
平均体重±標準偏差(kg)	10.1±1.1	14.1±1.5	17.1±2.1

5. 子どもの生活

欠食

欠食がある子どもの割合は、3歳児では昨年度4人（1.9%）から今年度9人（4.3%）と増えたが、5歳児では昨年度5人（2.4%）から今年度4人（2.0%）とやや減った。

	3歳	5歳
欠食あり	9 (4.3)	4 (2.0)
欠食なし	199 (95.7)	199 (98.0)
合計	208 (100)	203 (100)

おやつ

おやつは時間を決めて与えると回答した割合は、1.6歳児では昨年度の61.5%とほぼ変わらず、3歳児では昨年度の57.2%からやや増加した。5歳児では昨年度の56.9%から減少した。

	1.6歳	3歳	5歳
時間を決めて与える	102 (61.5)	125 (60.4)	107 (52.7)
欲しがる時に与える	41 (24.7)	42 (20.3)	51 (25.1)
特に気をつけていない	23 (13.9)	40 (19.3)	45 (22.2)
合計	166 (100)	207 (100)	203 (100)

起床、就寝時刻、昼寝時間

起床時刻は各年齢において7時台と回答した人が38%~54%、6時台に起きると回答した人が37%~53%であり例年と同様の傾向であった。最頻値は1.6歳児で6時半であったが、3歳児と5歳児で7時であった。

就寝時刻は各年齢ともに21時台と回答した人が約60%で例年と傾向は変わらなかった。最頻値は1.6歳児と3歳児で21時、5歳児で21時半であった。22時以降の就寝は1.6歳児で16.4%（昨年度11.0%）、3歳児で30.5%（昨年度28.2%）、5歳児で31.1%（昨年度30.4%）といずれの年齢でも増加していた。また年齢にしたがって増加傾向であった。

昼寝時間は年齢と共に少なくなり、3歳児では4.2%（8名）、5歳児では16.6%（28名）が昼寝をしないと回答した。

	1.6歳	3歳	5歳
しない	0 (0.0)	8 (4.2)	28 (16.6)
1時間未満	0 (0.0)	1 (0.5)	2 (1.2)
1時間	40 (24.9)	73 (38.2)	89 (52.7)
2時間	102 (63.4)	101 (52.9)	46 (27.2)
3時間以上	19 (11.8)	8 (4.2)	4 (2.4)
合計	161 (100)	191 (100)	169 (100)

戸外での遊び

「戸外でよく遊ぶ」と回答した割合が1.6歳では77.5%→78.3%、3歳では85.2%→80.3%と1.6歳ではやや増加したが、3歳では減少した。

	1.6歳	3歳
よくある	130 (78.3)	167 (80.3)
ときどきある	34 (20.5)	39 (18.8)
あまりない	1 (0.6)	2 (1.0)
ほとんどない	1 (0.6)	0 (0.0)
合計	166 (100)	208 (100)

TVやビデオ・DVDの時間

TVやビデオ・DVDを見る時間は、いずれの年齢でも1時間～2時間が最も多く1.6歳46.4%、3歳42.3%、5歳49.3%であった。2時間以上見る児は、1.6歳で24.1%、3歳児で40.4%、5歳児で37.9%と3歳児で最も高かった。

	1.6 歳		3 歳		5 歳	
見ない	5	(3.0)	2	(1.0)	0	(0.0)
1 時間以下	44	(26.5)	34	(16.4)	26	(12.8)
1～2 時間	77	(46.4)	88	(42.3)	100	(49.3)
2～3 時間	21	(12.7)	61	(29.3)	62	(30.5)
3～4 時間	11	(6.6)	17	(8.2)	8	(3.9)
4～5 時間	7	(4.2)	6	(2.9)	6	(3.0)
5 時間以上	1	(0.6)	0	(0.0)	1	(0.5)
合計	166	(100)	208	(100)	203	(100)

保育所・幼稚園への通園

1.6歳児と3歳児の間で、通園を開始する家庭が多いことがうかがえる傾向は変わらなかった。平成27年度1.6歳児の通園の「あり」と「なし」の割合が逆転したが、その傾向は変わらなかった。

	1.6 歳		3 歳	
通園あり	95	(57.6)	187	(89.9)
通園なし	70	(42.4)	21	(10.1)
合計	165	(100)	208	(100)

事故、病気

事故やケガで医療機関を受診した割合は、1.6歳児で13.9%→14.5%と昨年度よりやや増加し、3歳児で13.9%→11.6%と昨年度よりやや減少した。救急外来の受診割合は、1.6歳児で51.4%→52.1%と昨年度よりやや増加したが、3歳児では44.2%→39.8%と昨年度より減少した。また、病気で入院したことがある割合は、1.6歳児で29.1%→35.8%と昨年度より増加したが、3歳児では24.9%→19.2%と昨年度より減少した。

事故やケガで受診	1.6歳		3歳	
はい	24	(14.5)	24	(11.6)
いいえ	142	(85.5)	183	(88.4)
合計	166	(100)	207	(100)

救急外来の受診	1.6歳		3歳	
ある	86	(52.1)	82	(39.8)
ない	79	(47.9)	124	(60.2)
合計	165	(100)	206	(100)

病気で医療機関に入院	1.6歳		3歳	
ある	59	(35.8)	40	(19.2)
ない	106	(64.2)	168	(80.8)
合計	165	(100)	208	(100)

6. 育児の状況

母親のストレス

ストレスをいつも感じる母親は、例年同様 10～15%程度認められた。

ストレスを感じる	母子	1.6 歳	3 歳	5 歳
いつも	16 (10.6)	18 (10.8)	30 (14.4)	26 (12.8)
時々	105 (69.5)	119 (71.7)	141 (67.8)	139 (68.5)
ほとんど感じない	30 (19.9)	29 (17.5)	37 (17.8)	38 (18.7)
合計	151 (100)	166 (100)	208 (100)	203 (100)

ストレスの解消については、各調査時期とも約 80%がストレスを解消できている、まあまあできていると回答しており、例年と同様であった。

ストレスの解消	母子	1.6 歳	3 歳	5 歳
できている	26 (17.3)	41 (24.9)	55 (26.8)	59 (29.2)
まあまあできている	93 (62.0)	94 (57.0)	120 (58.5)	111 (55.0)
できていない	11 (7.3)	14 (8.5)	18 (8.8)	22 (10.9)
何ともいえない	20 (13.3)	16 (9.7)	12 (5.9)	10 (5.0)
合計	150 (100)	165 (100)	205 (100)	202 (100)

ストレスの内容

各健診時において家庭での人間関係が最も多いストレスの内容となった。次いで、育児に関してであり、1.6 歳児と 3 歳児では 4 番目が経済的な心配事であった。経済的な心配事を挙げる人の割合は約 25%であり、昨年度とほぼ同様であった。

夫の育児への関わり

夫が子どもによく接すると答えた割合は、1.6 歳児では 66.3%→65.8%、3 歳児では 64.0%→71.4%、5 歳児では 61.1%→62.8%と 1.6 歳時以外は昨年度より増加した。

	1.6 歳	3 歳	5 歳
よく接する	102 (65.8)	132 (71.4)	118 (62.8)
普通	47 (30.3)	46 (24.9)	62 (33.0)
あまりかまわない	6 (3.9)	7 (3.8)	8 (4.3)
合計	155 (100)	185 (100)	188 (100)

育児についての夫婦の会話

夫婦の会話をよくすると回答した割合は、例年約 75～80%であり、1.6 歳児では 82.6%→82.6%、3 歳児では 78.8%→80.4%、5 歳児では 76.0%→77.5%と 1.6 歳児以外でやや増加した。子どもの年齢が上がるにつれて減少する傾向は変わらなかった。

	1.6 歳		3 歳		5 歳	
よくする	128	(82.6)	152	(80.4)	145	(77.5)
時々する	26	(16.8)	30	(15.9)	36	(19.3)
あまりしない	1	(0.7)	2	(1.1)	1	(0.5)
ほとんどしない	0	(0.0)	2	(1.1)	3	(1.6)
何ともいえない	0	(0.0)	3	(1.6)	2	(1.1)
合計	155	(100)	189	(100)	187	(100)

7. アレルギー

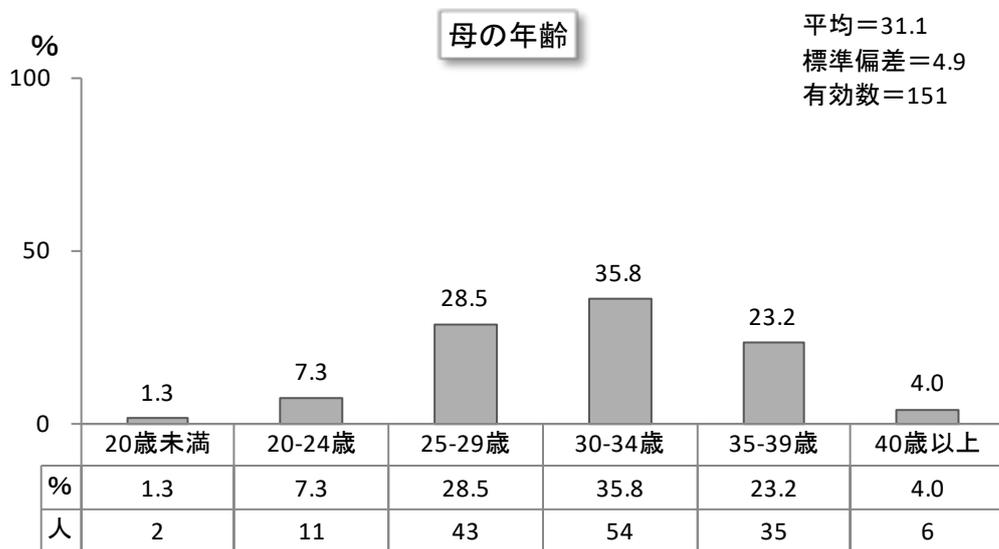
今年度から 5 歳児健診にアレルギー疾患の調査項目を追加した。5 歳時のアレルギー疾患の有病率は、気管支喘息が 15.3%、アトピー性皮膚炎が 21.7%、アレルギー鼻炎が 39.6%、スギ花粉症が 37.6%、食物アレルギーが 9.9%であった。

Ⅲ. 調査回答者の属性

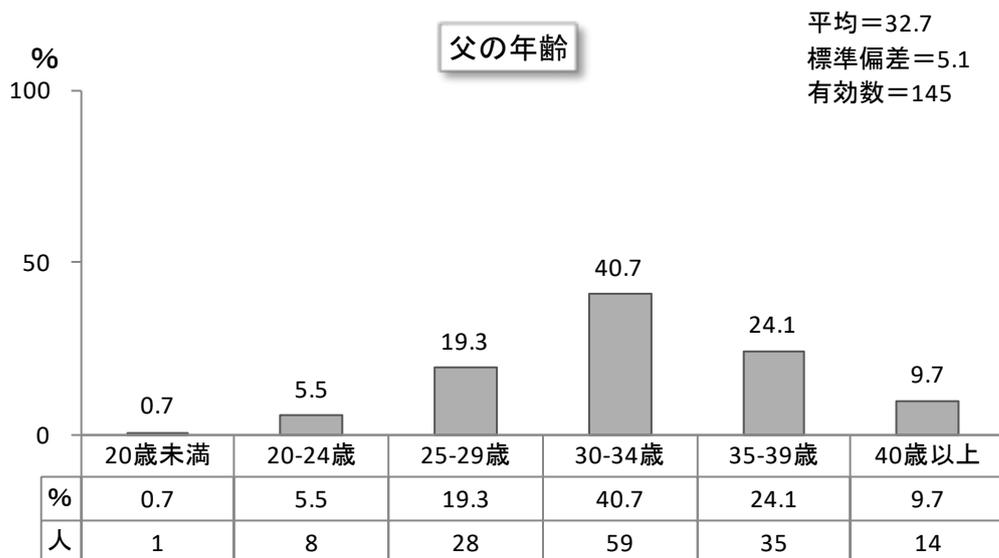
Ⅲ. 調査回答者の属性

1. 母子健康手帳交付時

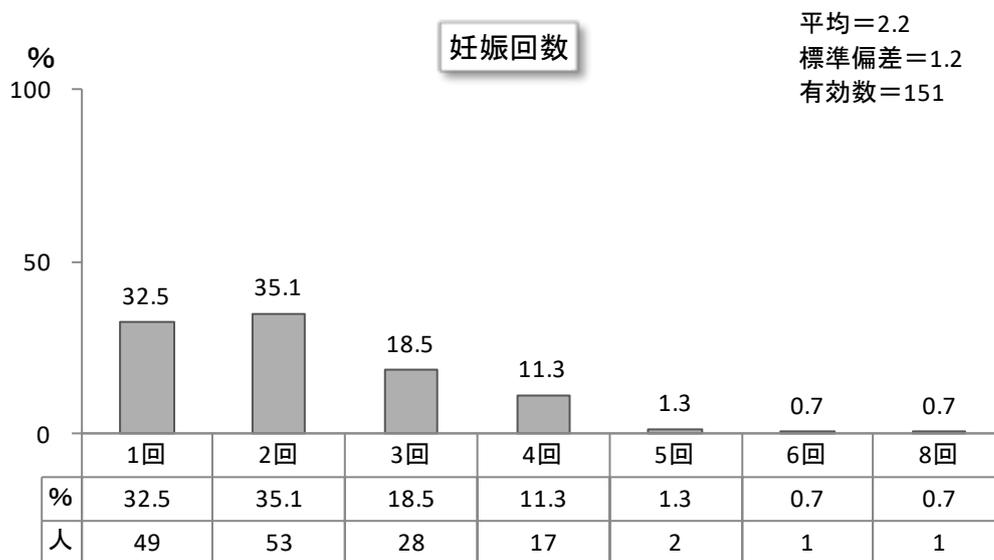
(1) 母親 (回答者) の年齢



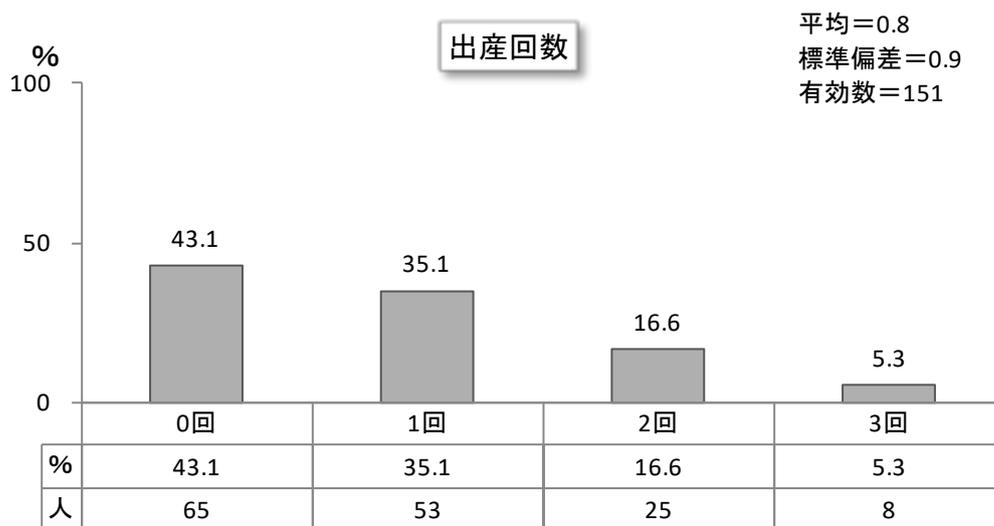
(2) 父親 (回答者の夫) の年齢



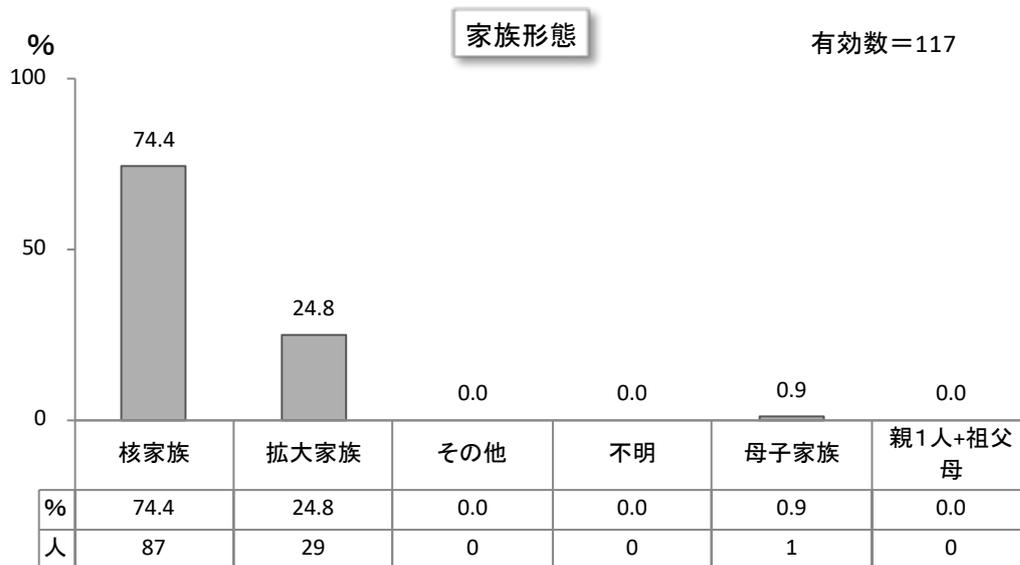
(3) 妊娠回数



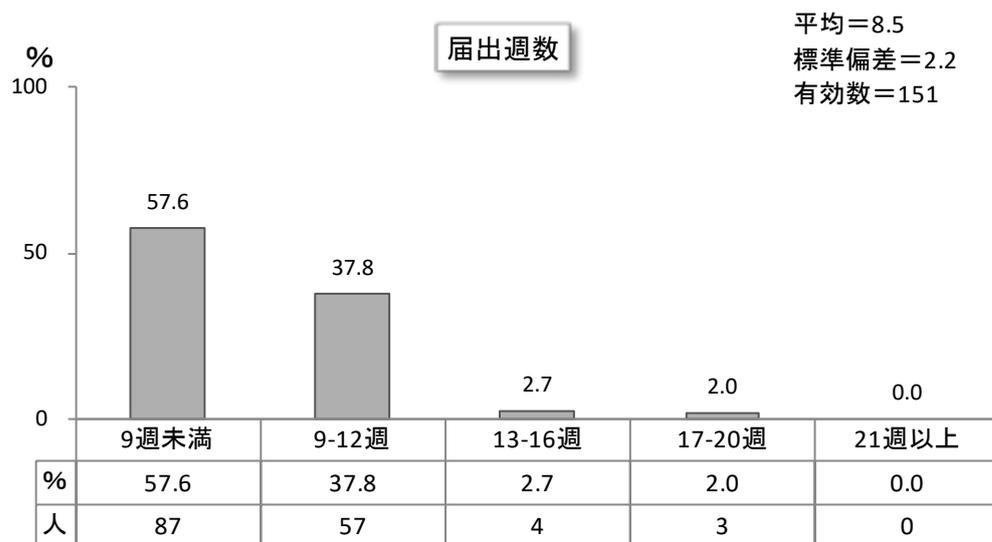
(4) 出産回数



(5) 家族形態

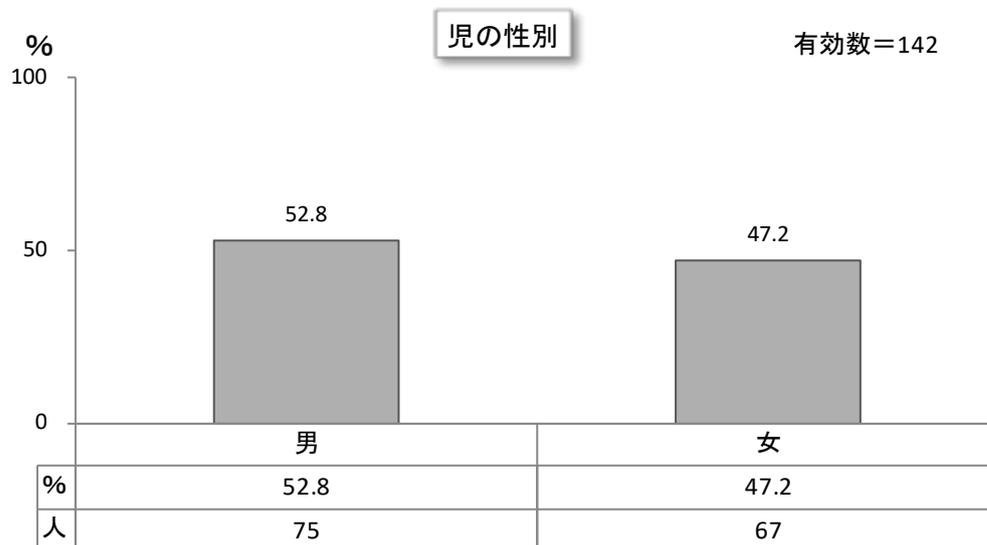


(6) 届出週数

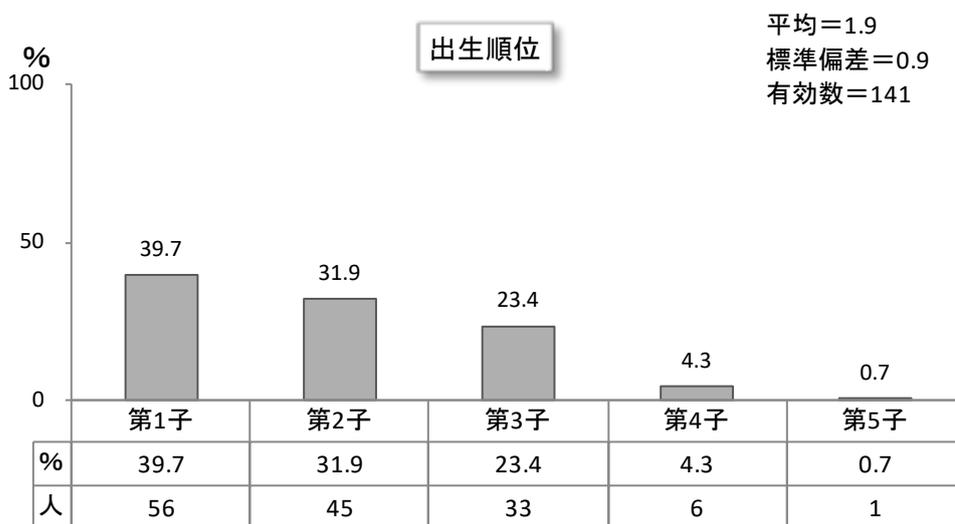


2. 出生時

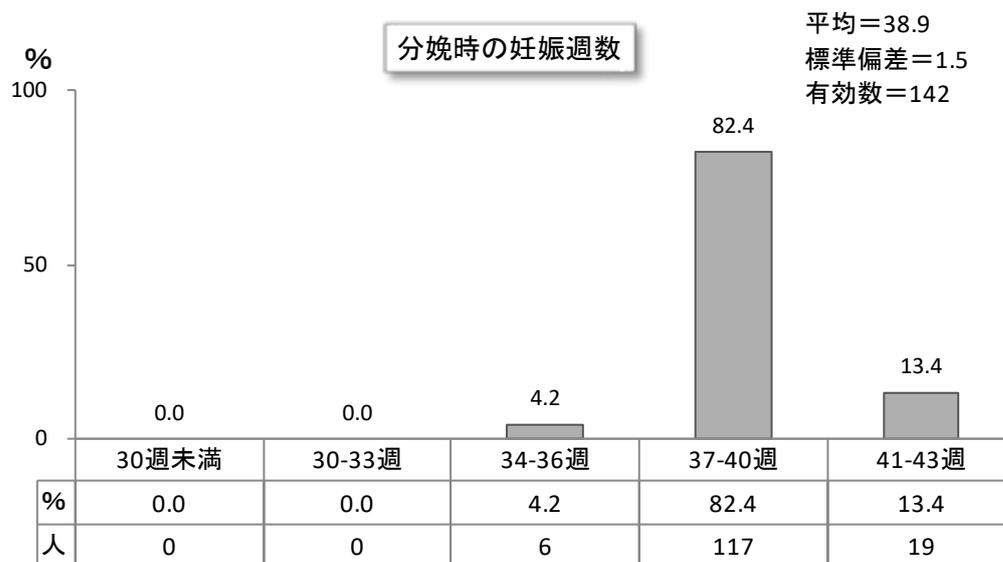
(1) 児の性別



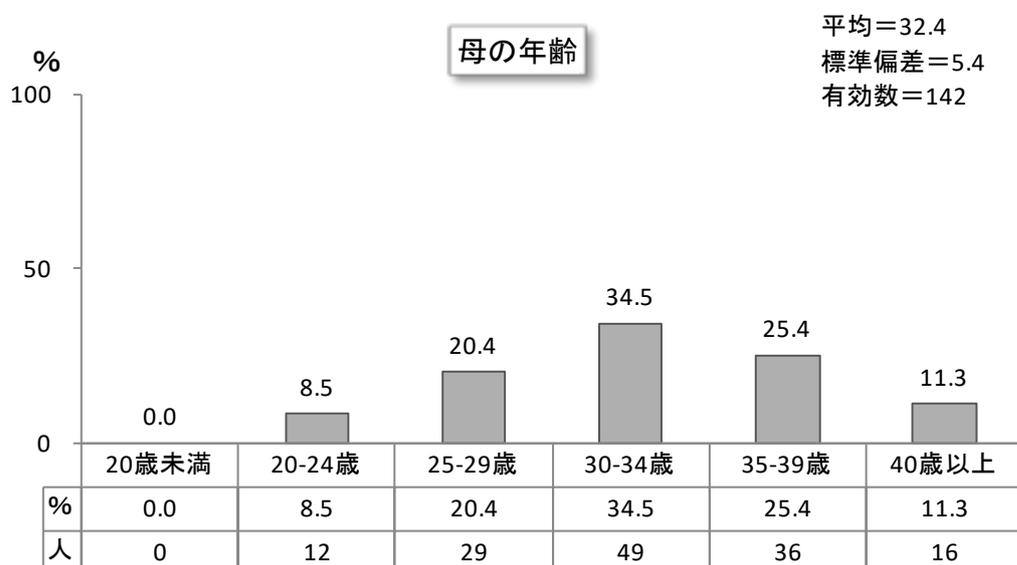
(2) 出生順位



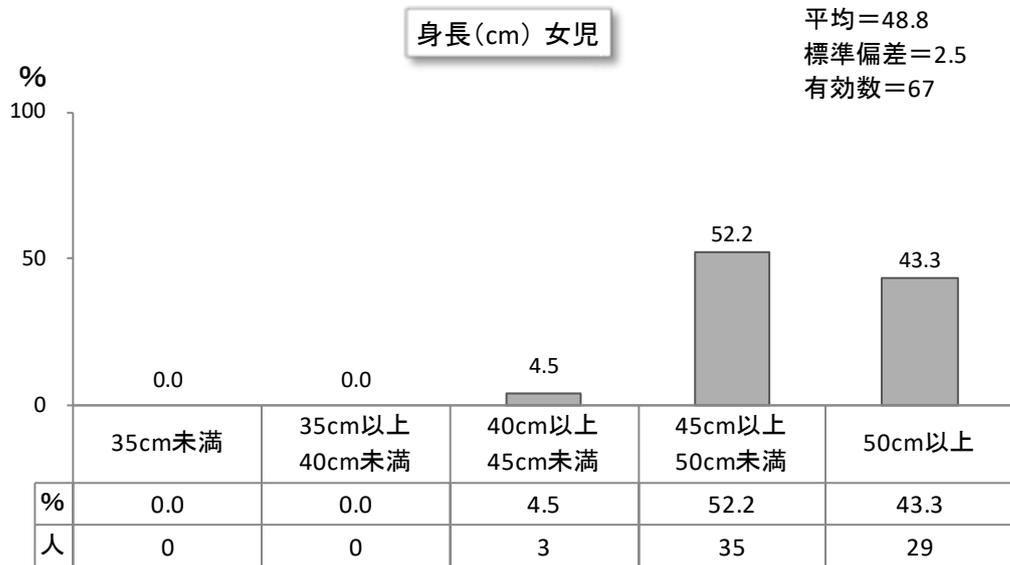
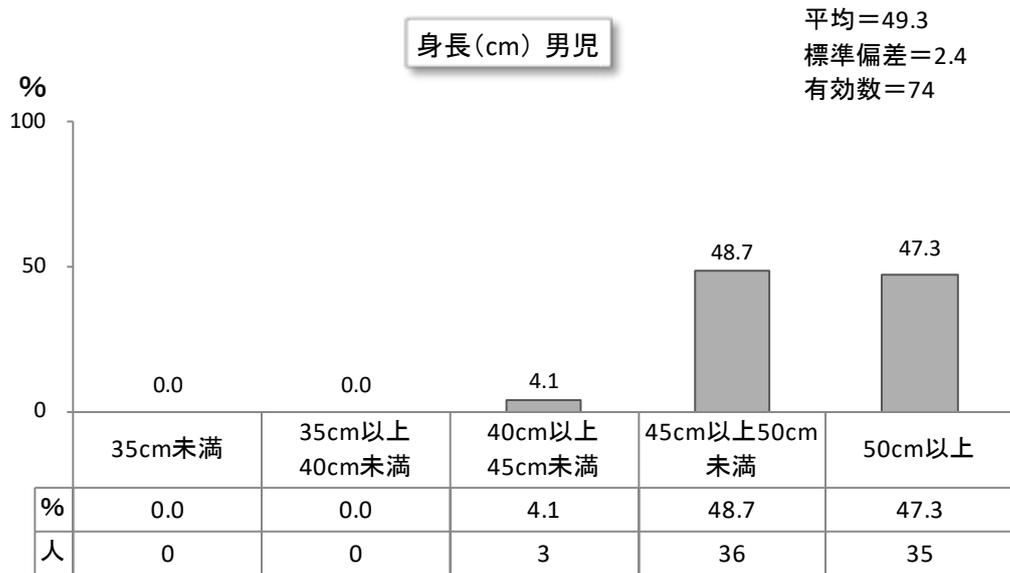
(3) 分娩時の妊娠週数



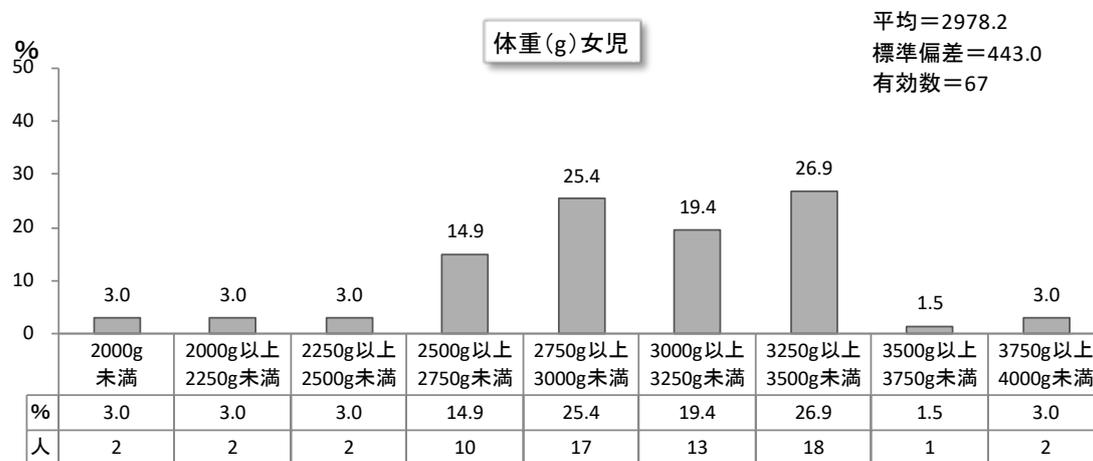
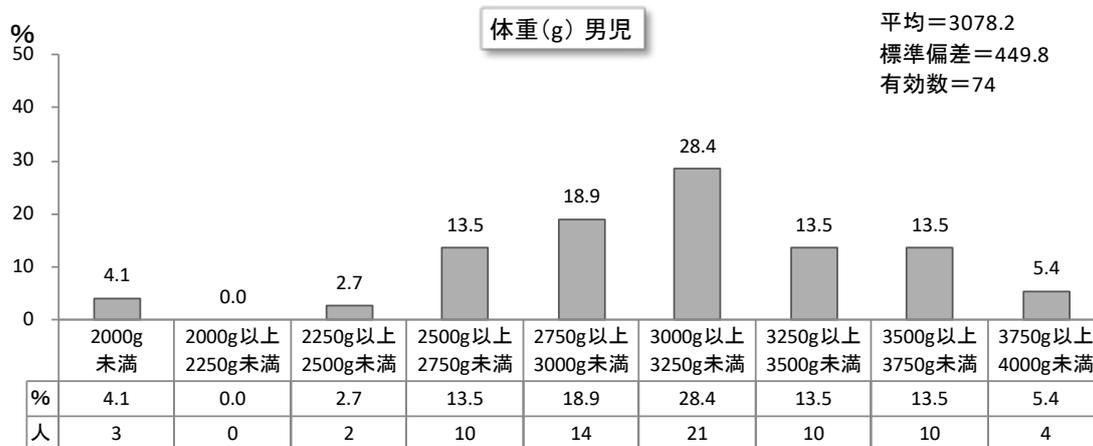
(4) 母親の年齢



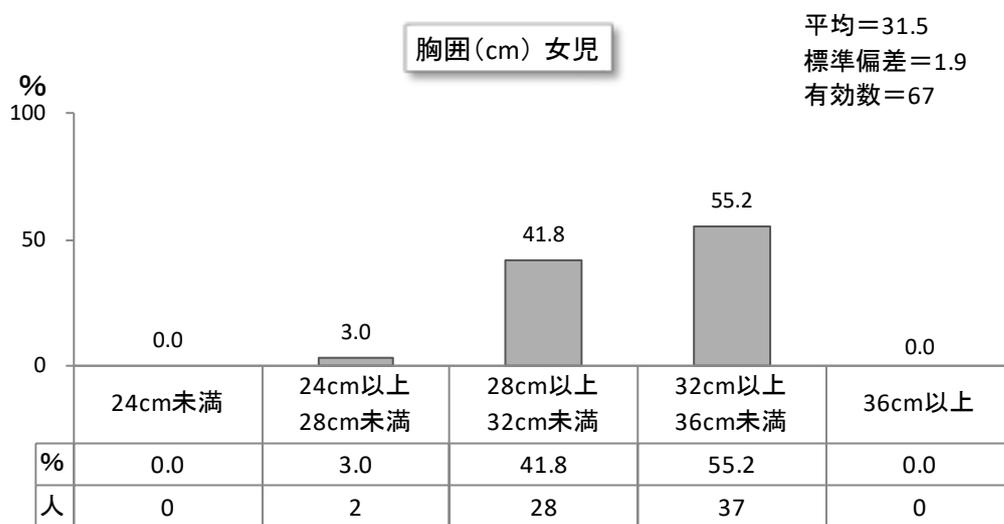
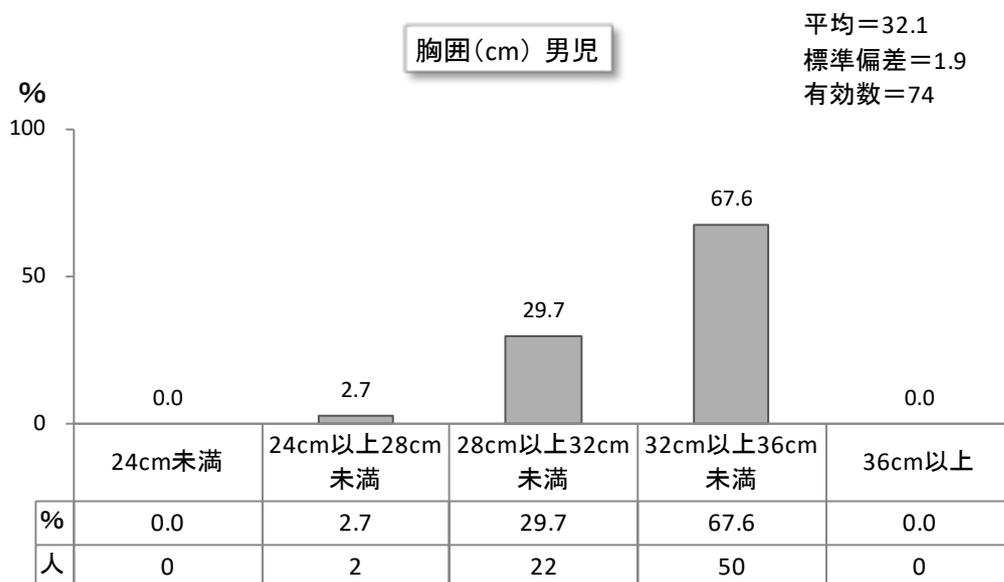
(5) 身長



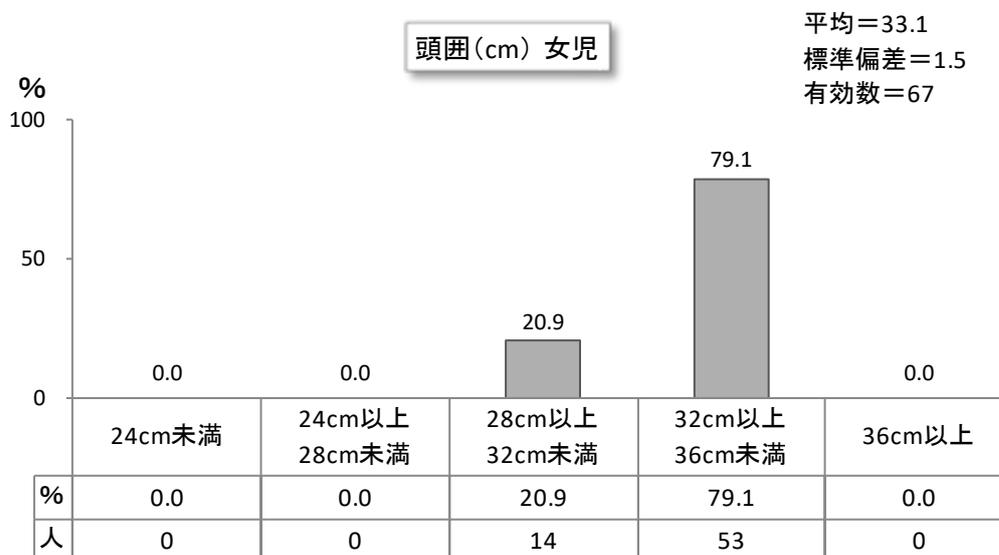
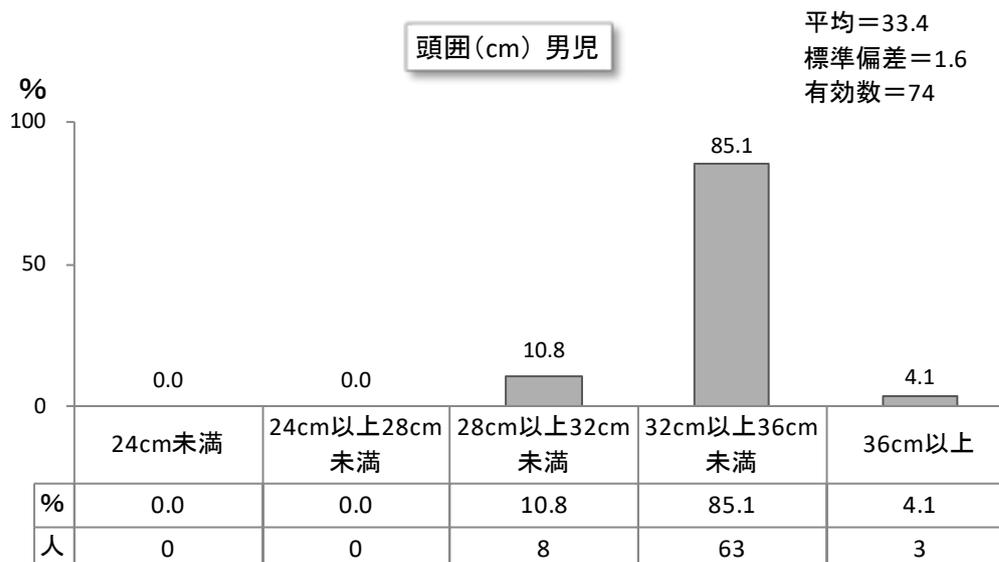
(6) 体重



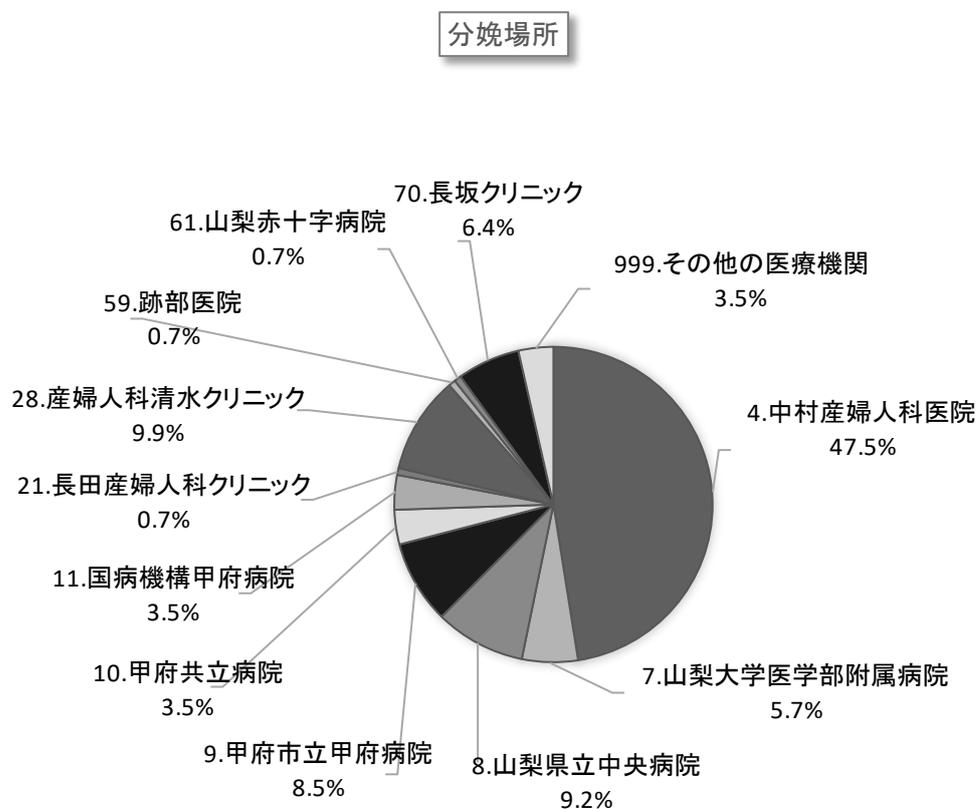
(7) 胸囲



(8) 頭囲



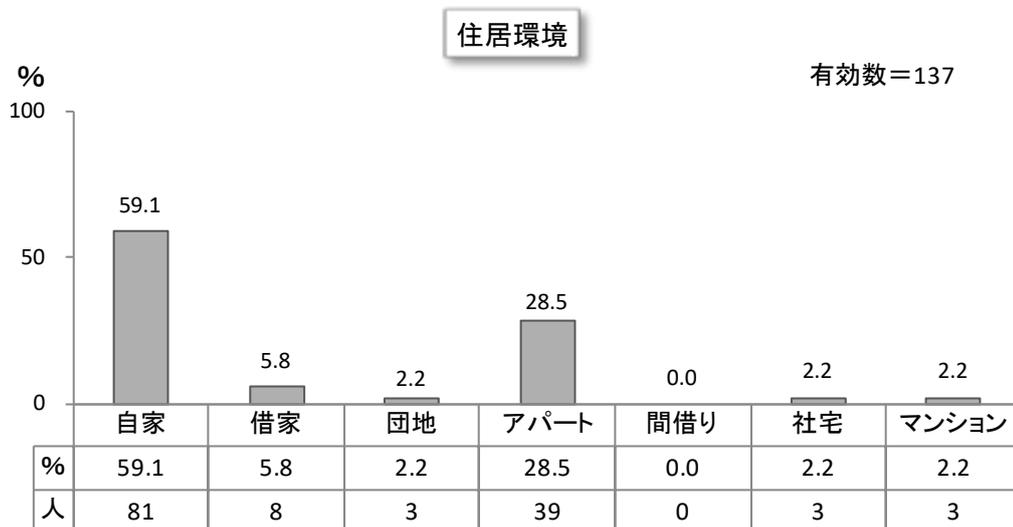
(9) 分娩場所



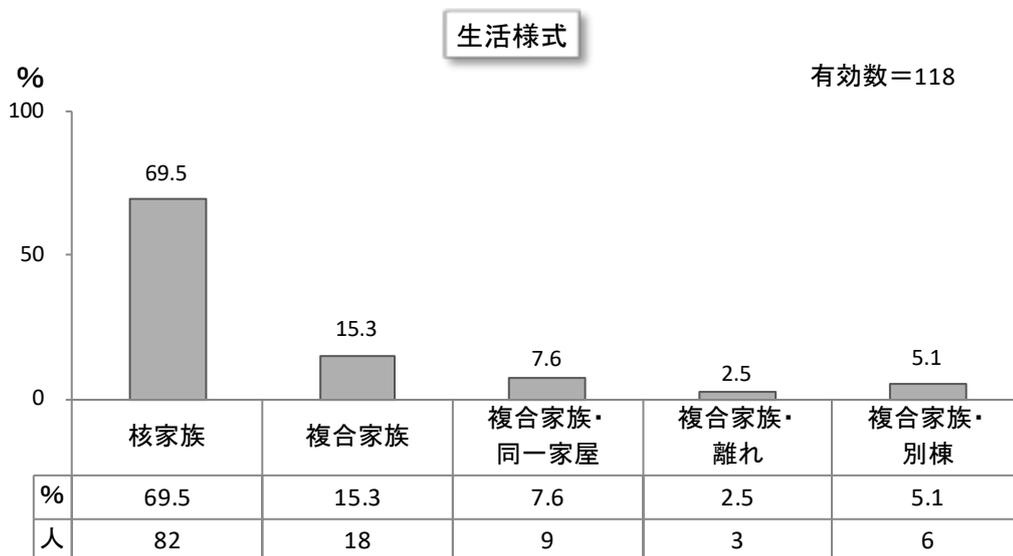
分娩場所	人数	%
4. 中村産婦人科医院	67	47.5
7. 山梨大学医学部附属病院	8	5.7
8. 山梨県立中央病院	13	9.2
9. 甲府市立甲府病院	12	8.5
10. 甲府共立病院	5	3.6
11. 国病機構甲府病院	5	3.6
21. 長田産婦人科クリニック	1	0.7
28. 産婦人科清水クリニック	14	9.9
59. 跡部医院	1	0.7
61. 山梨赤十字病院	1	0.7
70. 長坂クリニック	9	6.4
999. その他の医療機関	5	3.6
	141	100

3.3ヶ月児健診時

(1) 住居環境



(2) 生活様式

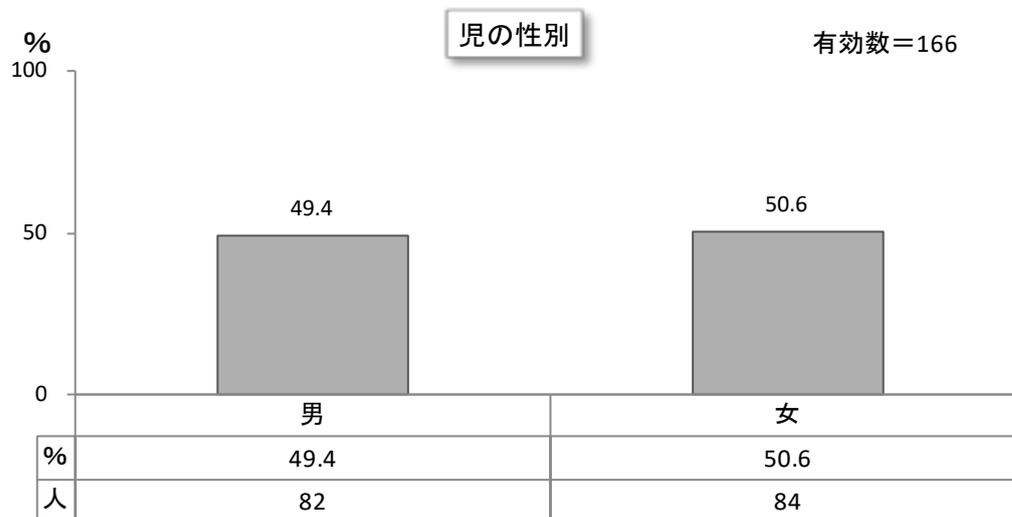


(3) 体重の変化

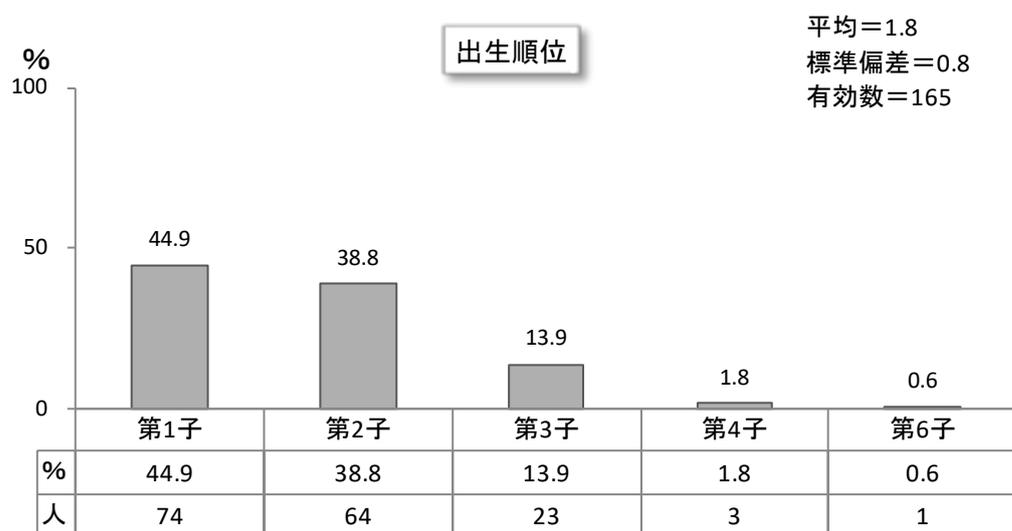
妊娠前の 体格	人数 (人)	平均体重 増加量 (kg)	標準偏差	最小値 (kg)	最大値 (kg)
やせ	24	11.5	4.6	4.1	21.8
標準	90	11.6	3.4	0.0	20.7
肥満	19	8.1	4.6	-2.4	15.9

4.1歳6ヶ月児健診時

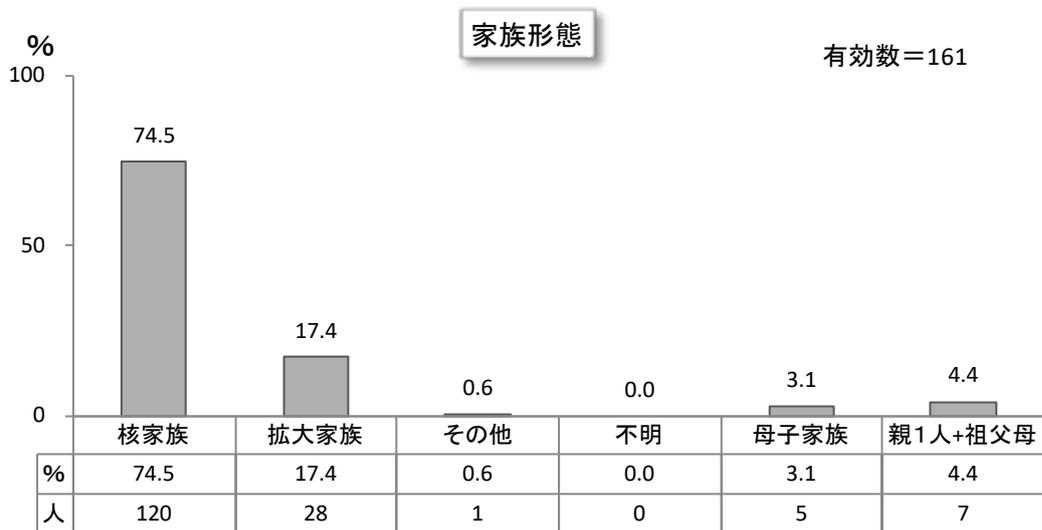
(1) 児の性別



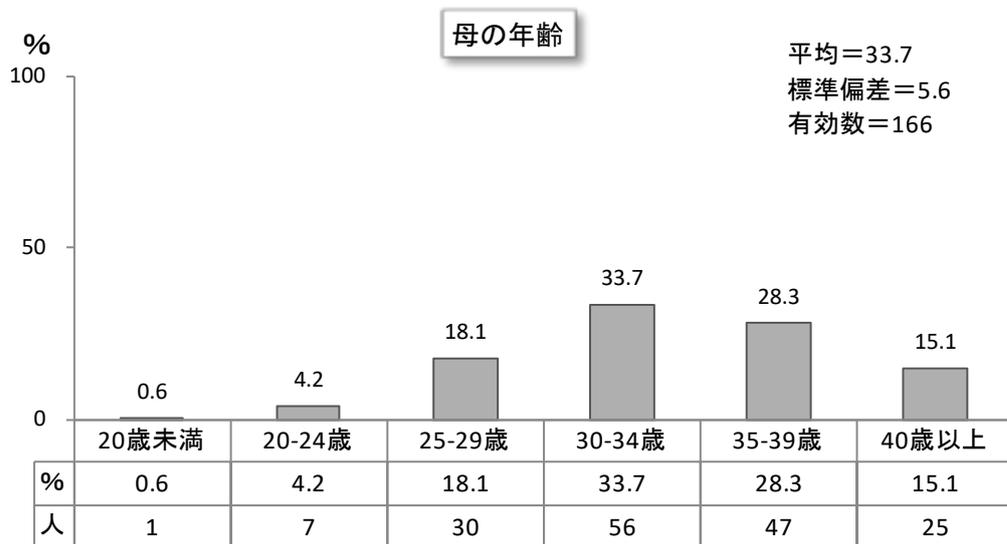
(2) 出生順位



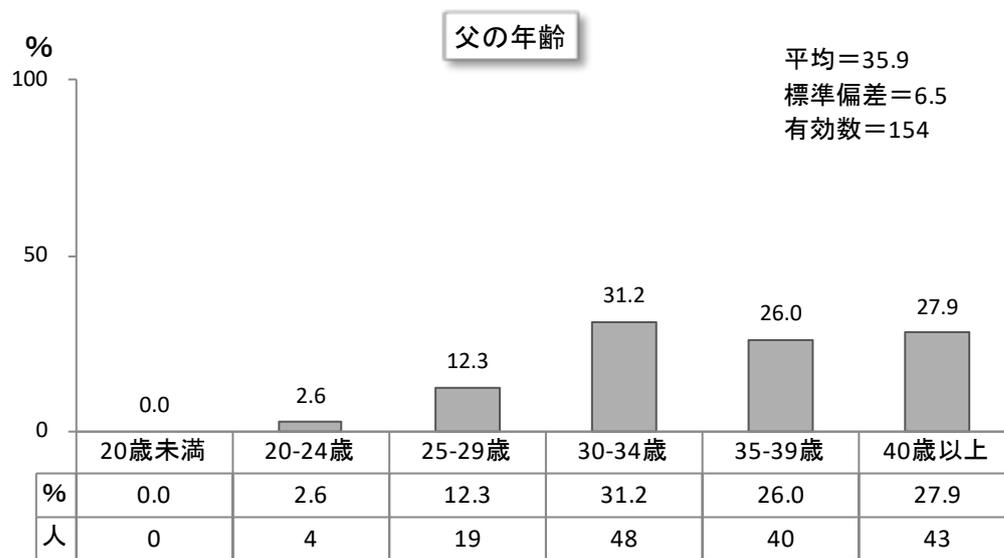
(3) 家族形態



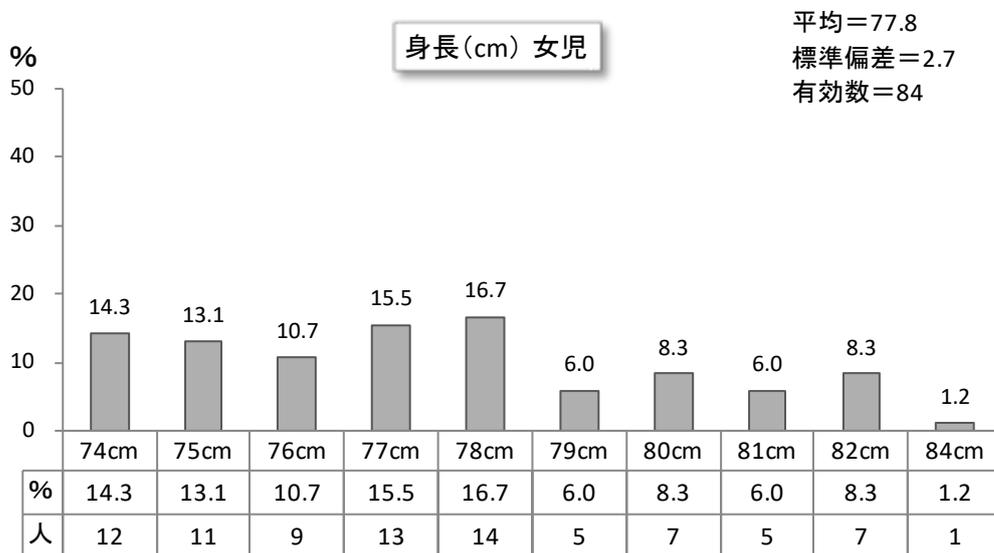
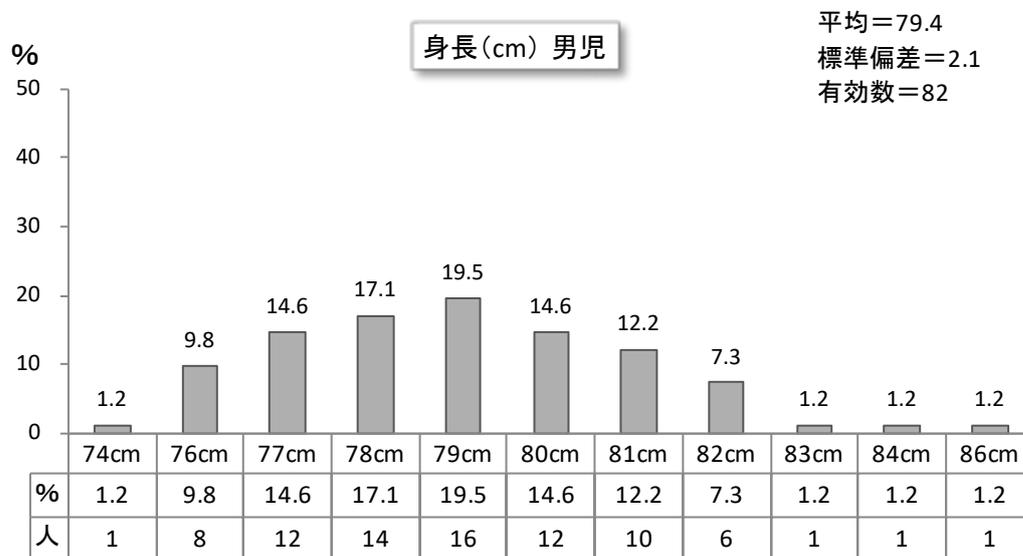
(4) 母親の年齢



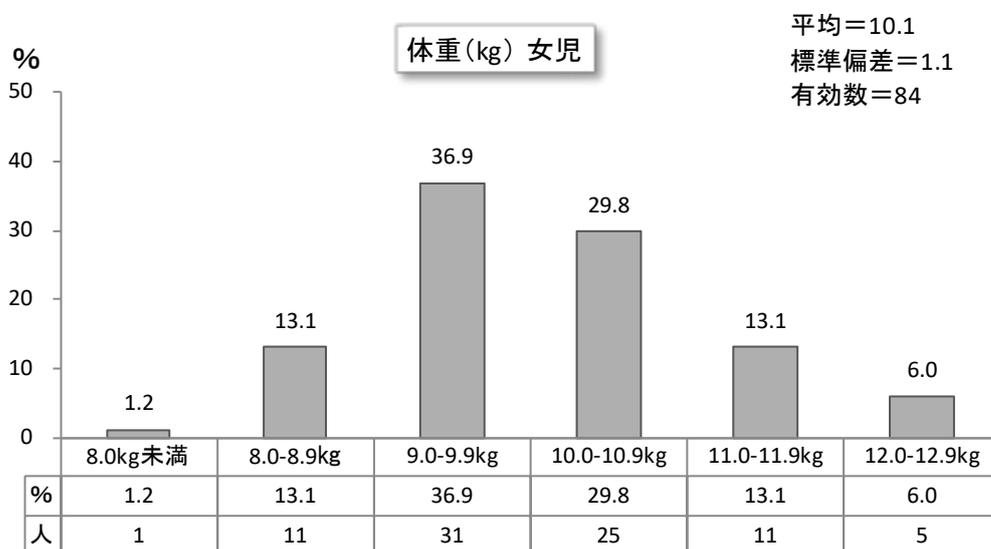
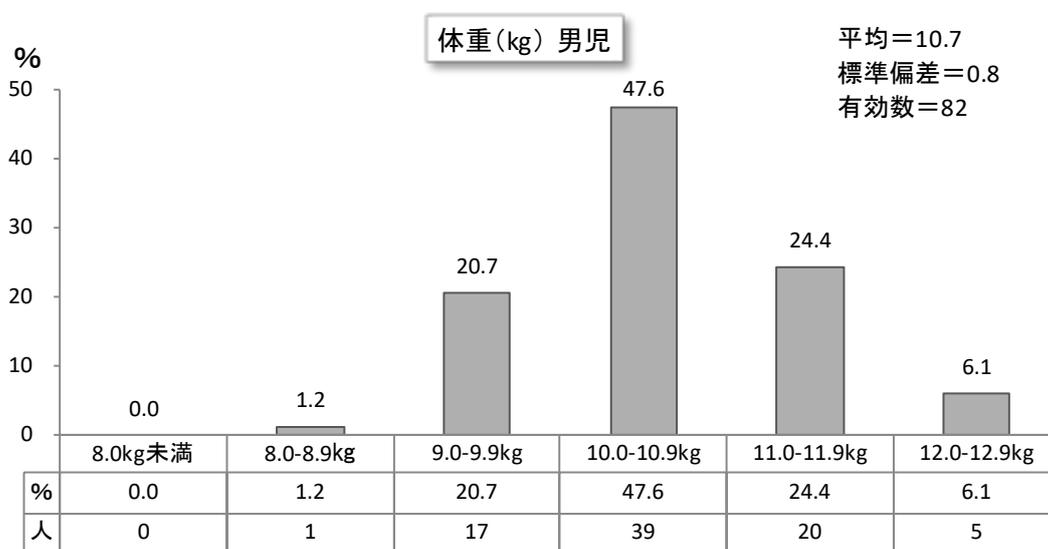
(5) 父親の年齢



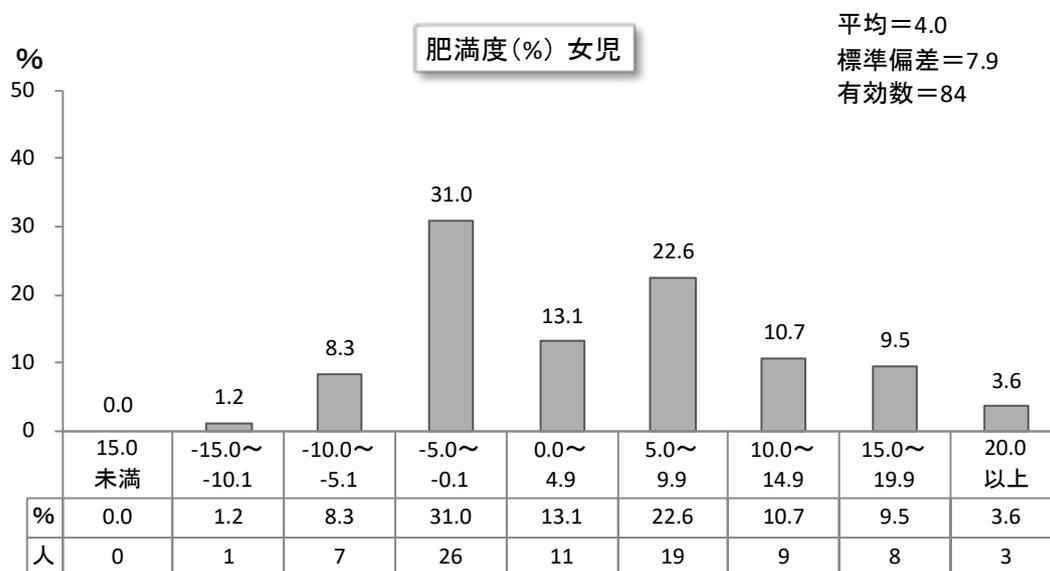
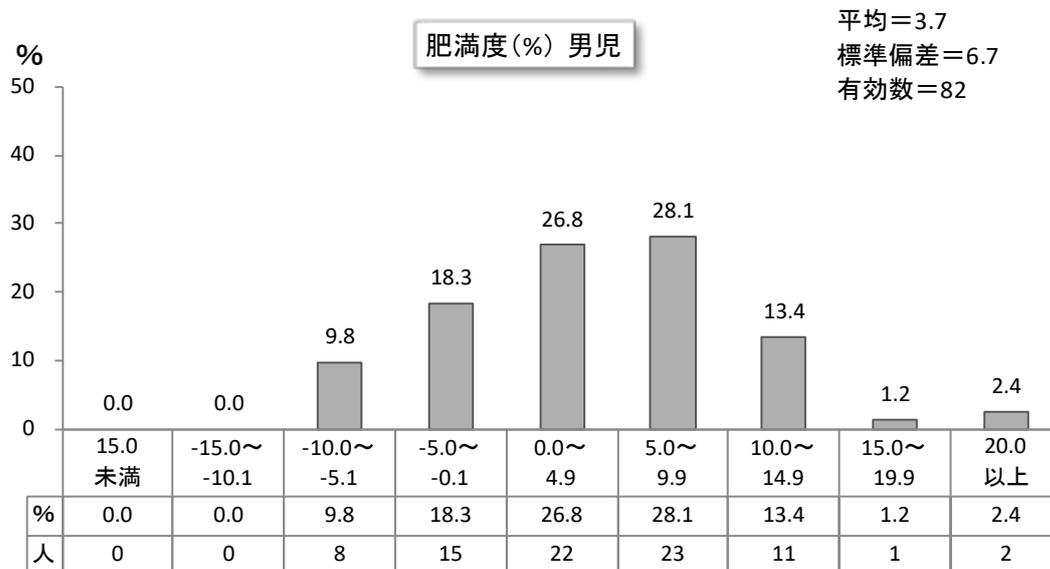
(6) 身長



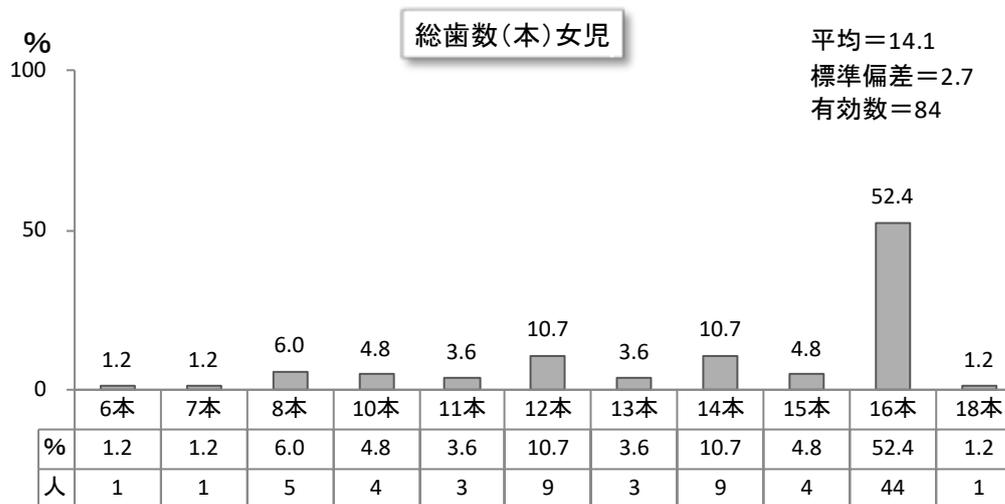
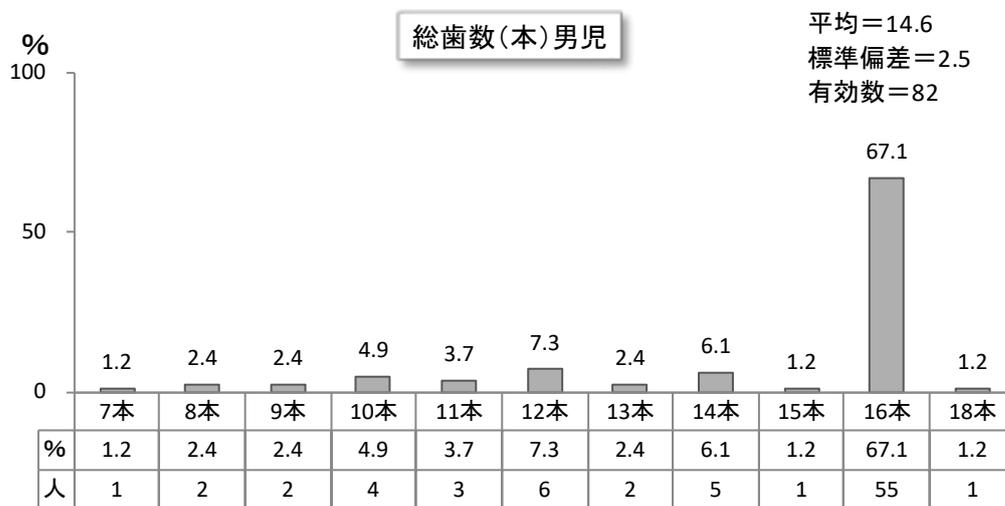
(7) 体重



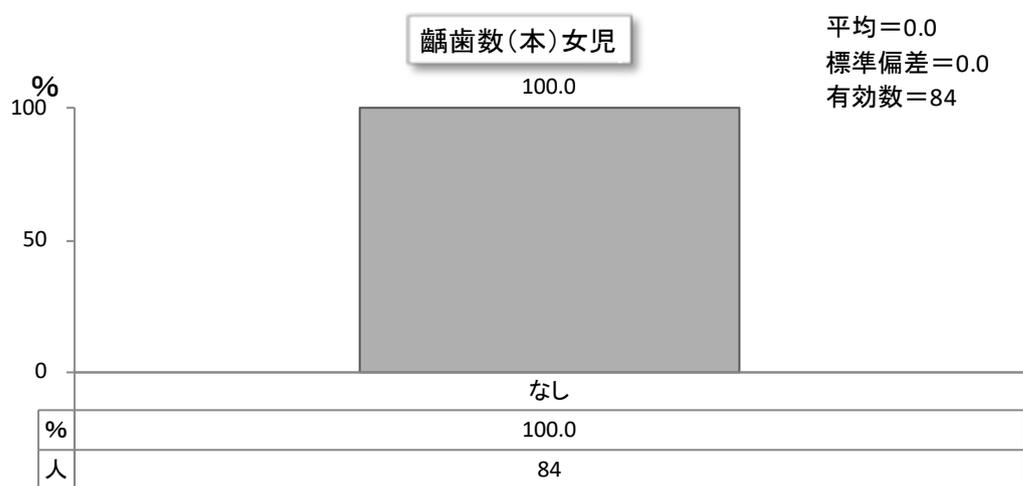
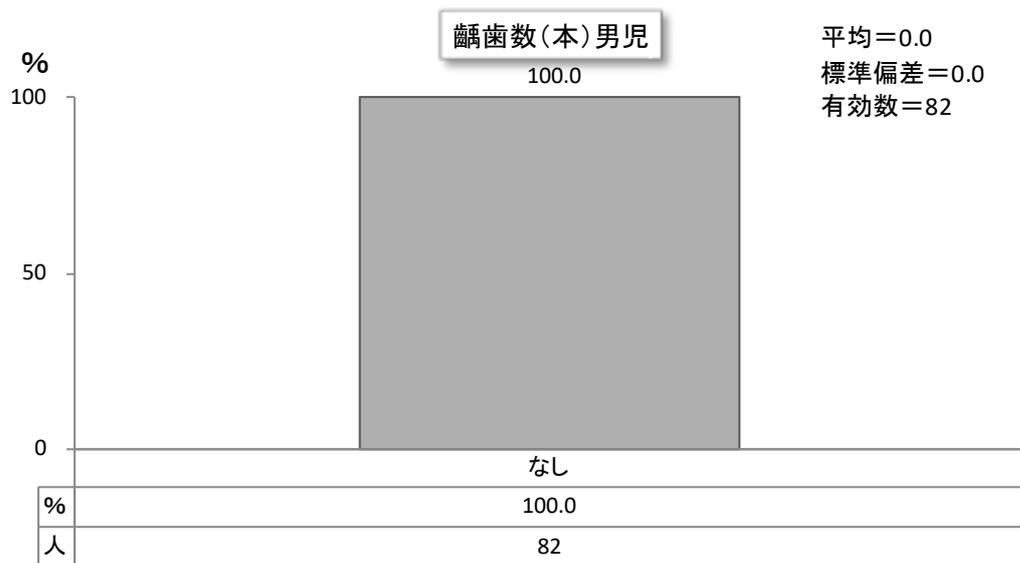
(8) 肥満度



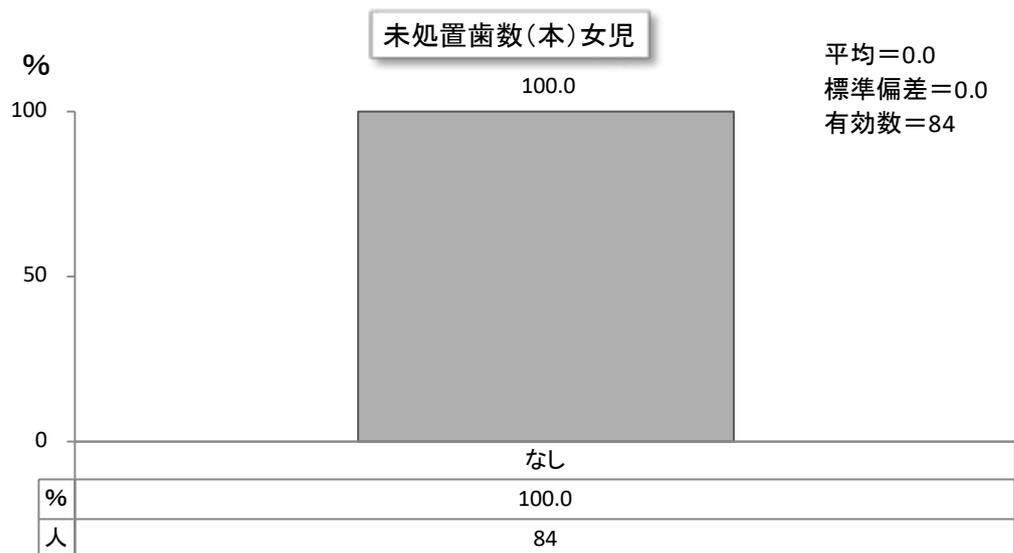
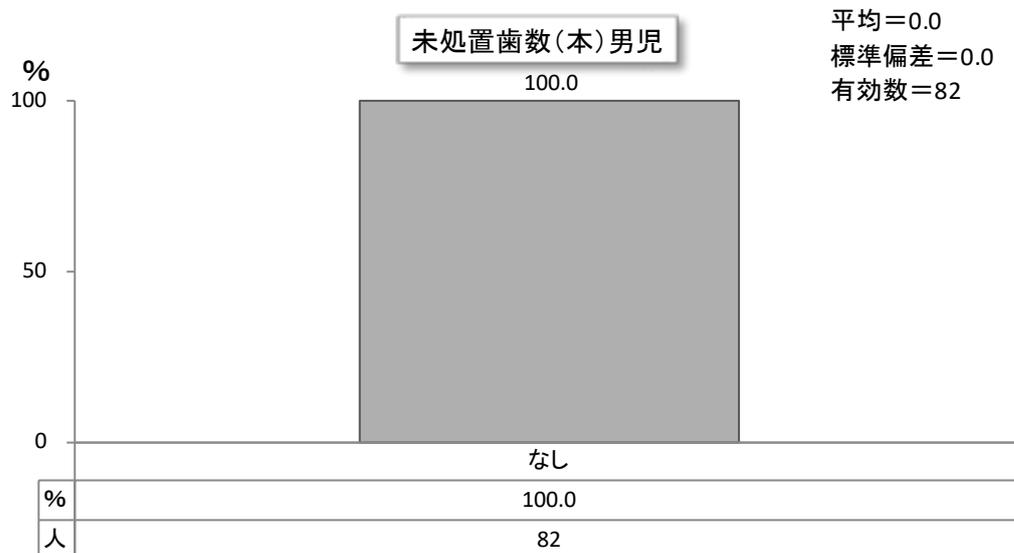
(9) 総歯数



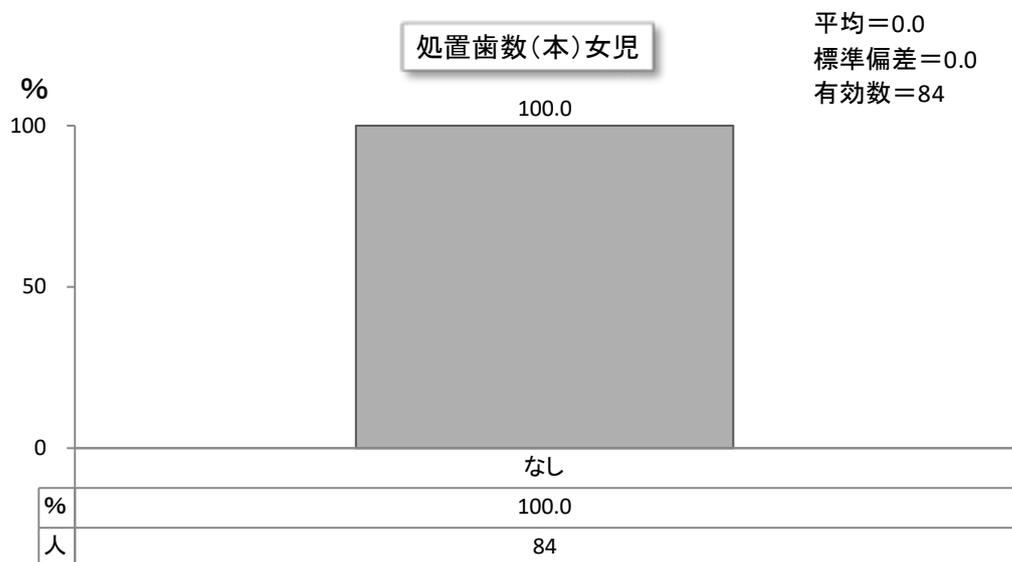
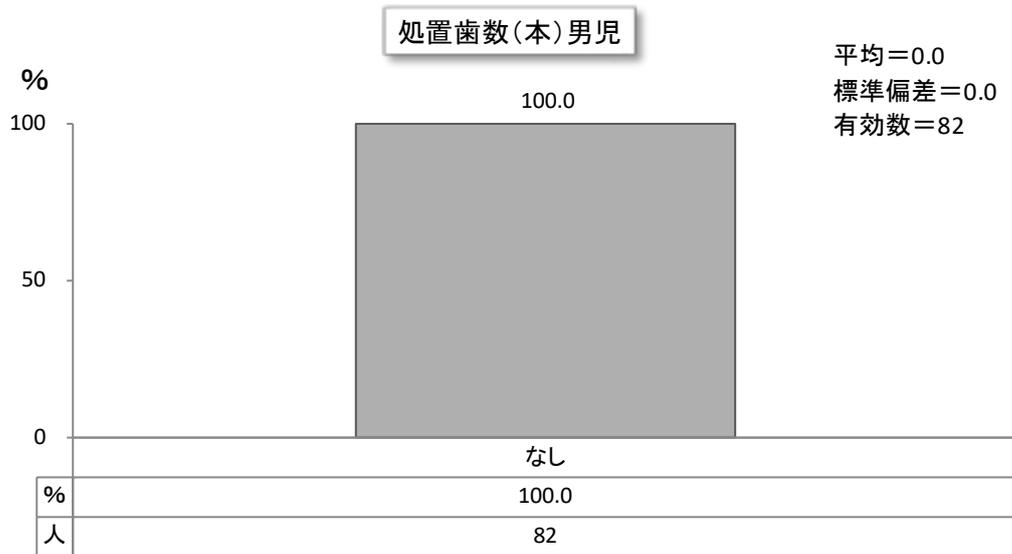
(10) 齲歯数



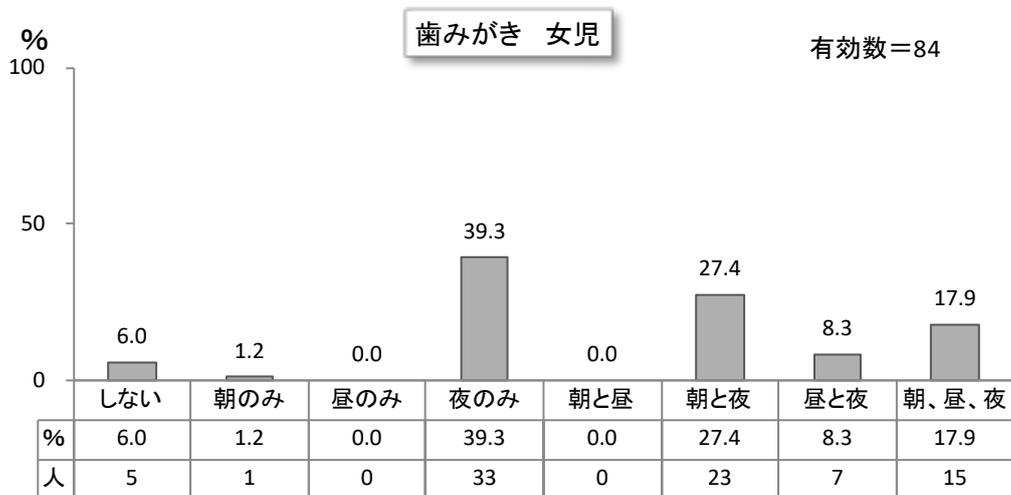
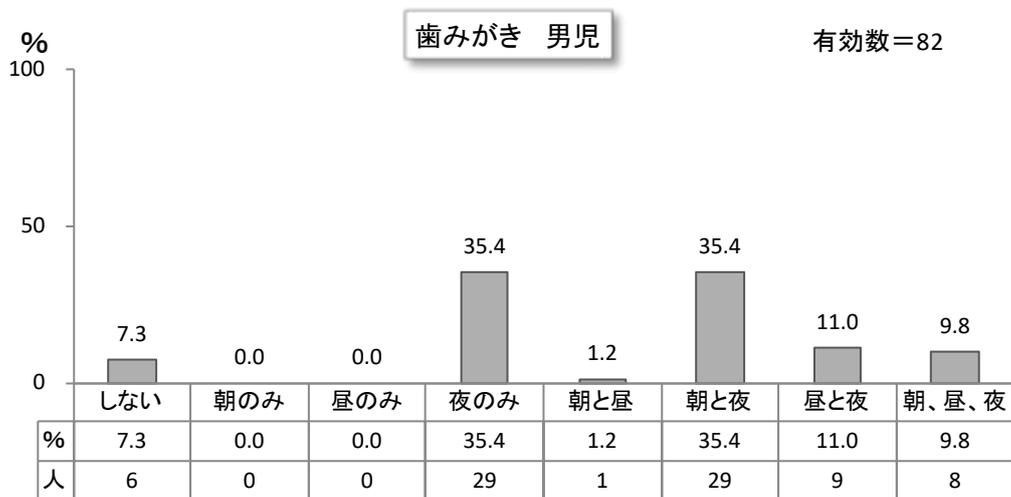
(11) 未処置歯数



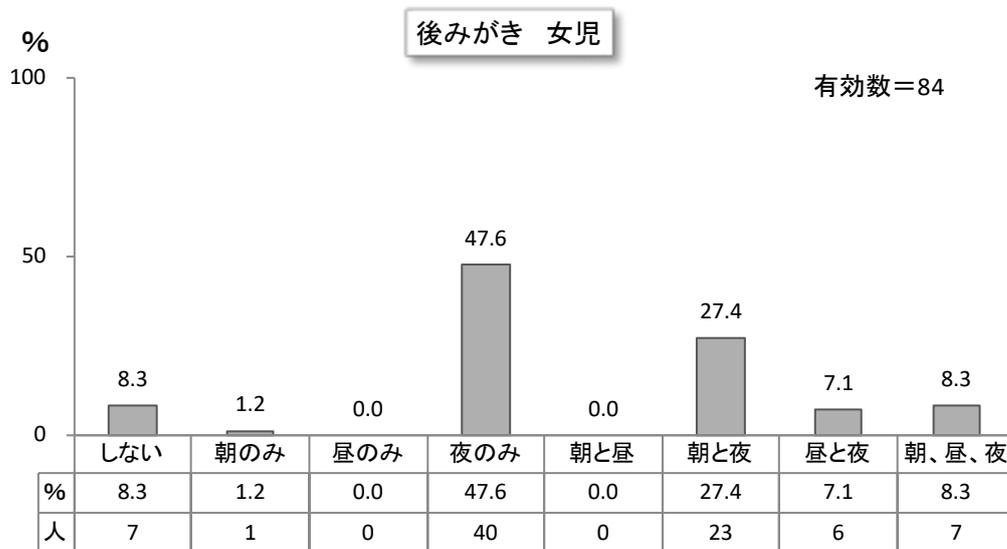
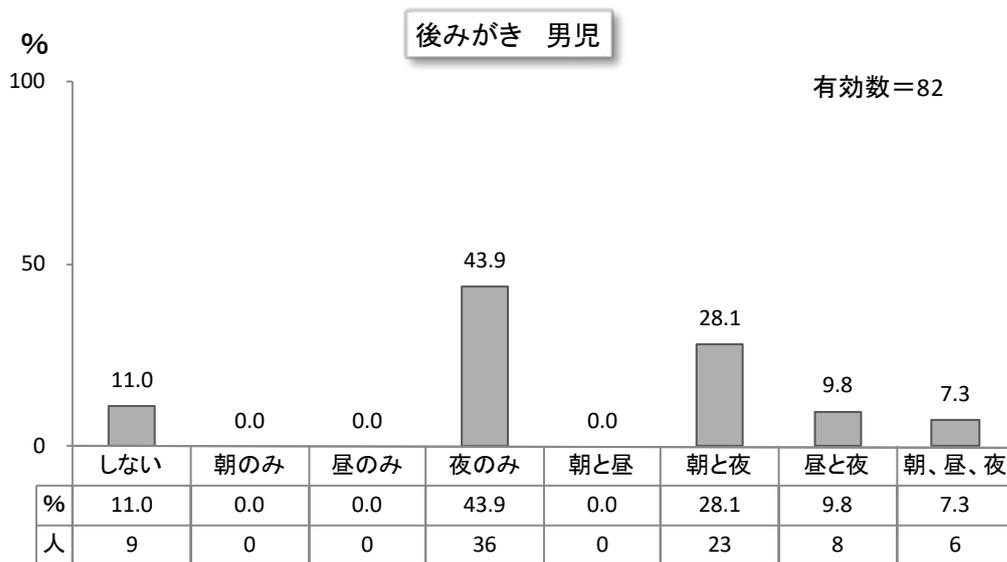
(12) 処置歯数



(13) 歯みがき

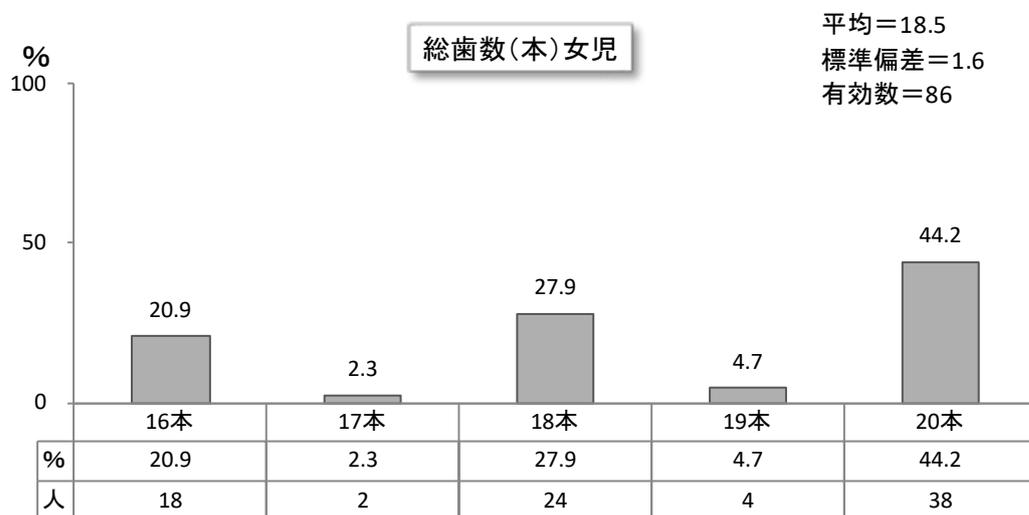
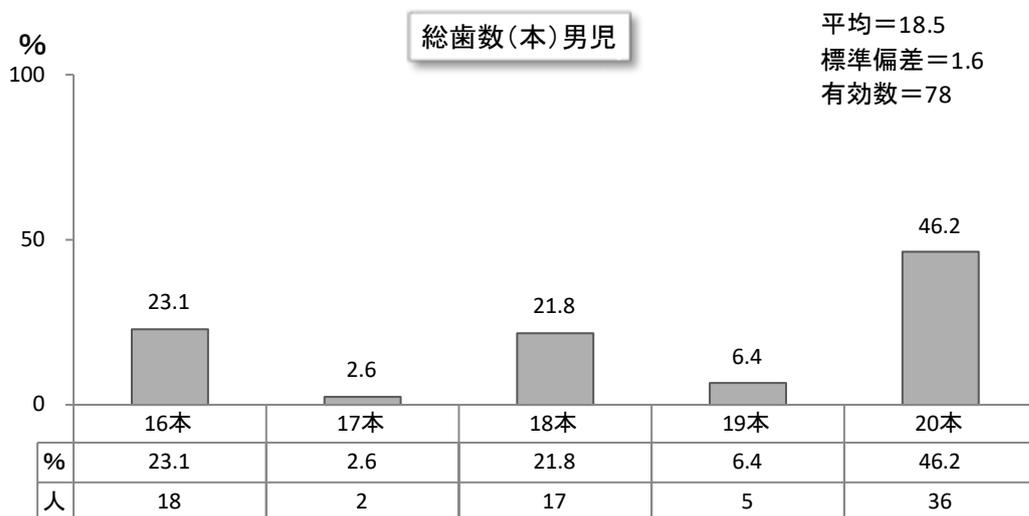


(14) 後みがき

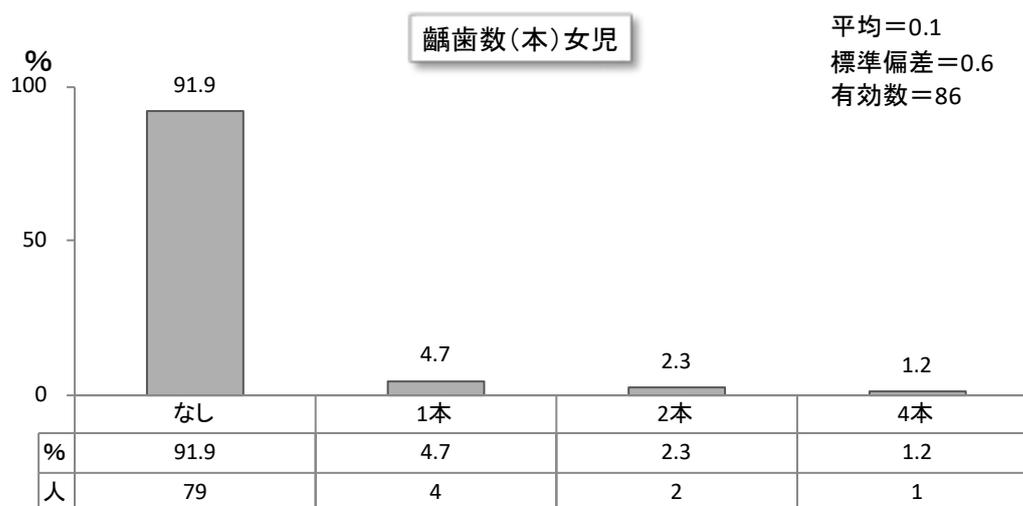
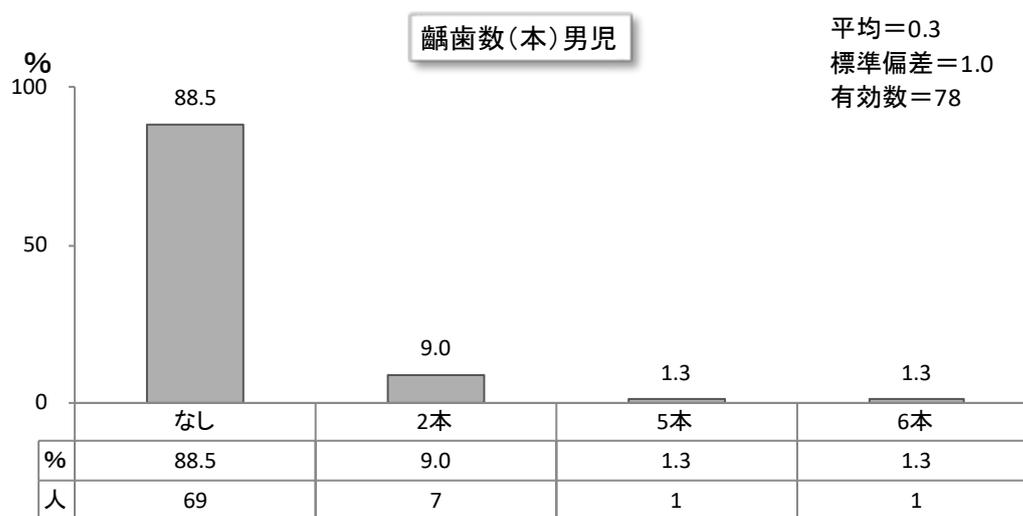


5.2 歳児健診時

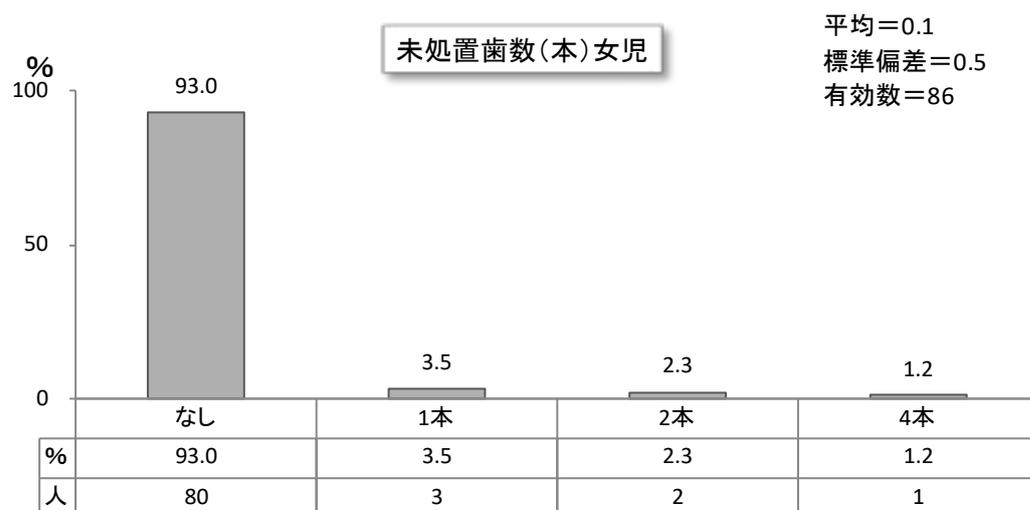
(1) 総歯数



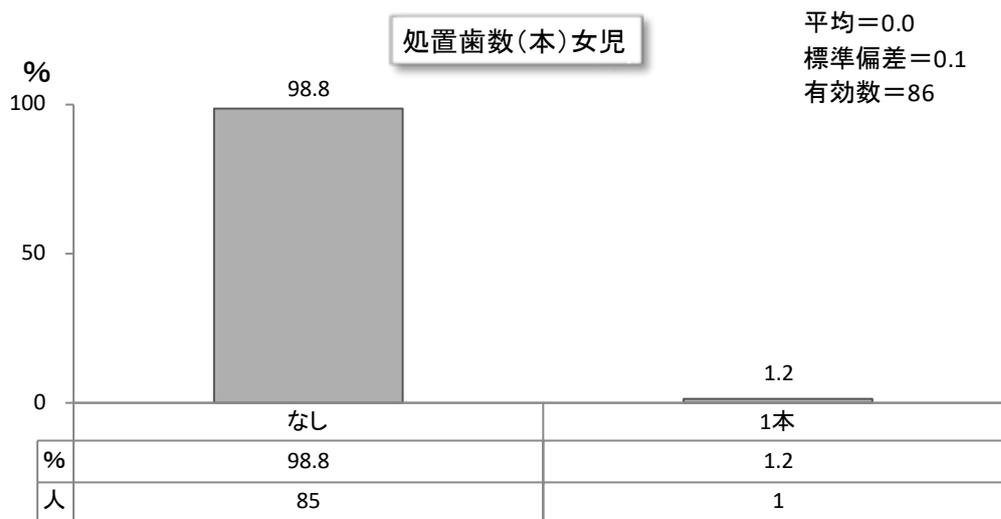
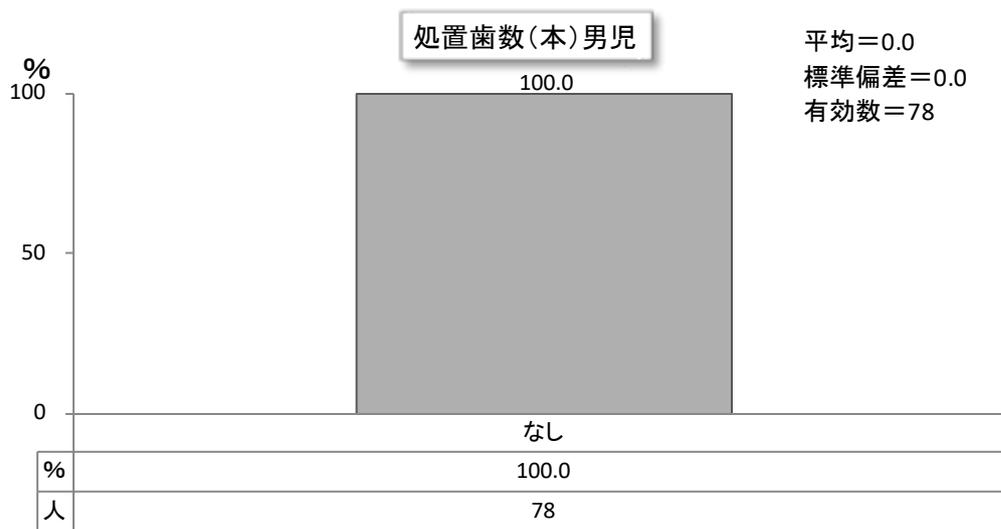
(2) 齲歯数



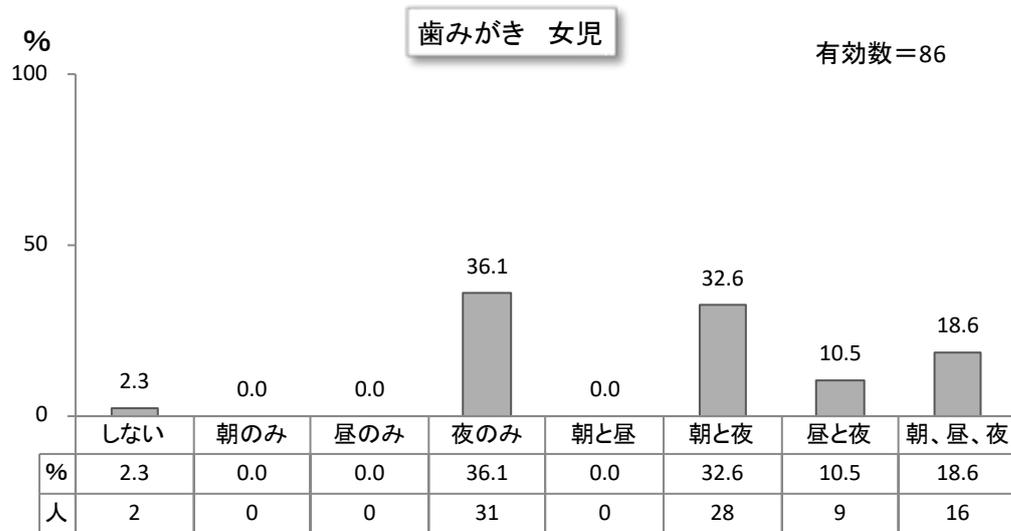
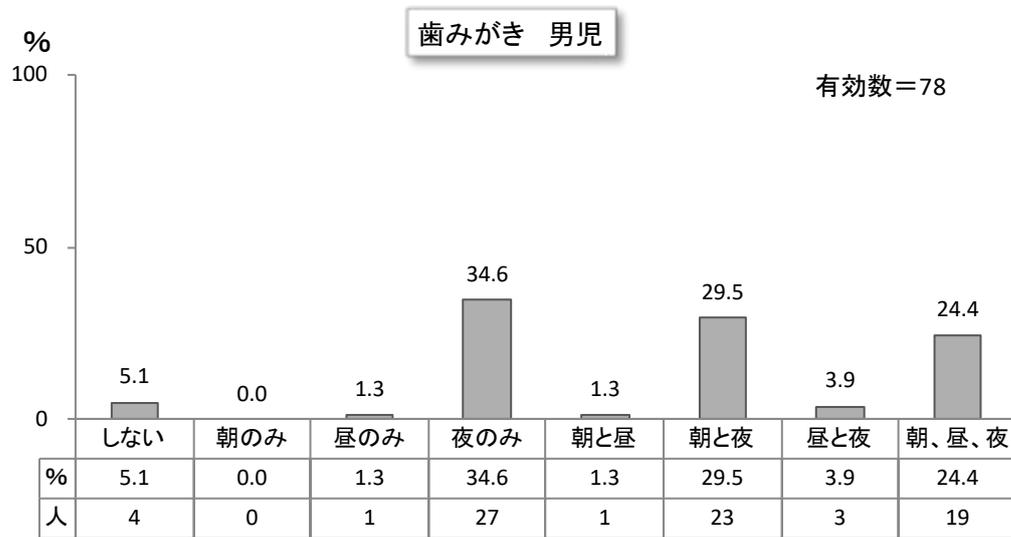
(3) 未処置歯数



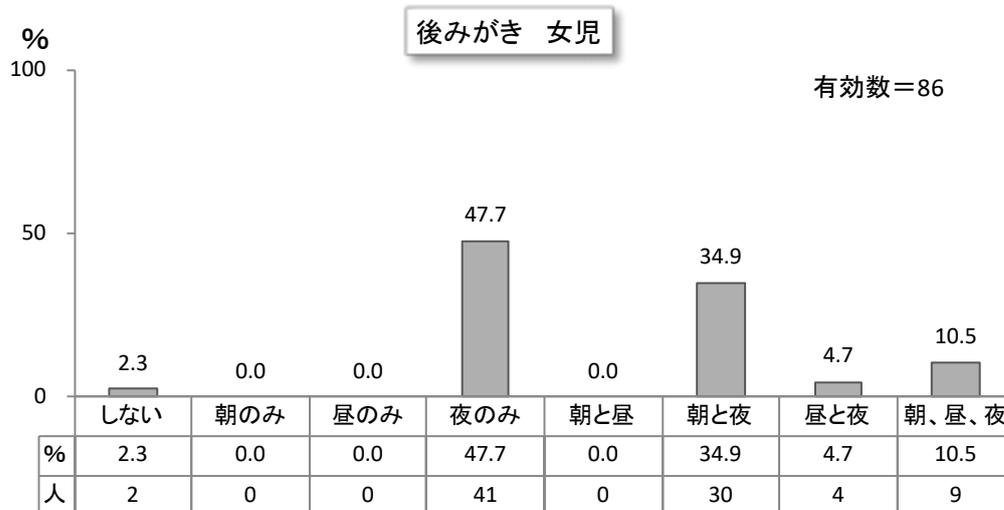
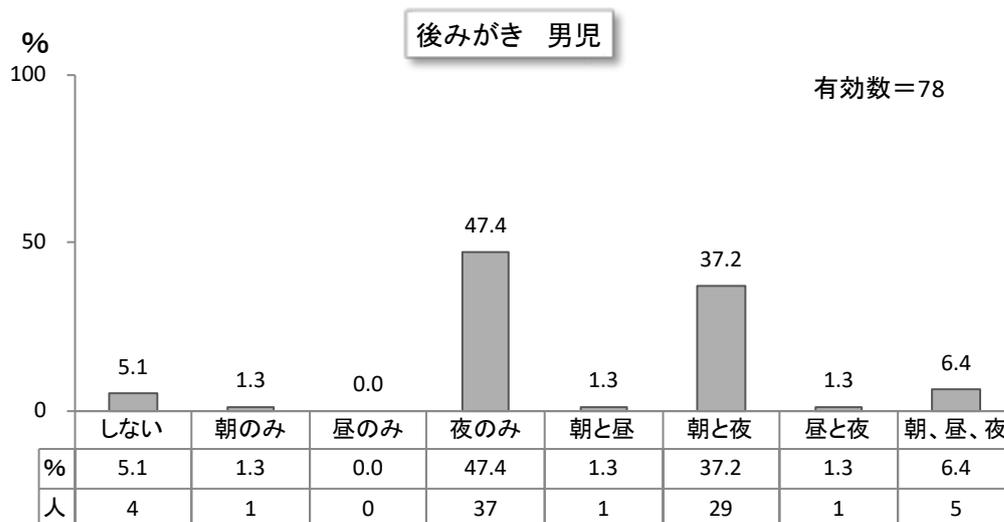
(4) 処置歯数



(5) 歯みがき

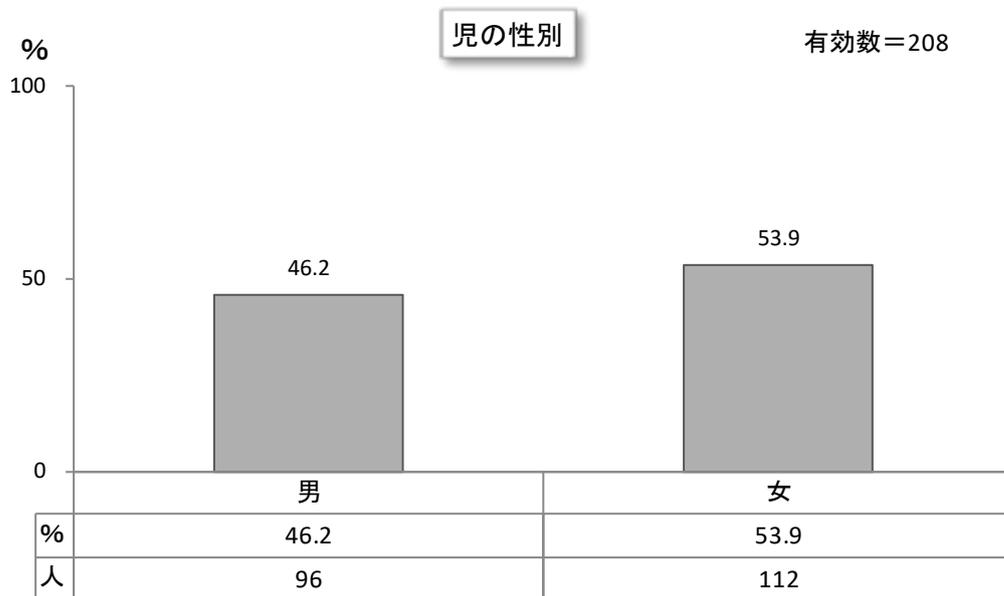


(6) 後みがき

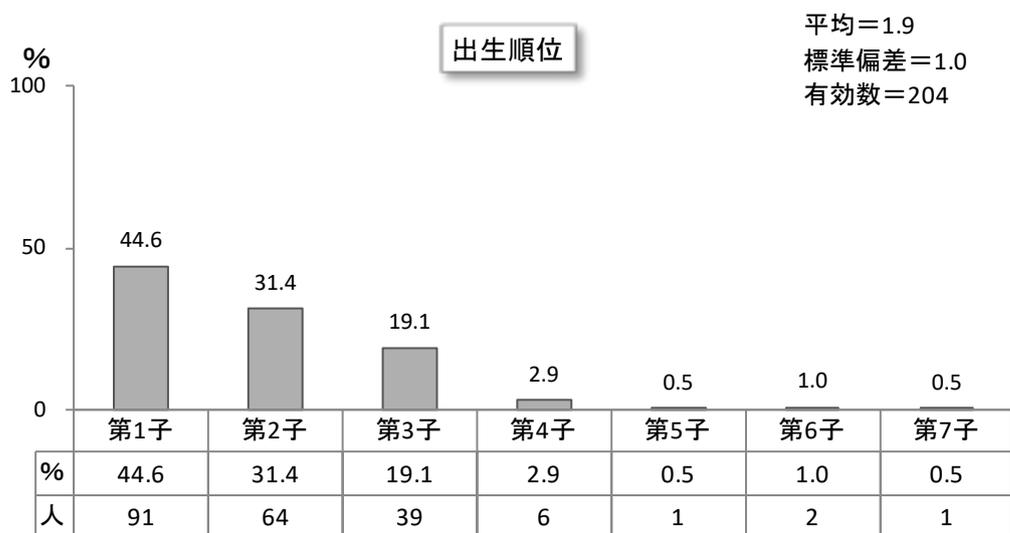


6.3 歳児健診時

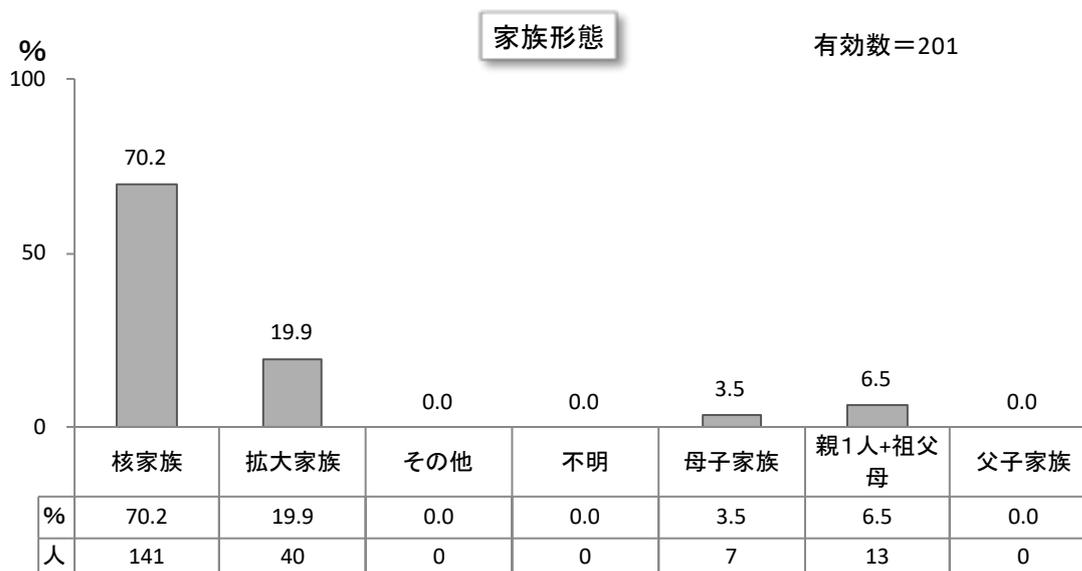
(1) 児の性別



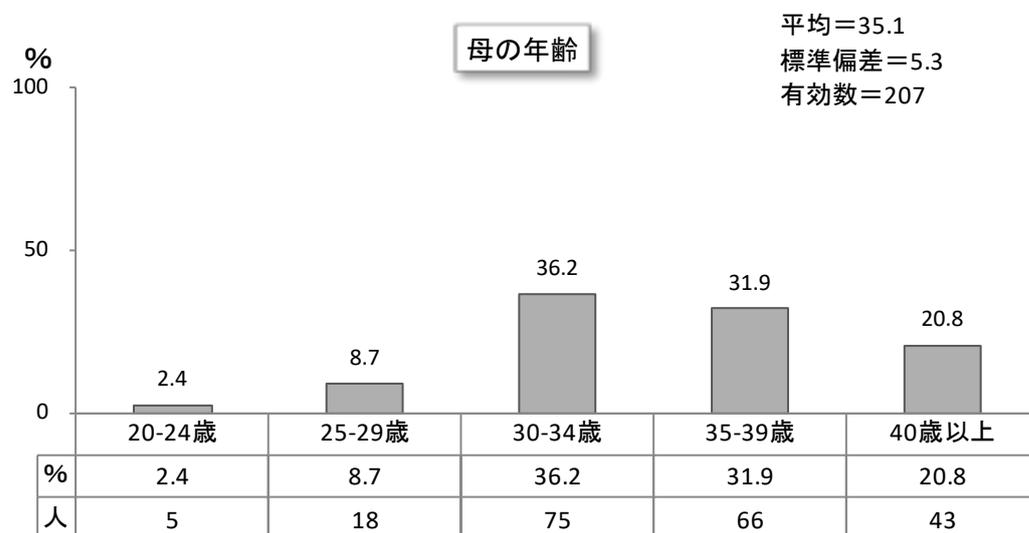
(2) 出生順位



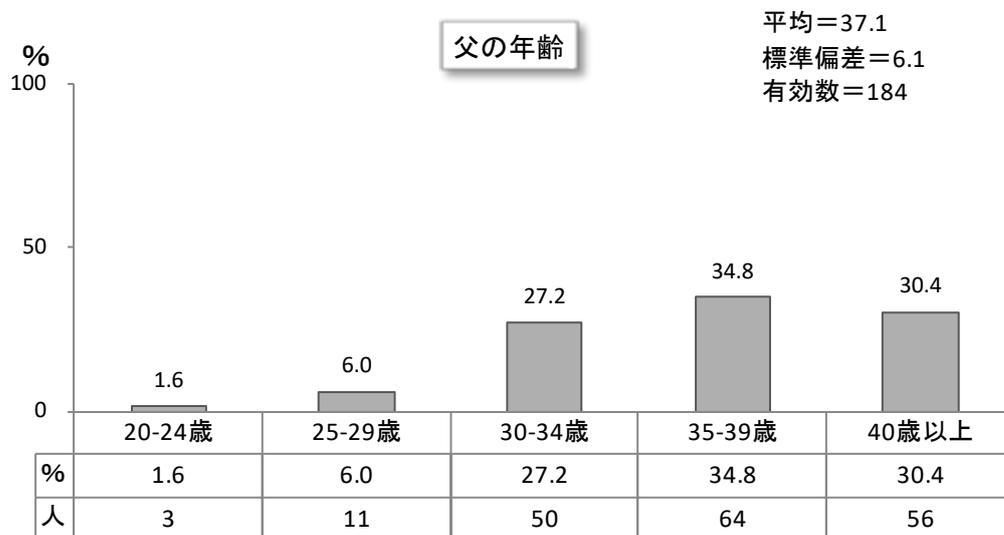
(3) 家族形態



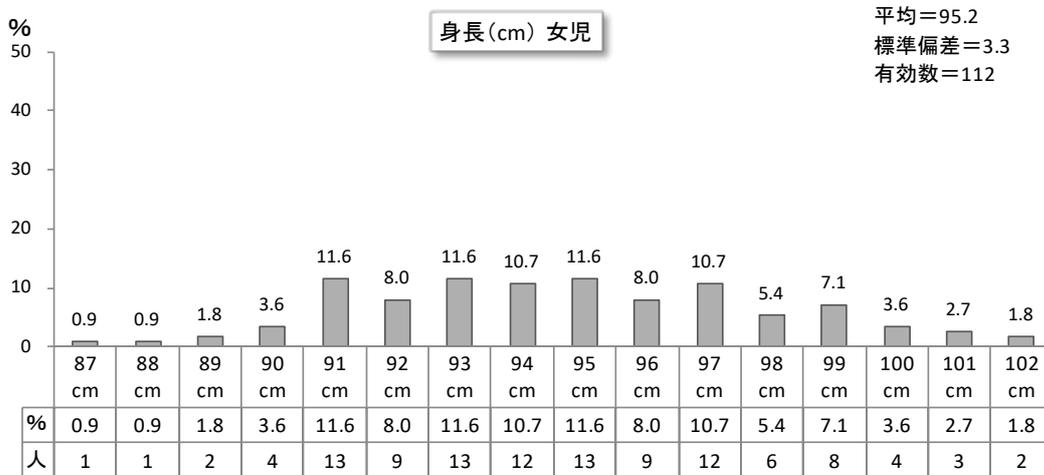
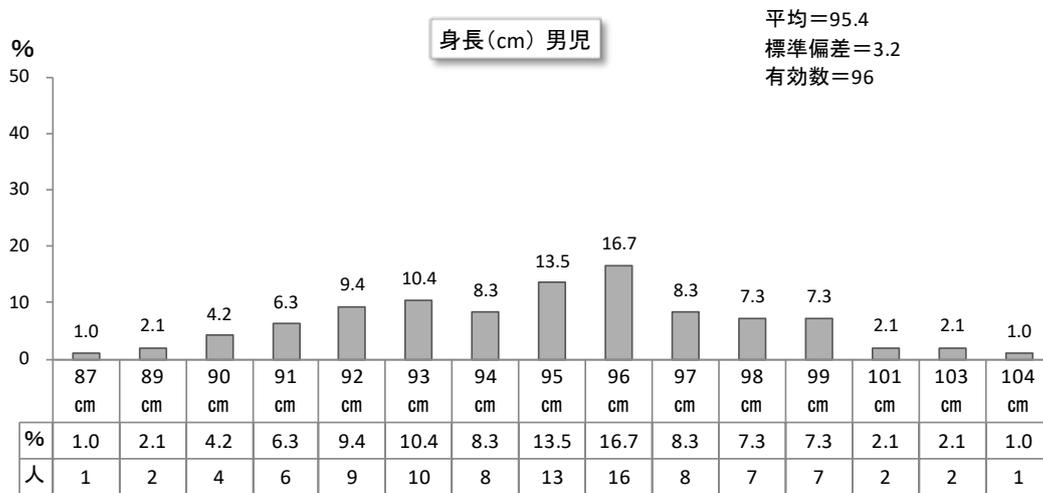
(4) 母親の年齢



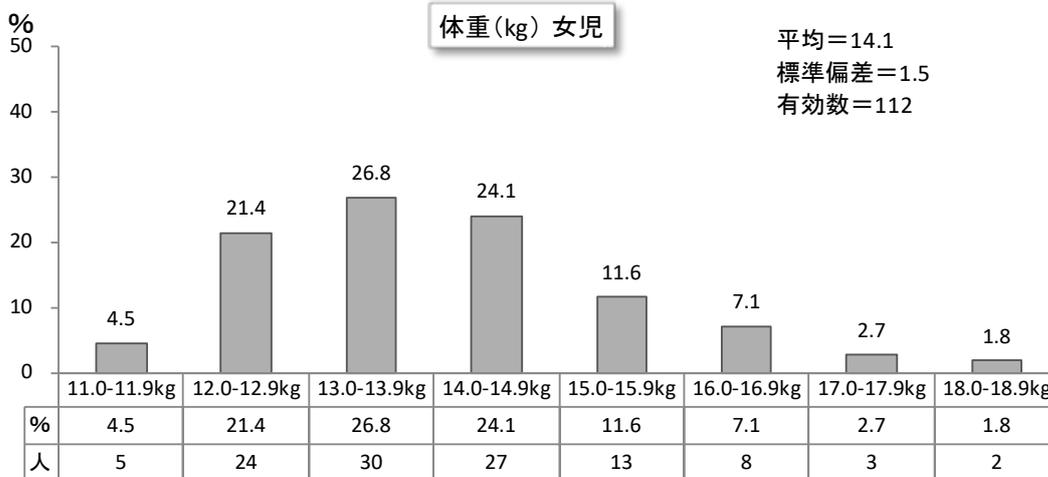
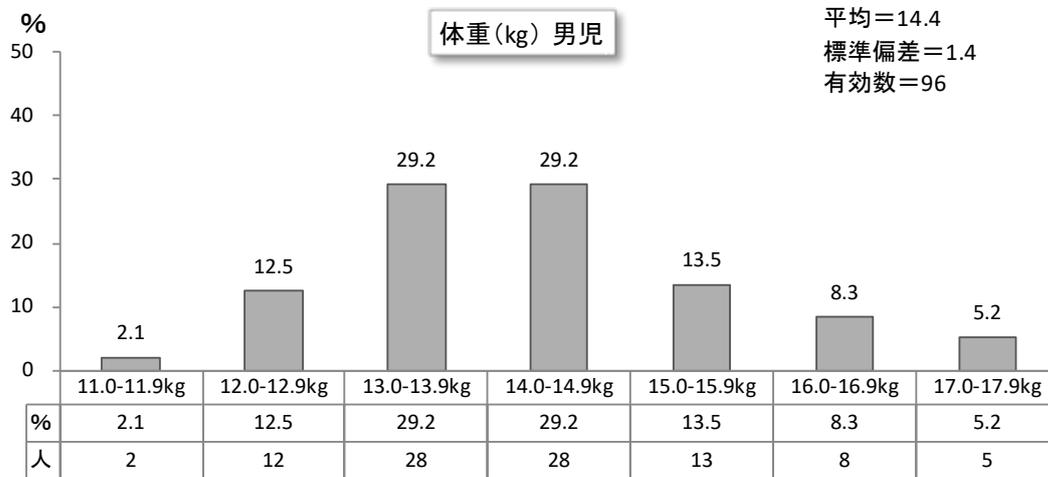
(5) 父親の年齢



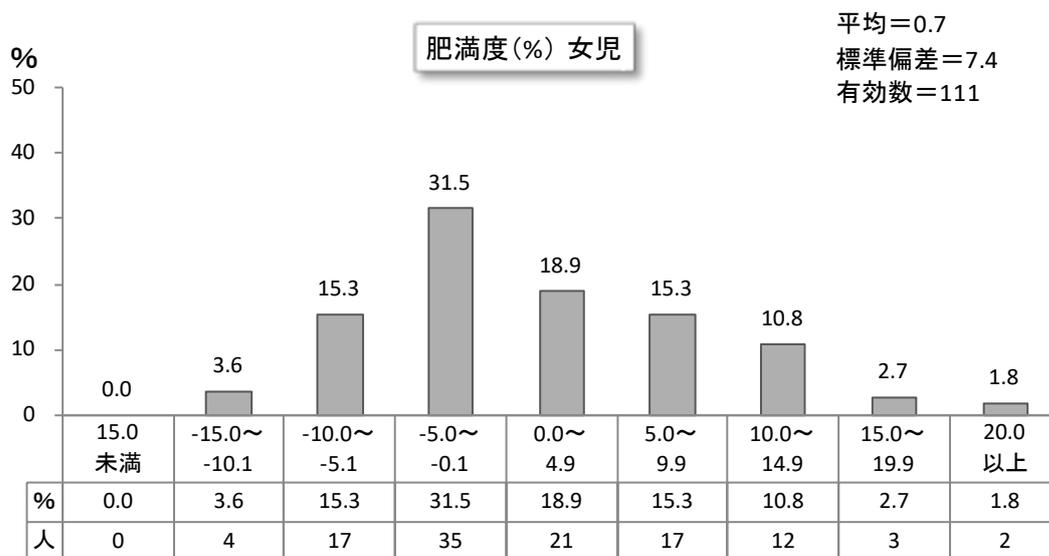
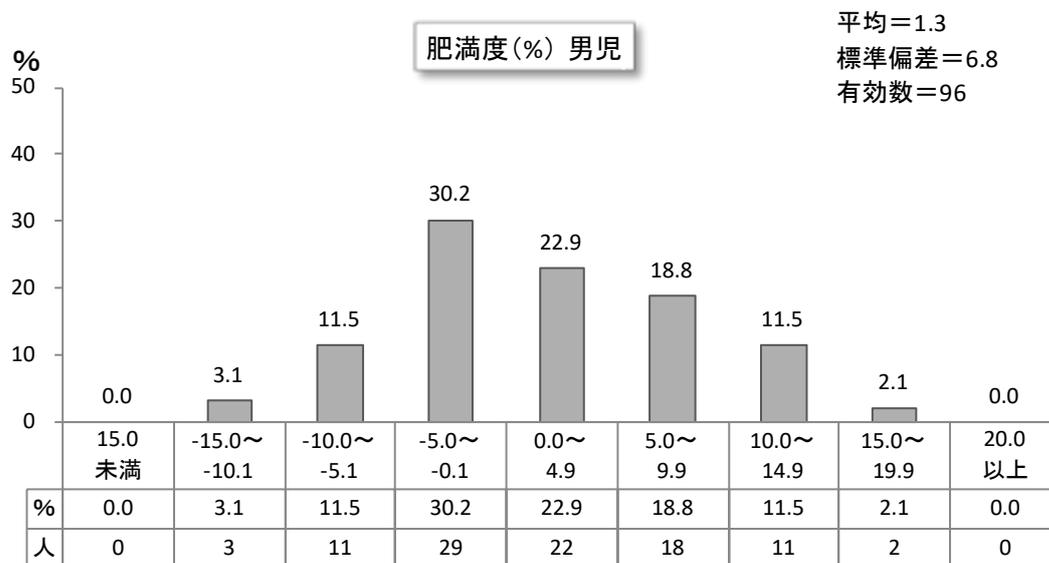
(6) 身長



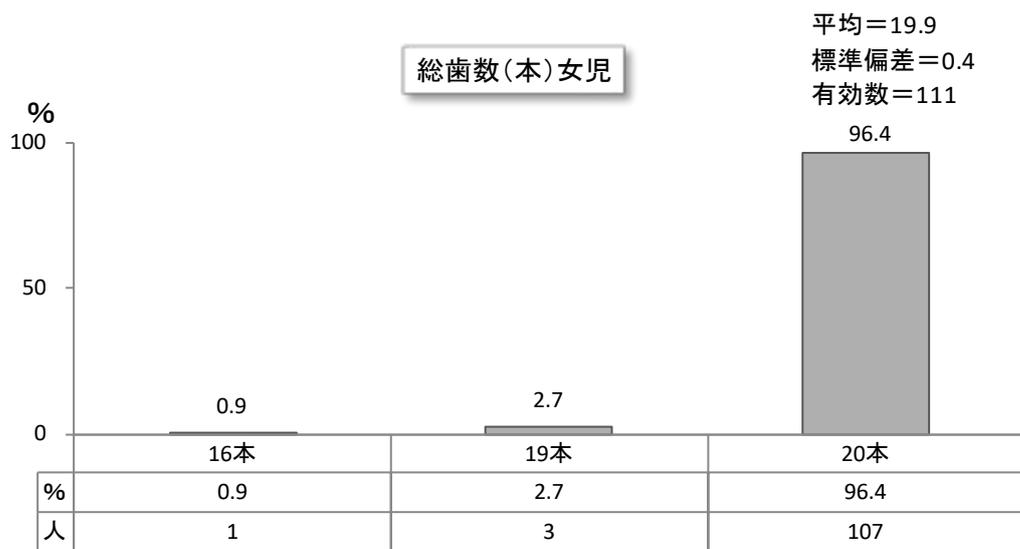
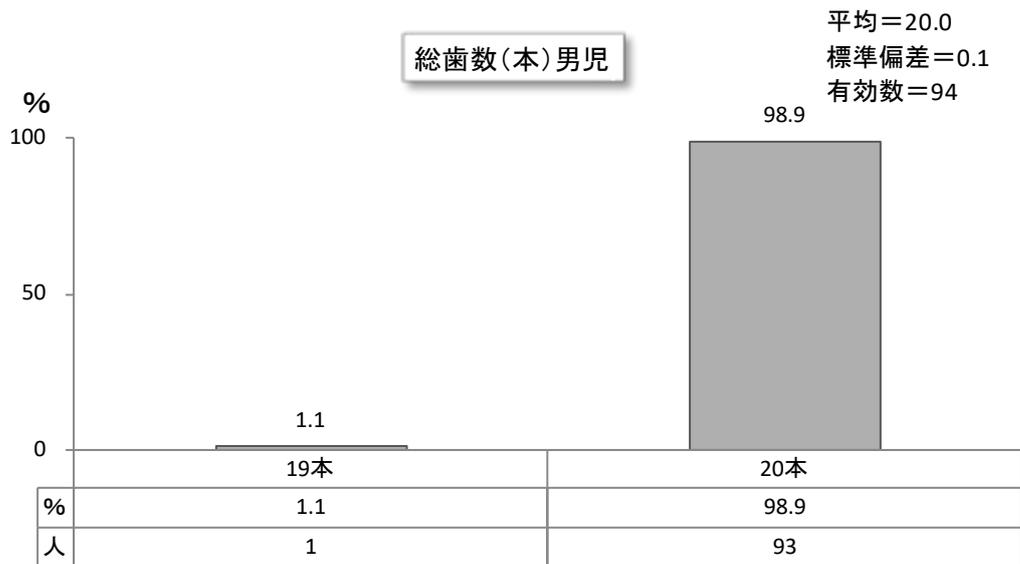
(7) 体重



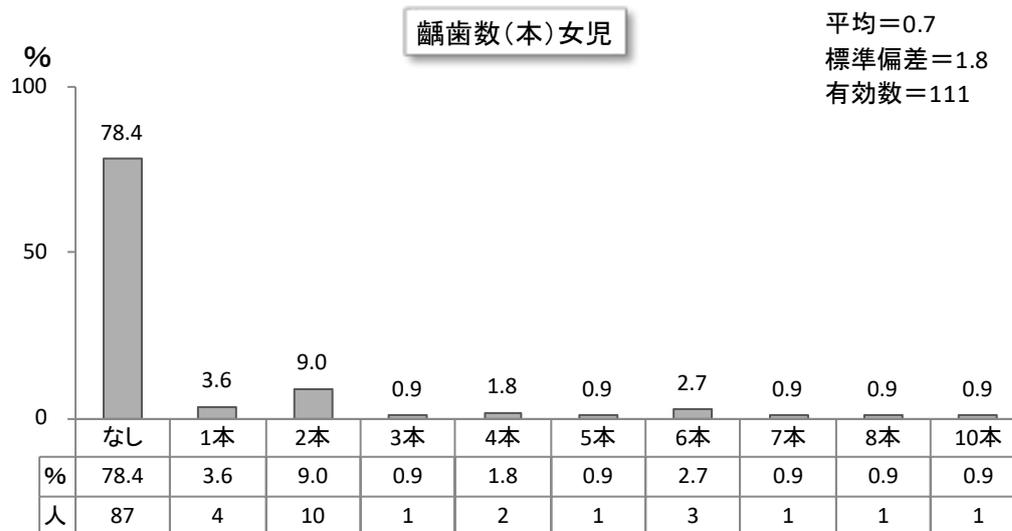
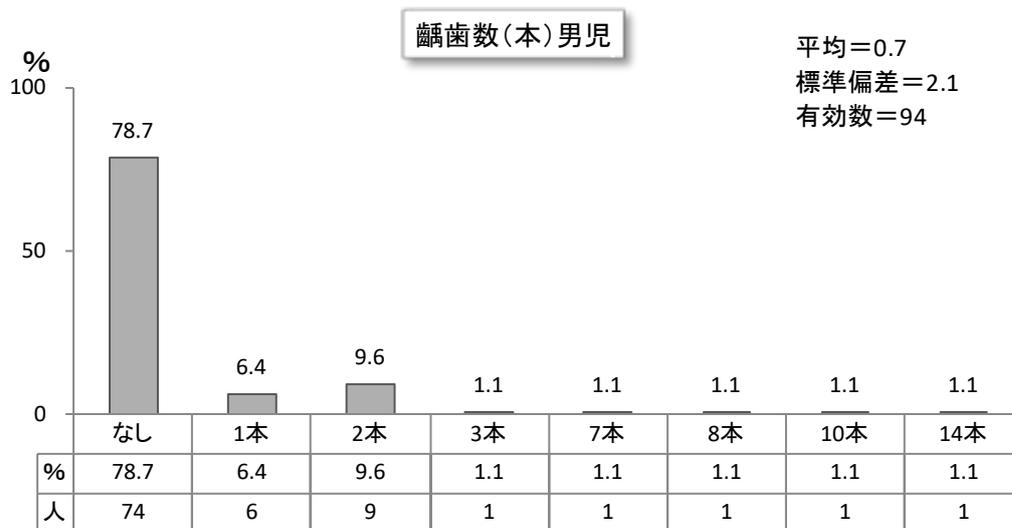
(8) 肥満度



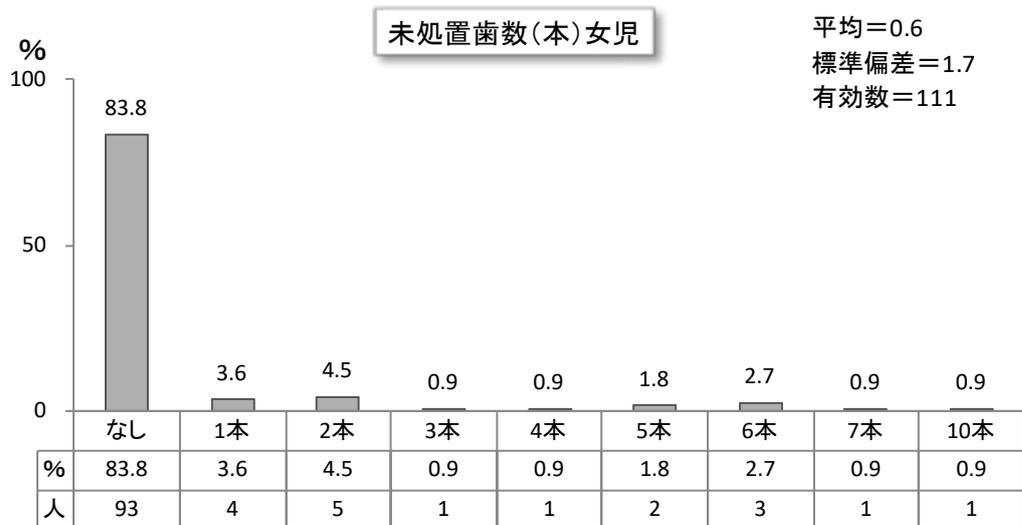
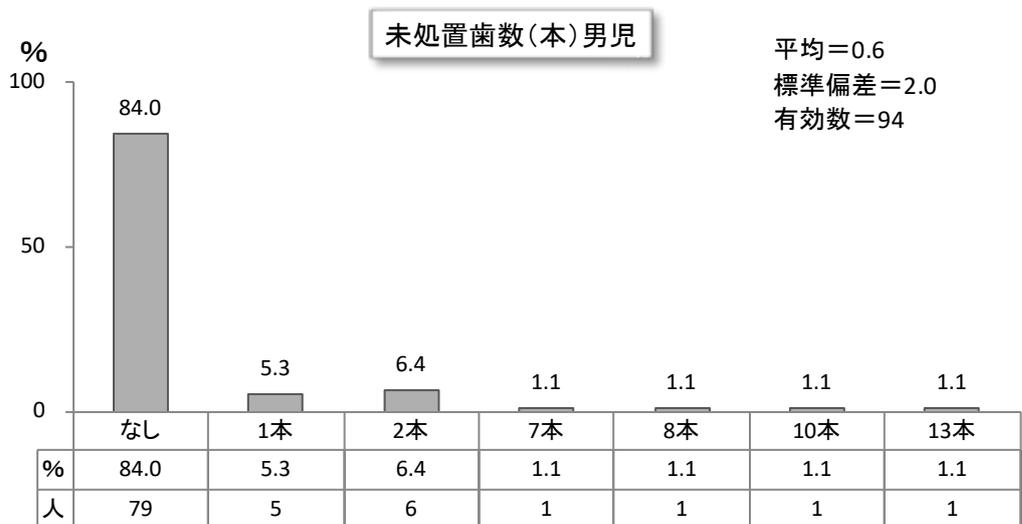
(9) 総歯数



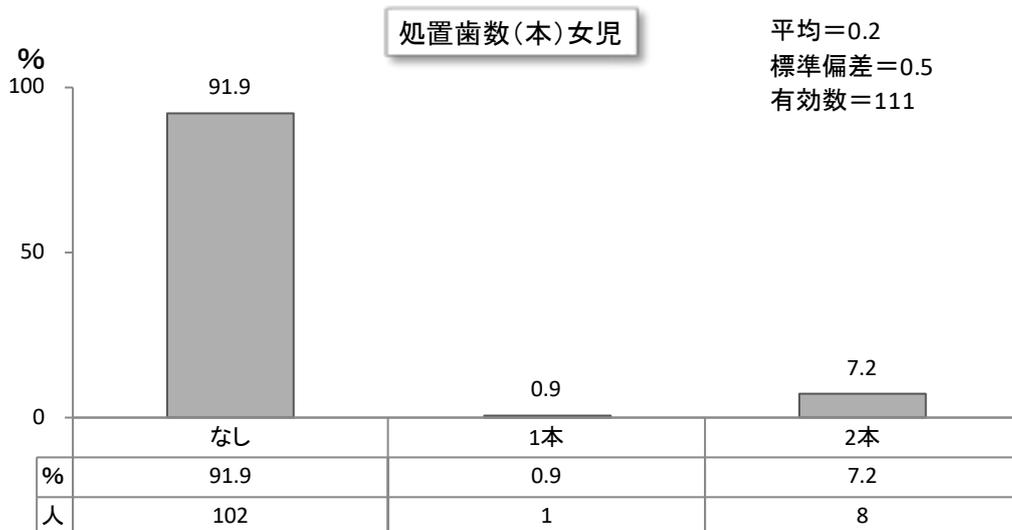
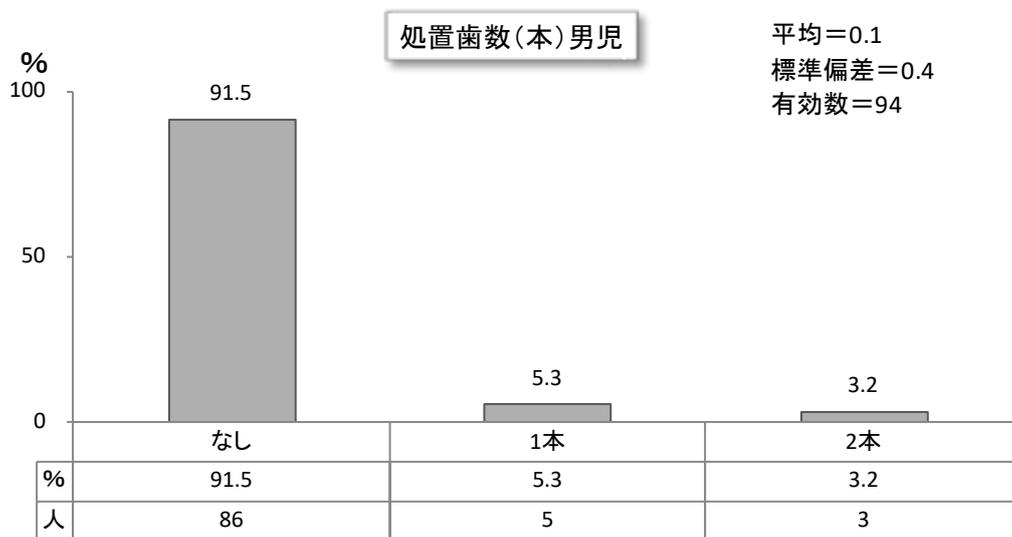
(10) 齲歯数



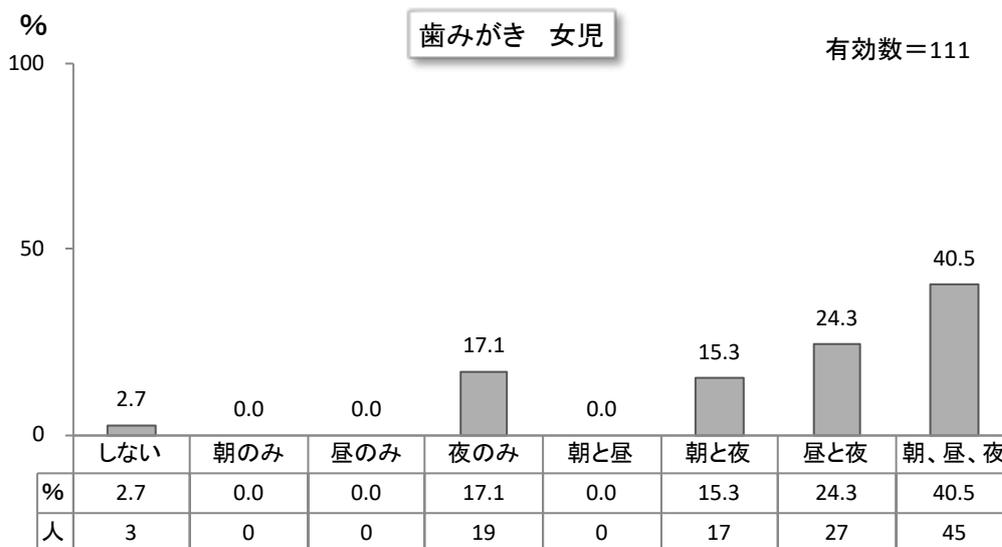
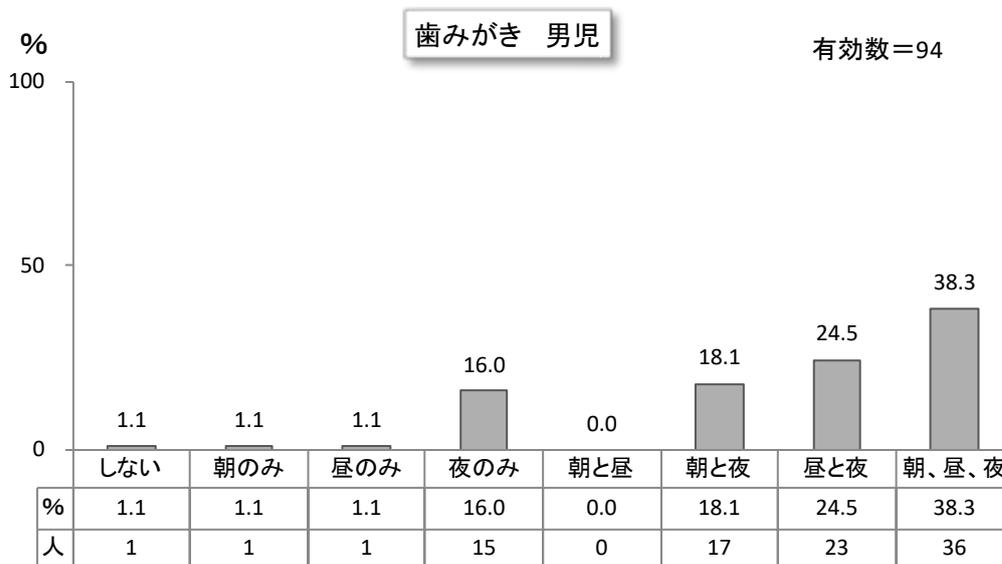
(11) 未処置歯数



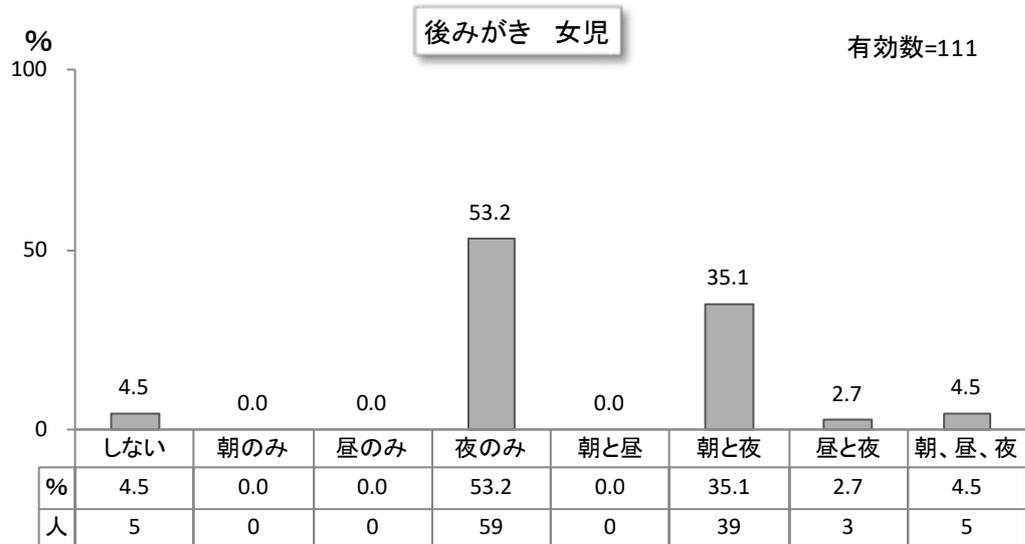
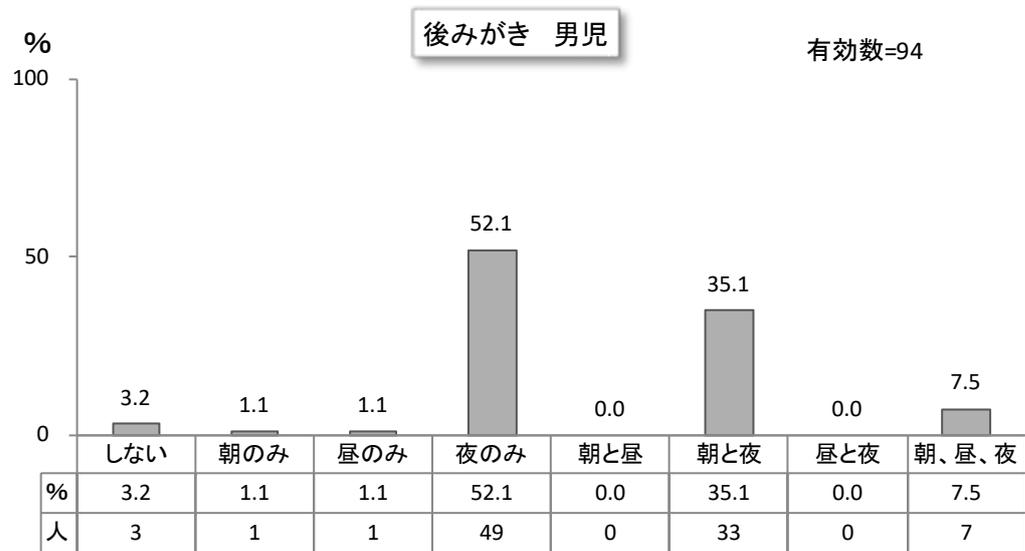
(12) 処置歯数



(13) 歯みがき

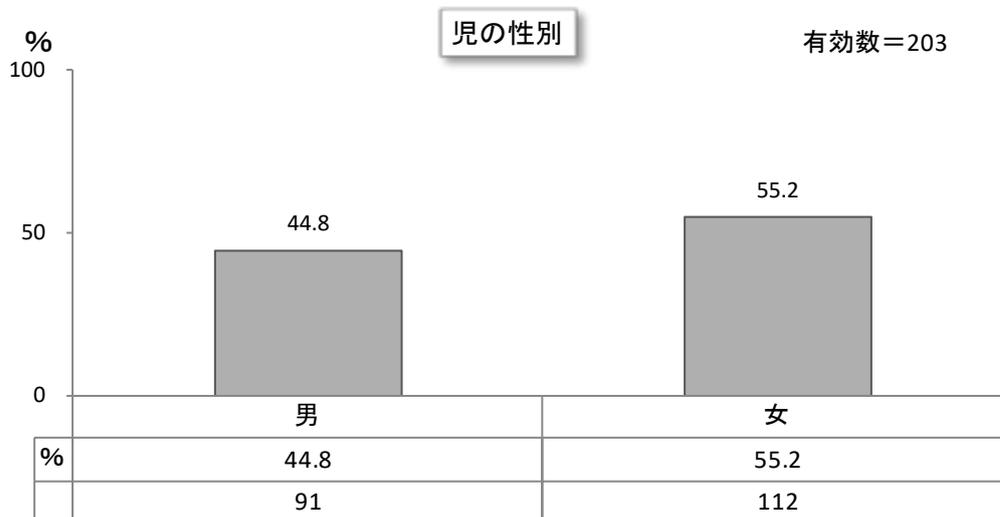


(14) 後みがき

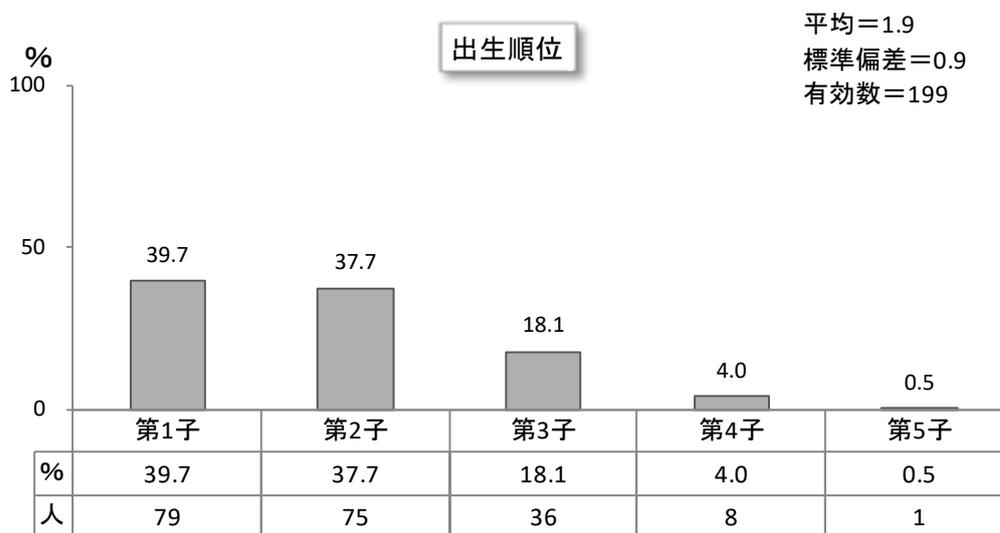


7.5 歳児健診時

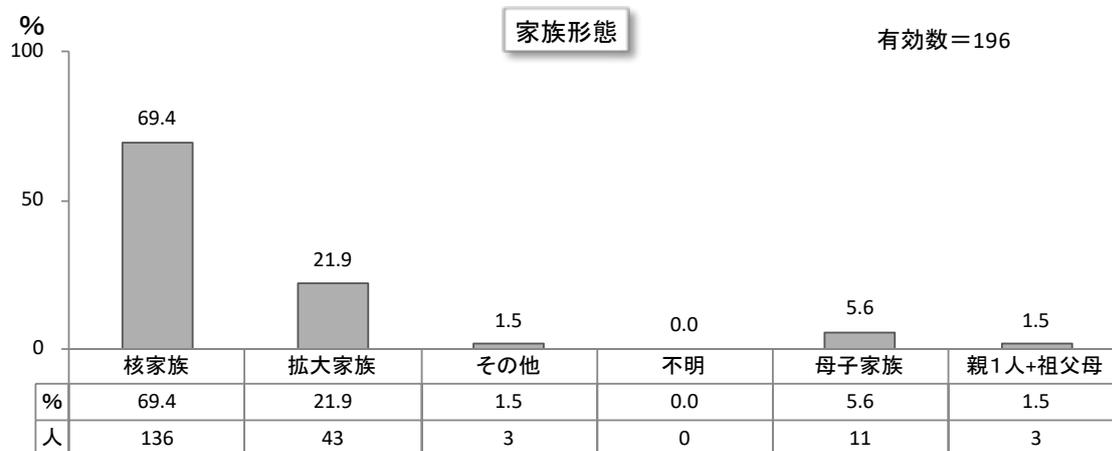
(1) 児の性別



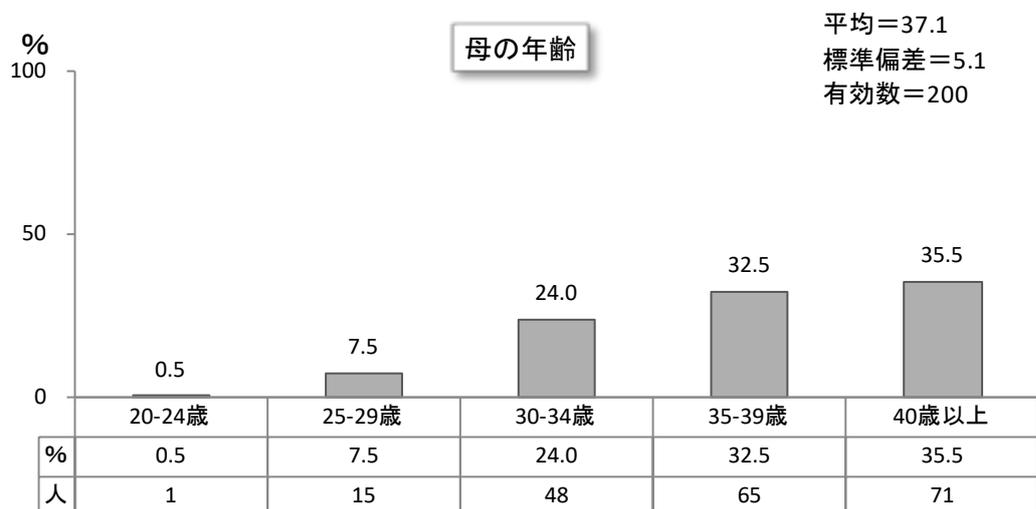
(2) 出生順位



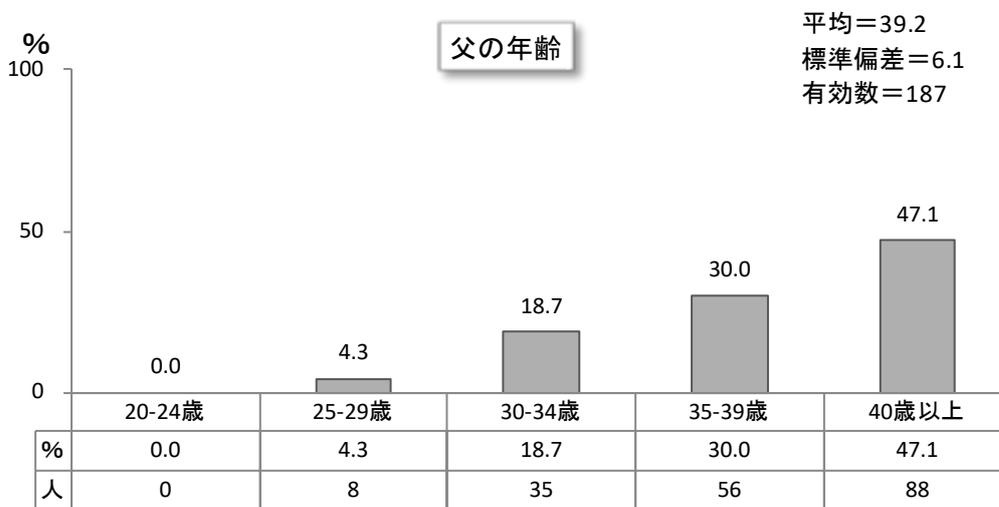
(3) 家族形態



(4) 母親の年齢

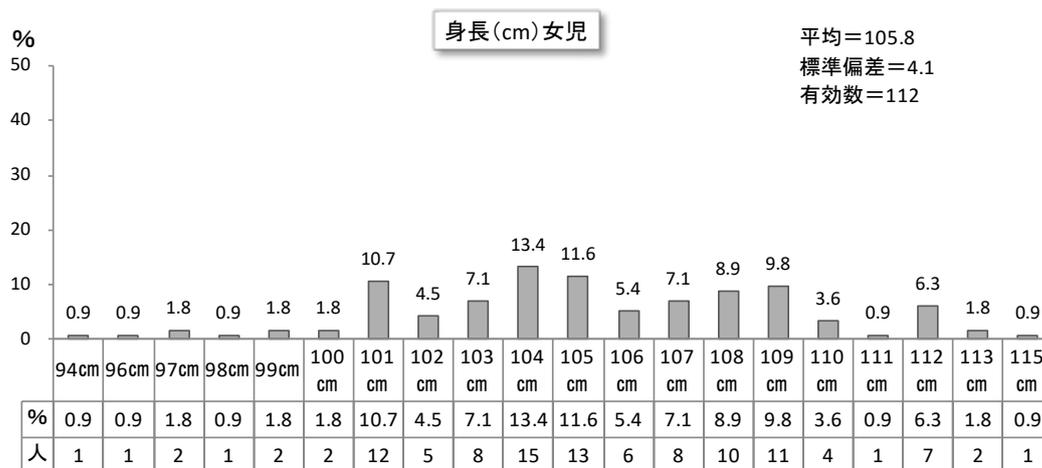
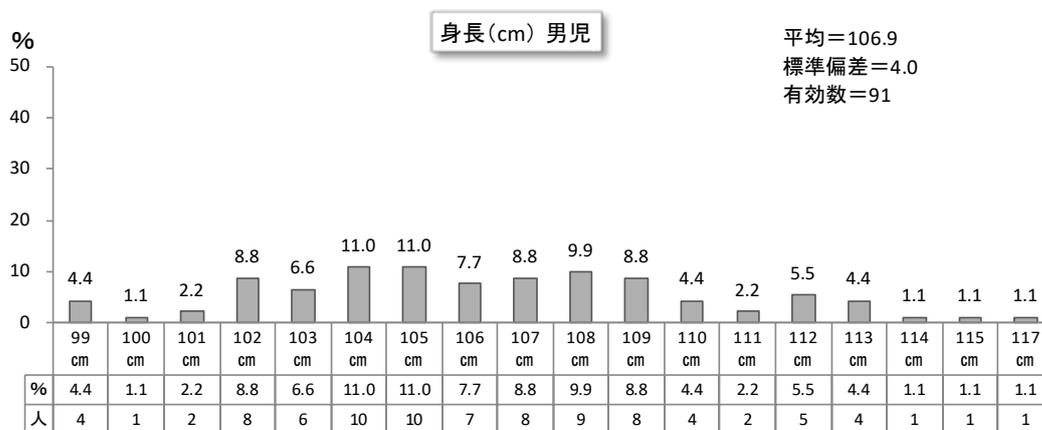


(5) 父親の年齢

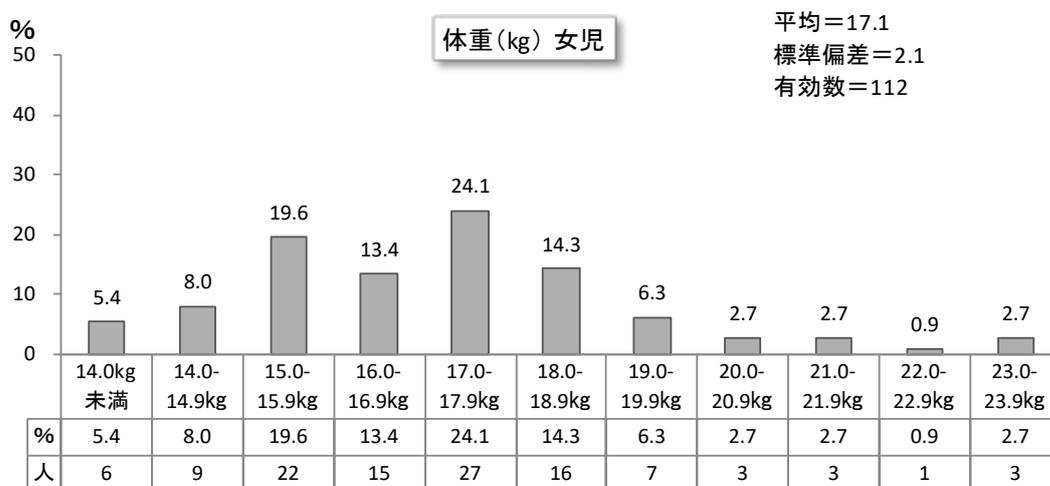
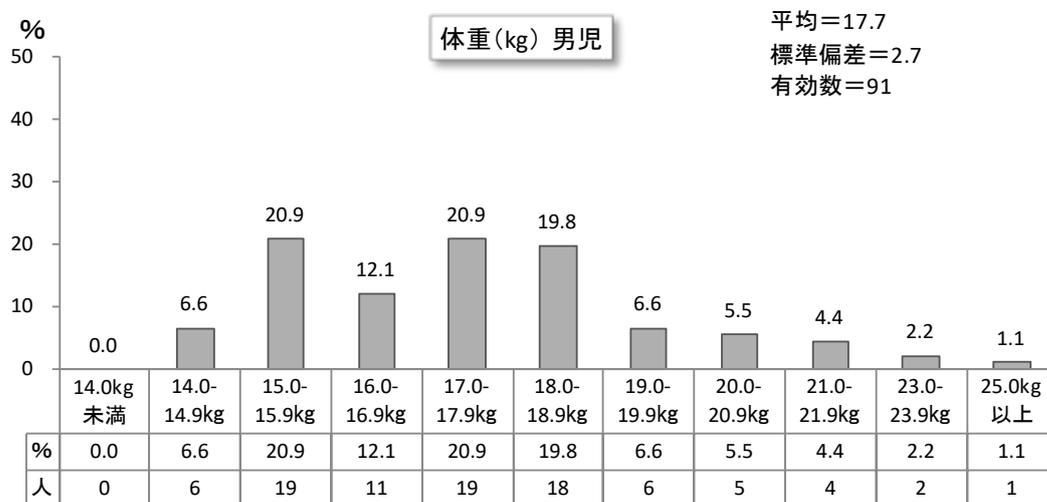


Ⅲ. 調査回答者の属性 (7.5 歳児健診時)

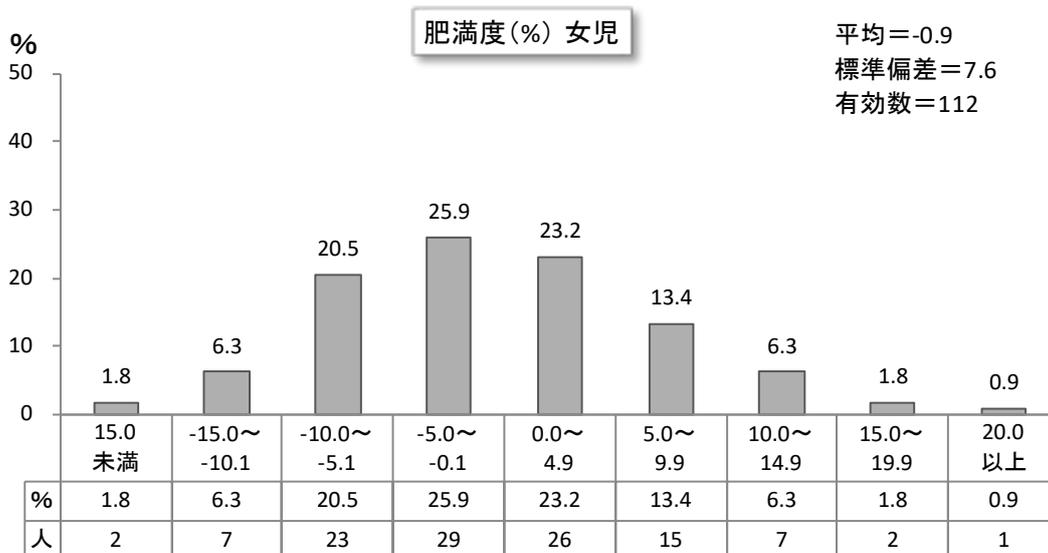
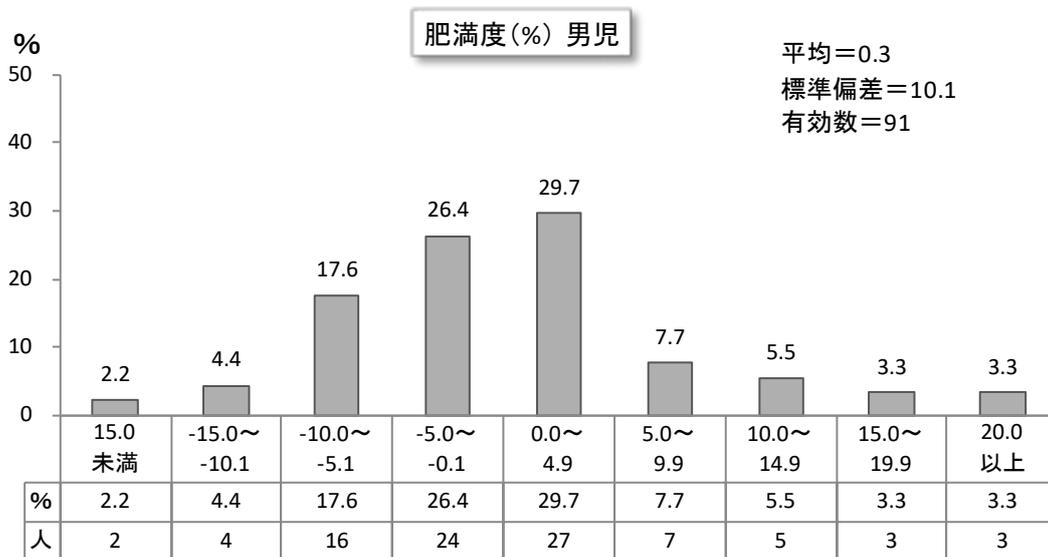
(6) 身長



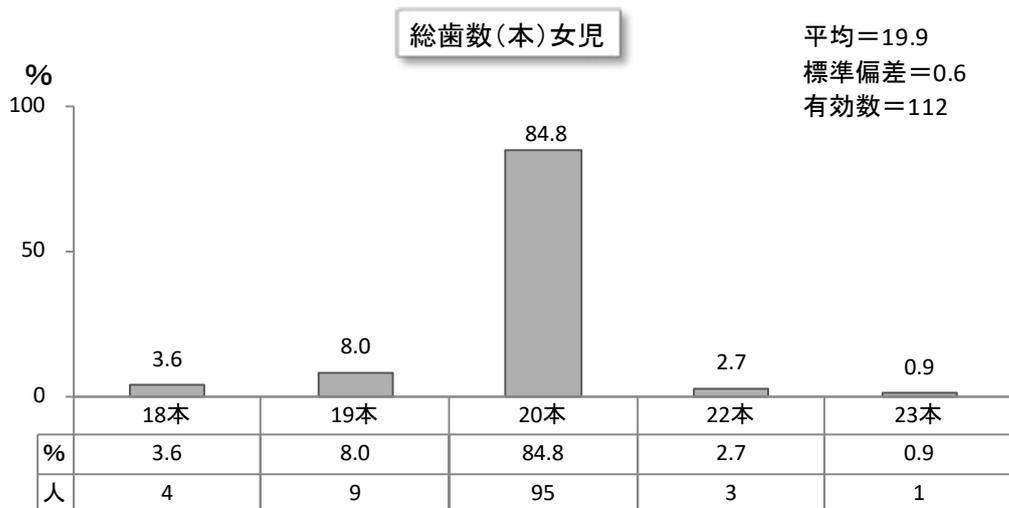
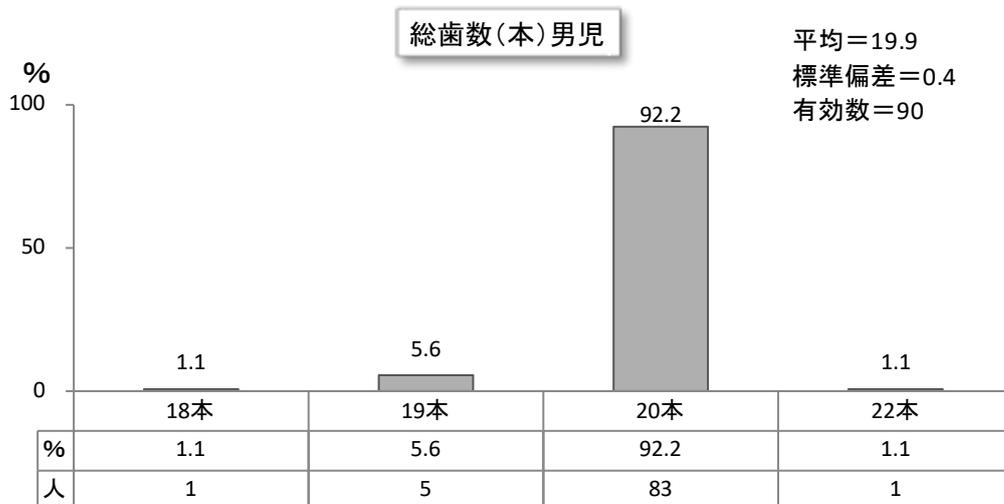
(7) 体重



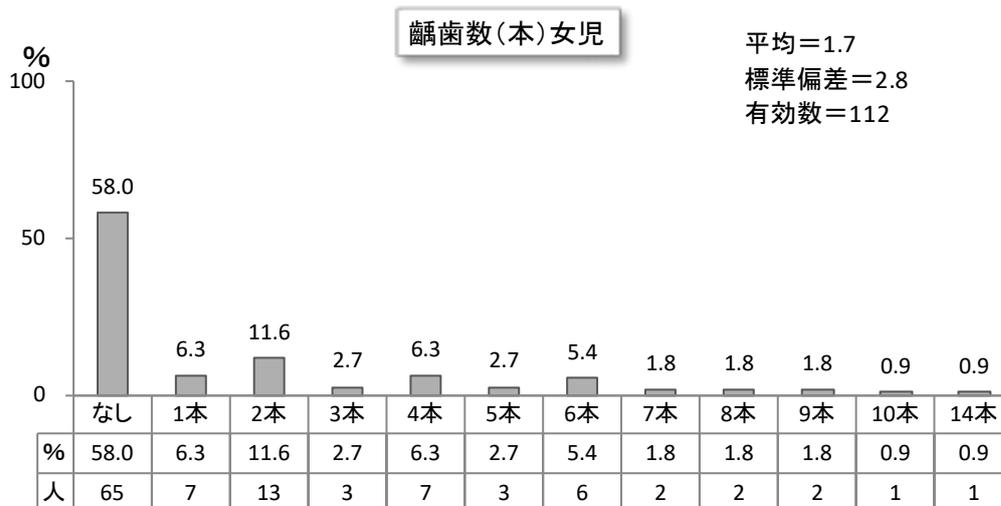
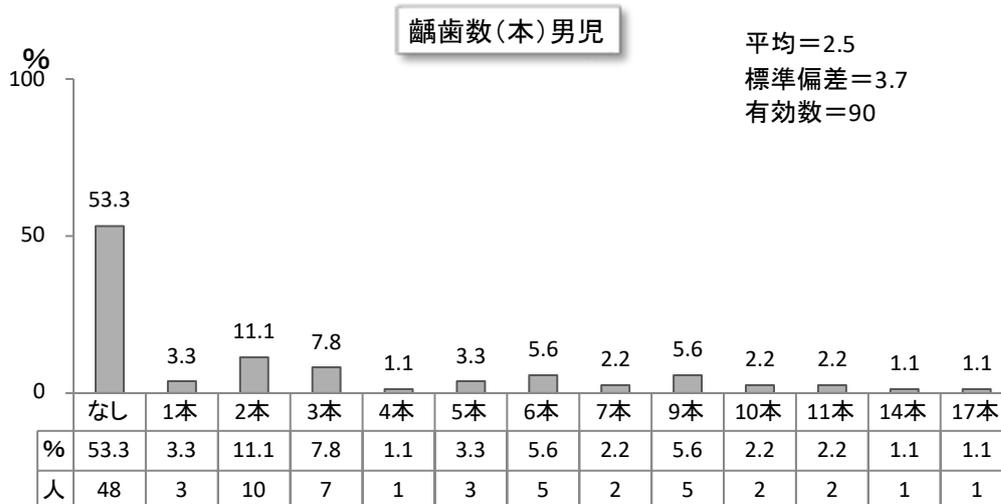
(8) 肥満度



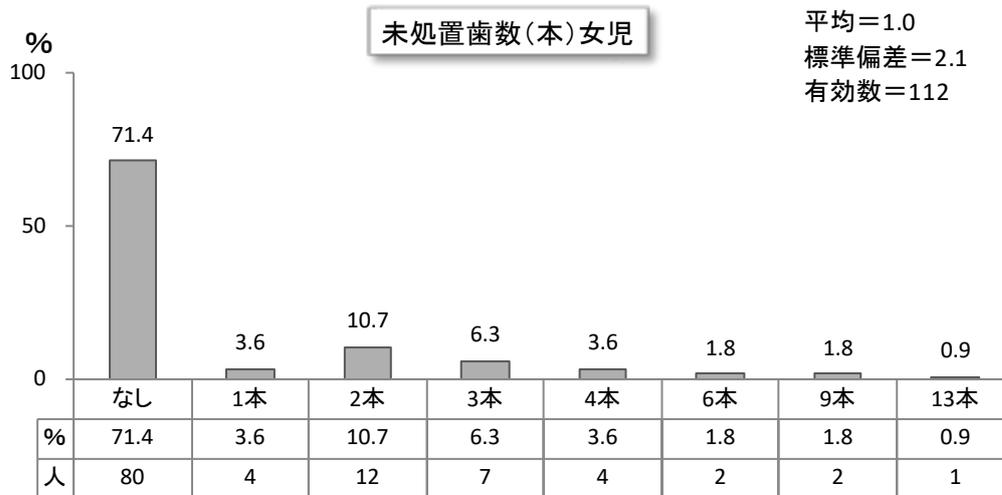
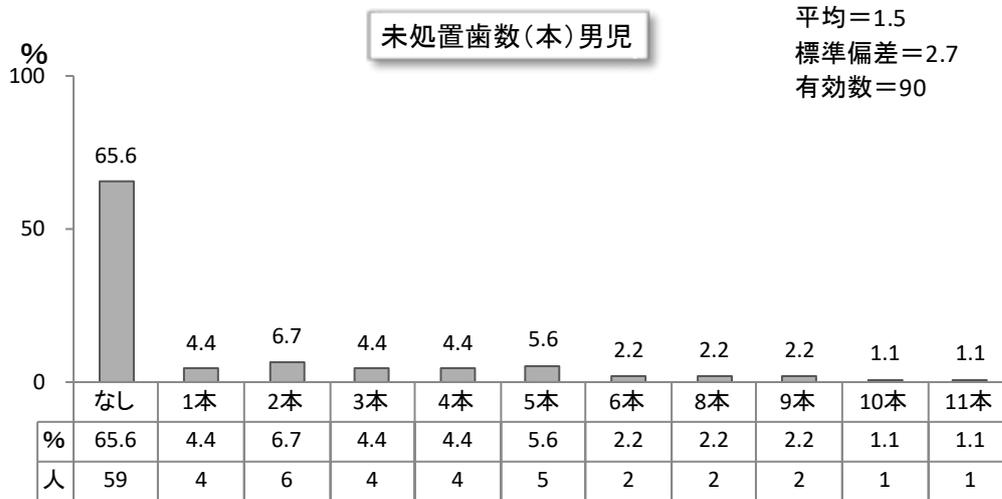
(9) 総歯数



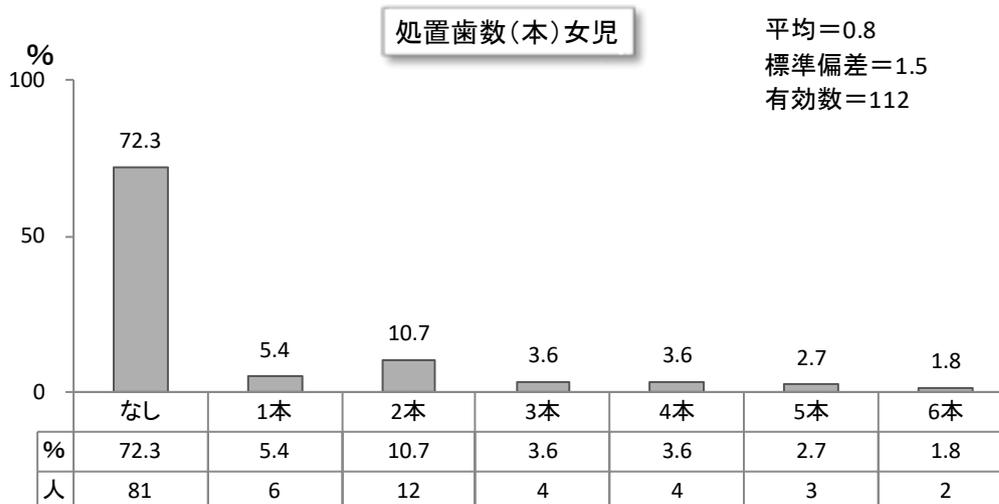
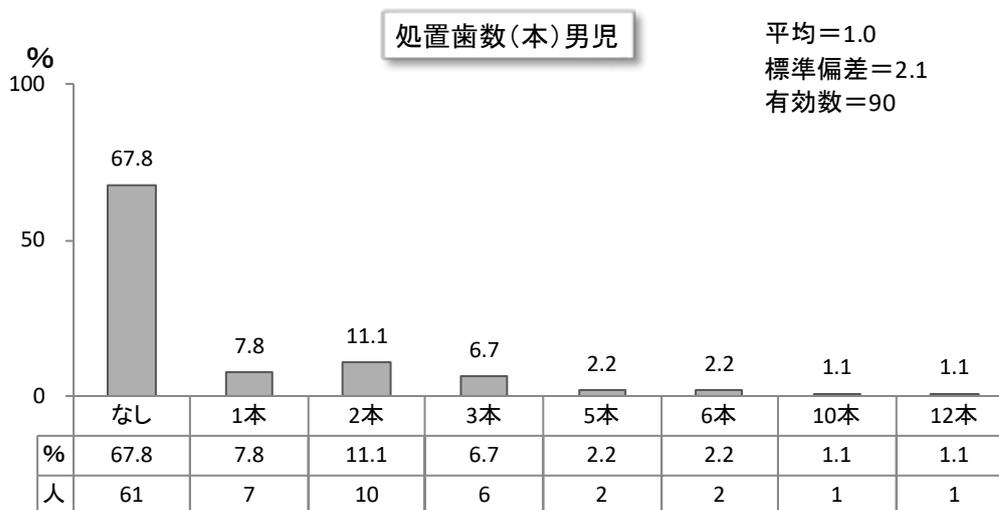
(10) 齲歯数



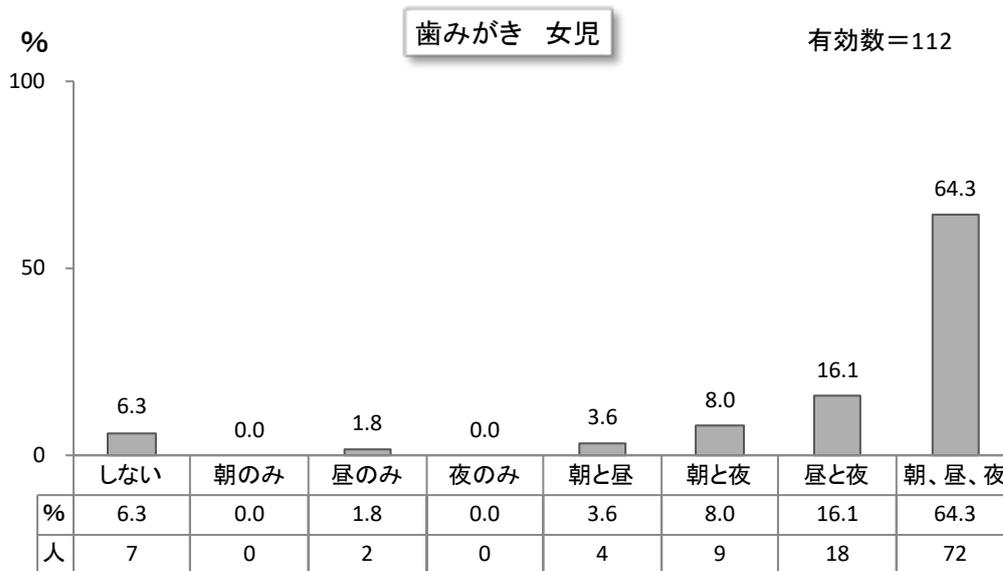
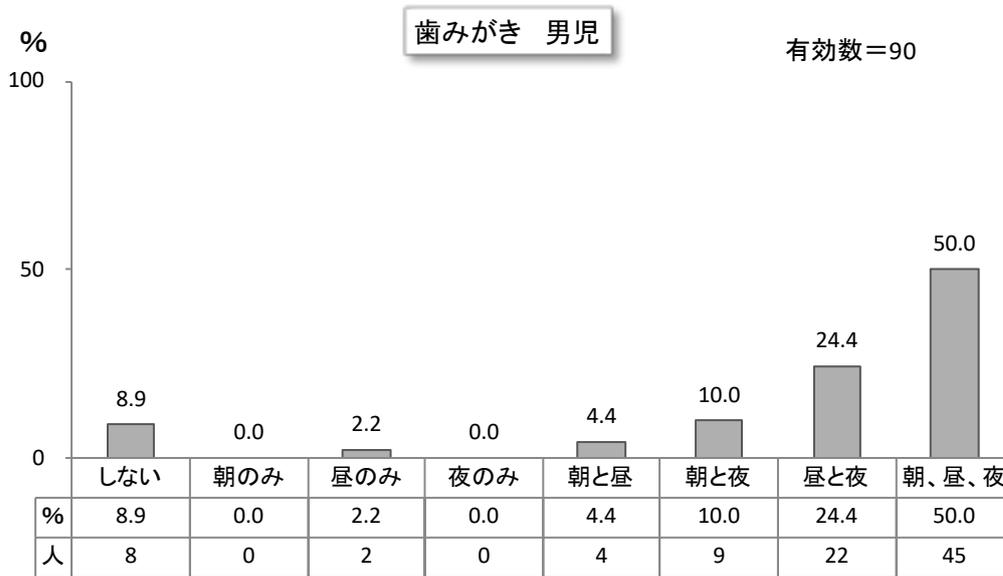
(11) 未処置歯数



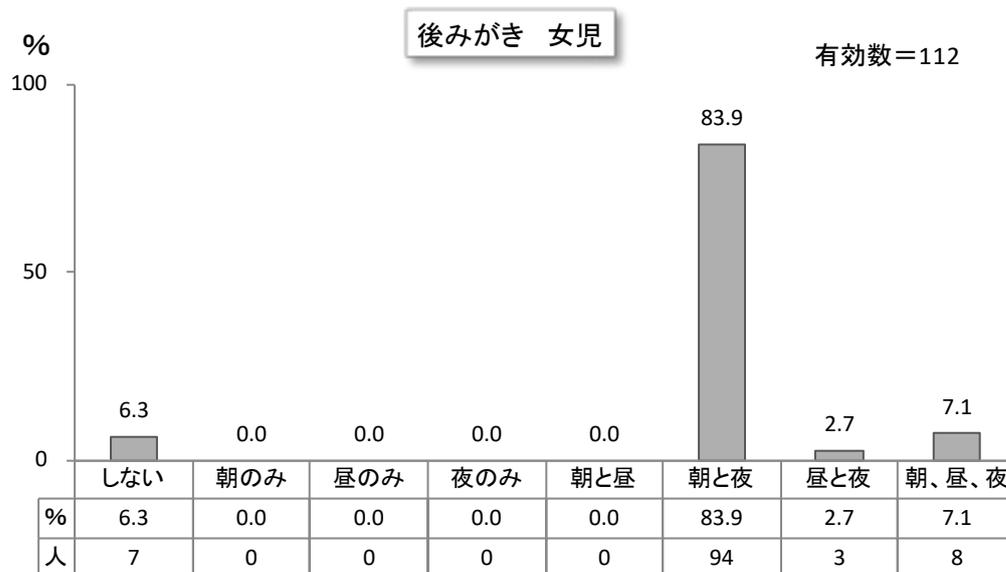
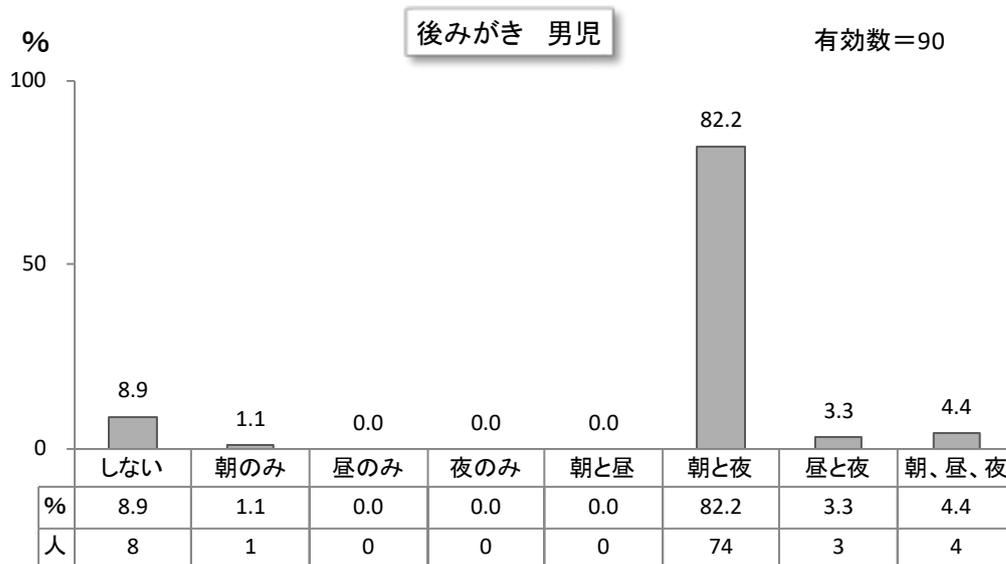
(12) 処置歯数



(13) 歯みがき



(14) 後みがき



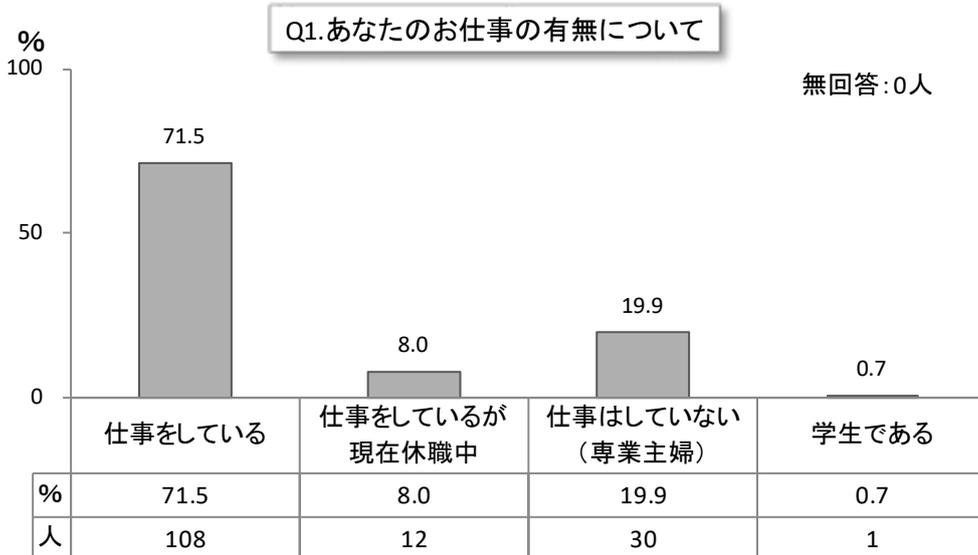
IV. 調查結果

IV-1. 母子健康手帳交付時

IV. 調査結果（1. 母子健康手帳交付時）

Q1. あなたのお仕事の有無について次の中から選びください。

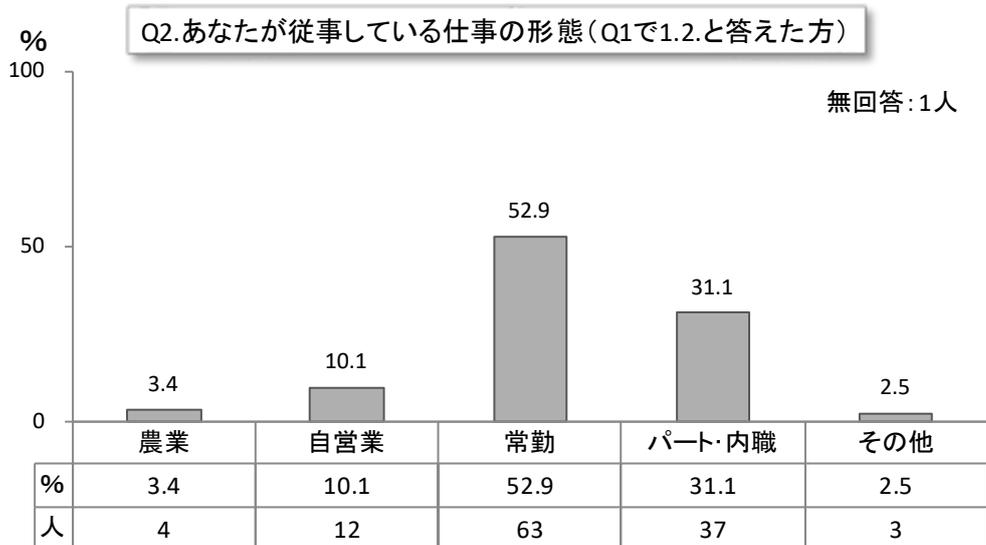
- 1. 仕事をしている
 - 2. 仕事はしているが現在休職中である
 - 3. 仕事はしていない (専業主婦である)
 - 4. 学生である
- 3. 4. と答えた方は
Q3. へお進みください



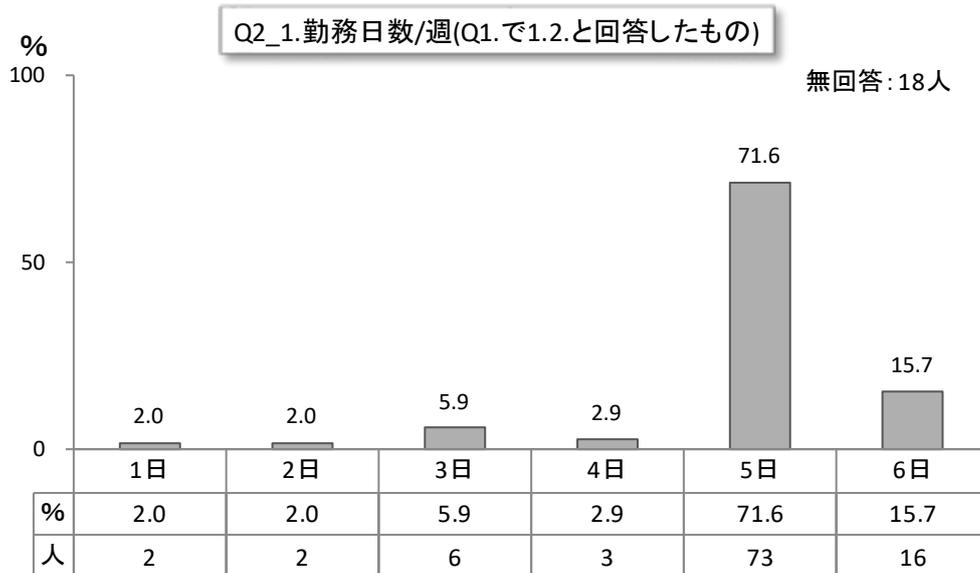
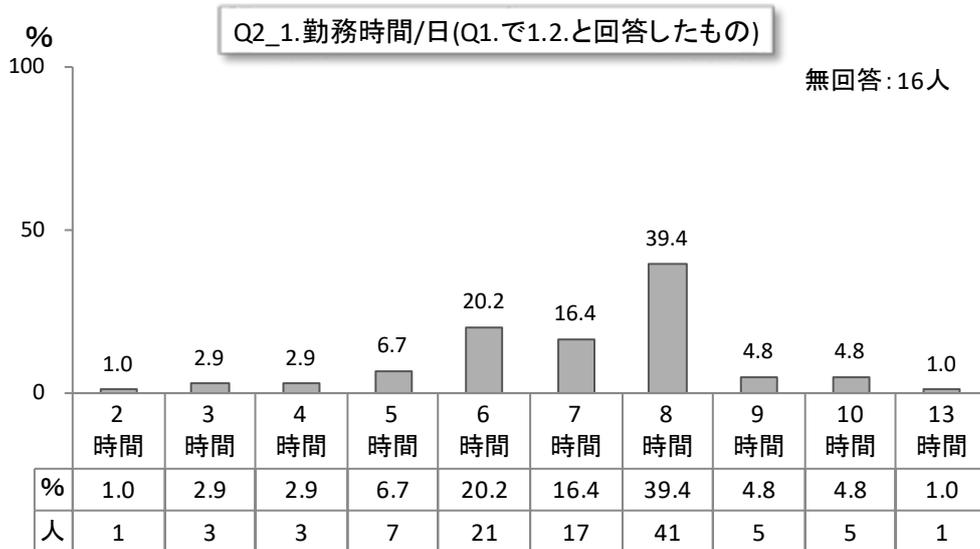
Q2. Q1で1. 2. と答えた方のみお答えください。

あなたが従事している仕事の形態を次の中から選びください。

- 1. 農業
- 2. 自営業
- 3. 常勤
- 4. パート・内職
- 5. その他 ()

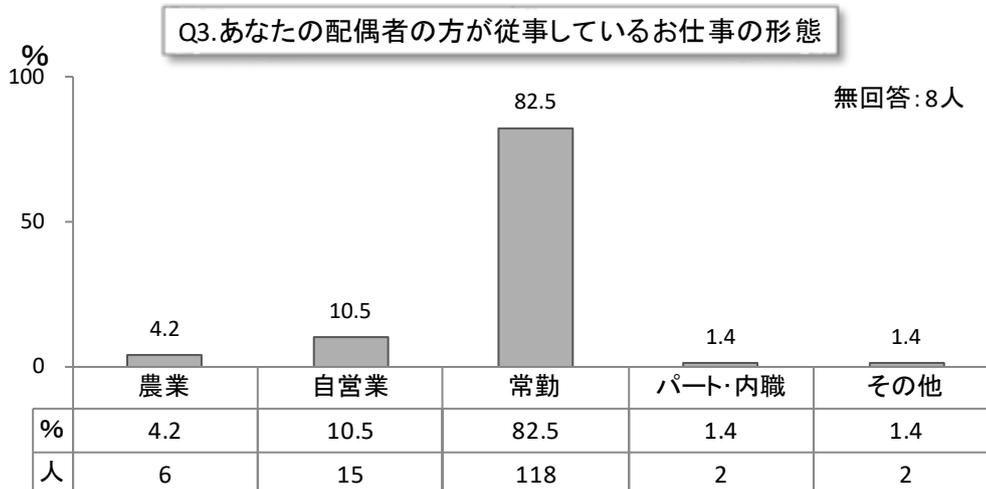


2-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

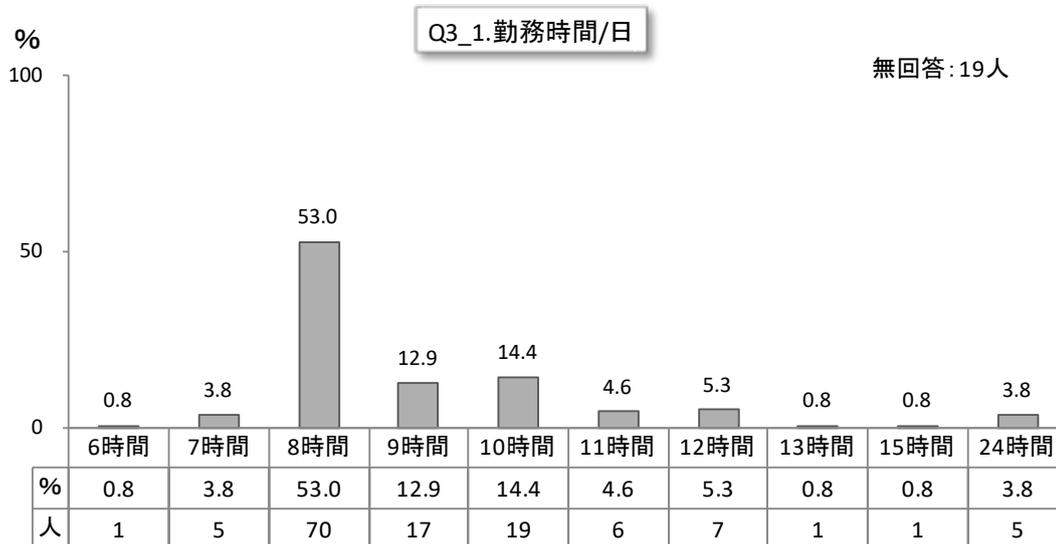


Q3. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中から選びください。

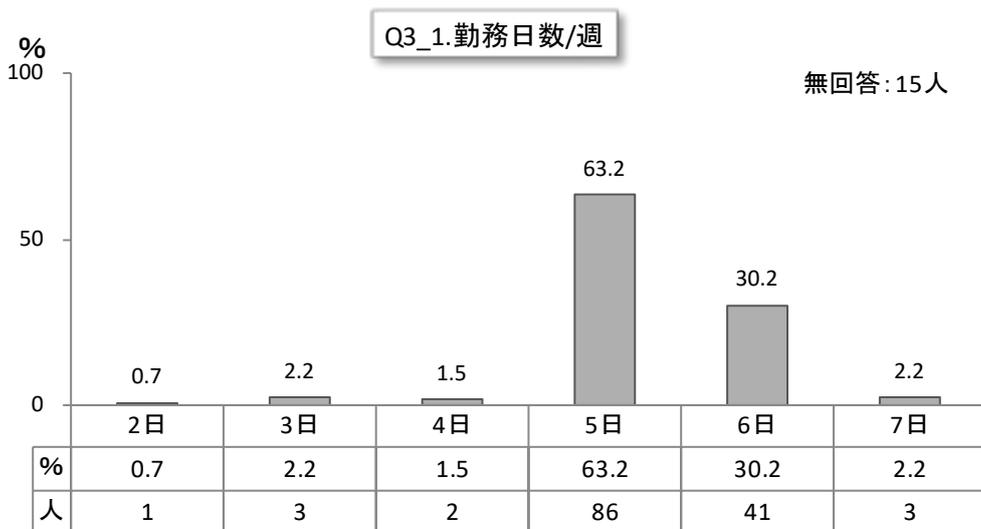
1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
5. その他 ()



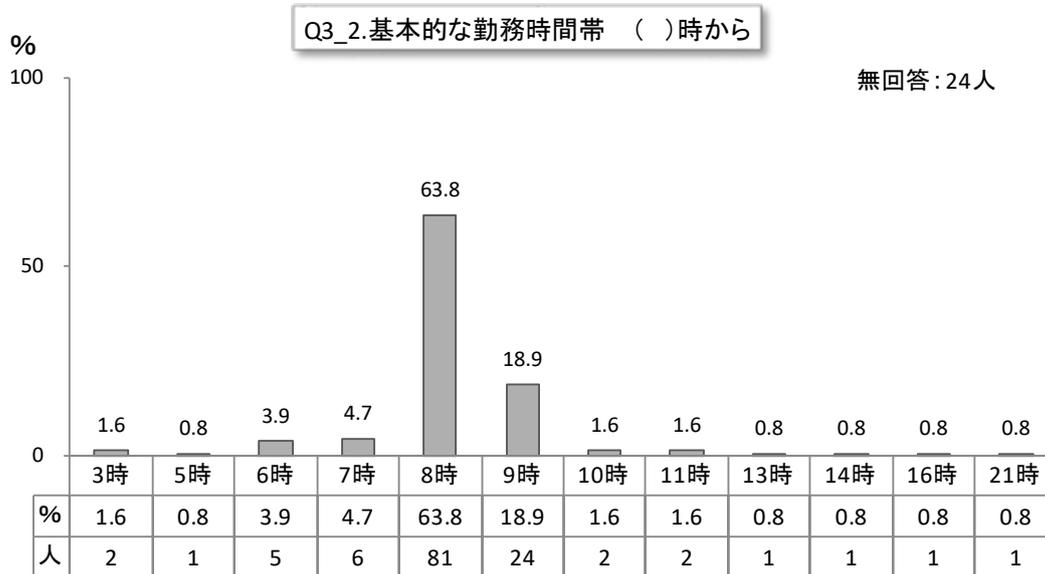
3-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務



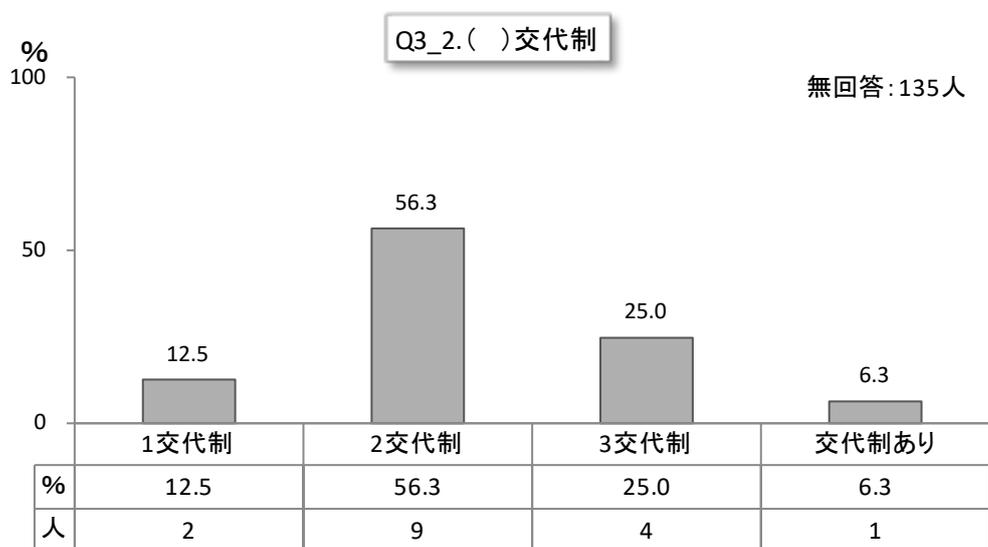
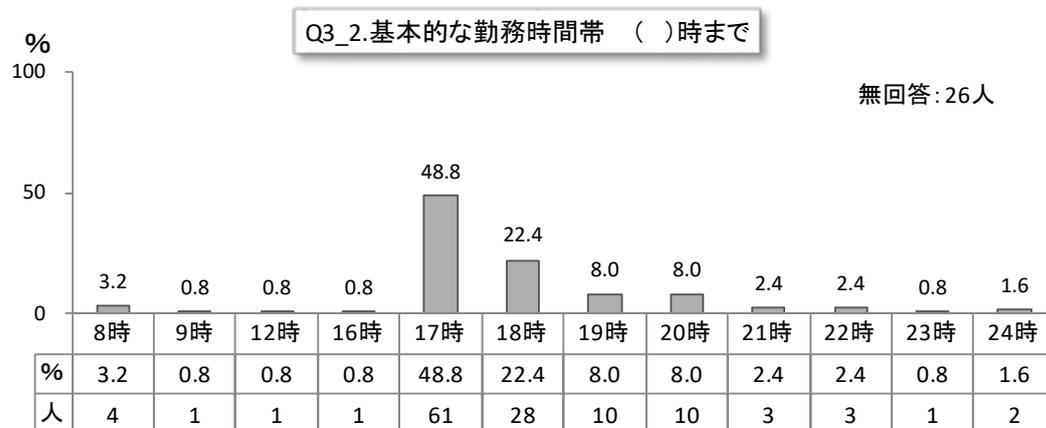
IV. 調査結果 (1. 母子健康手帳交付時)



3-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。 () 時～ () 時 () 交代制



IV. 調査結果 (1. 母子健康手帳交付時)



Q4. 妊娠とわかった時の気持ちはどんなでしたか。

SQ1. あなた自身

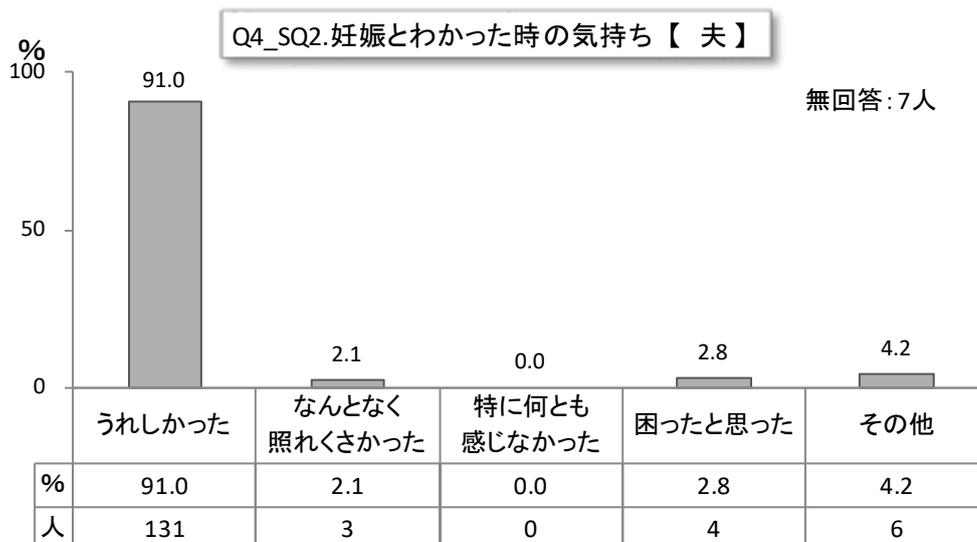
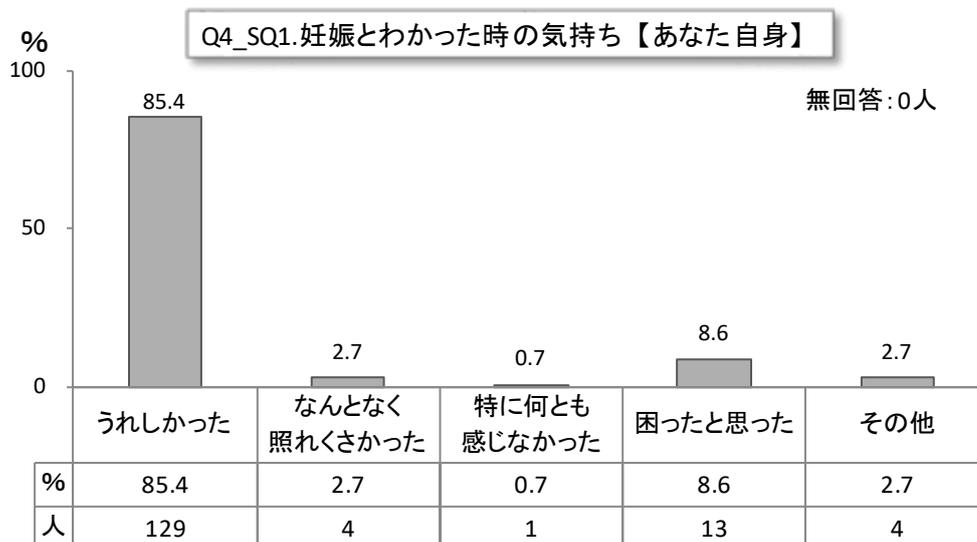


1. うれしかった
2. なんとなく照れくさかった
3. 特に何とも感じなかった
4. 困ったと思った
5. その他 ()

SQ2. 夫

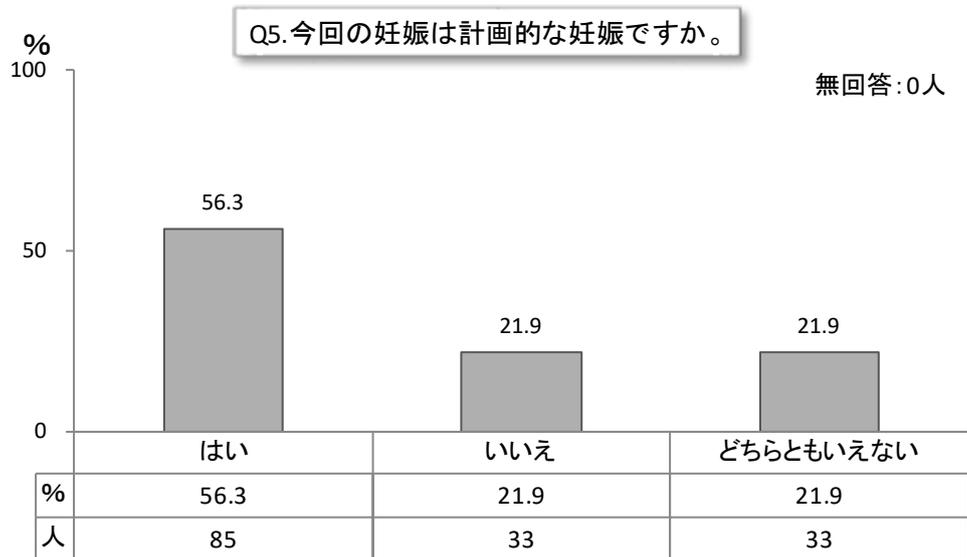


1. うれしかった
2. なんとなく照れくさかった
3. 特に何とも感じなかった
4. 困ったと思った
5. その他 ()



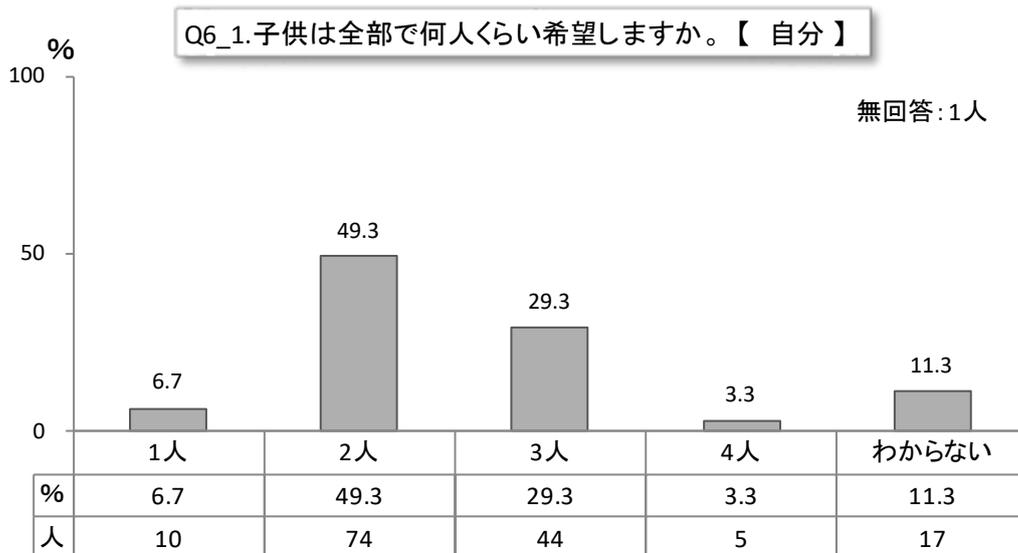
Q5. 今回の妊娠は計画的な妊娠ですか。

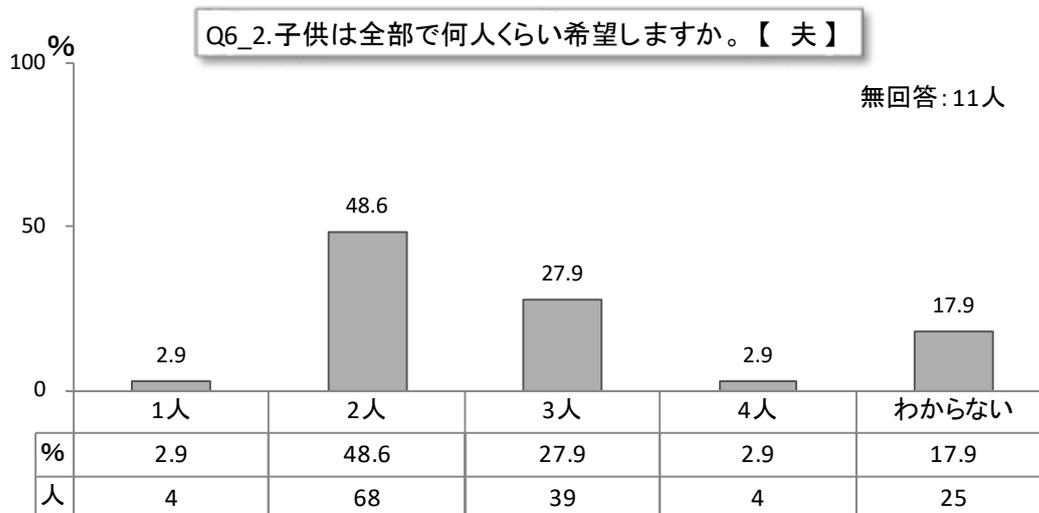
1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない



Q6. 子どもは全部で何人くらい希望しますか。

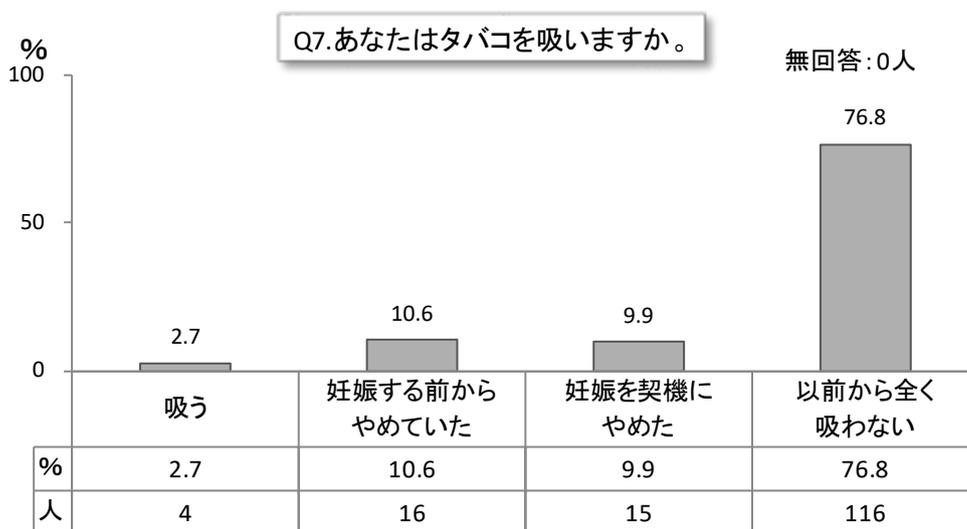
- 6-1. 自分は ① () 人 ②わからない
 6-2. 夫は ① () 人 ②わからない



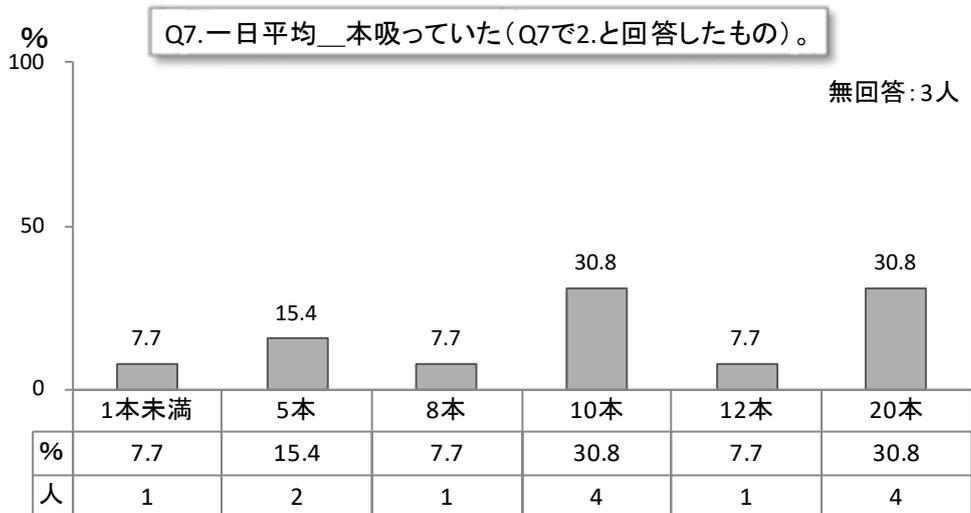
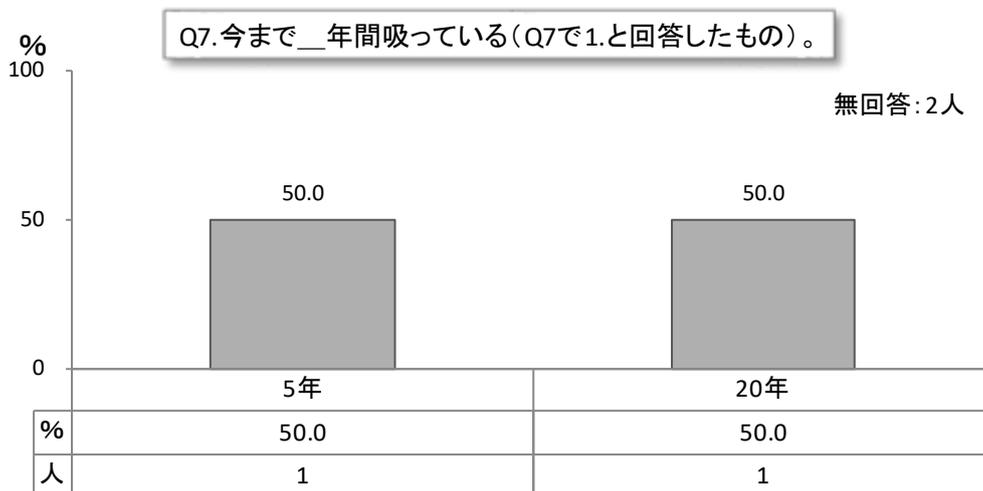
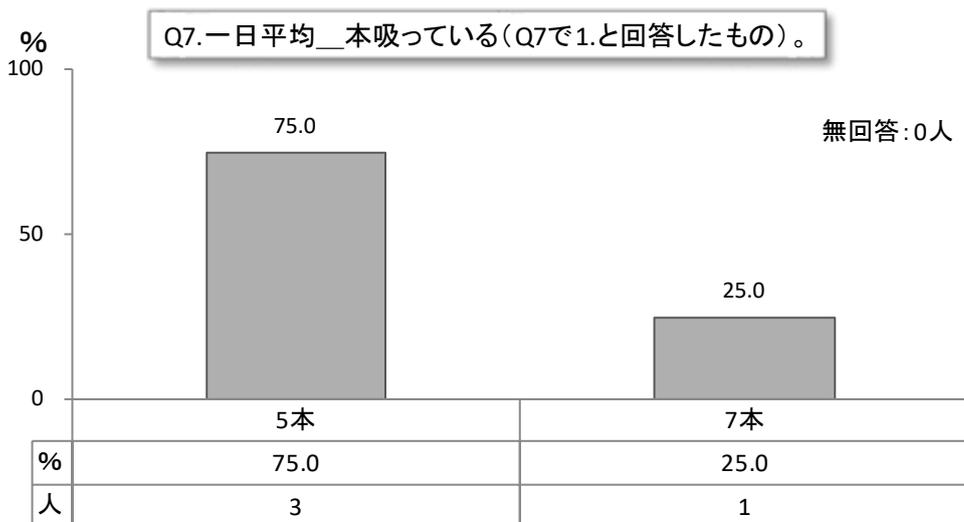


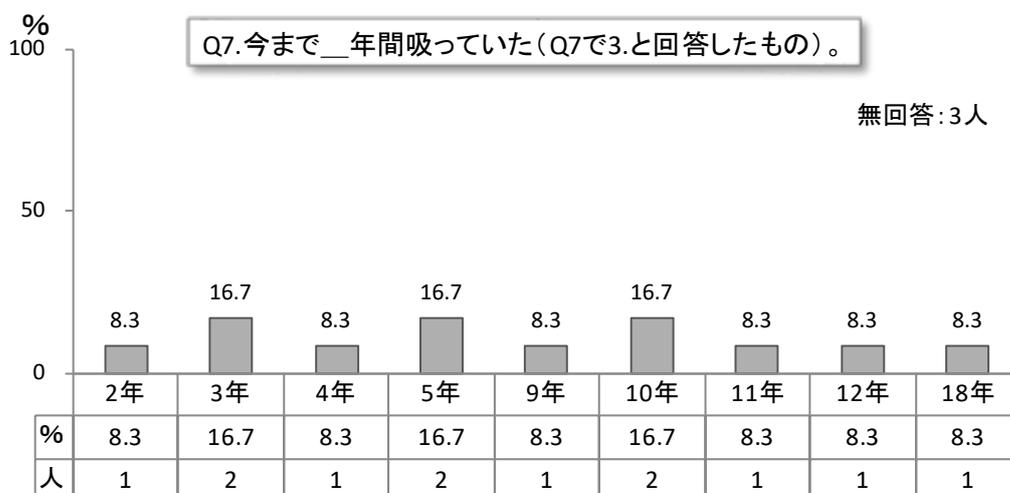
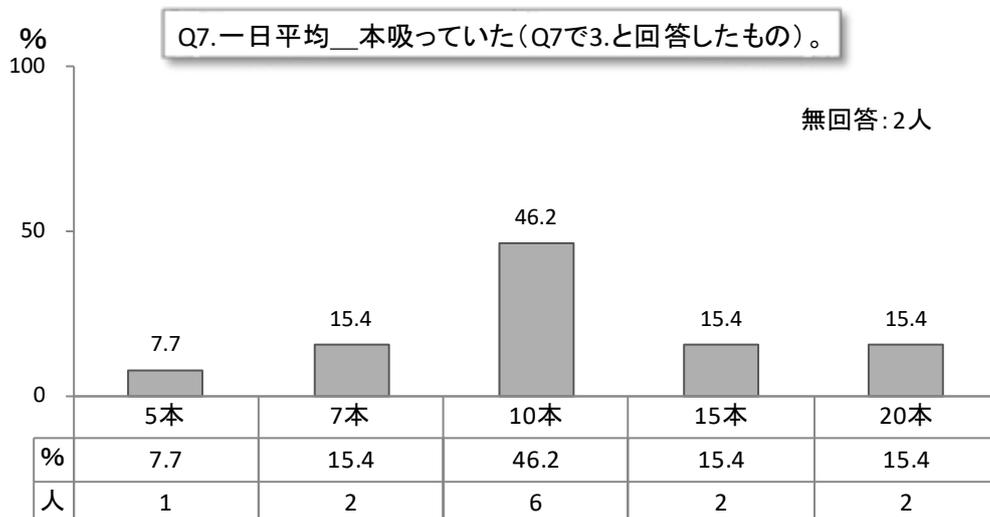
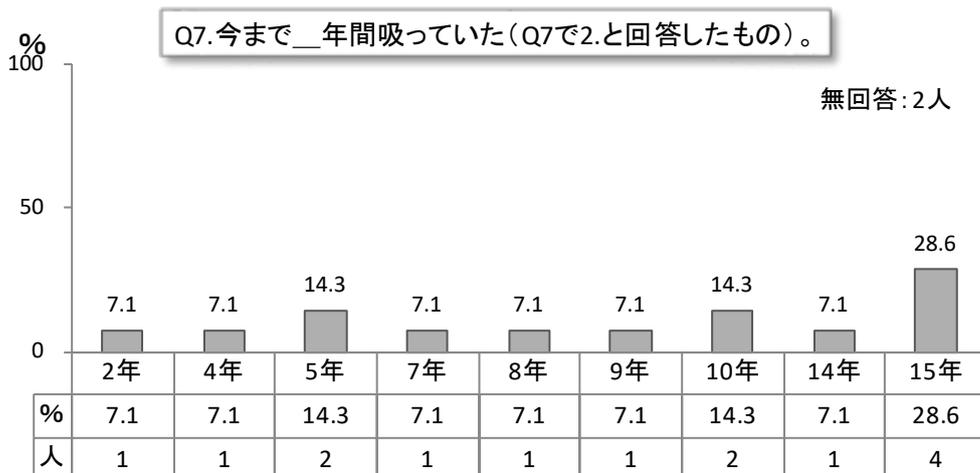
Q7. あなたはタバコを吸いますか。

1. 吸う (一日平均___本、今まで___年間吸っている)
2. 妊娠する前からやめていた (以前一日平均___本、今まで___年間吸った)
3. 妊娠を契機にやめた (以前一日平均___本、今まで___年間吸った)
4. 以前から全く吸わない



IV. 調査結果 (1. 母子健康手帳交付時)

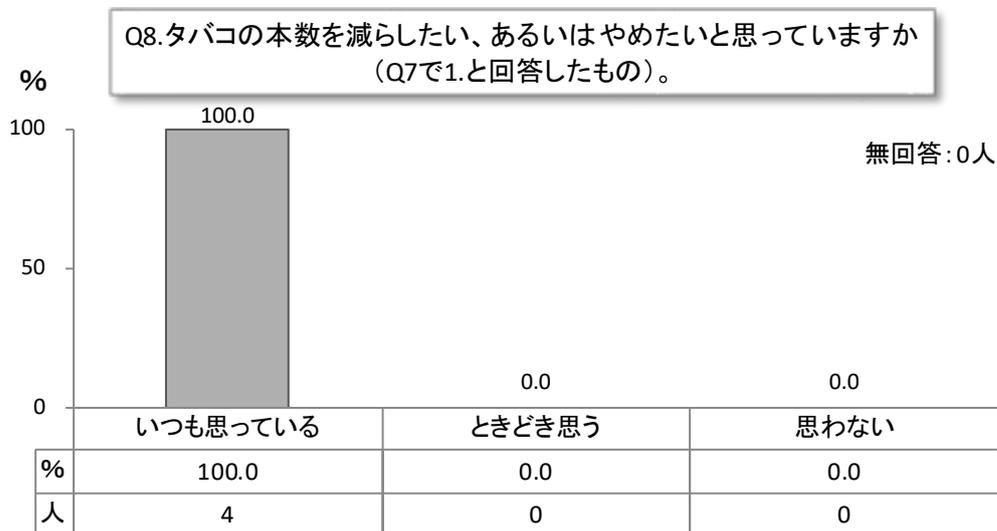




Q8. Q7で1. と答えた方のみお答えください。

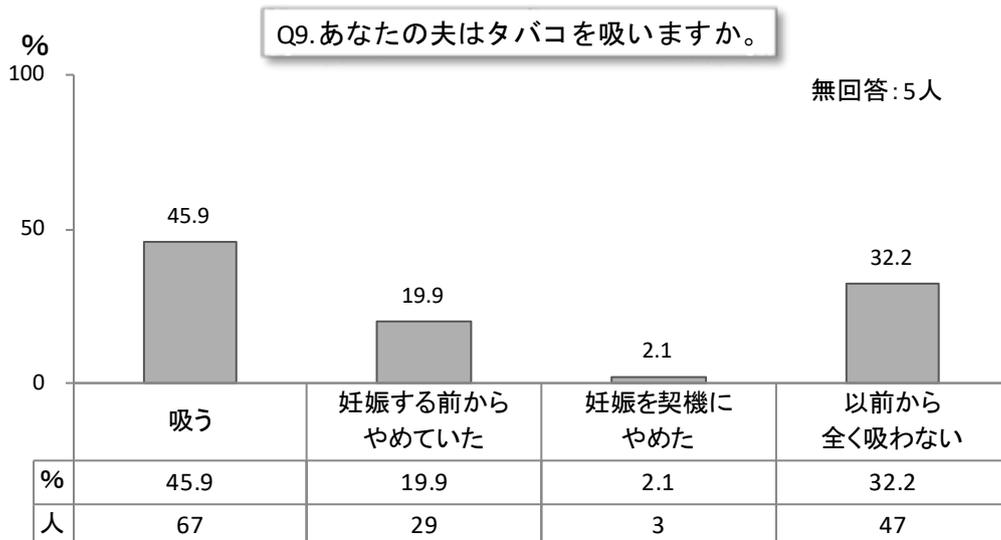
あなたはタバコの本数を減らしたい、あるいはやめたいと思っていますか。

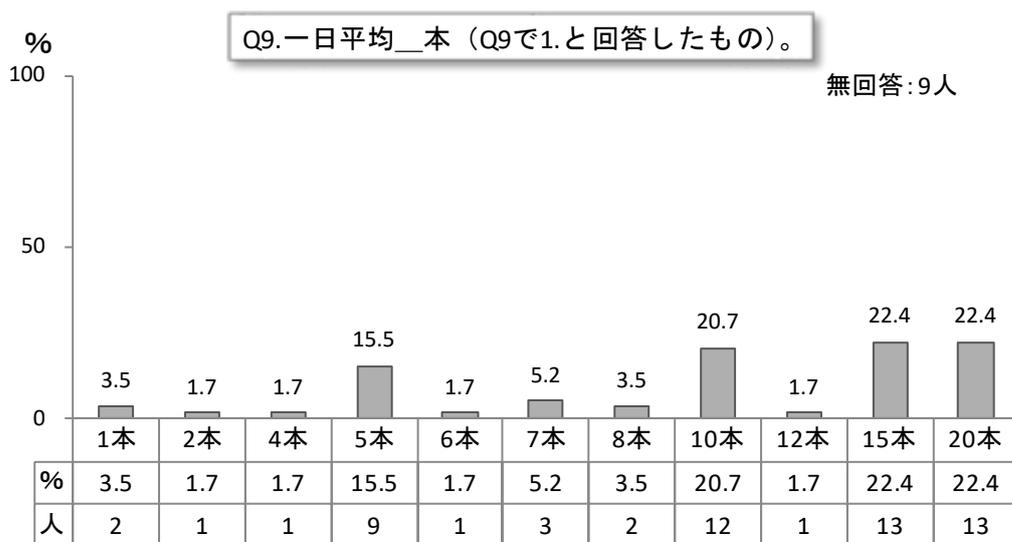
1. いつも思っている 2. ときどき思う 3. 思わない



Q9. あなたの夫はタバコを吸いますか。

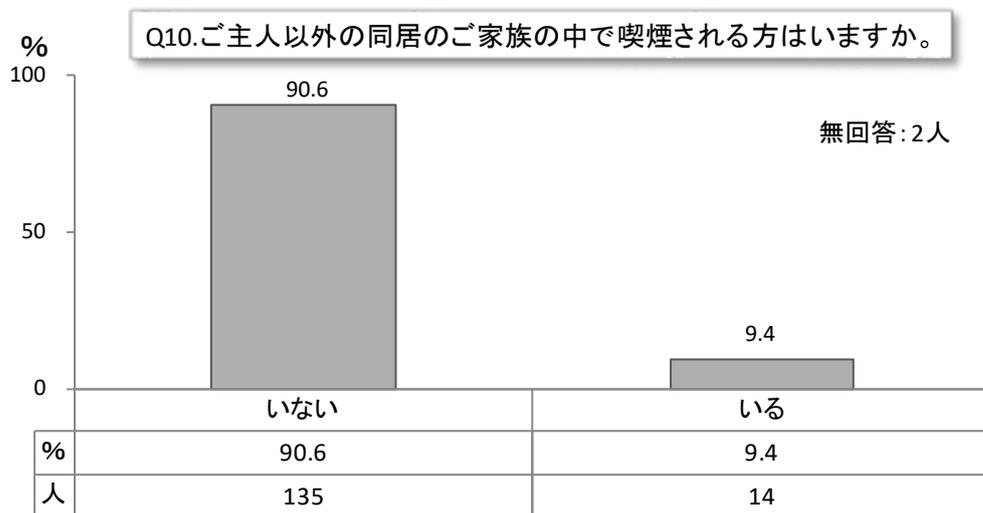
1. 吸う (一日平均 ___ 本)
 2. 妊娠する前からやめていた
 3. 妊娠を契機にやめた
 4. 以前から全く吸わない





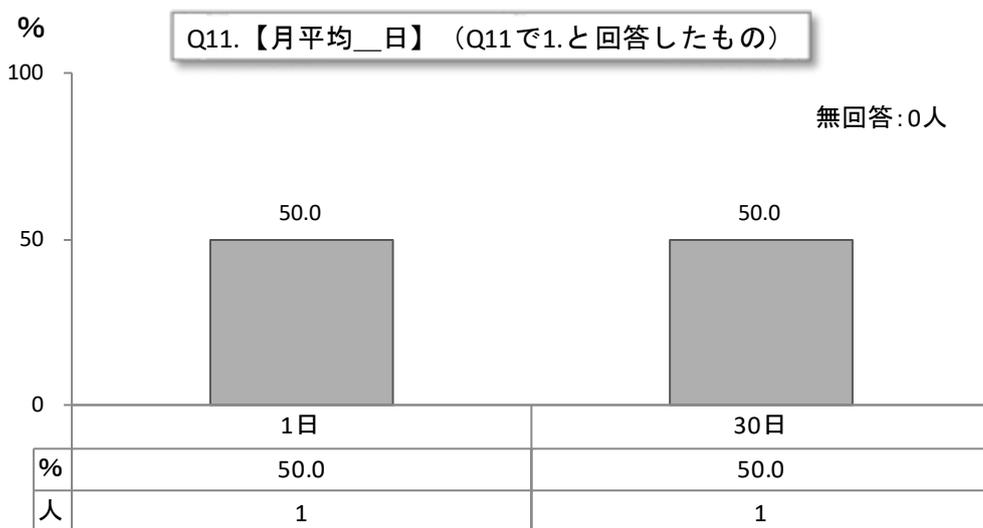
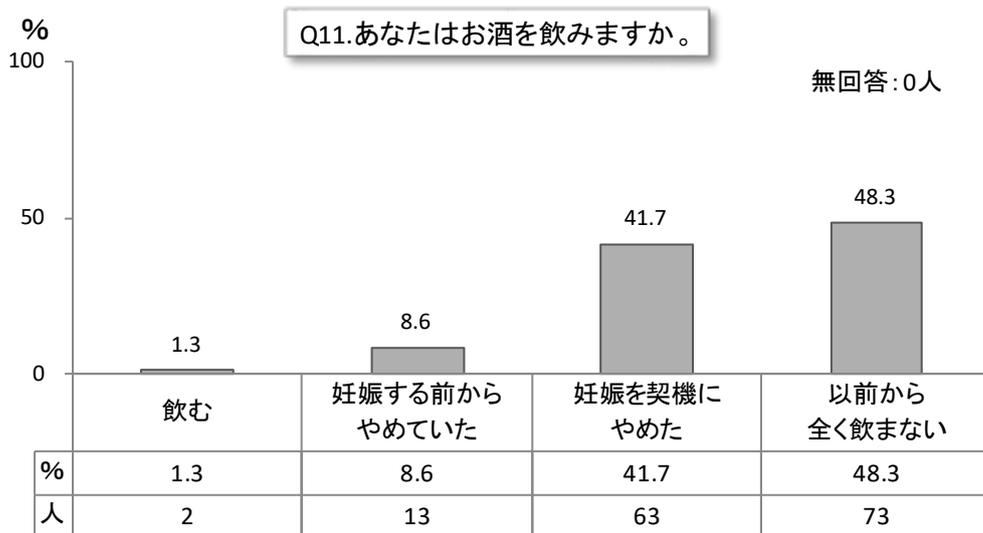
Q10. ご主人以外の同居のご家族の中で、喫煙される方はいますか。

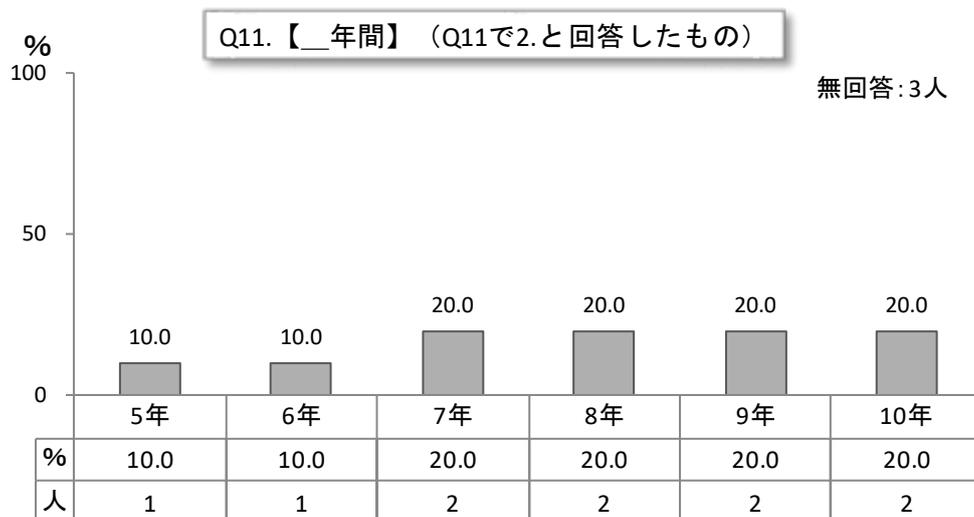
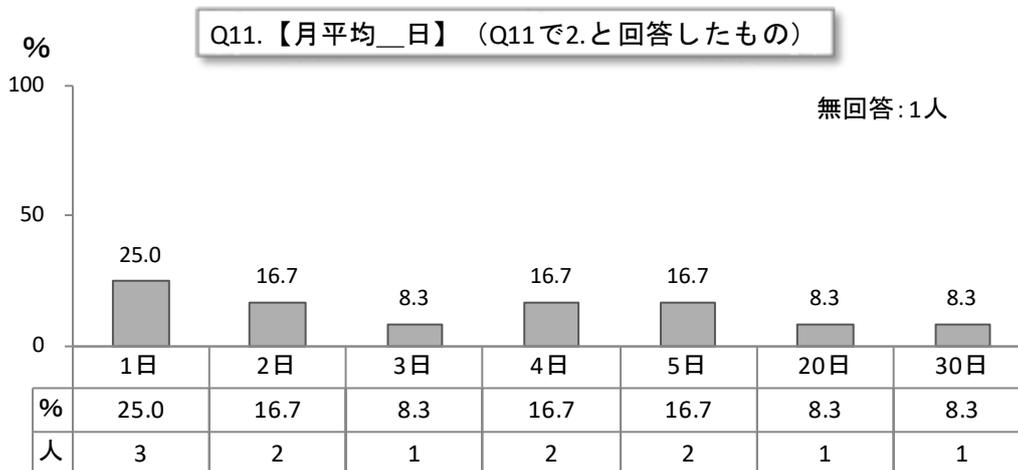
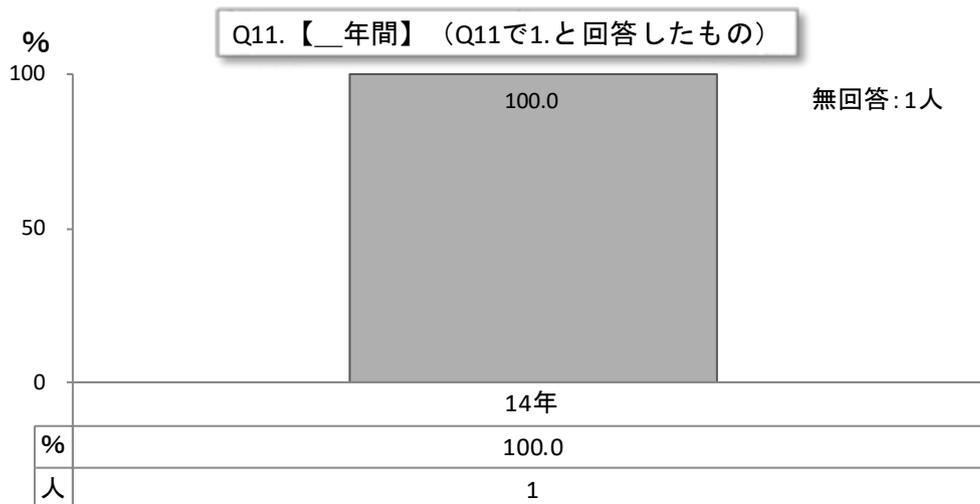
1. いない 2. いる (どなたですか? :)



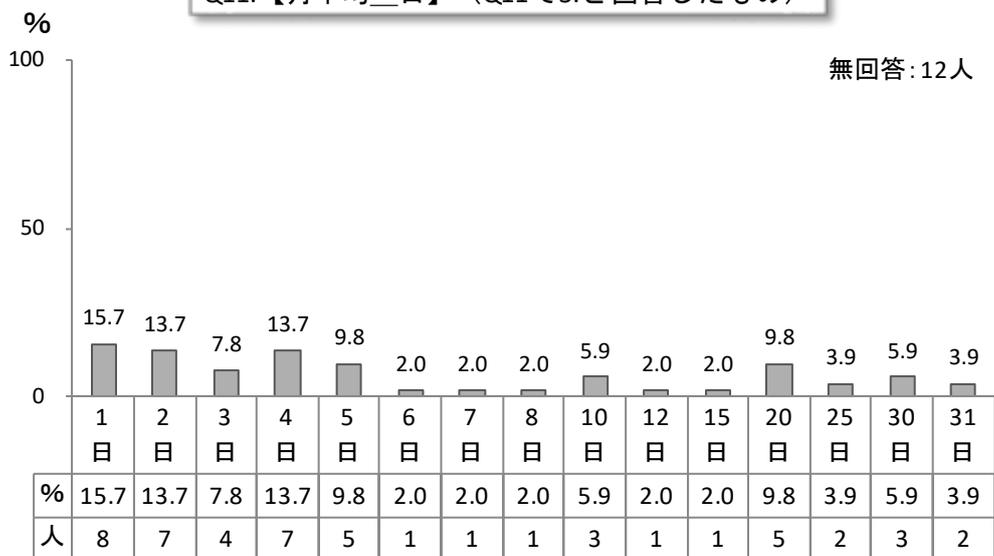
Q11. あなたはお酒を飲みますか。

1. 飲む (月平均__日、__年間飲んでいる)
2. 妊娠する前からやめていた (以前、月平均__日、__年間飲んでいた)
3. 妊娠を契機にやめた (以前、月平均__日、__年間飲んでいた)
4. 以前から全く飲まない

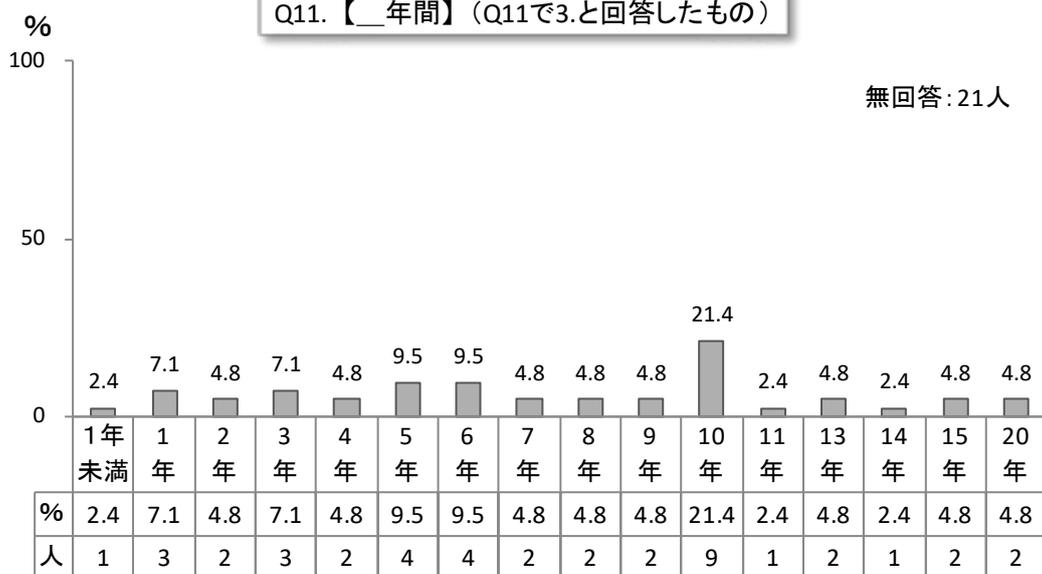




Q11. 【月平均__日】 (Q11で3.と回答したもの)



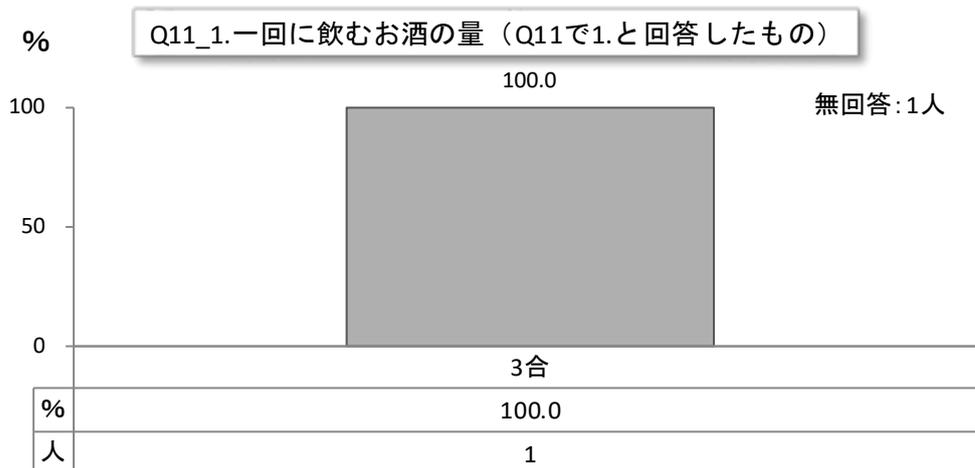
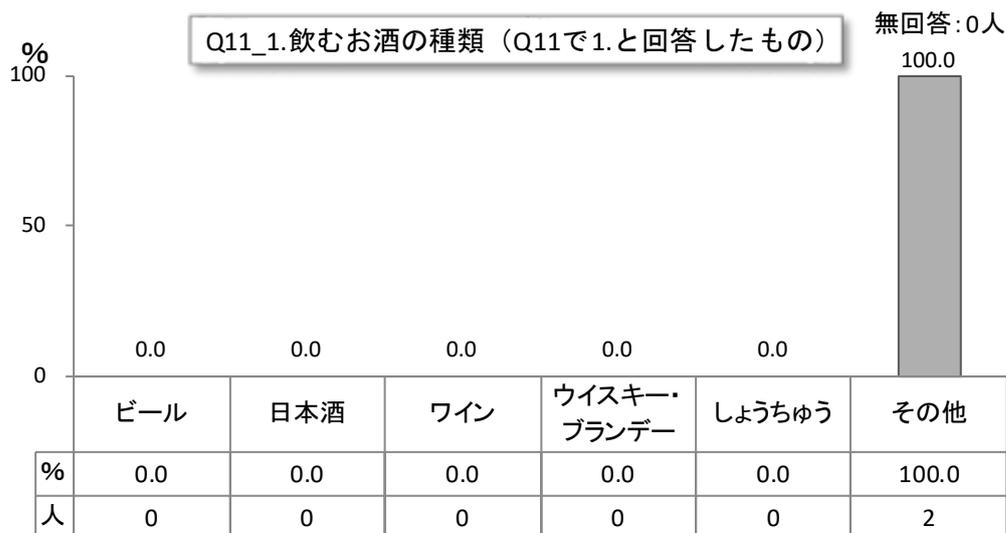
Q11. 【__年間】 (Q11で3.と回答したもの)



(Q11で1と答えた方のみお答えください。)

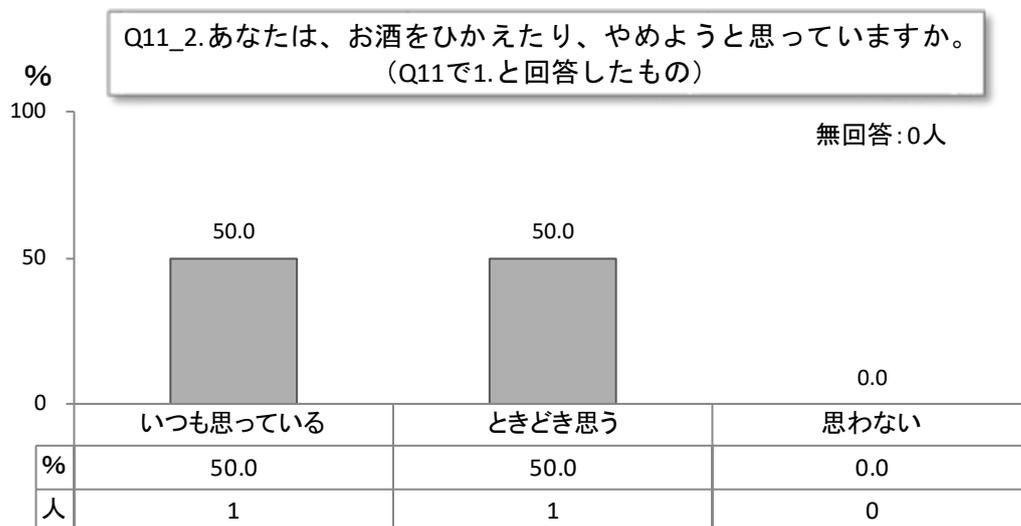
11-1. 飲むお酒の種類は何ですか。一番多いものひとつに○をつけて、一回に飲むお酒の量を記入してください。

- 1. ビール (大びん__本) 2. 日本酒 (__合) 3. ワイン (__合)
- 4. ウイスキー・ブランデー (水割り__杯) 5. しょうちゅう (水割り等__杯)
- 6. その他 ()



11-2. あなたは、お酒をひかえたり、やめようと思っていますか。

1. いつも思っている 2. ときどき思う 3. 思わない

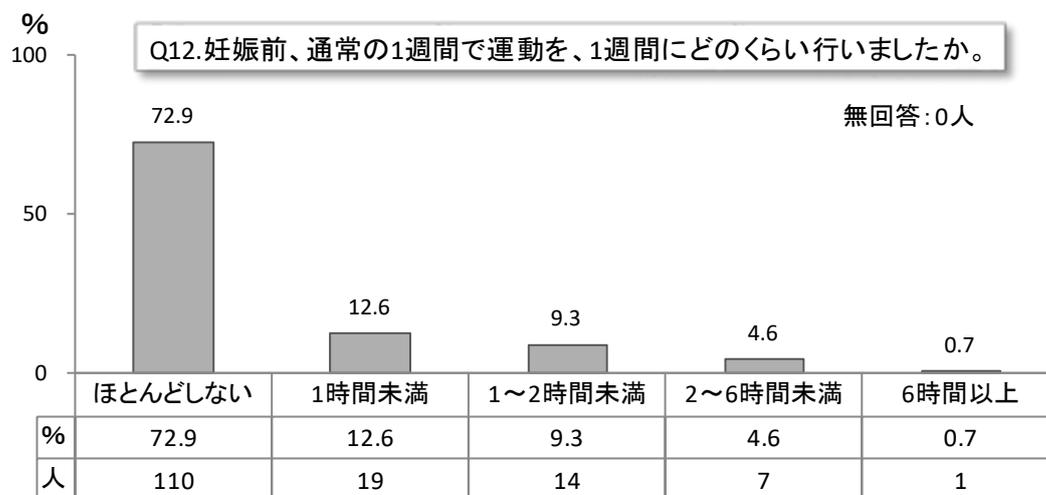


Q12. 妊娠前、通常の1週間で運動（体力の維持・向上を目的として、計画的・意図的に実施するウォーキングやスポーツなど）を1週間にどのくらい行いましたか。

1. ほとんどしない 2. 1時間未満 3. 1～2時間未満
4. 2～6時間未満 5. 6時間以上

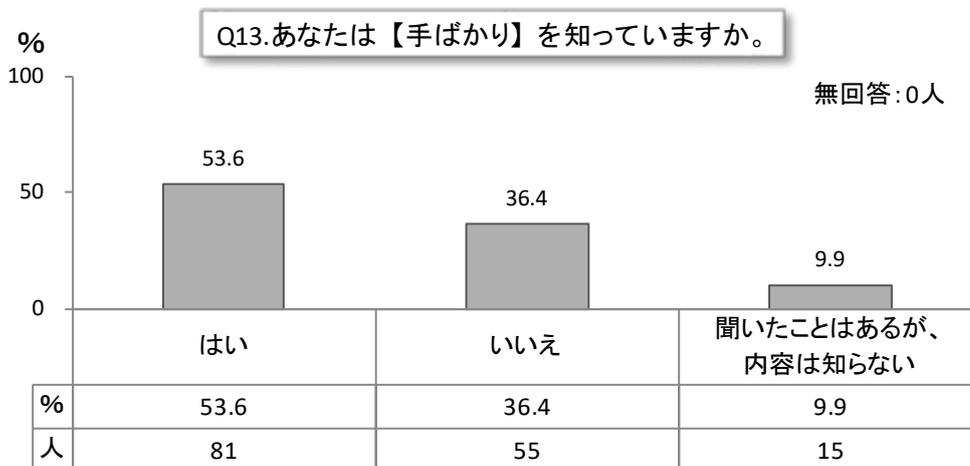
12-1. 行っているという方はどのような内容ですか。具体的にお書きください。

()



Q13. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

1. はい 2. いいえ 3. 聞いた事はあるが、内容は知らない

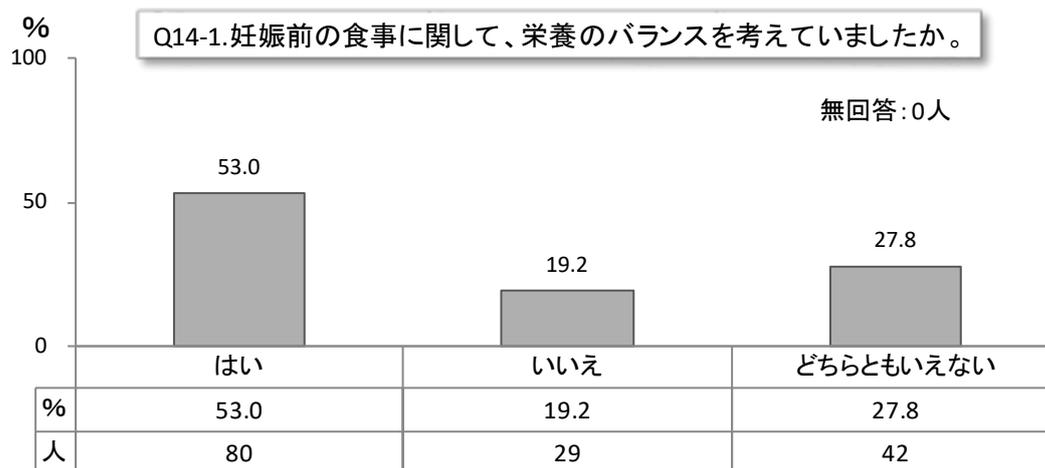


Q14. 妊娠前の食事に関してうかがいます。

※妊娠前とは、おおよそ妊娠する1年間くらい前までのこととお考えください。

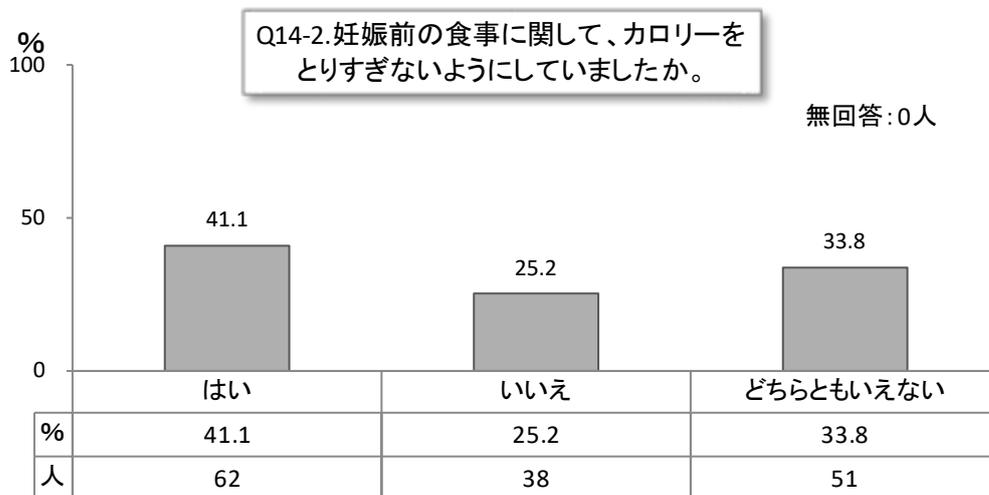
14-1. 栄養のバランスを考えていましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない



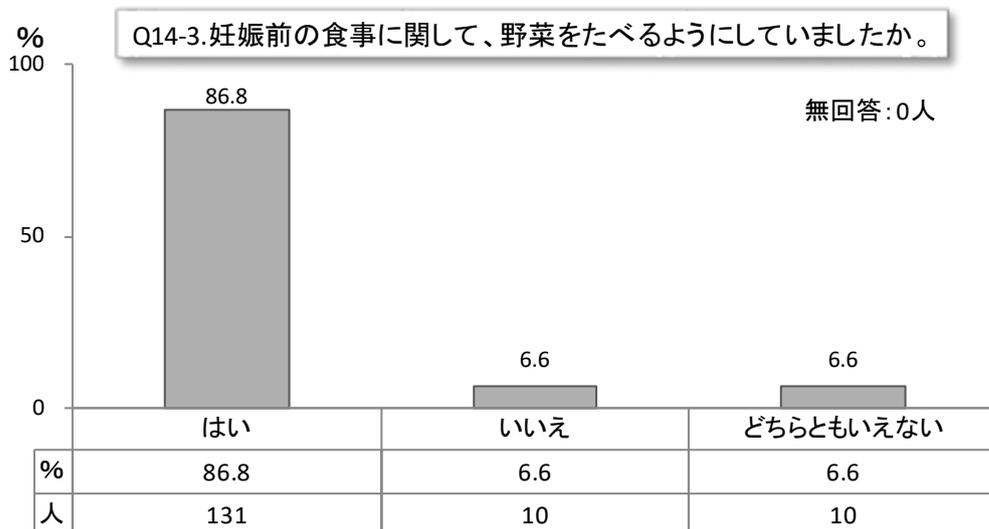
14-2. カロリーをとりすぎないようにしていましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない



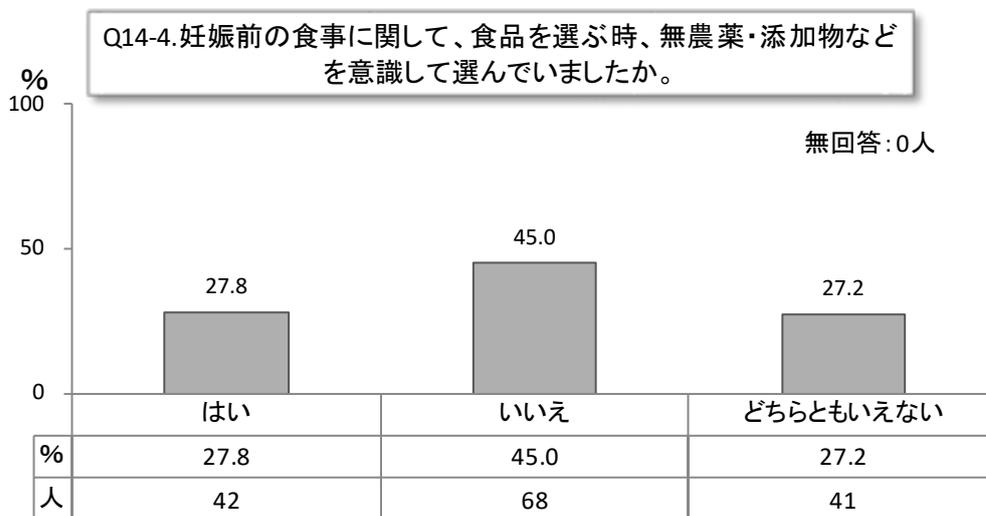
14-3. 野菜を食べるようにしていましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない



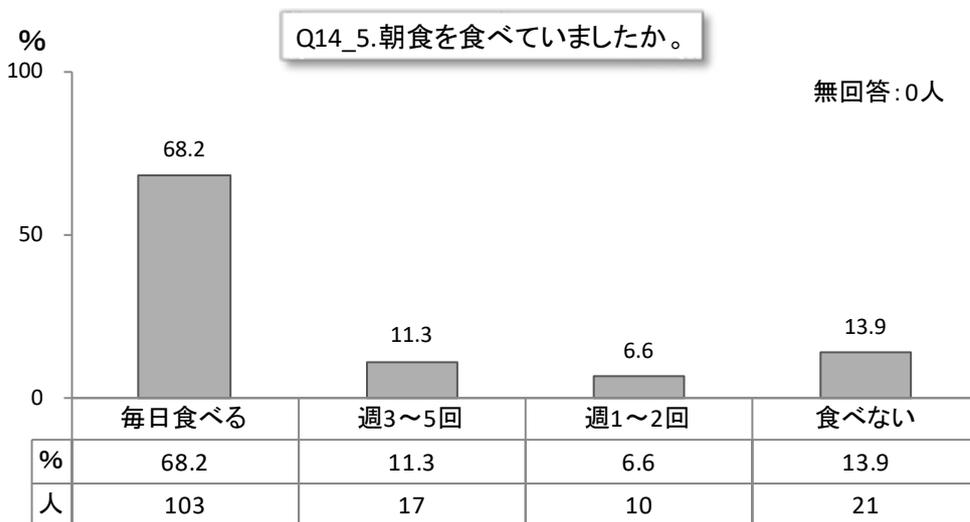
14-4. 食品を選ぶ時、無農薬・添加物などを意識して選んでいましたか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない



14-5. 朝食を食べていましたか。

1. 毎日食べる 2. 週3~5回 3. 週1~2回 4. 食べない



IV. 調査結果 (1. 母子健康手帳交付時)

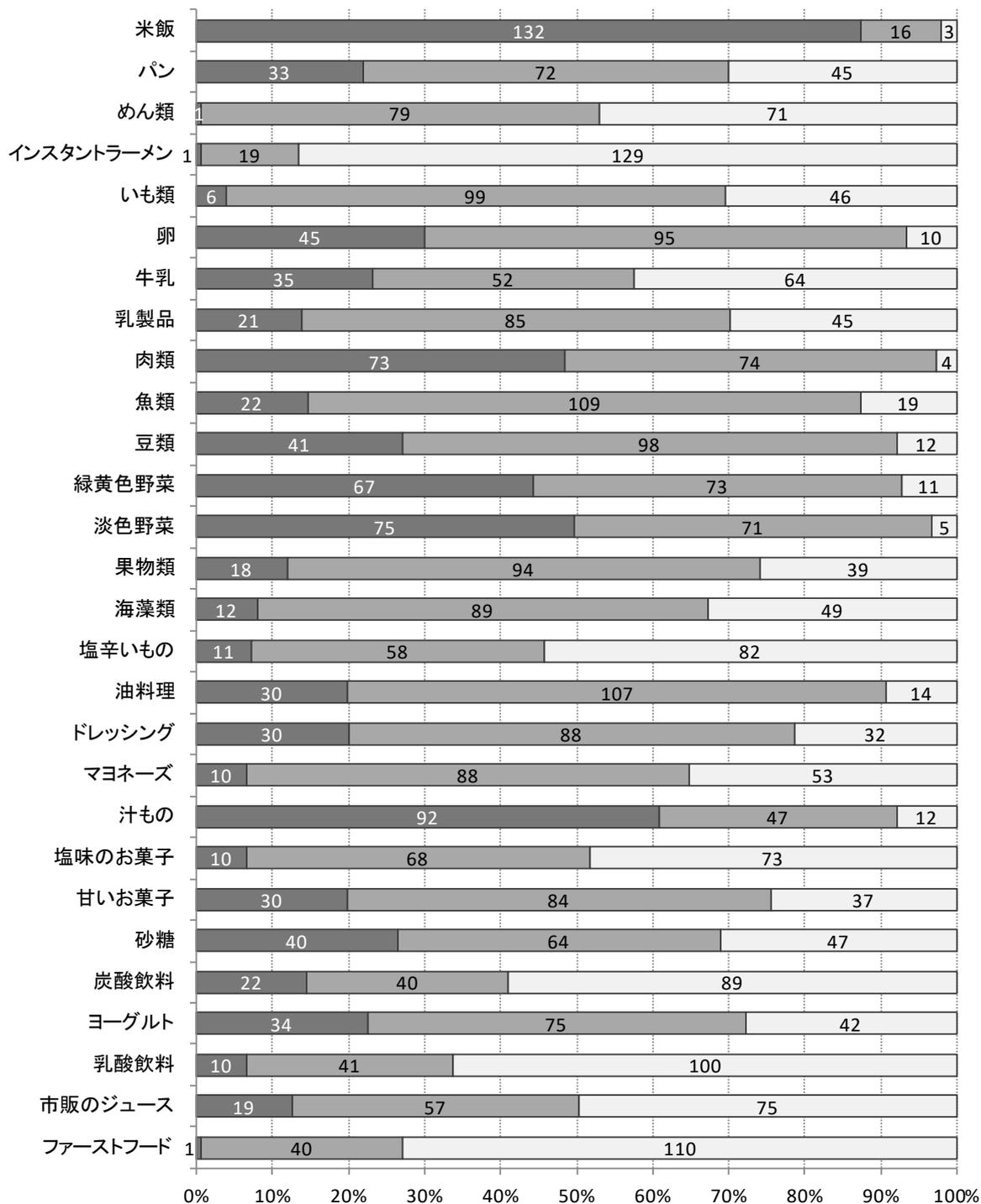
Q15. 妊娠前、以下に挙げる食品について、普通1週間にどのくらい食べていましたか。

当てはまる箇所に○をつけてください。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

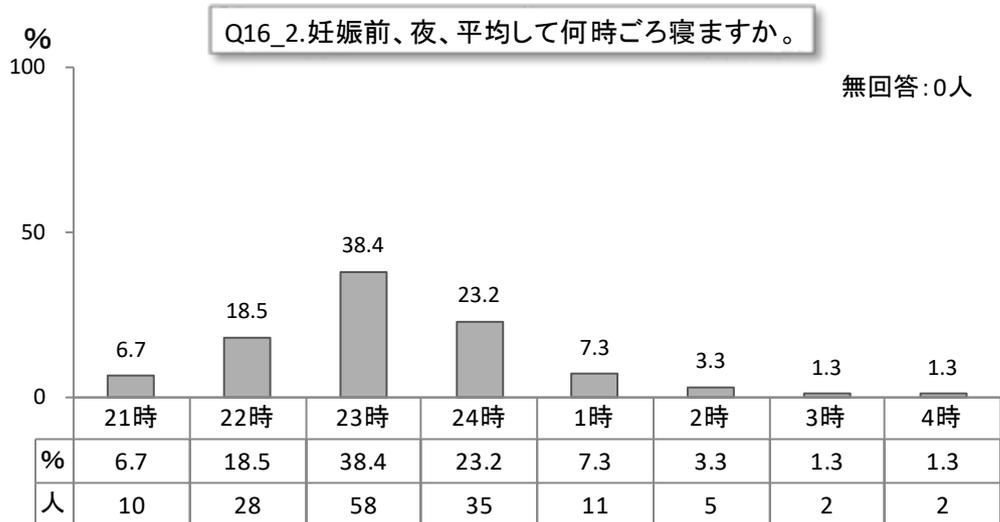
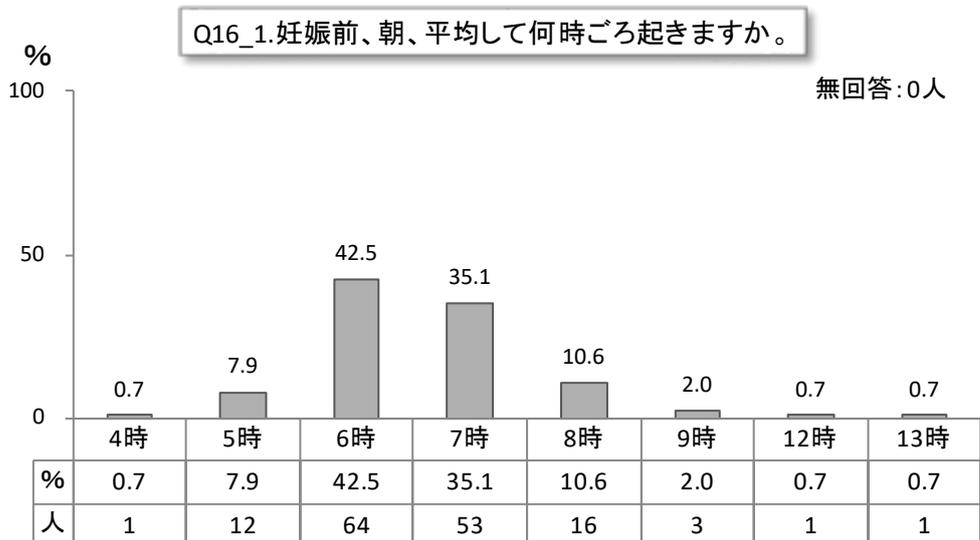
Q15.妊娠前、以下に挙げる食品について、普通1週間にどのくらい食べていましたか。

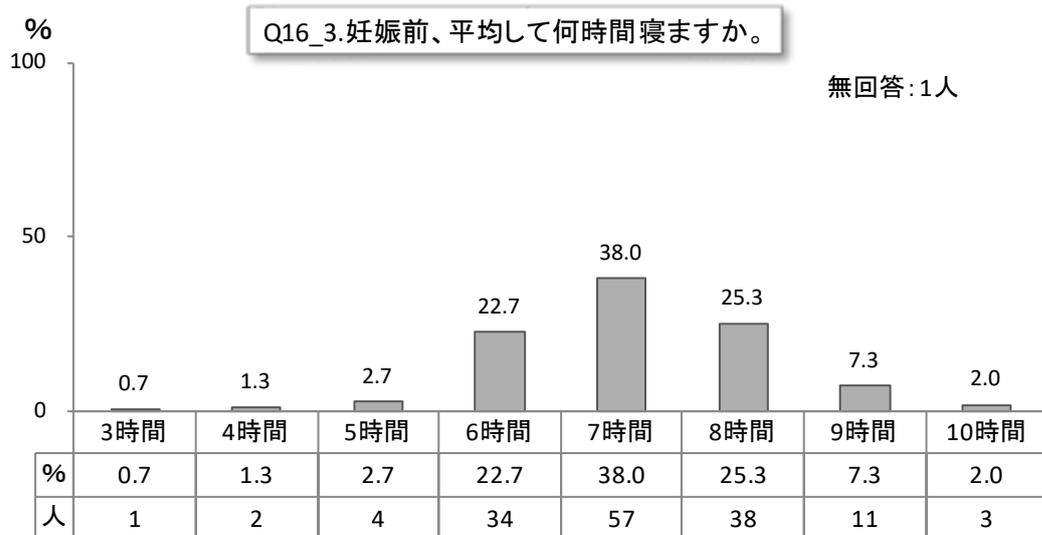
■ ほとんど毎日 ■ 週3回位 □ ほとんどとらない



Q16. 妊娠前のあなたの平日（土、日を除く）の起床・就寝時間についてうかがいます。

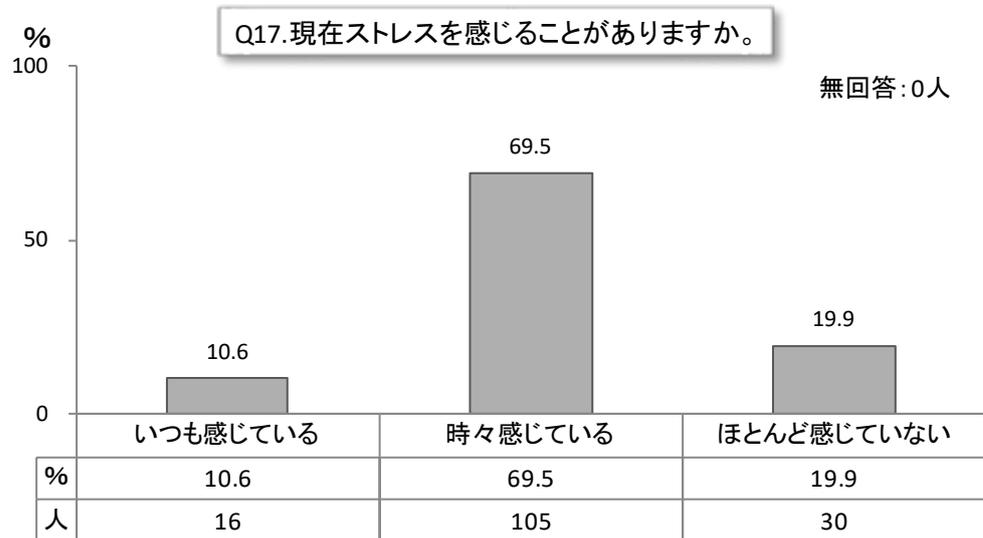
1. 朝、平均して何時ごろ起きますか () 時ころ
2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか () 時ころ
3. 平均して何時間寝ますか () 時間位





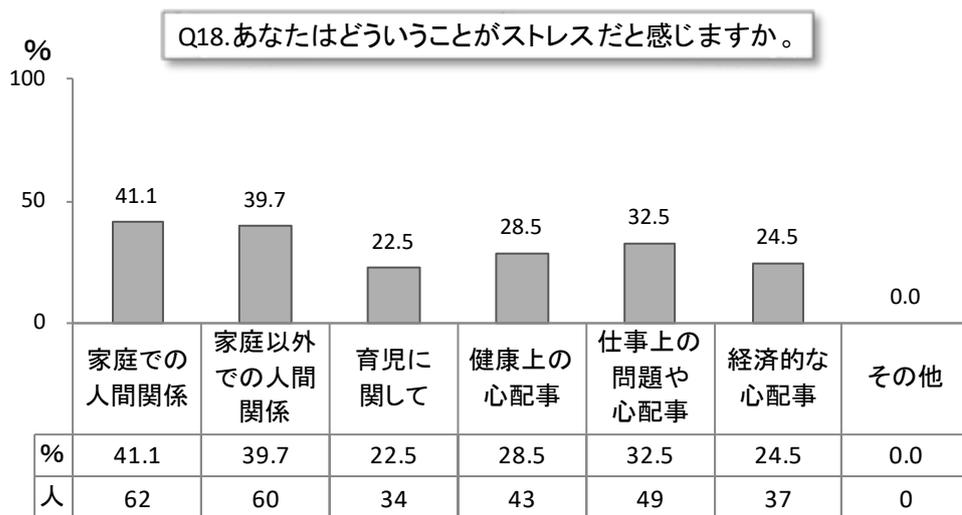
Q17. 現在ストレスを感じるがありますか。

1. いつも感じている 2. 時々感じている 3. ほとんど感じていない

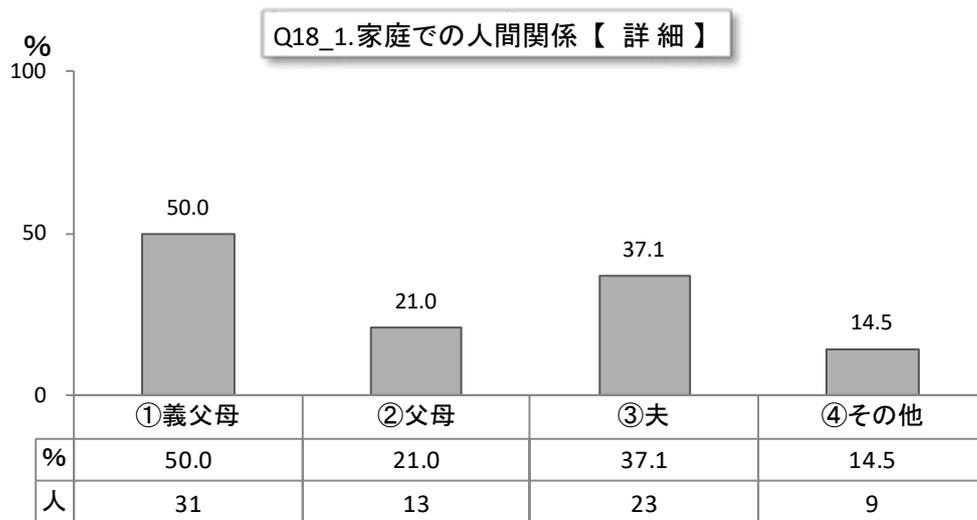


Q18. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることにすべてに○をつけてください。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

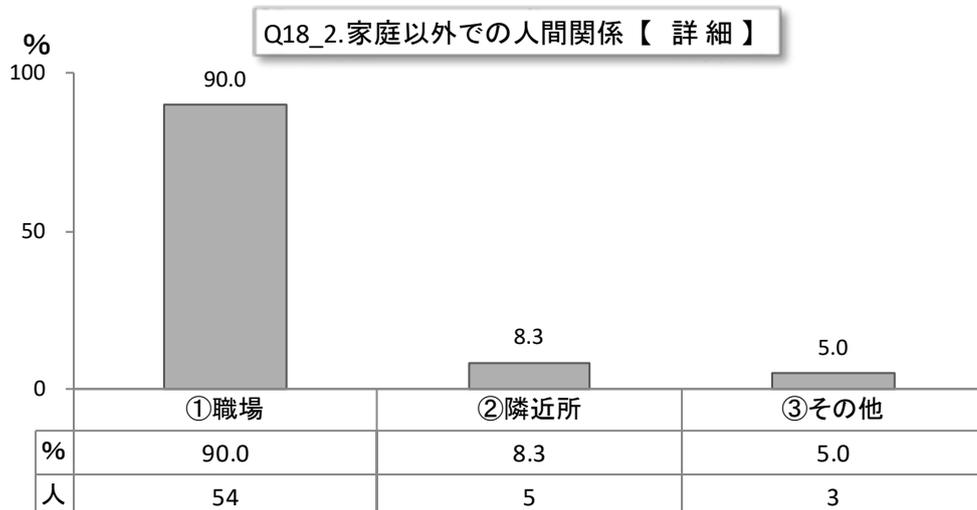
1. 家庭での人間関係
 - ①義父母
 - ②父母
 - ③夫
 - ④その他 ()
2. 家庭以外での人間関係
 - ①職場
 - ②隣近所
 - ③その他 ()
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事
 - ①自分自身
 - ②子ども
 - ③子ども以外の家族
 - ④その他 ()
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 ()



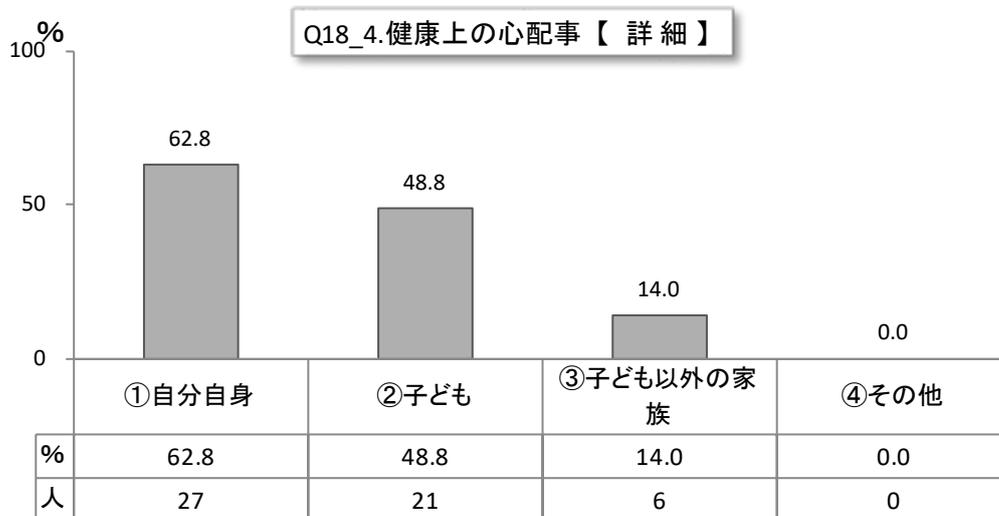
(◎と○の数 複数回答あり)



(◎と〇の数 複数回答あり)



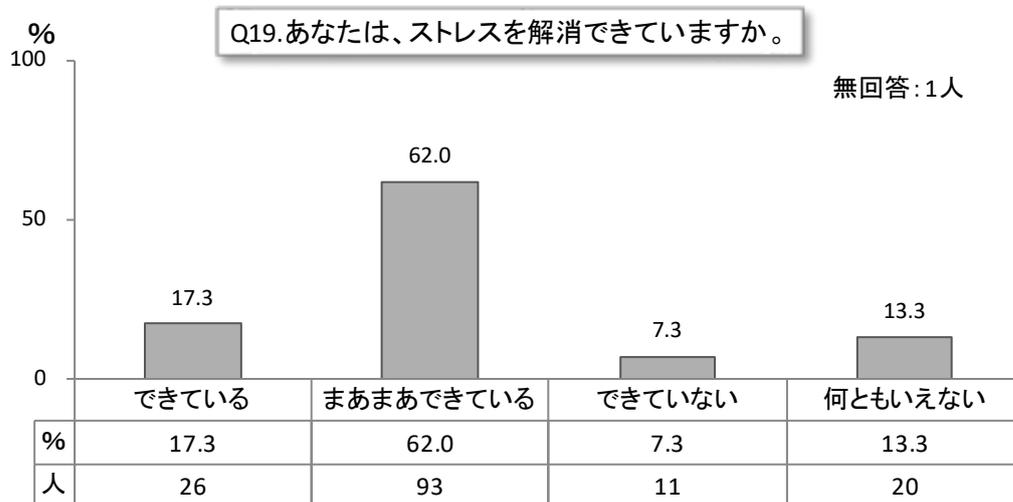
(◎と〇の数 複数回答あり)



(◎と〇の数 複数回答あり)

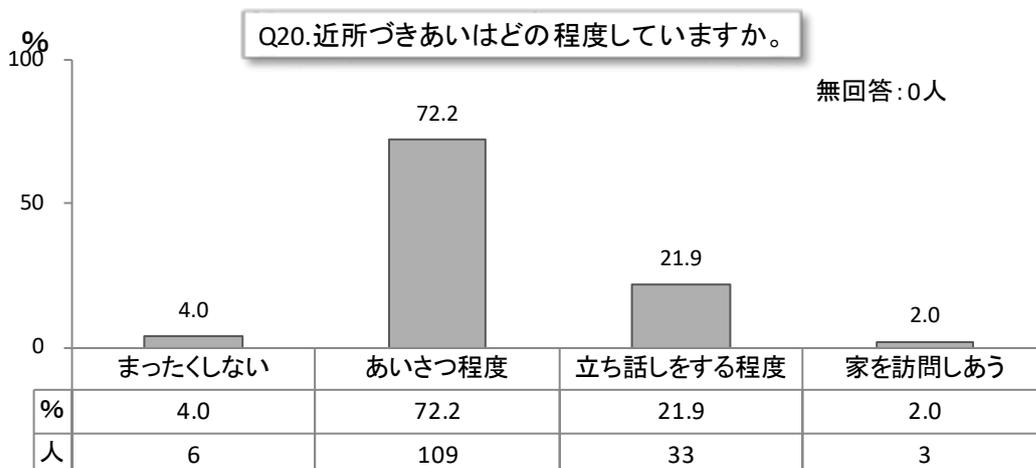
Q19. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている 2. まあまあできている 3. できていない 4. 何ともいえない



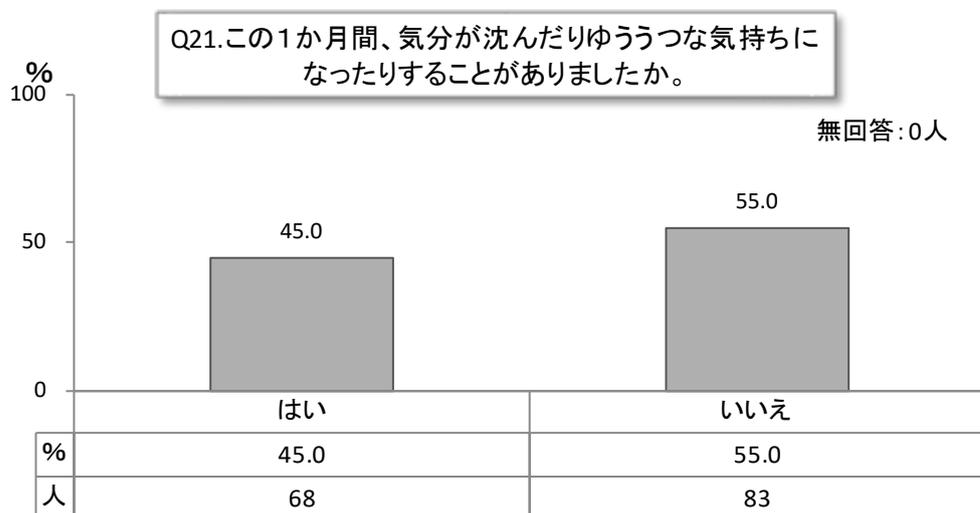
Q20. 近所づきあいほどの程度していますか。

1. まったくしない 2. あいさつ程度 3. 立ち話しをする程度 4. 家を訪問しあう



Q21. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

1. はい 2. いいえ



IV. 調査結果（1. 母子健康手帳交付時）

IV-2.1 歳 6 ヶ月児健診時

IV. 調査結果 (2.1 歳 6 ヶ月児健診時)

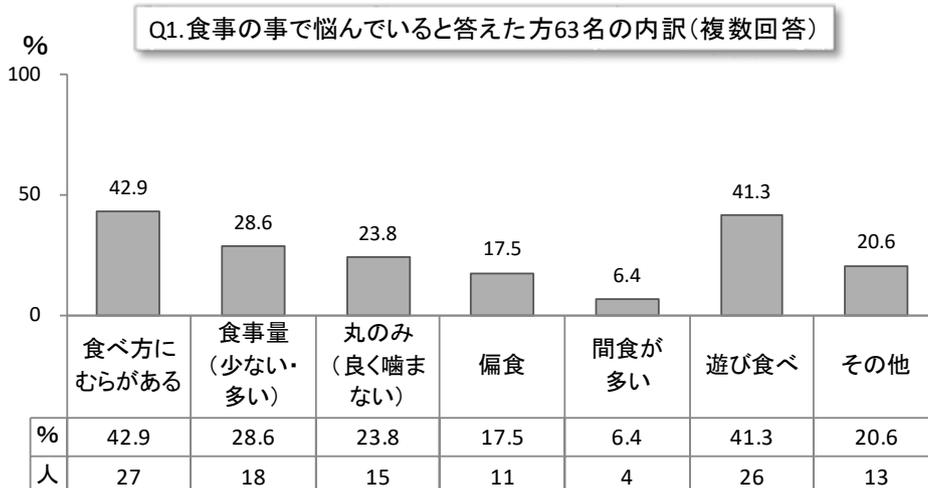
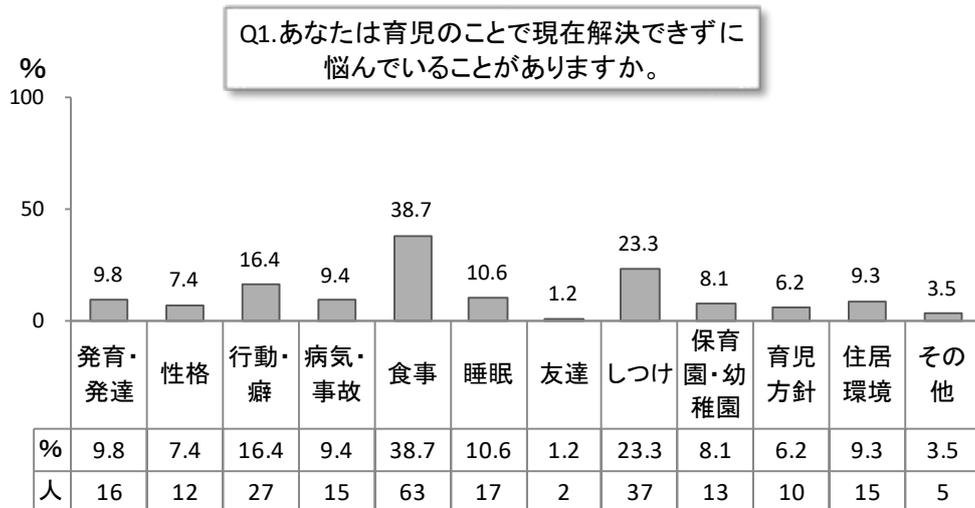
Q1. あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。

- ①発育・発達のこと 1. ない 2. ある ()
- ②性格のこと 1. ない 2. ある ()
- ③行動・癖のこと 1. ない 2. ある ()
- ④病気・事故のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑤食事のこと 1. ない 2. ある ()

あると答えた方はどのようなことですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

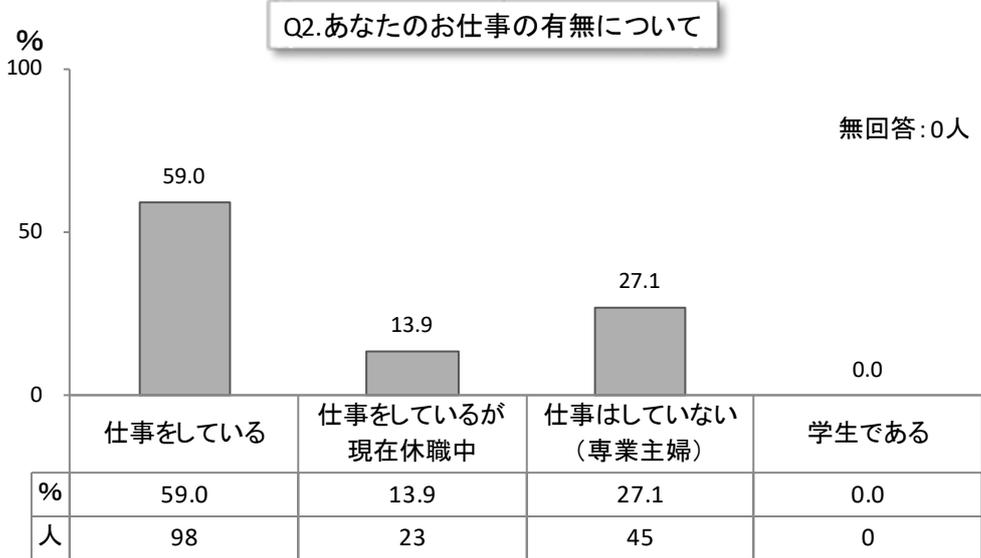
- 1. 食べ方にむらがある 2. 食事量 (少ない・多い) 3. 丸のみ (良く噛まない)
- 4. 偏食 5. 間食が多い 6. 遊び食べ 7. その他 ()

- ⑥睡眠のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑦お友達のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑧しつけについて (トイレトレーニング含む) 1. ない 2. ある ()
- ⑨保育園・幼稚園について 1. ない 2. ある ()
- ⑩祖父母との育児方針 1. ない 2. ある ()
- ⑪住居環境のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑫その他 1. ない 2. ある ()



Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選びください。

- 1. 仕事をしている
 - 2. 仕事はしているが現在休職中である
 - 3. 仕事はしていない (専業主婦である)
 - 4. 学生である
- } →3. 4. と答えた方は
Q4. へお進みください

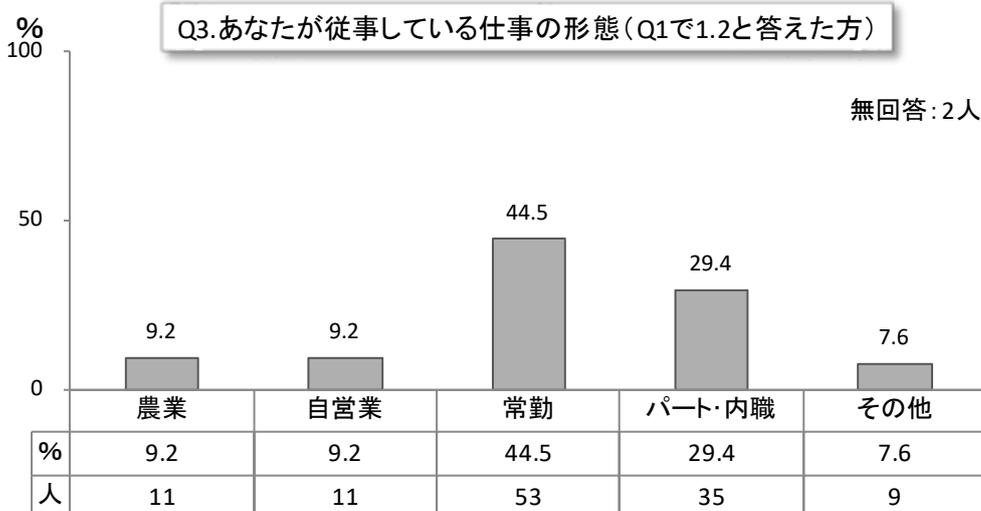


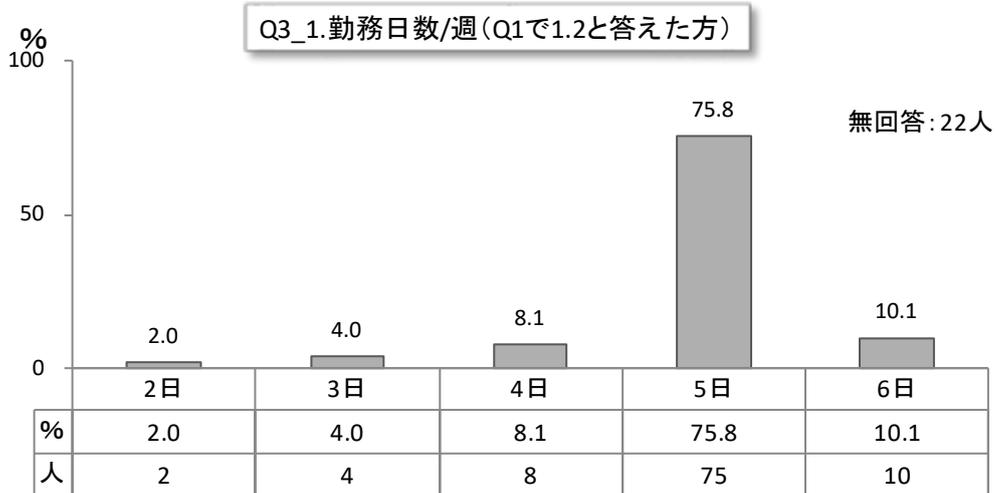
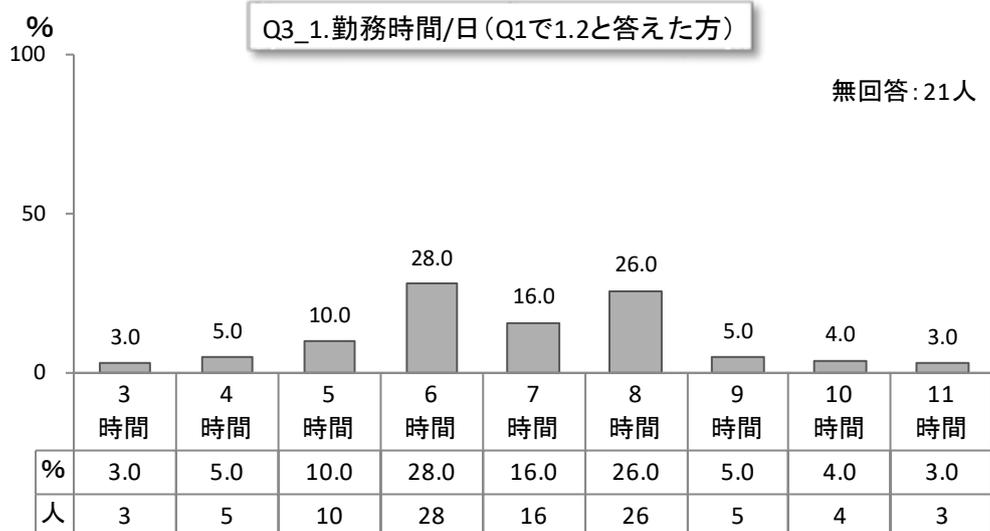
Q3. Q2で1. 2. と答えた方のみお答えください。

あなたが従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

- 1. 農業
- 2. 自営業
- 3. 常勤
- 4. パート・内職
- 5. その他 ()

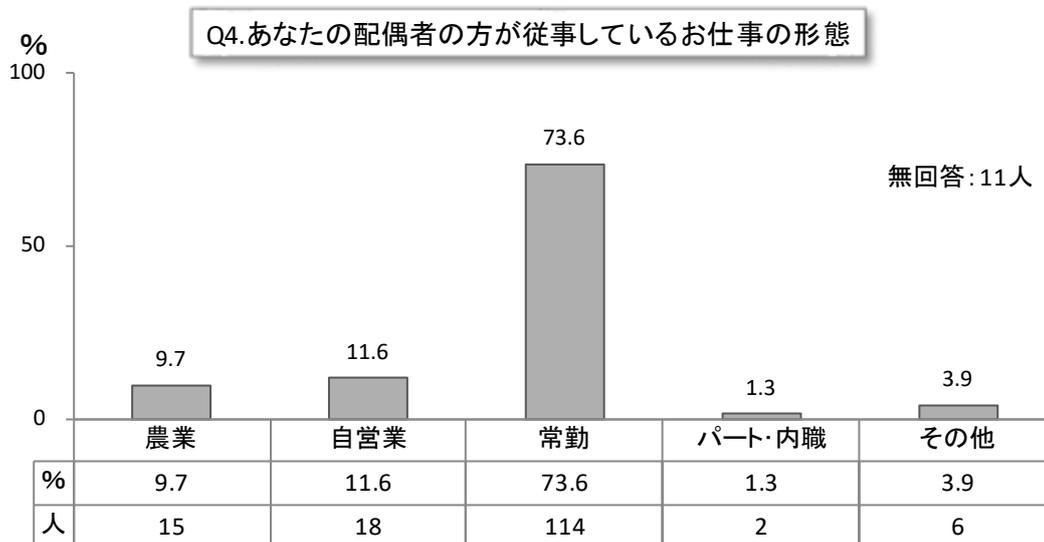
3-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務



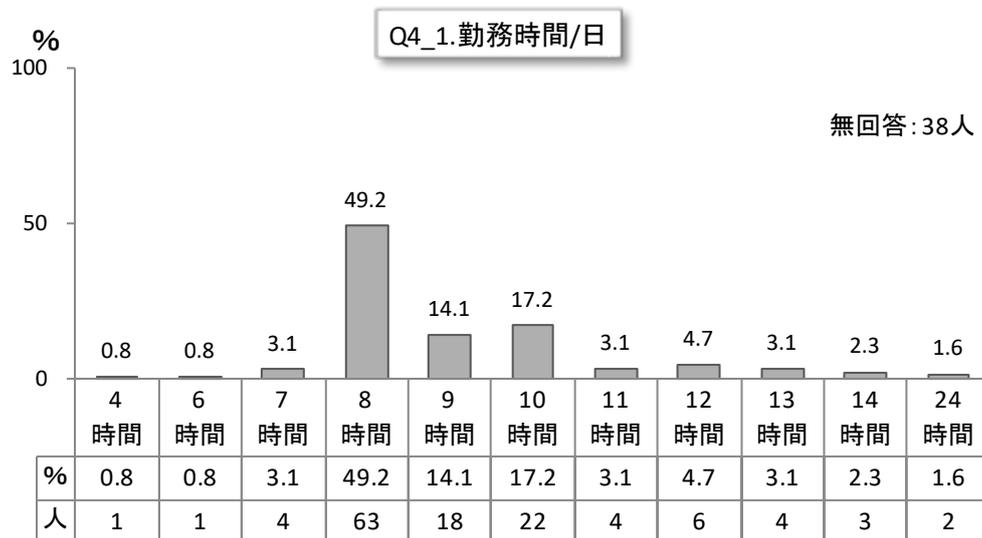


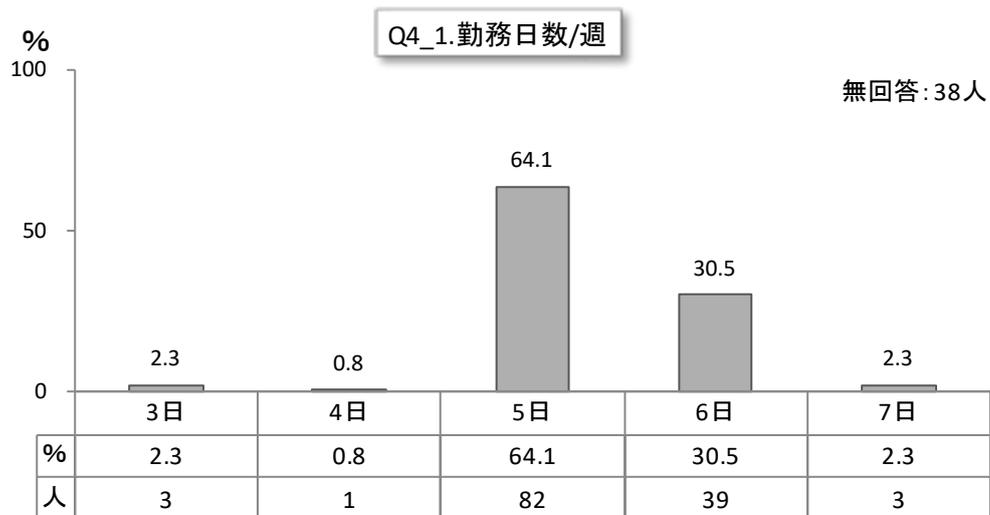
Q4. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
5. その他 ()

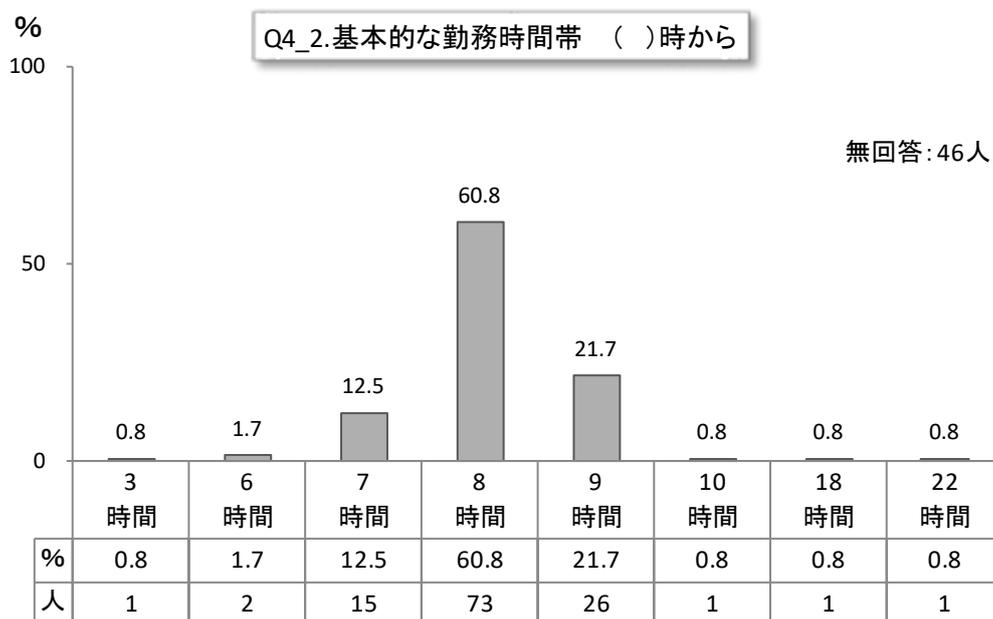


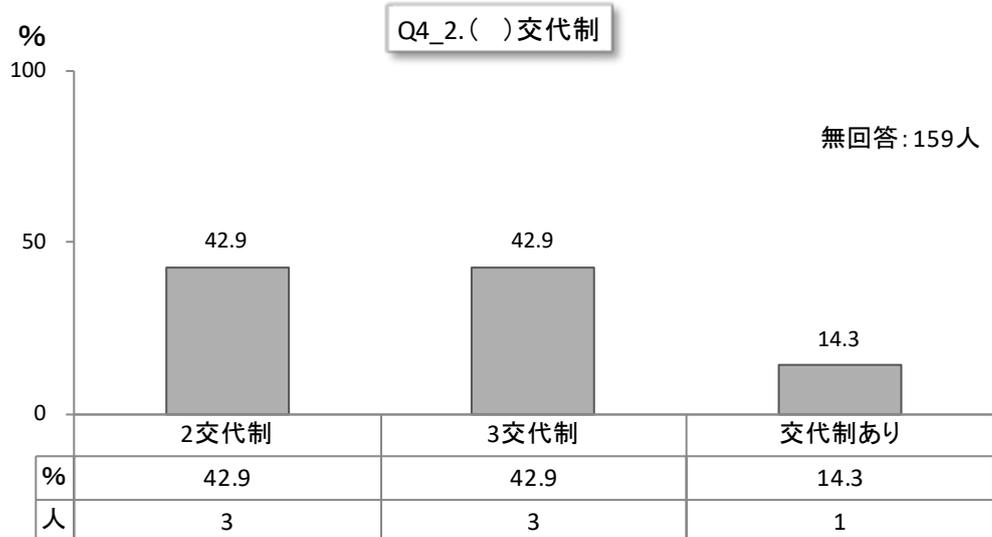
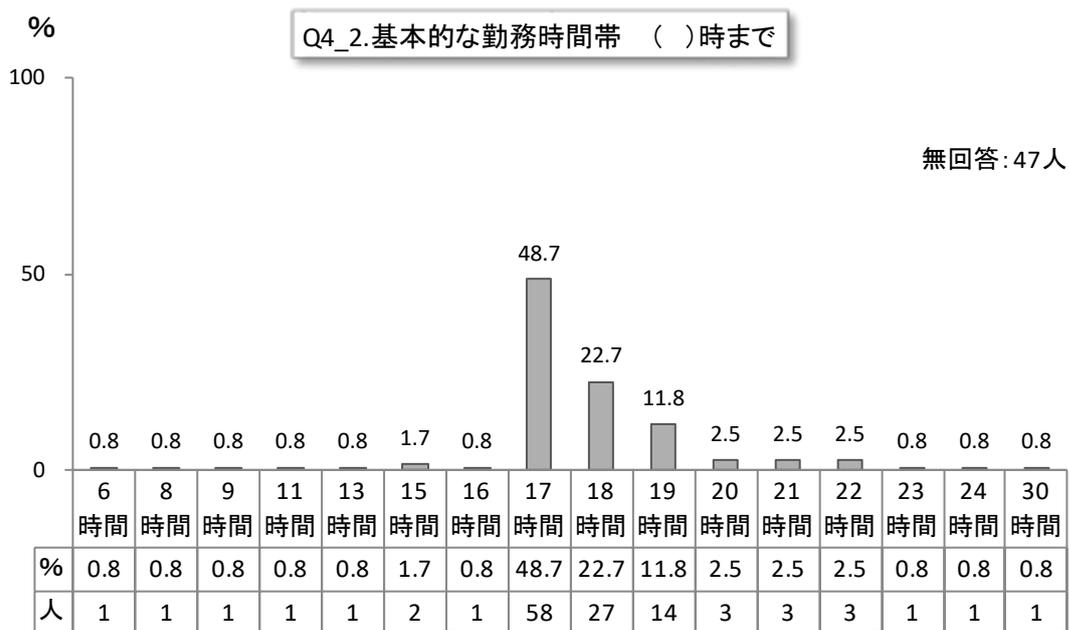
4-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務





4-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。 () 時～ () 時 () 交代制

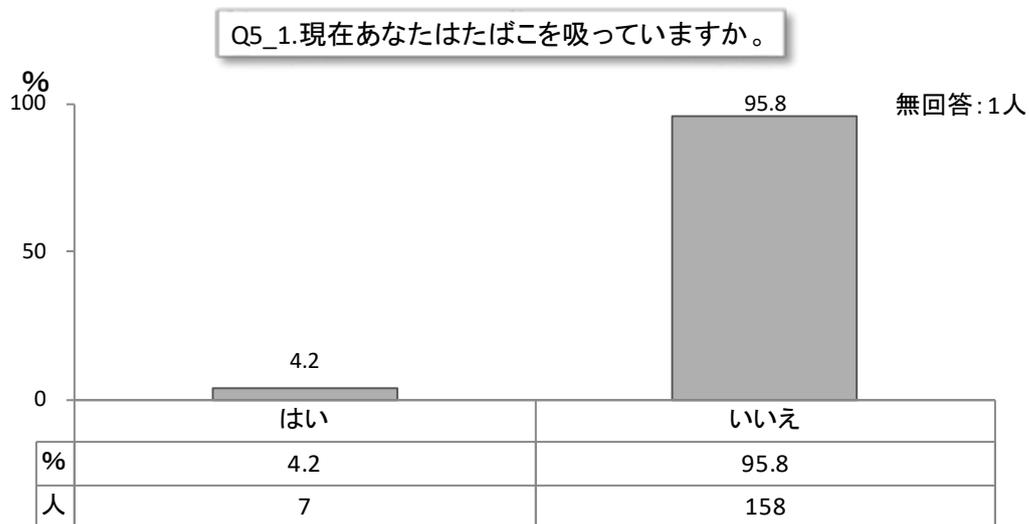




Q5. たばこについておききします。

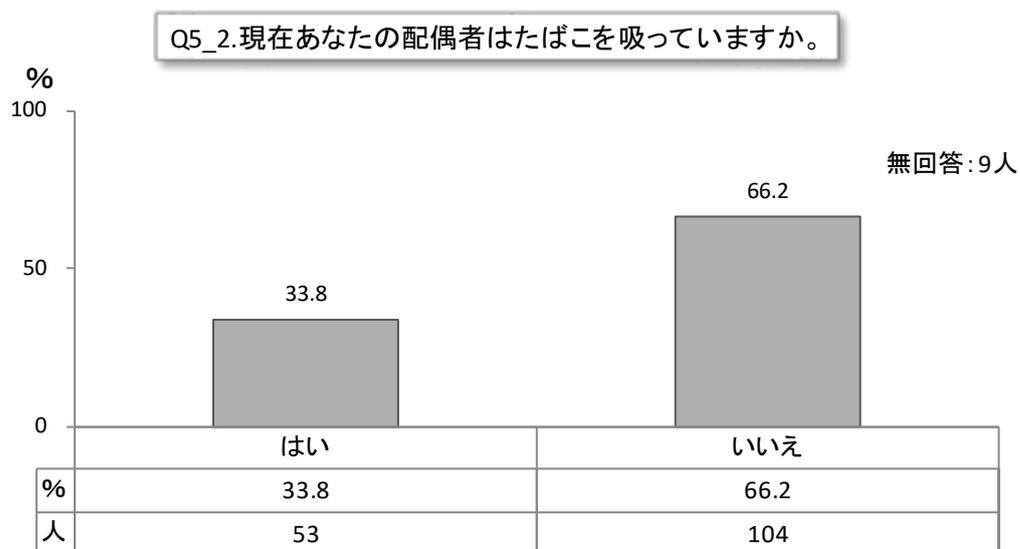
5-1. 現在あなたはたばこを吸っていますか。

1. はい 2. いいえ



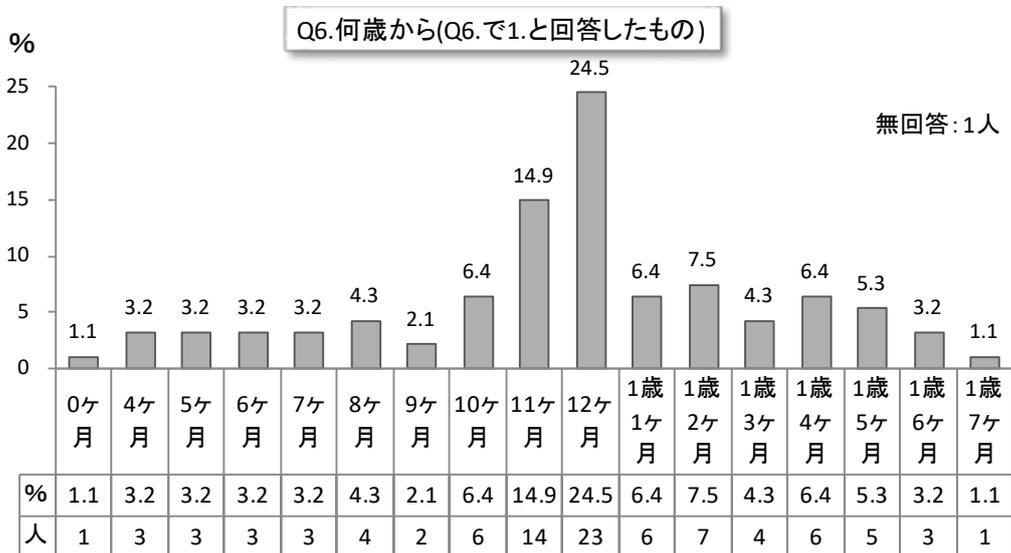
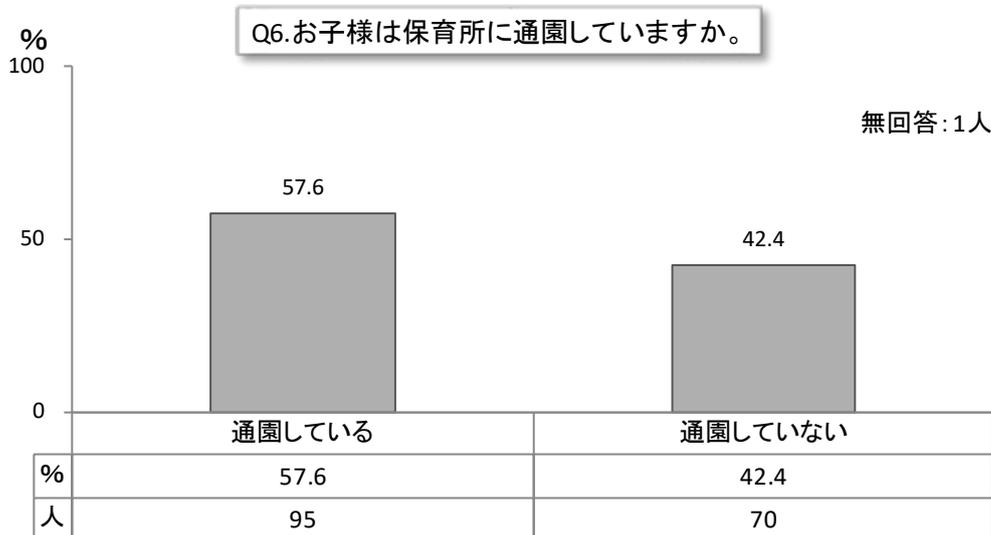
5-2. 現在あなたの配偶者はたばこを吸っていますか。

1. はい 2. いいえ



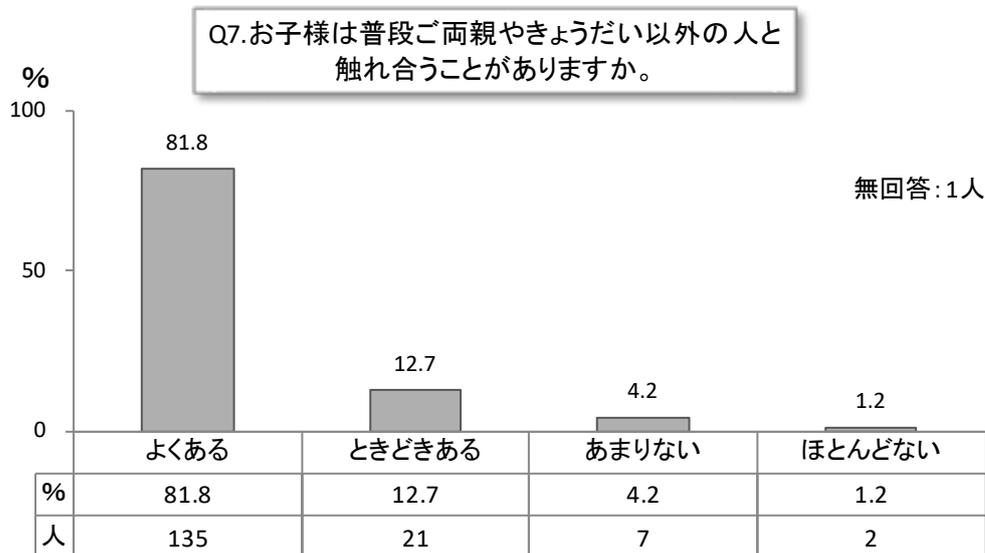
Q6. お子様は保育所に通園していますか。

1. 通園している (歳 カ月から) 2. 通園していない



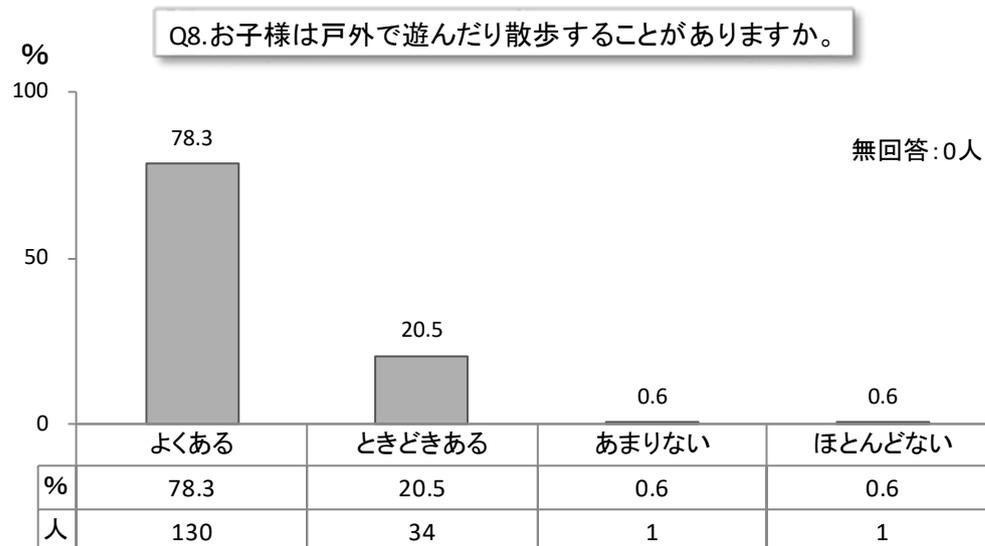
Q7. お子様は普段ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない



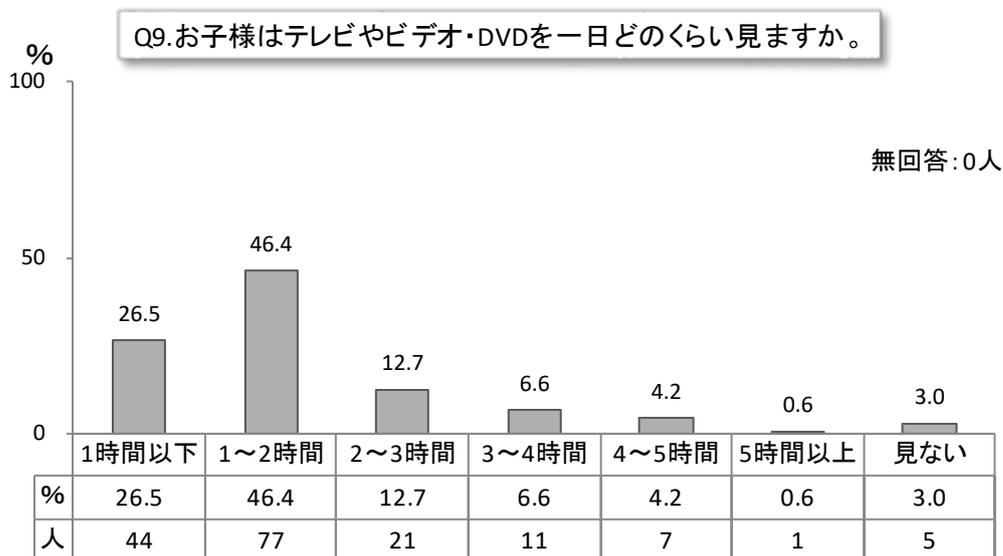
Q8. お子様は戸外で遊んだり散歩することがありますか。

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない



Q9. お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか。

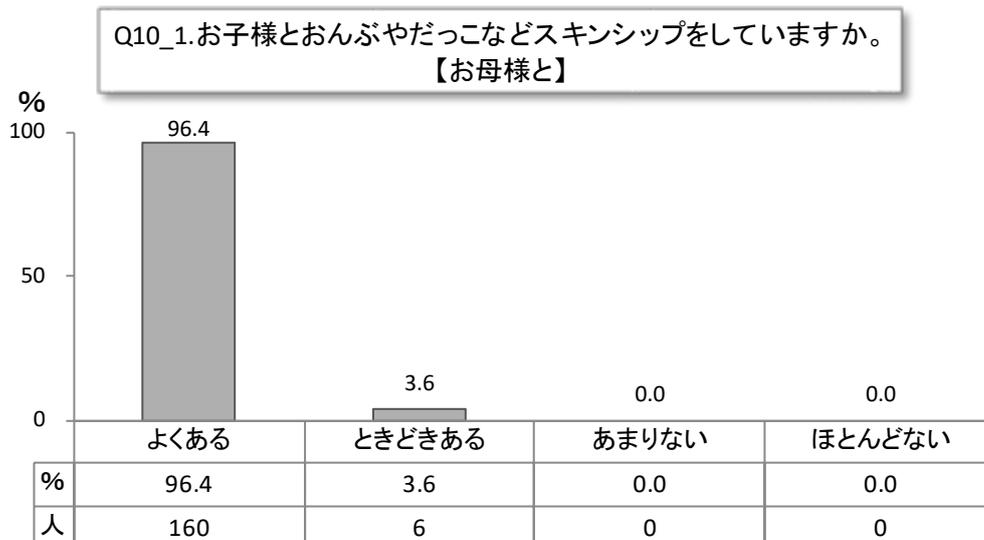
1. 1時間以下 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3～4時間
5. 4～5時間 6. 5時間以上 7. 見ない



Q10. お母様は、お子様とおんぶやだっこなどスキンシップをしていますか。お母様とお母様以外の人とについてそれぞれお答えください。

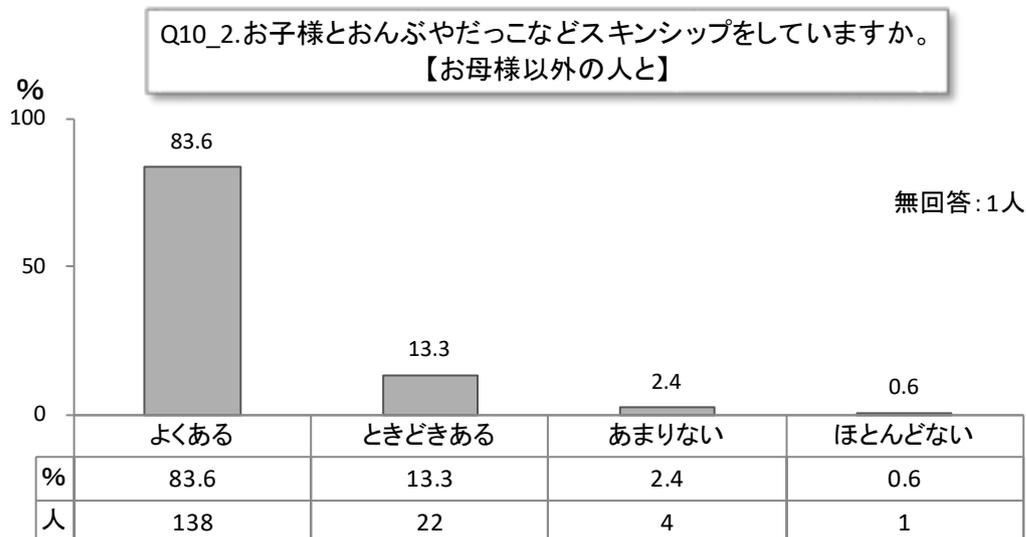
10-1. お母様とはどうですか

1. よくある 2. ときどきある
3. あまりない 4. ほとんどない



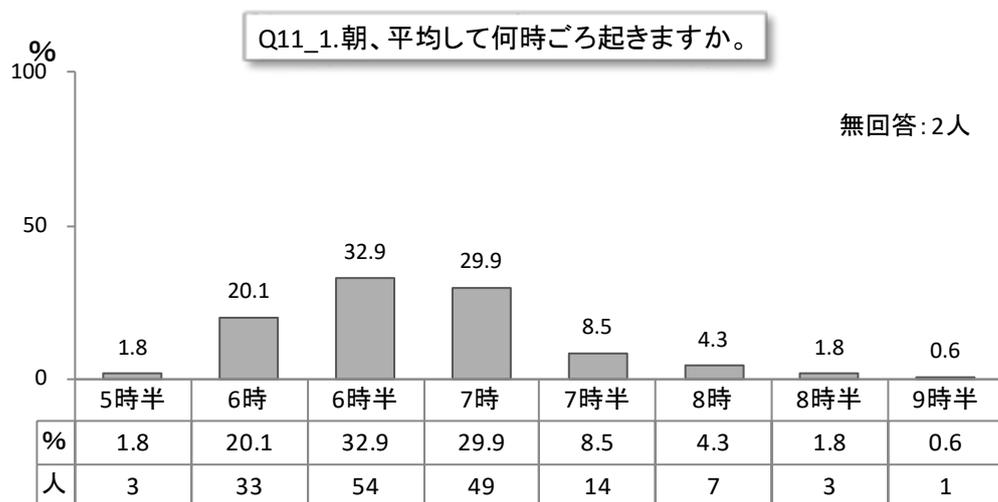
10-2. お母様以外の人とはどうですか

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない

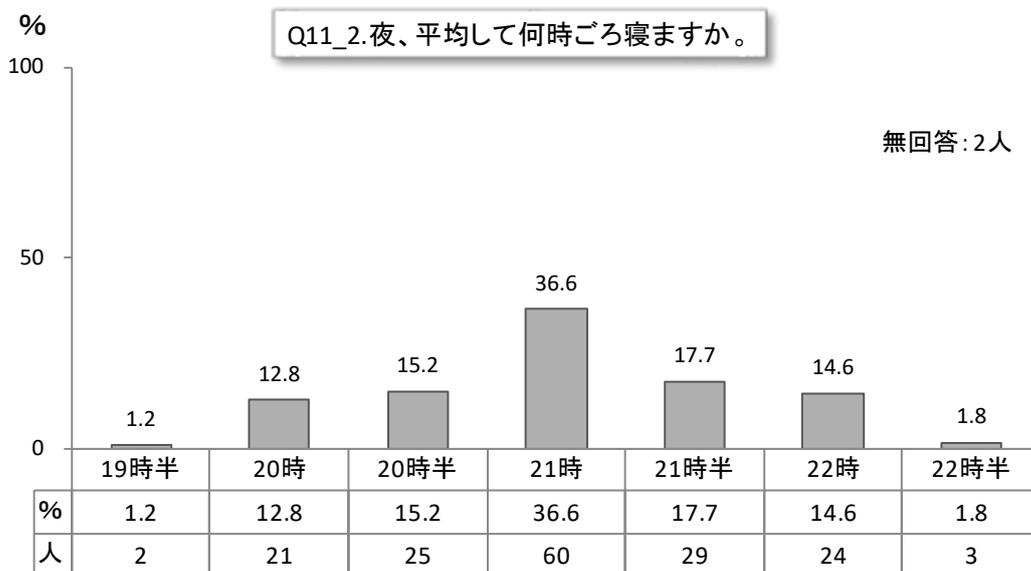


Q11. お子様の起床・就寝など睡眠の様子についてうかがいます。

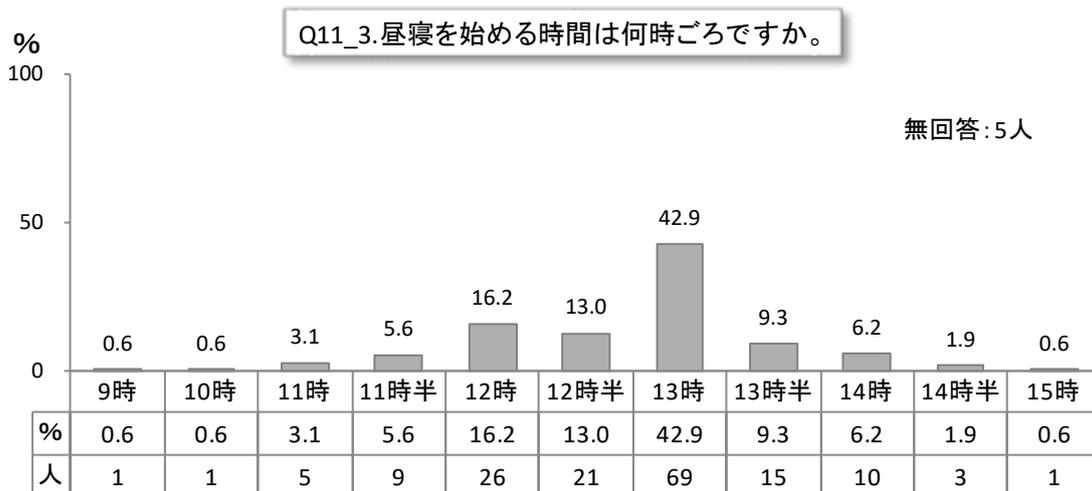
11-1. 朝、平均して何時ごろ起きますか () 時 () 分ころ



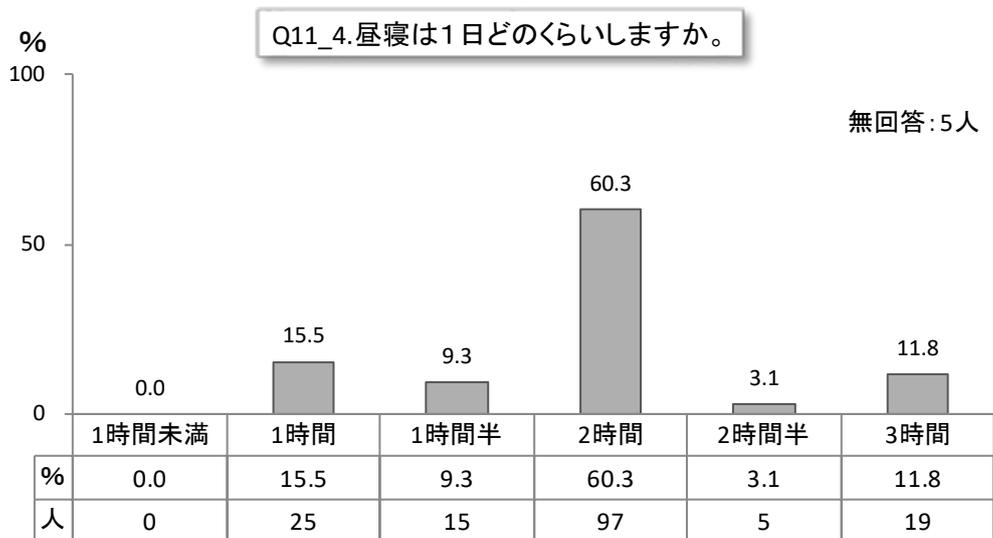
11-2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか () 時 () 分ころ



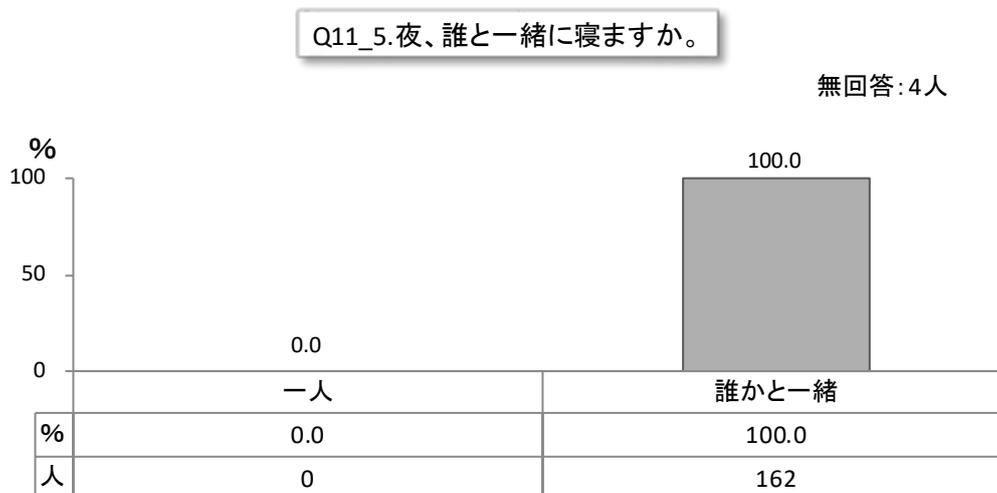
11-3. 昼寝を始める時間は何時ごろですか () 時 () 分ころ



11-4. 昼寝は一日どのくらいしますか () 時間位

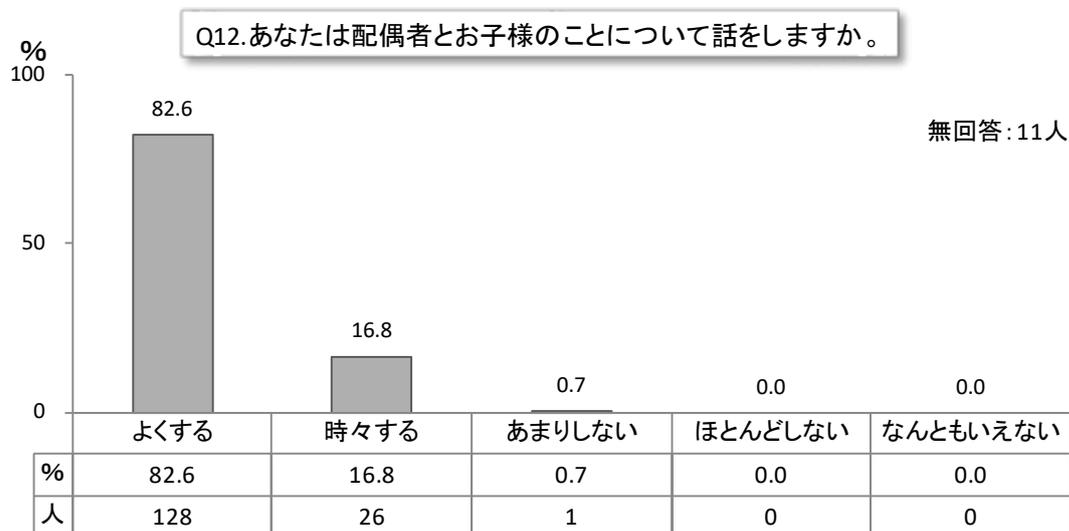


11-5. 夜、誰と一緒に寝ますか (誰 :)



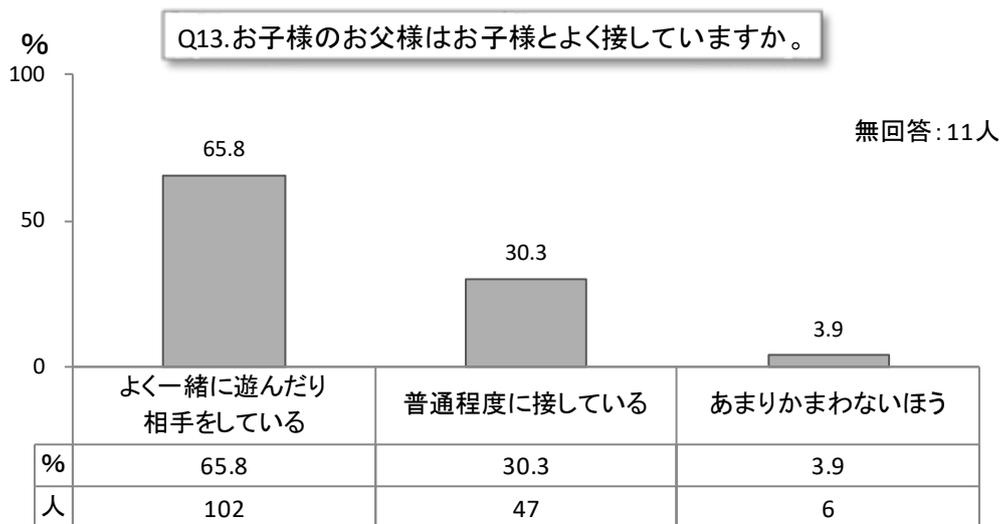
Q12. あなたは配偶者とお子様のことについて話をしますか。

1. よくする
2. 時々する
3. あまりしない
4. ほとんどしない
5. なんともいえない



Q13. お子様のお父様はお子様とよく接していますか。

1. よく一緒に遊んだり、相手をしてあげている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわないほうである



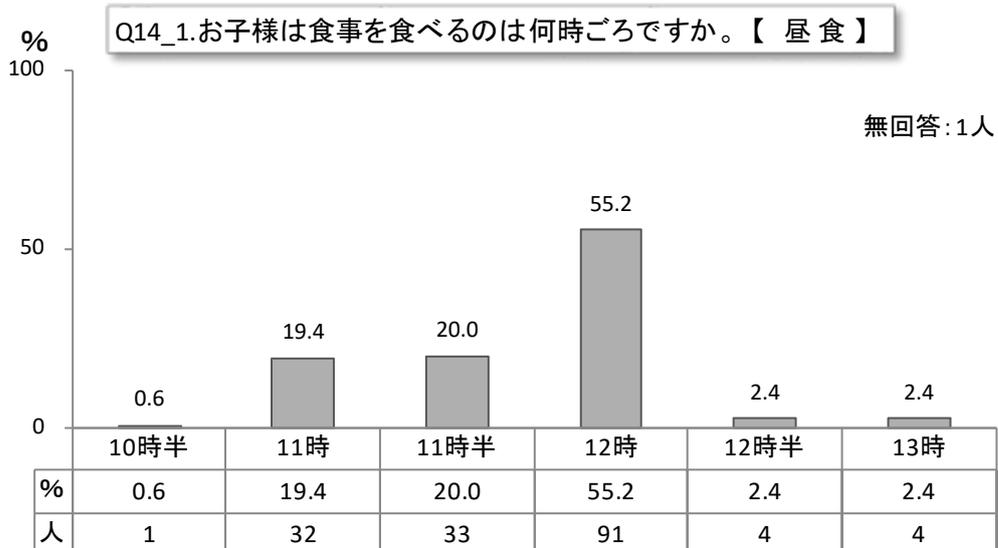
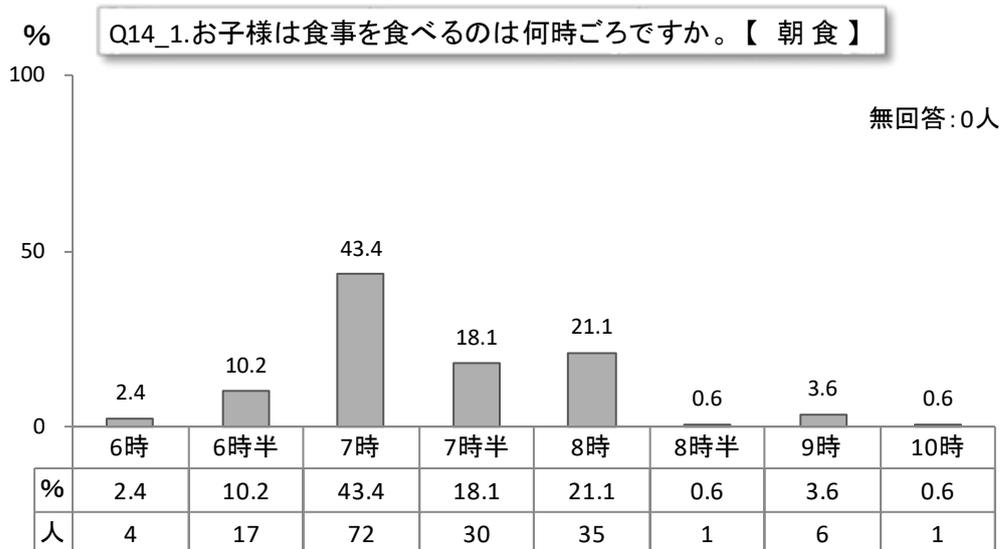
Q14. お子様の食事について伺います。

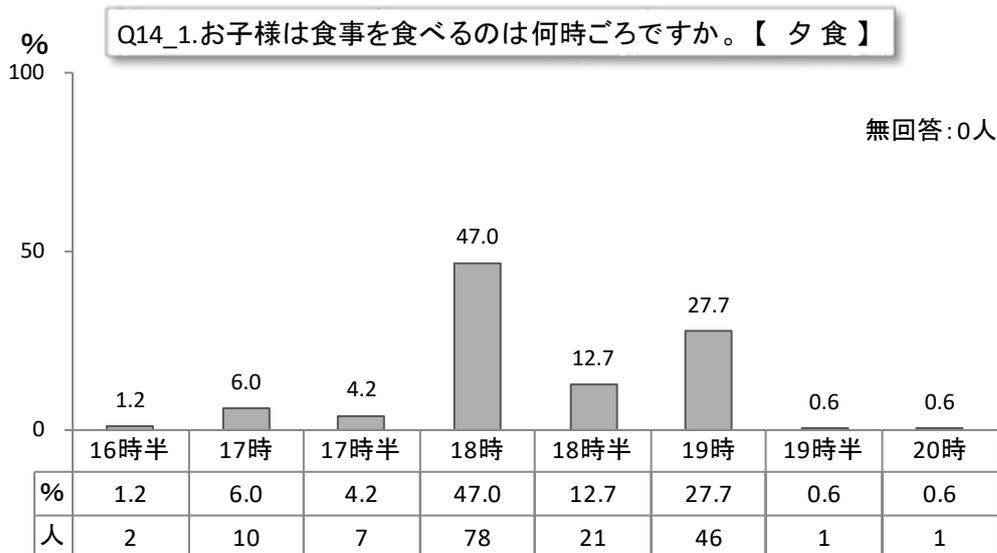
14-1. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べるのは何時ごろですか。平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

朝食 () 時 ころ

昼食 () 時 ころ

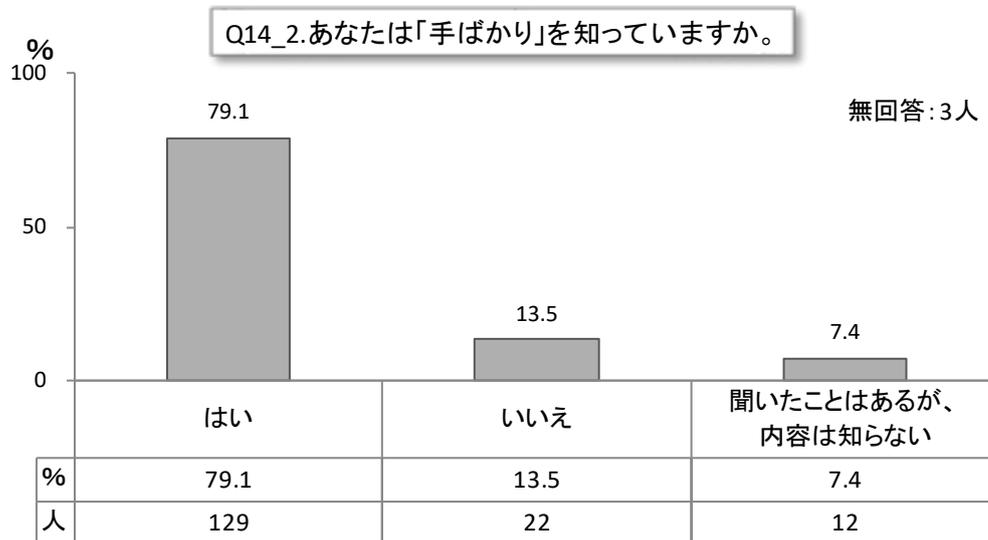
夕食 () 時 ころ





14-2. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

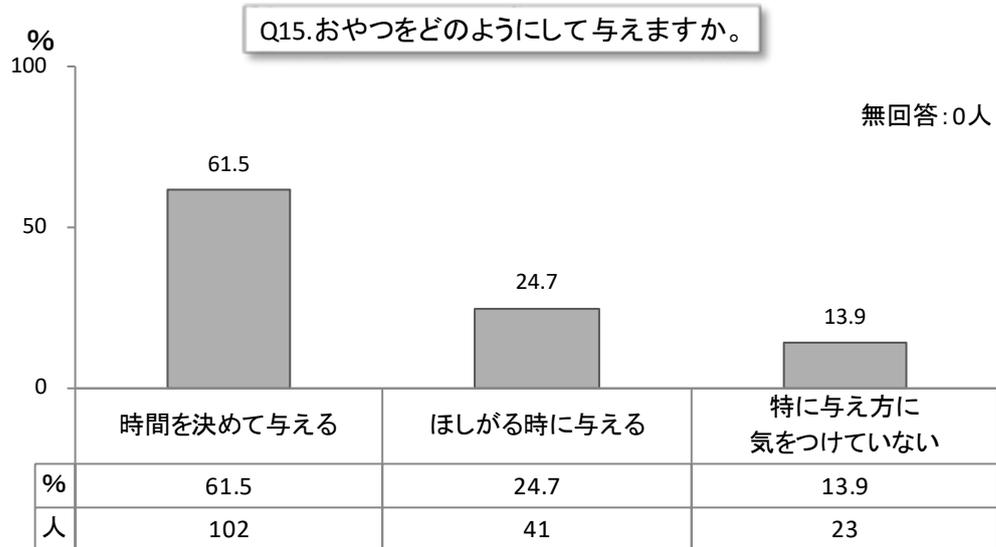
1. はい 2. いいえ 3. 聞いた事はあるが、内容は知らない



Q15. お子様のおやつ(食事以外のおかし、飲物、果物など)をどのようにして与えますか。

(保育園に行っているお子様は、園以外の場合についてご記入下さい。)

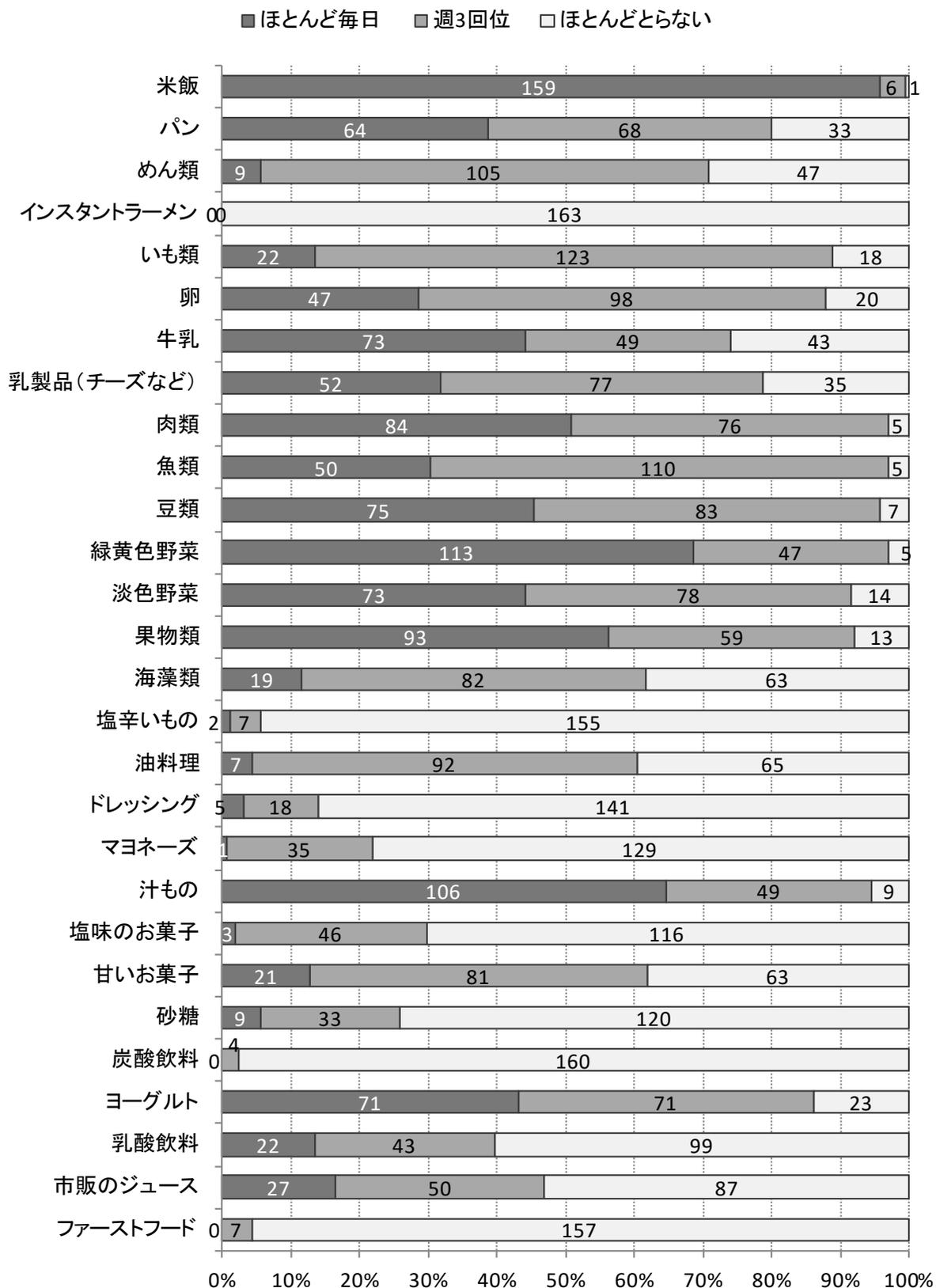
1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない



Q16. お子様の食事について、核当する番号に○をつけて下さい。

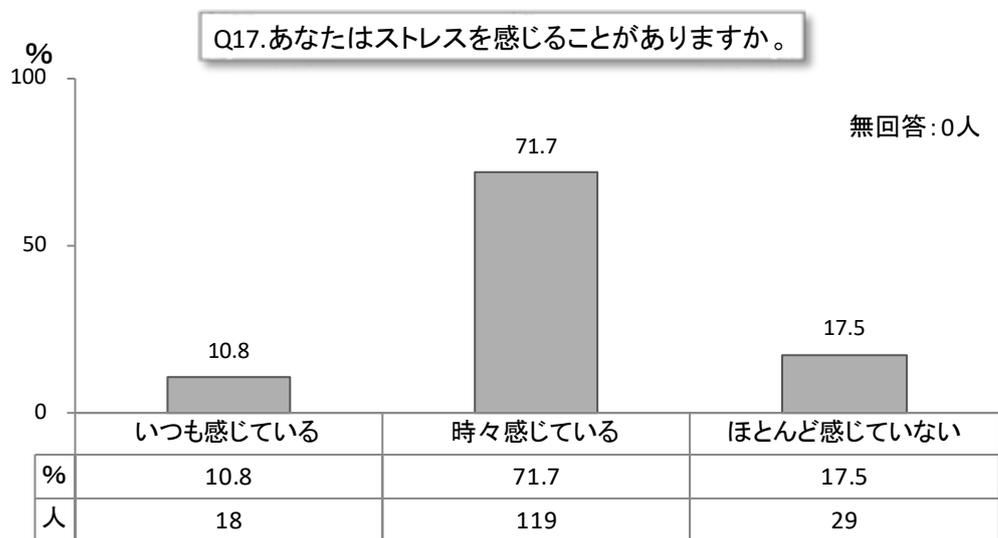
	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に入れる ものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

Q16.お子様の食事について該当する番号に○をつけて下さい。



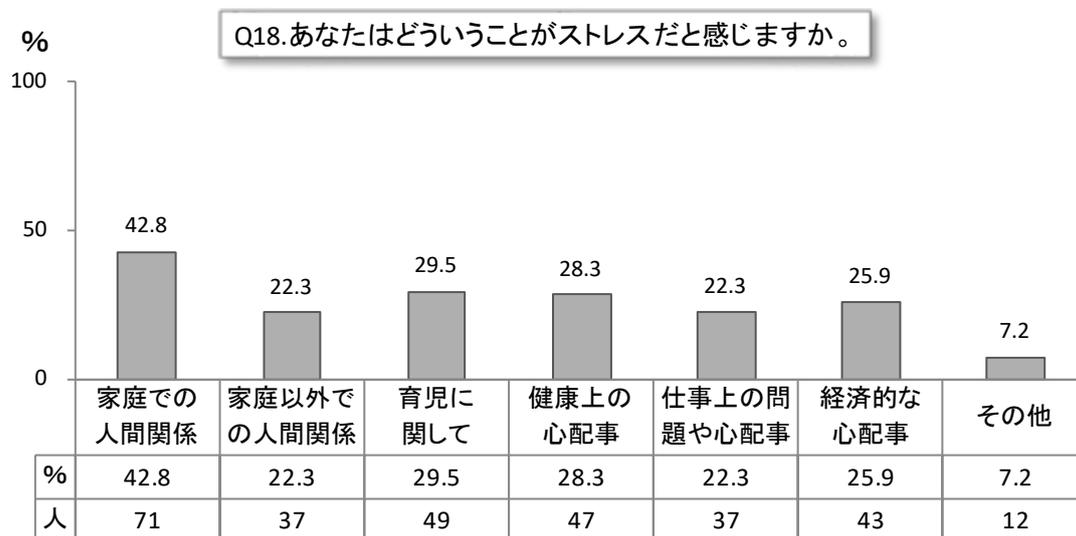
Q 17. あなたはストレスを感じるがありますか。

1. いつも感じている
2. 時々感じている
3. ほとんど感じていない

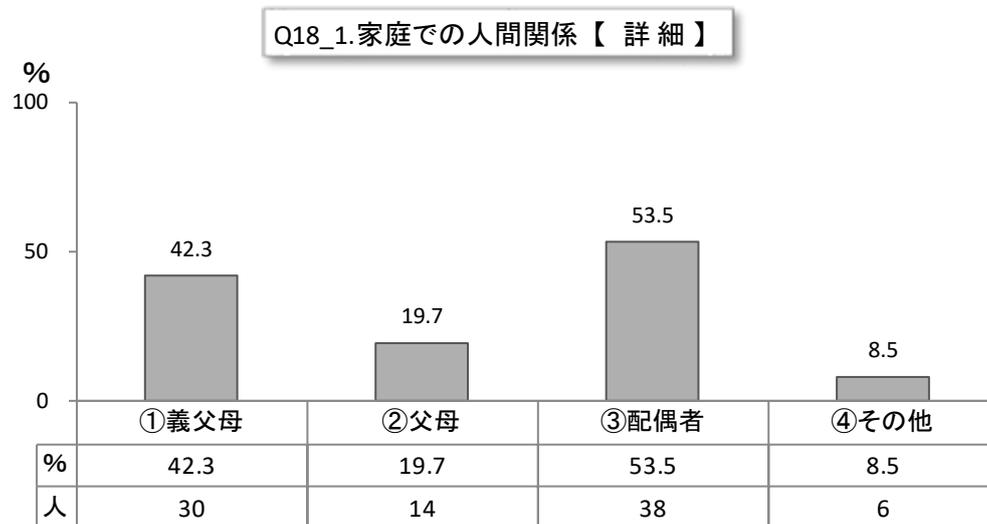


Q18. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることにすべてに○をつけてください。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

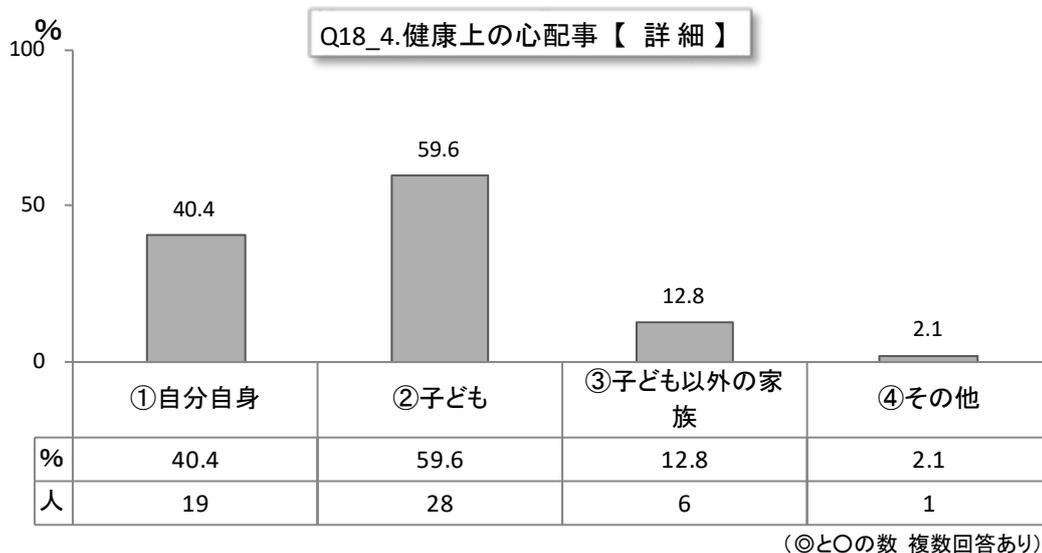
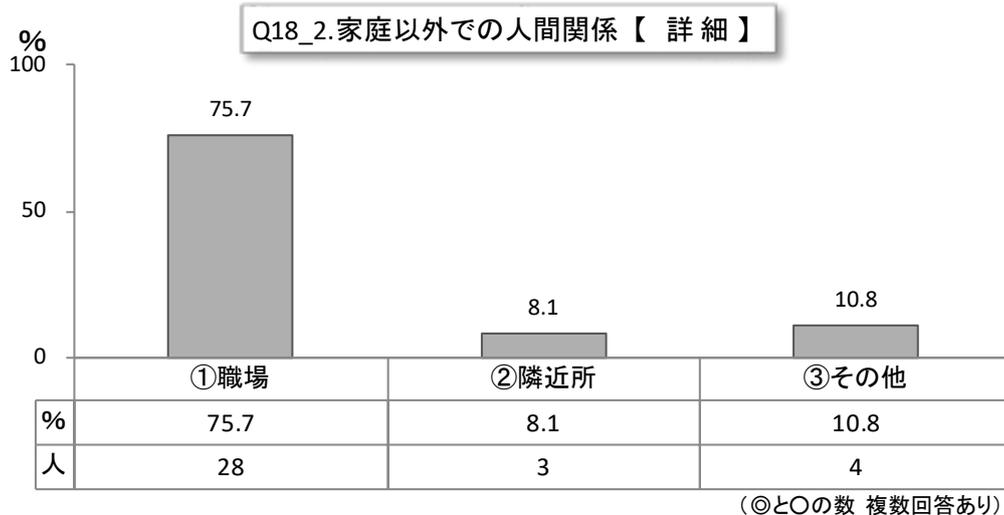
1. 家庭での人間関係
 - ①義父母
 - ②父母
 - ③配偶者
 - ④その他 ()
2. 家庭以外での人間関係
 - ①職場
 - ②隣近所
 - ③その他 ()
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事
 - ①自分自身
 - ②子ども
 - ③子ども以外の家族
 - ④その他 ()
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 ()



(◎と○の数 複数回答あり)

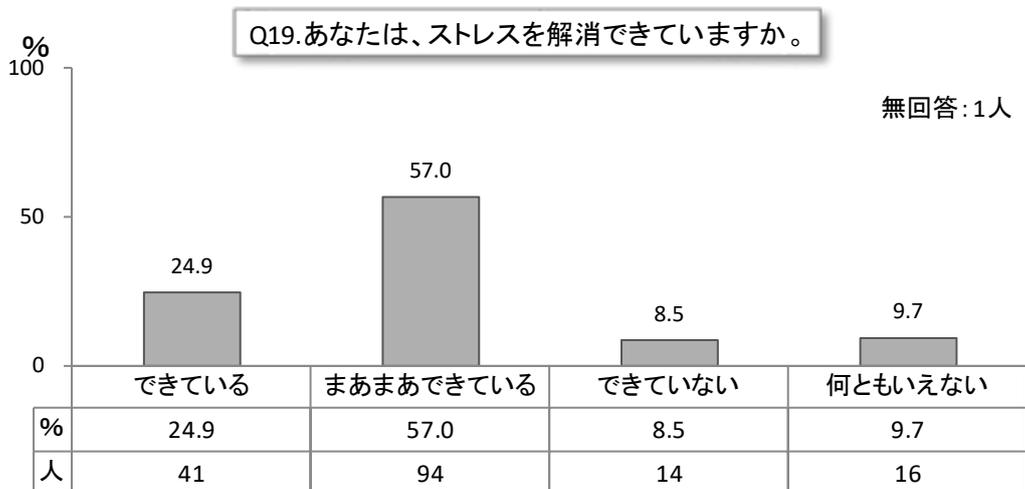


(◎と○の数 複数回答あり)



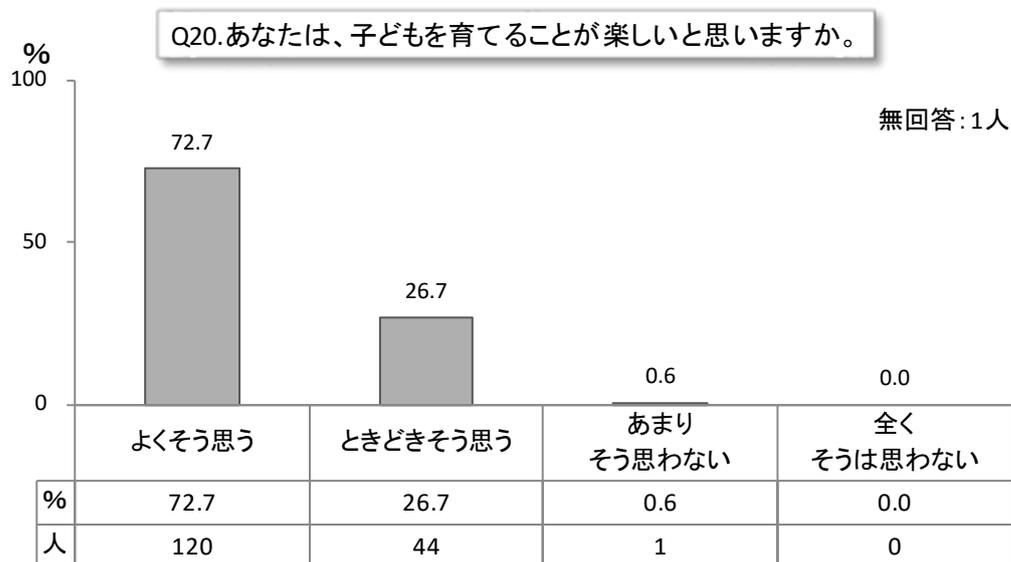
Q19. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている 2. まあまあできている 3. できていない 4. 何ともいえない



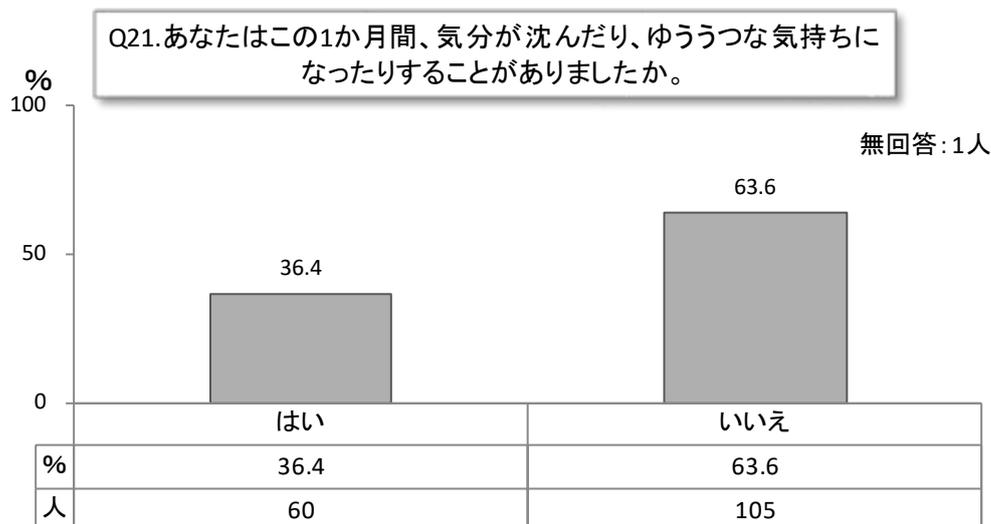
Q20. あなたは、子どもを育てることが楽しいと思いますか。

- 1. よくそう思う
- 2. ときどきそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. 全くそうは思わない



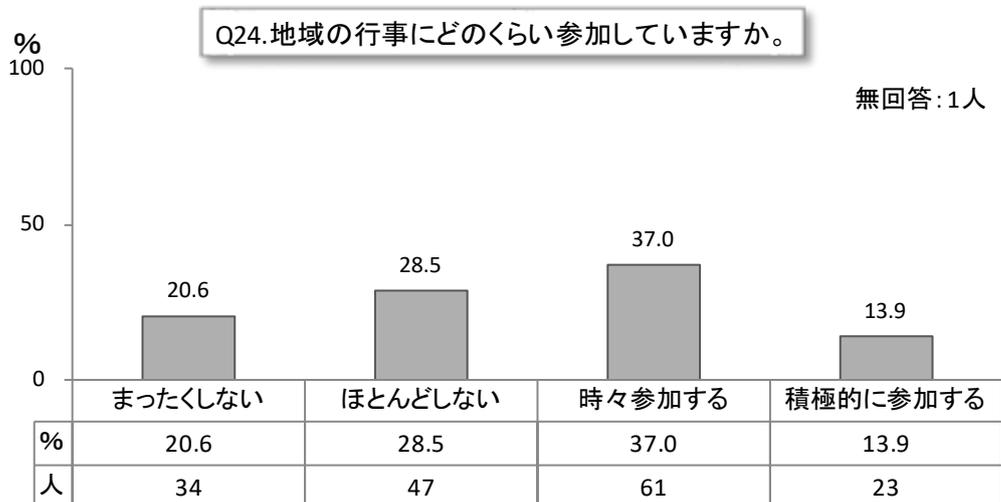
Q21. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

- 1. はい
- 2. いいえ



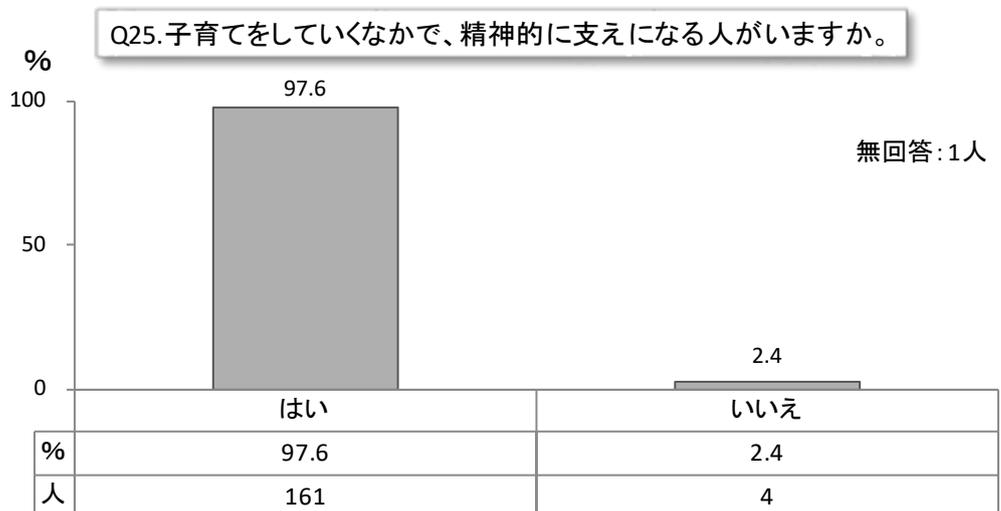
Q24. 地域の行（区や組の行事）にどのくらい参加していますか。

- 1. まったくしない
- 2. ほとんどしない
- 3. 時々参加する
- 4. 積極的に参加する



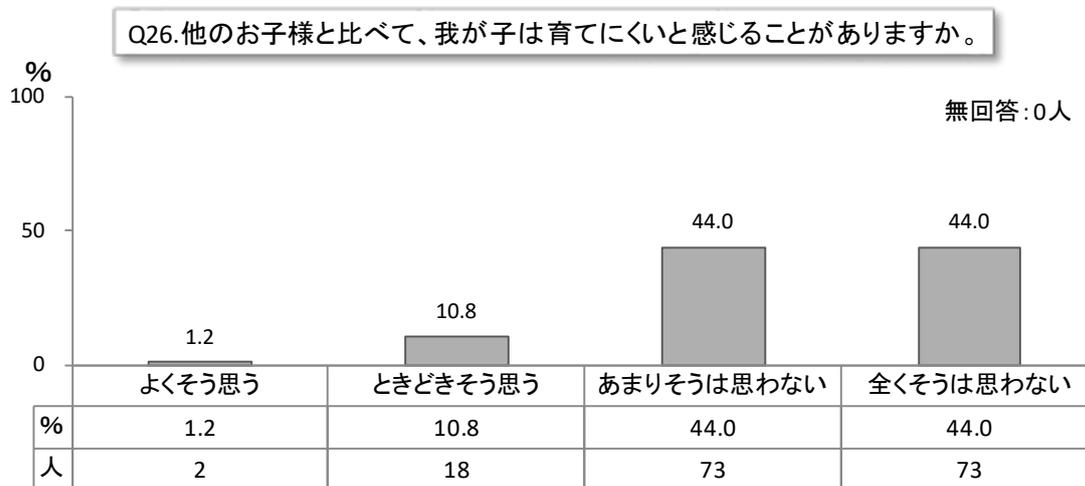
Q25. 子育てをしていくなかで、あなたにとって誰か精神的に支えになる人がいますか。

- 1. はい
- 2. いいえ



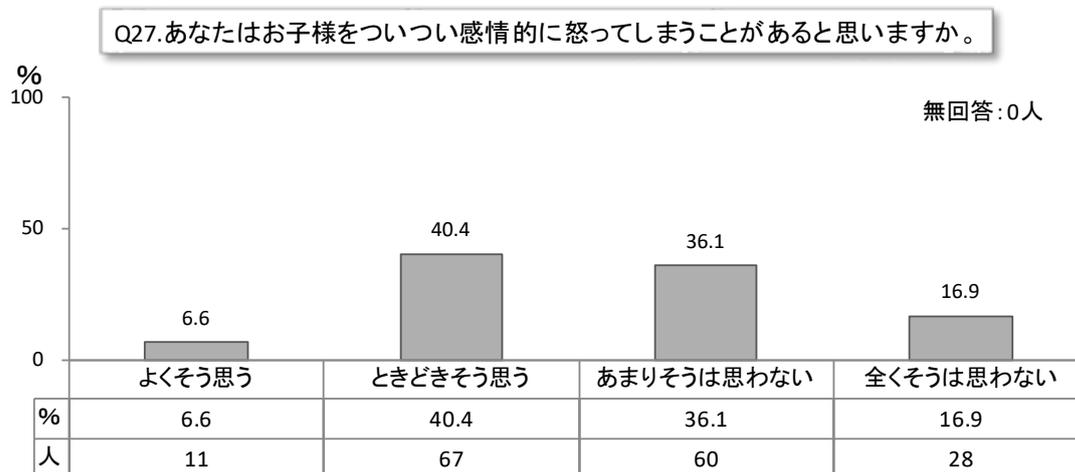
Q26. あなたは他のお子様と比べて、(我が子は) 育てにくいと感じることがありますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない



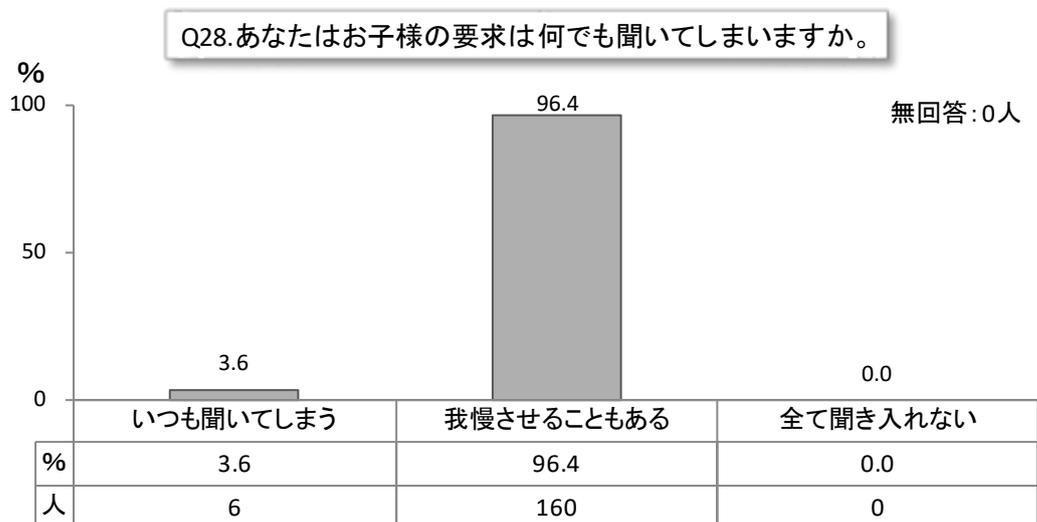
Q27. あなたはお子様をつい感情に怒ってしまうことがあると思いますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない



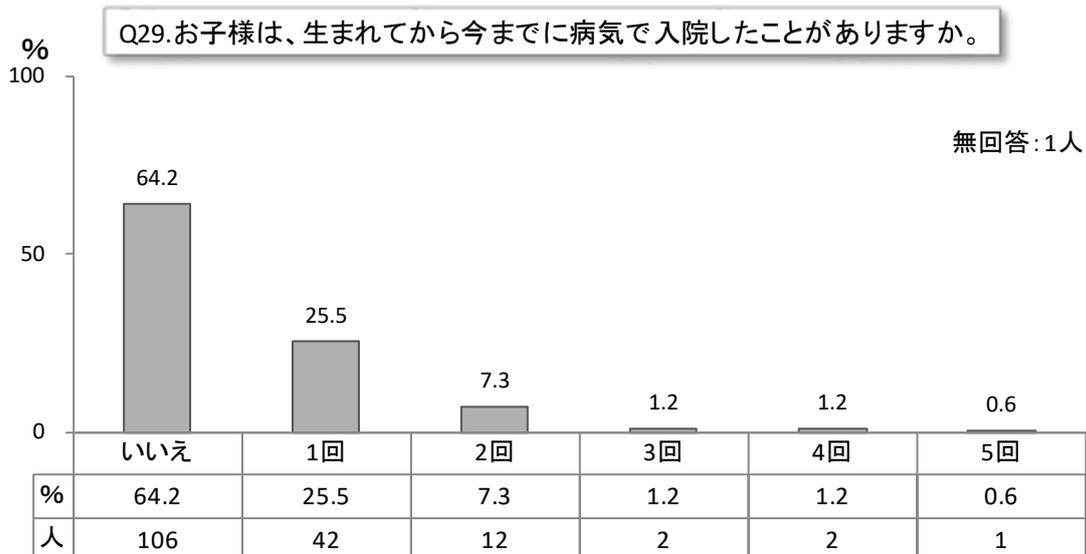
Q28. あなたはお子様の要求は何でも聞いてしまいますか。

1. いつも聞いてしまう
2. 我慢させることもある
3. 全て聞き入れない



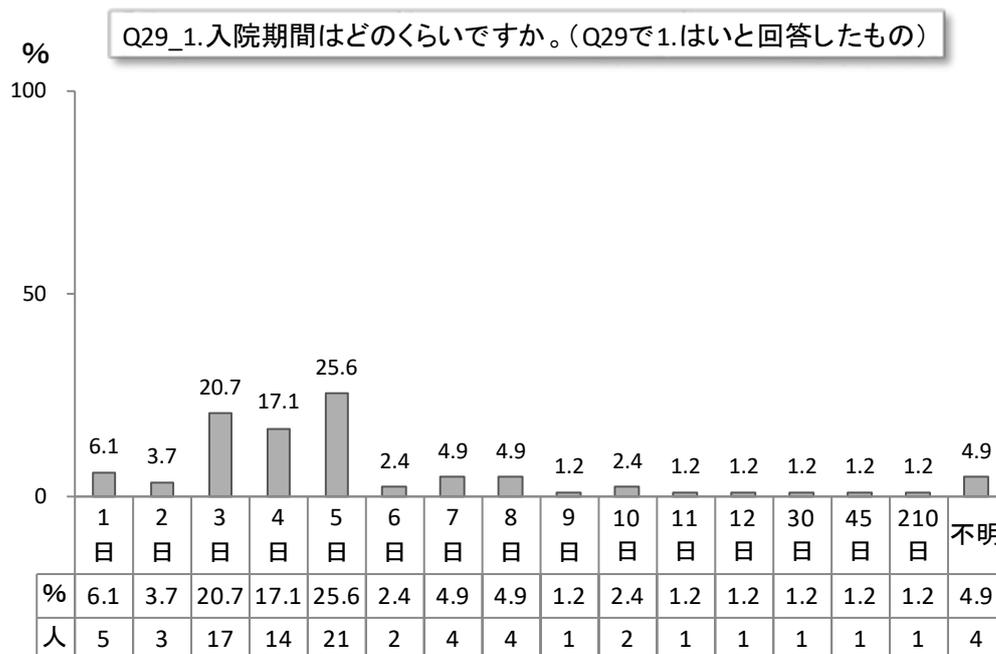
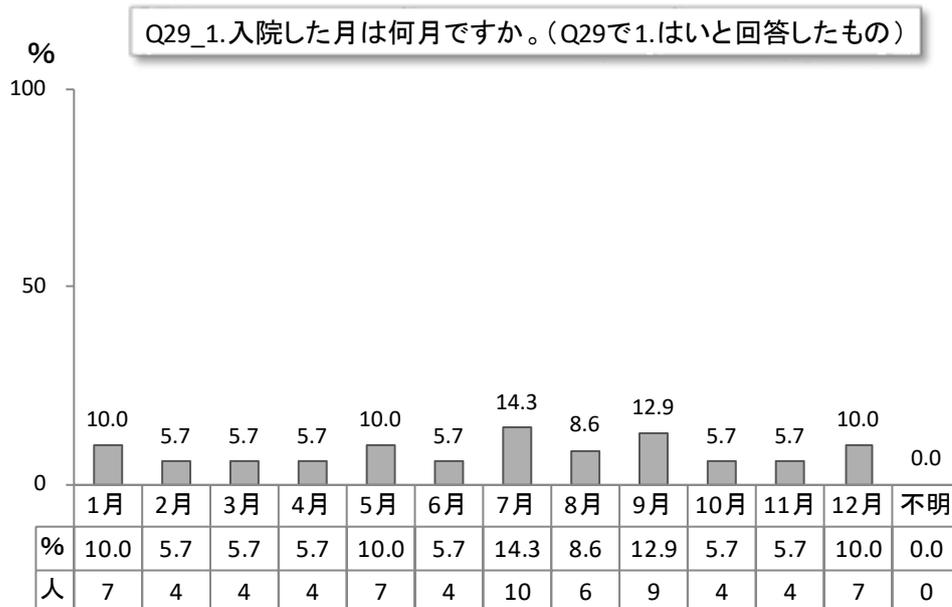
Q29. お子様は、生まれてから今までに病気で入院したことがありますか。

1. はい (回)
2. いいえ



29-1. 上記で「1. はい」と答えた方は、その時の詳しい内容をご記入ください。

	1回目	2回目	3回目
入院年月日	年 月 日頃	年 月 日頃	年 月 日頃
入院期間	(日間)	(日間)	(日間)
病名	()	()	()
医療機関名	()	()	()

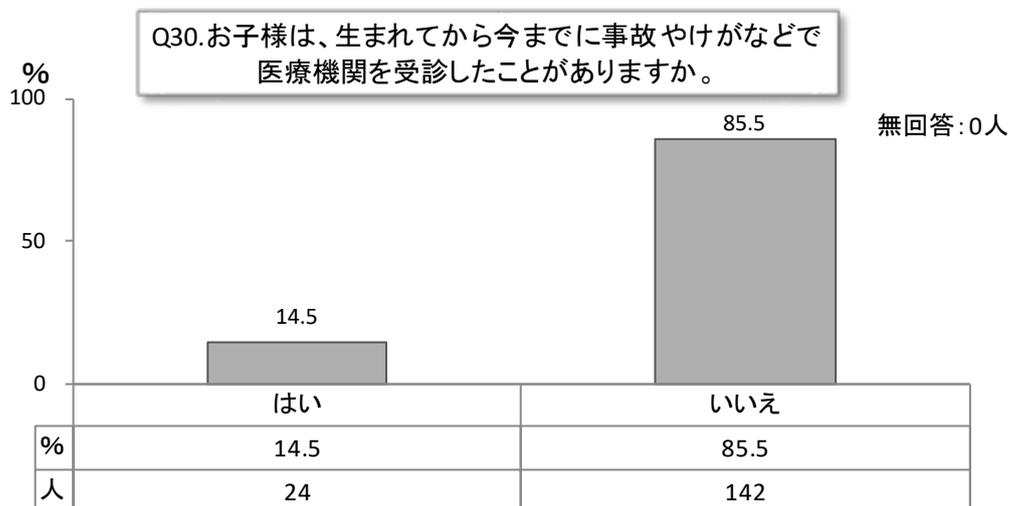


入院病名	人
肺炎	12
RSウイルス	11
熱性けいれん	7
気管支喘息	6
急性胃腸炎	5
急性気管支炎	4
尿路感染症	4
インフルエンザ	3
風邪	3
クループ性気管支炎	2
川崎病	2
アデノウイルス	1
いちご状血管腫	1
じんましん	1
そけいヘルニア	1
ノロウイルス	1
ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群	1
ヘルペス脳炎	1
ロタウイルス	1
急性気管支炎	1
色素性母斑	1
神経芽腫	1
早産	1
中耳炎	1
無熱性けいれん	1

Q30. お子様は、生まれてから今までに事故やけがなどで医療機関を受診したことがありますか。

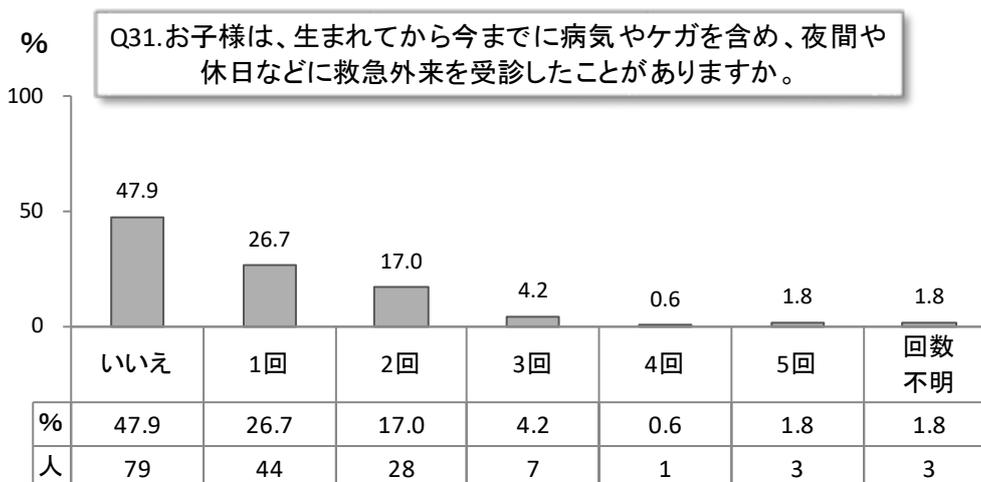
(注：タバコを飲んだ・頭をぶつけた・やけどをした・窒息・おぼれた・いろいろなけがなど。受診しても何も治療を受けなかった場合も含まれます。)

1. はい
2. いいえ



Q31. お子様は、生まれてから今までに病気やケガを含め、夜間や休日などに救急外来を受診したことがありますか。

1. はい (回)
2. いいえ

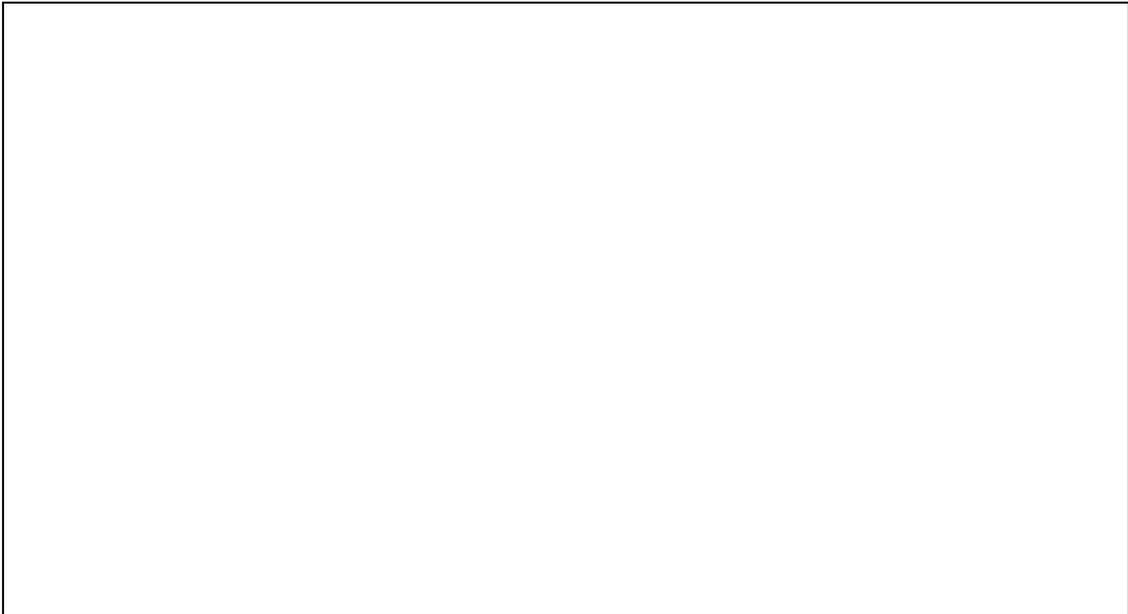


31-1. その時の病名と医療機関名は

病名 (またはその症状)	医療機関名
()	()
()	()
()	()
()	()

救急病名	人
発熱	27
風邪	15
急性胃腸炎	11
インフルエンザ	6
熱性けいれん	4
外傷	3
嘔吐	3
肺炎	2
RSウイルス	2
じんましん	2
ノロウイルス	2
咳嗽	2
その他	2
頭部打撲	2
足痛	2
突発性発疹	2
尿路感染症	1
気管支喘息	1
アデノウイルス	1
アレルギー	1
けいれん	1
そけいヘルニア	1
肘内障	1
伝染性紅斑	1
ヘルペス脳炎	1
神経芽腫	1
川崎病	1
脱臼	1
誤飲	1

今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、ご自由にお書きください。



以上です。ご協力ありがとうございました。

IV-3.3 歳児健診時

IV. 調査結果（3.3 歳児健診時）

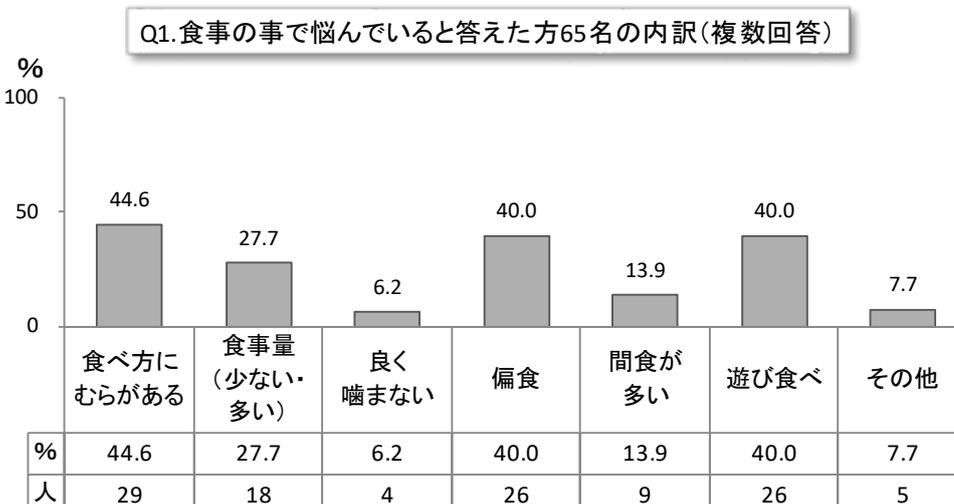
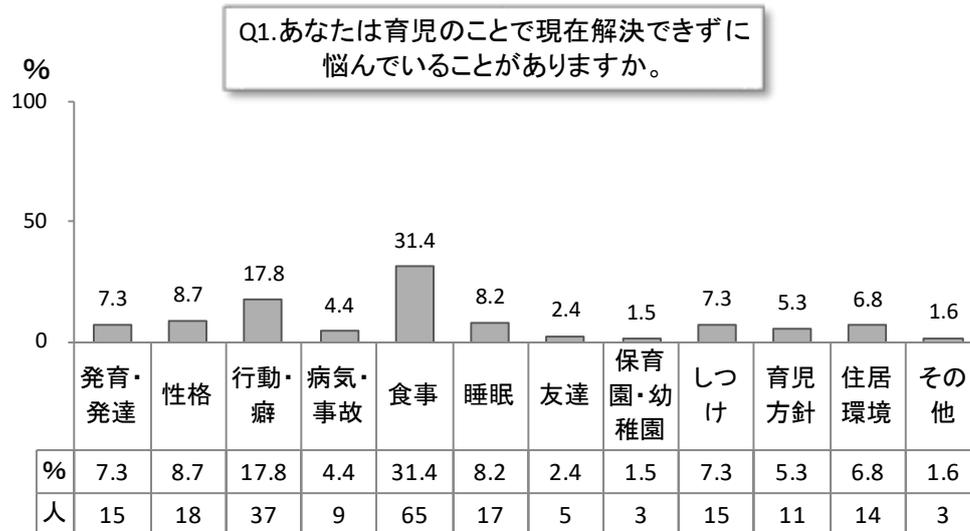
Q1. あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。

- ①発育・発達のこと 1. ない 2. ある ()
- ②性格のこと 1. ない 2. ある ()
- ③行動・癖のこと 1. ない 2. ある ()
- ④病気・事故のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑤食事のこと 1. ない 2. ある ()

あると答えた方はどのようなことですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

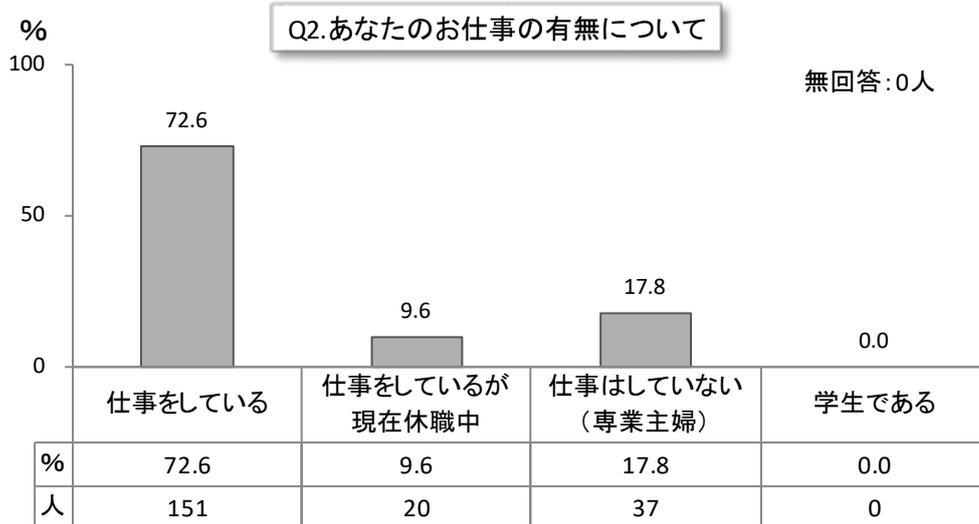
- 1. 食べ方にむらがある 2. 食事量 (少ない・多い) 3. 良く噛まない
- 4. 偏食 5. 間食が多い 6. 遊び食べ 7. その他 ()

- ⑥睡眠のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑦お友達のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑧保育園・幼稚園について 1. ない 2. ある ()
- ⑨しつけについて 1. ない 2. ある ()
- ⑩祖父母との育児方針 1. ない 2. ある ()
- ⑪住居環境のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑫その他 1. ない 2. ある ()



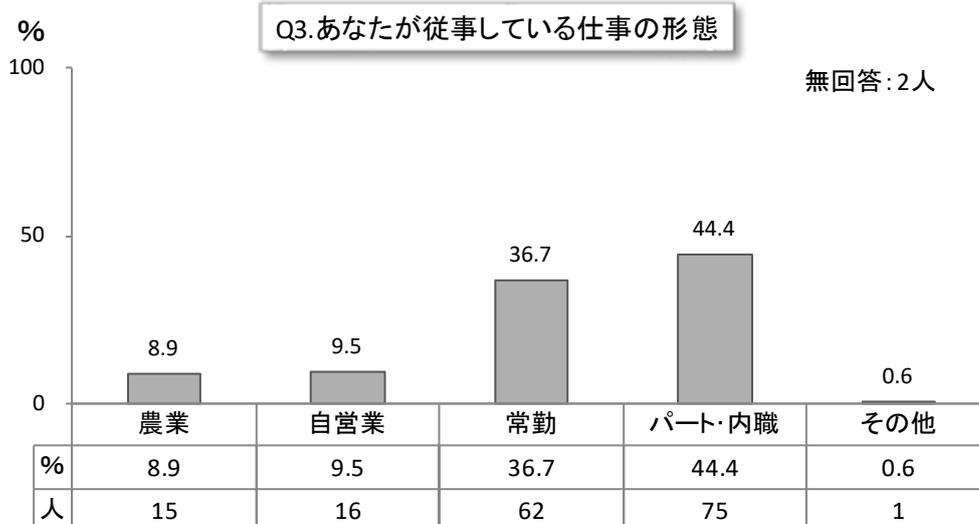
Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選び下さい。

- 1. 仕事をしている
 - 2. 仕事はしているが現在休職中である
 - 3. 仕事はしていない (専業主婦である)
 - 4. 学生である
- 3. 4. と答えた方は
Q4. へお進みください

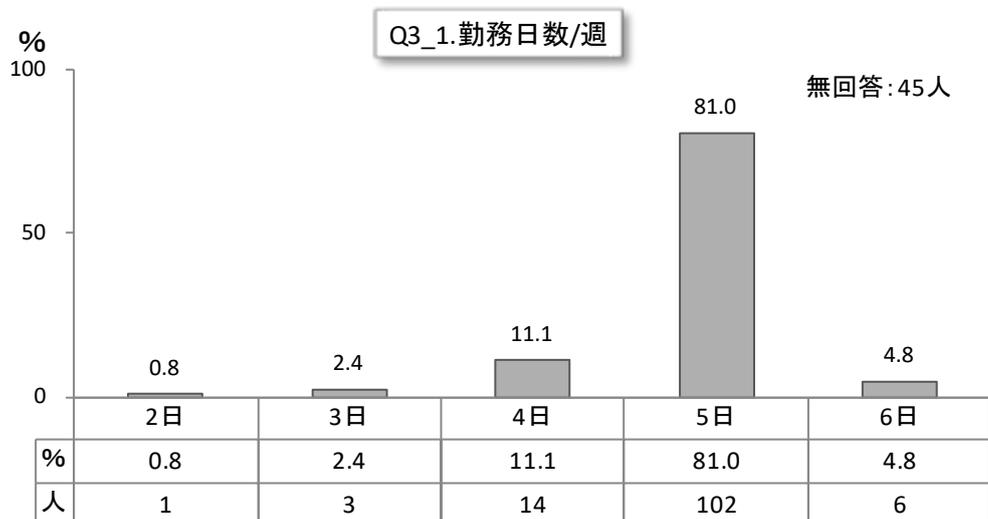
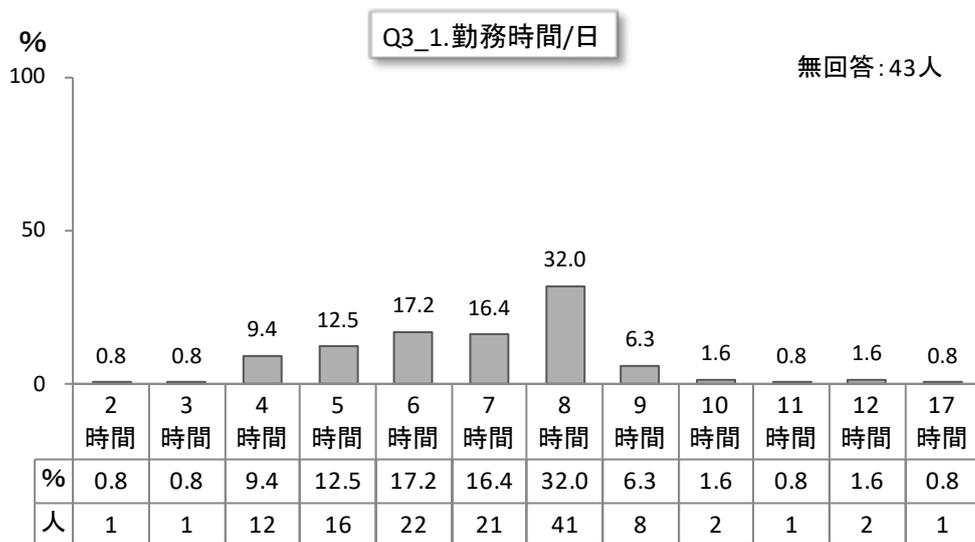


Q3. あなたが従事している仕事の形態を次の中からお選び下さい。

- 1. 農業
- 2. 自営業
- 3. 常勤
- 4. パート・内職
- 5. その他 ()

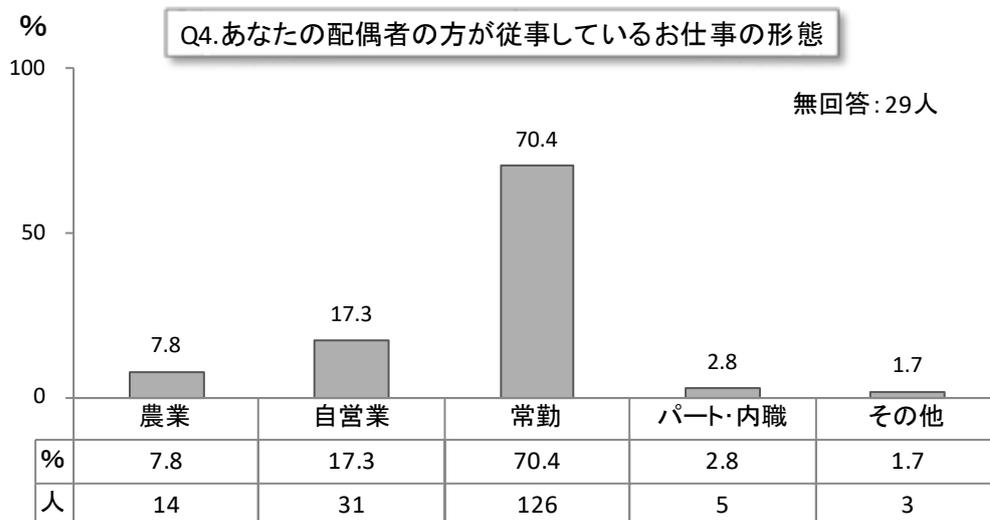


3-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

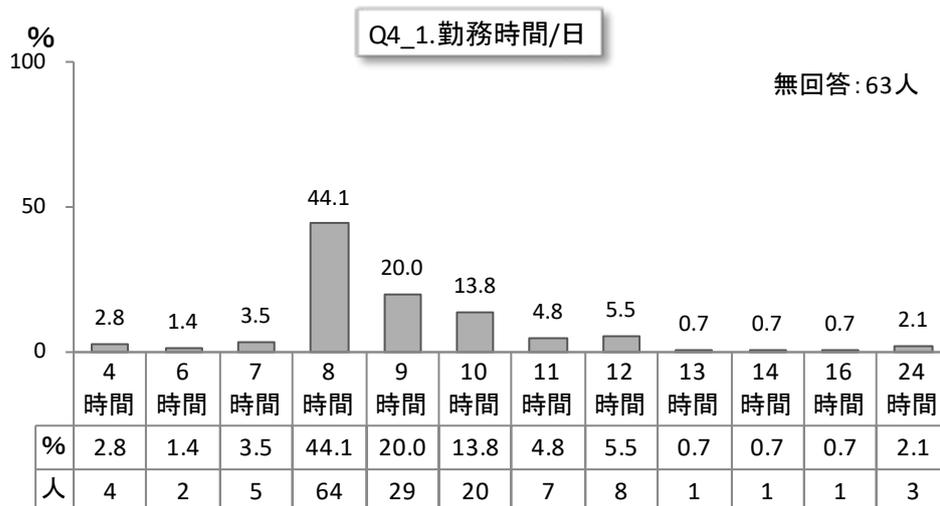


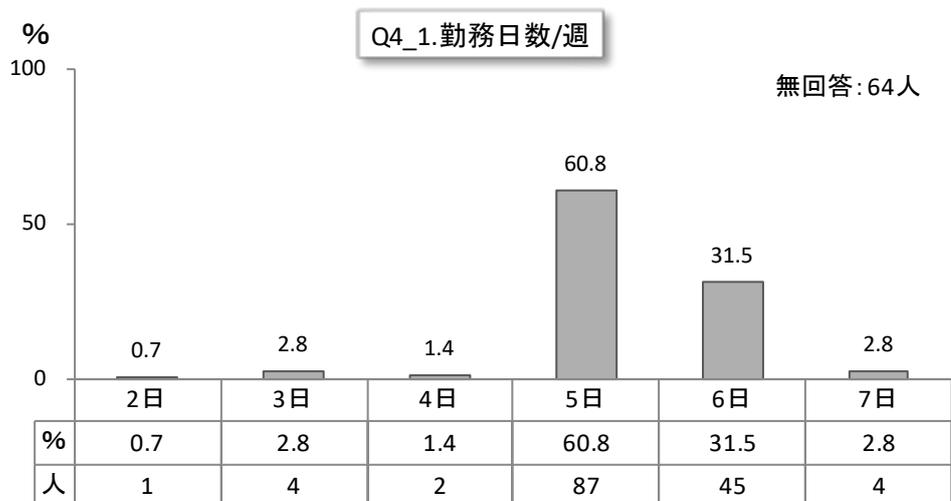
Q4. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中からお選び下さい。

1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
5. その他 ()

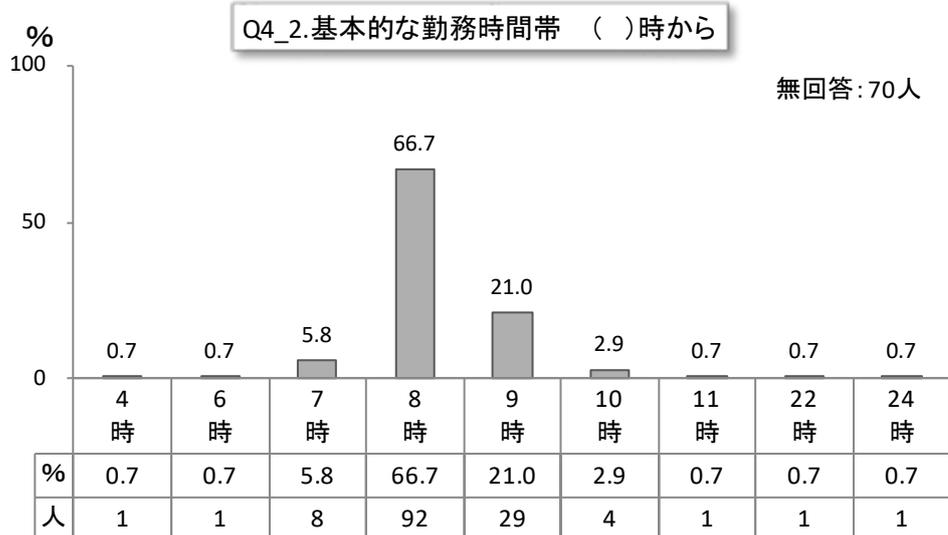


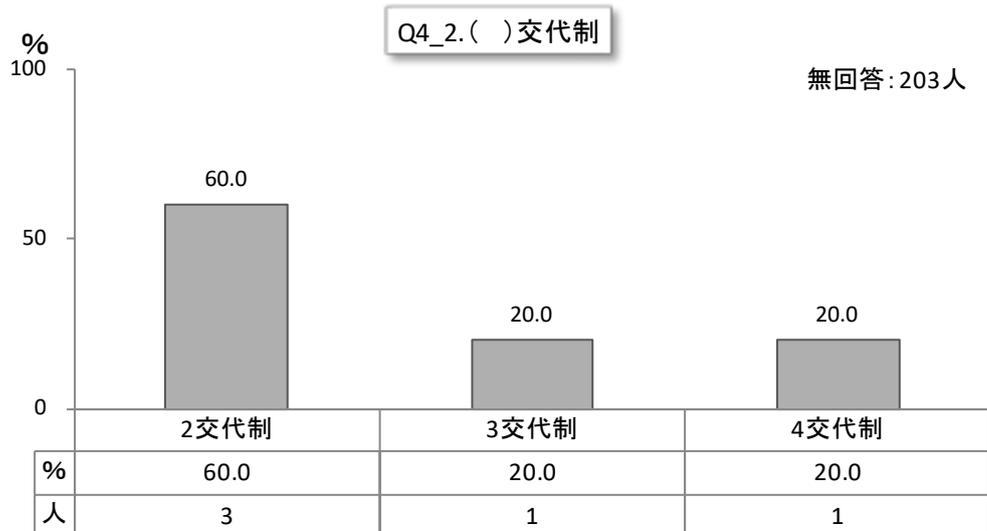
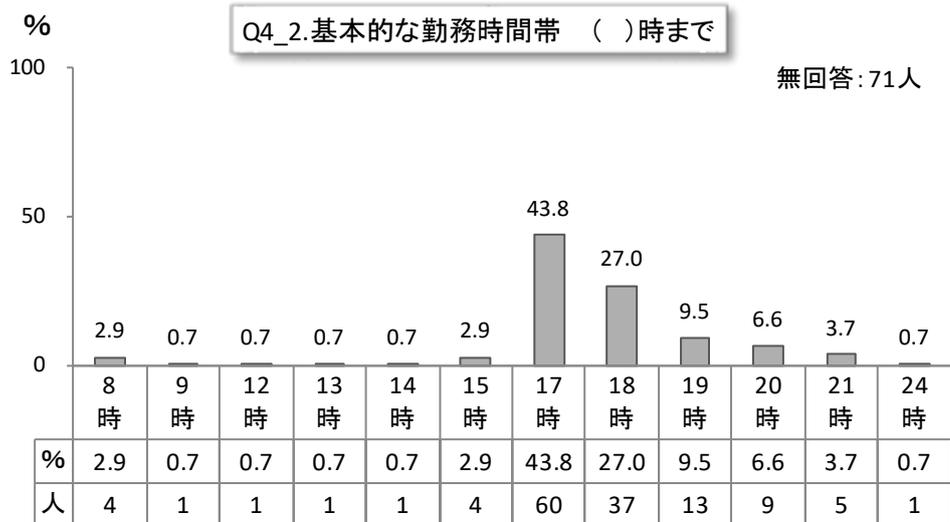
4-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務





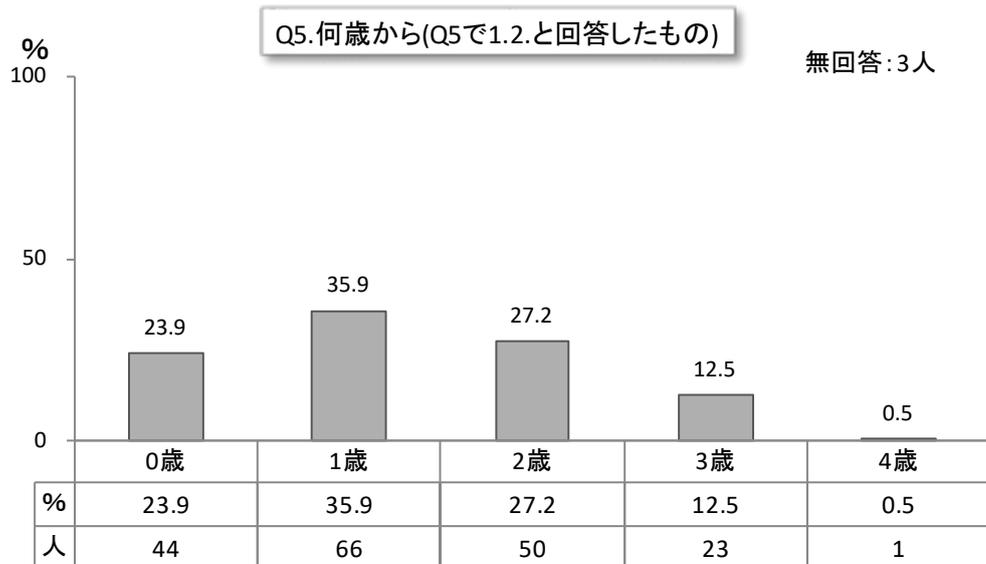
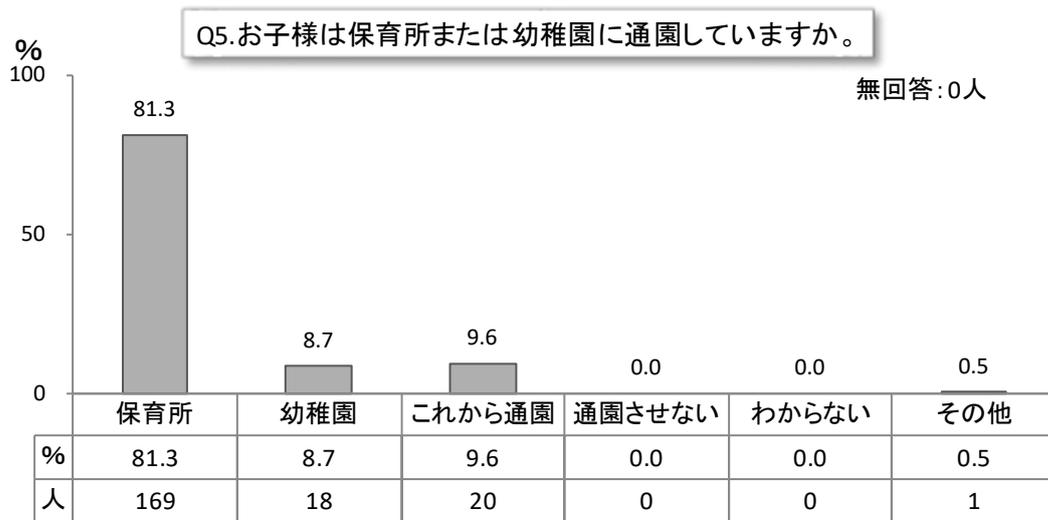
4-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。 () 時～ () 時 () 交代制





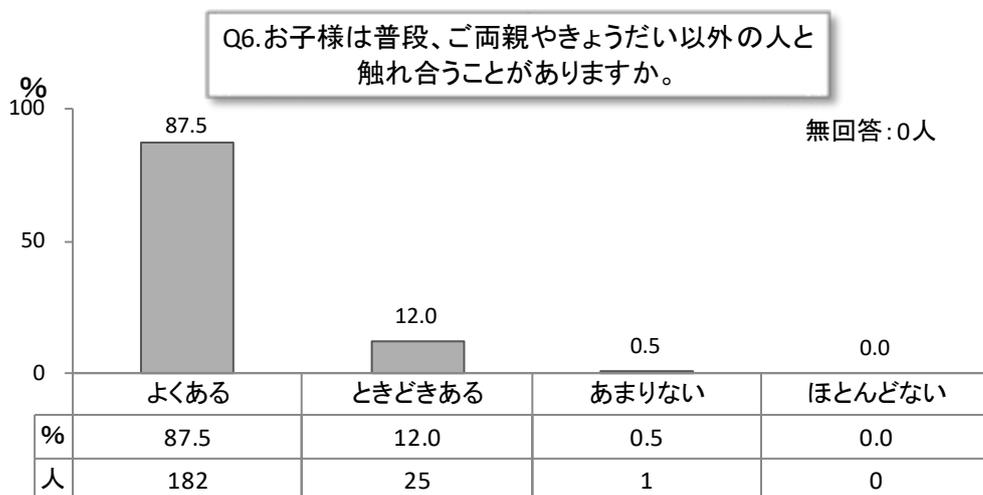
Q5. お子様は保育所または幼稚園に通園していますか。

1. 保育所に通園している (歳から)
2. 幼稚園に通園している (歳から)
3. 通園していないが、これから通園させたい (歳から)
4. ずっと通園させないつもりである
5. わからない／なんともいえない
6. その他



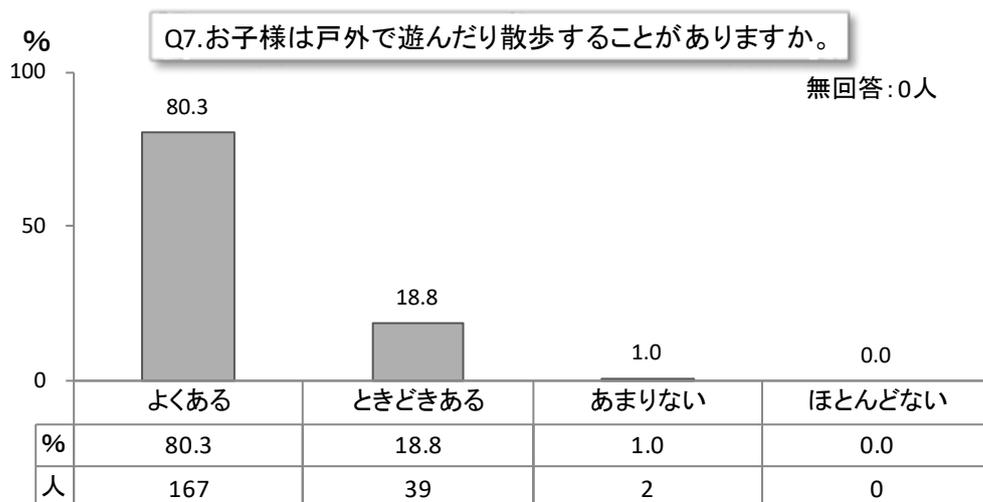
Q6. お子様は普段、ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. ほとんどない



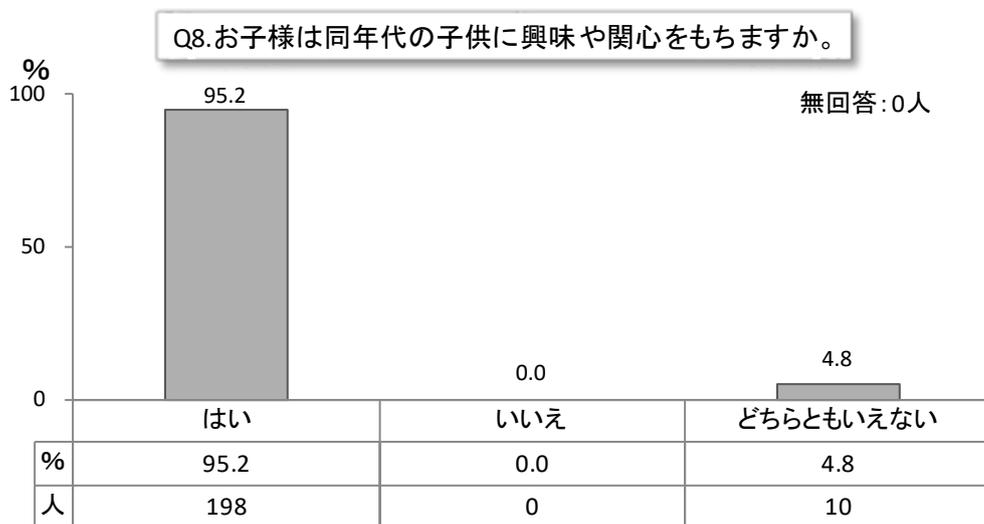
Q7. お子様は戸外で遊んだり散歩することがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. ほとんどない



Q8. お子様は同年代の子どもに興味や関心を持ちますか。

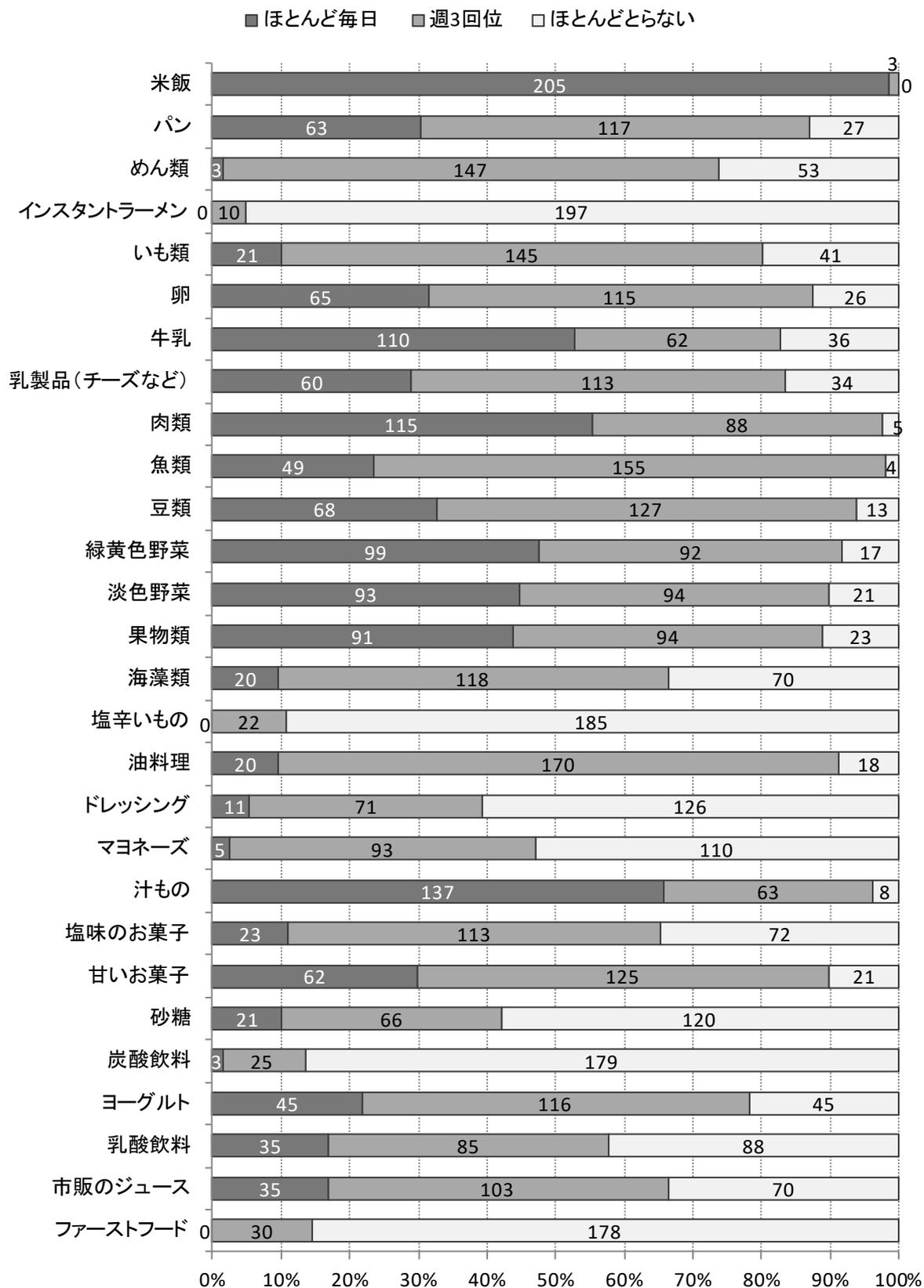
1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない



Q9. お子様の食事について、該当する番号に○をつけてください。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に 入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

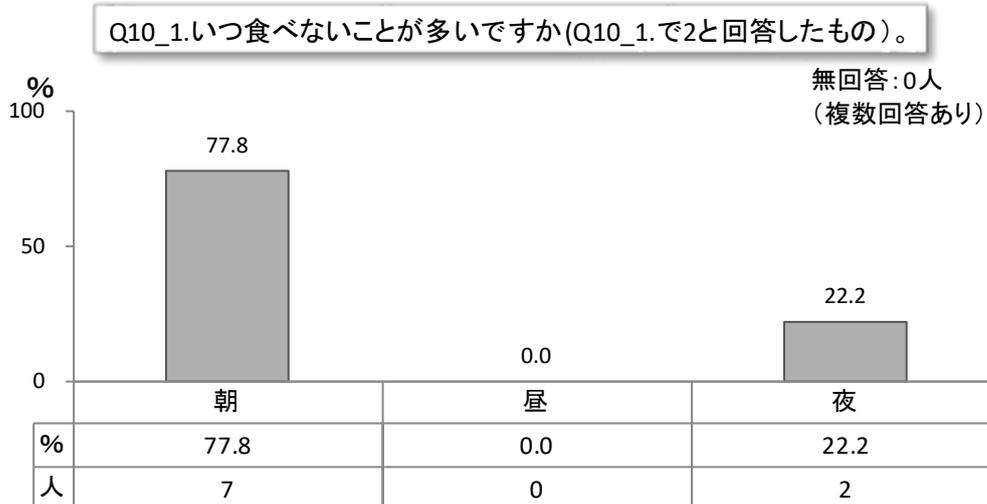
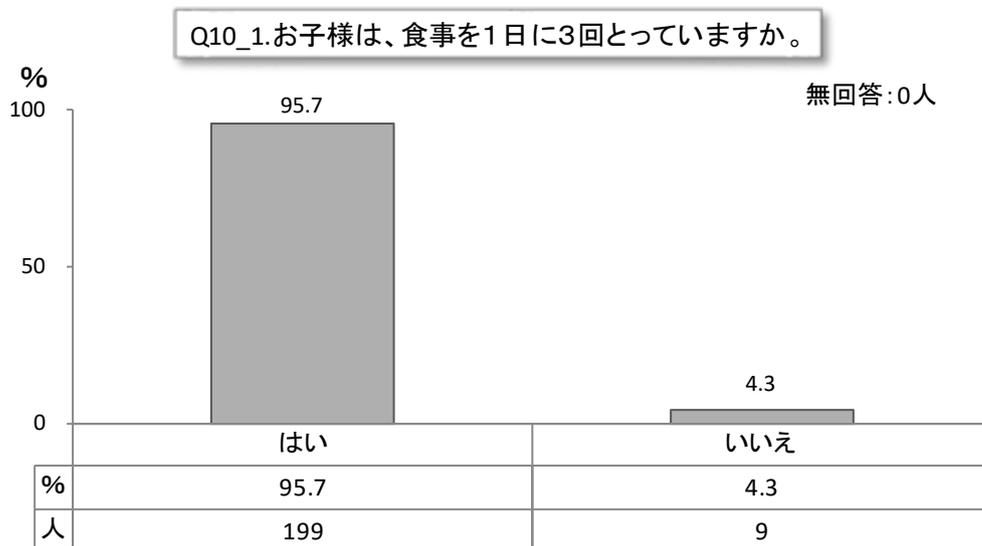
Q9.お子様の食事について該当する番号に○をつけて下さい。



Q10. お子様の食事について伺います。

10-1. お子様は、食事を1日に3回とっていますか。

1. はい
2. いいえ (いつ食べないことが多いですか： 朝 ・ 昼 ・ 夜)

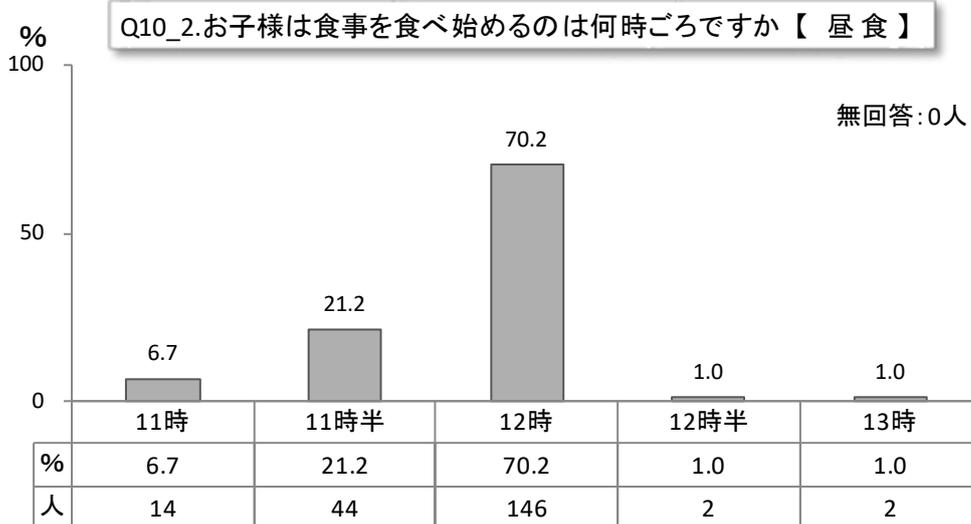
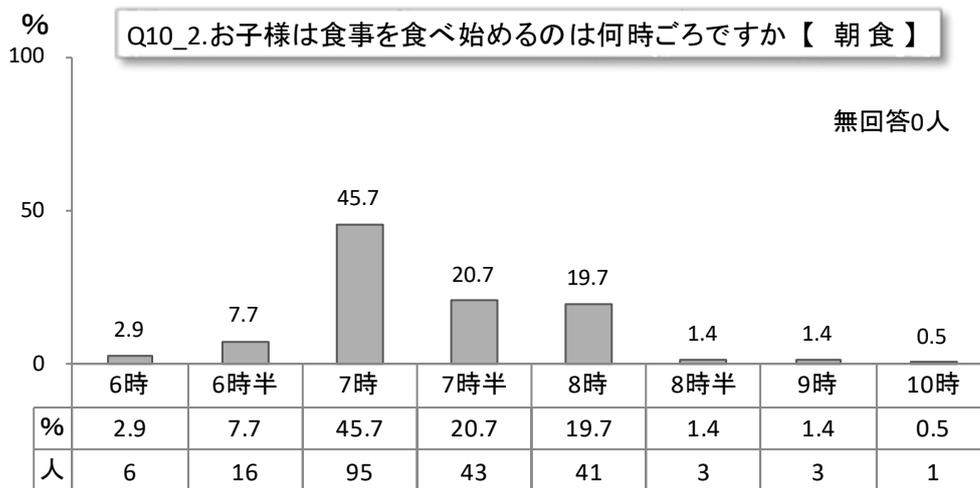


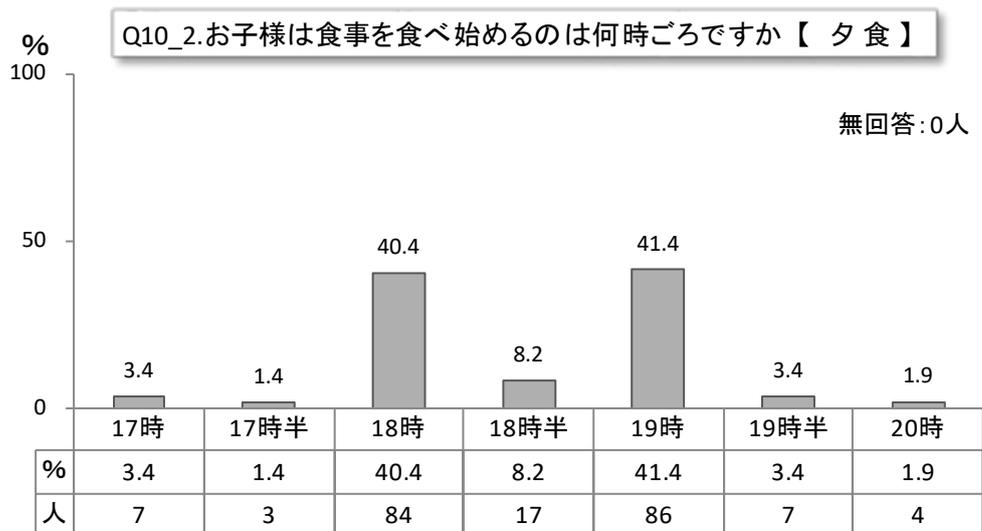
10-2. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べ始めるのは何時ごろですか。平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

朝食 () 時 ころ

昼食 () 時 ころ

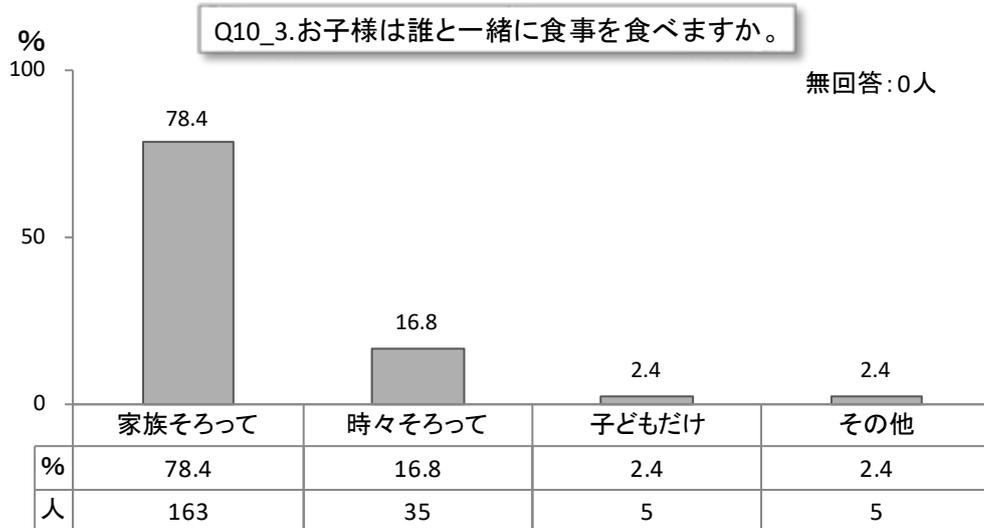
夕食 () 時 ころ





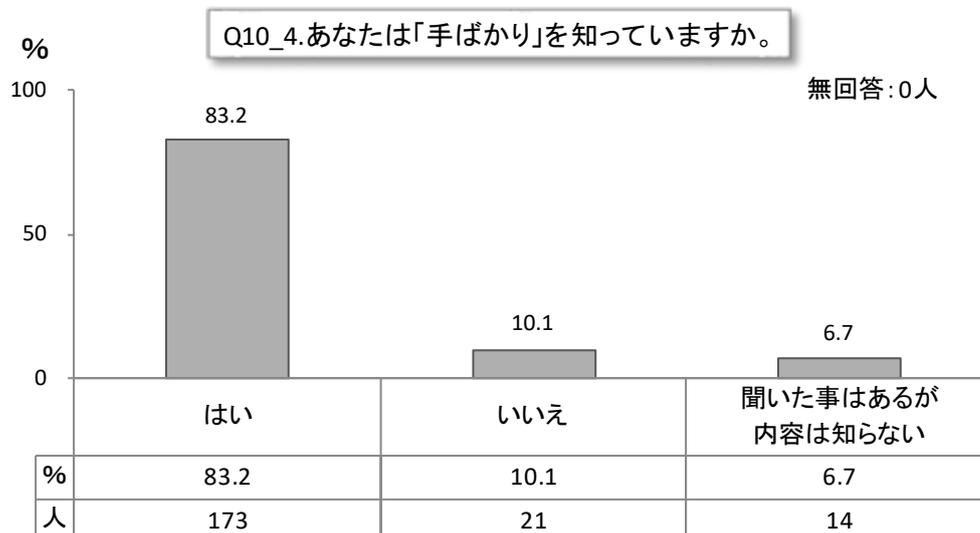
10-3. お子様は誰と一緒に食事を食べますか。

1. だいたい家族そろって
2. 時々家族そろって
3. だいたい子どもだけ
4. その他 ()



10-4. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

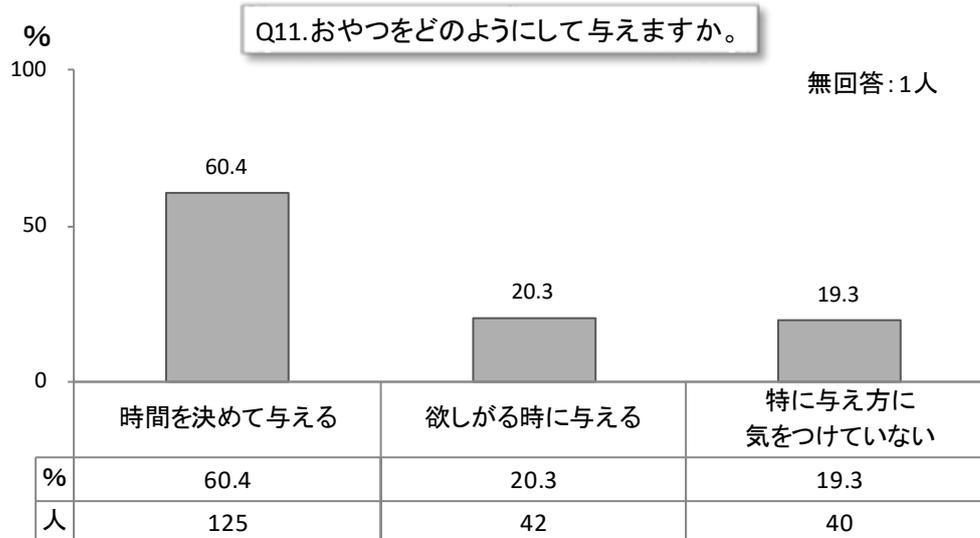
1. はい 2. いいえ 3. 聞いた事はあるが、内容は知らない



Q11. お子様のおやつ（食事以外のおかし、飲物、果物など）はどのようにして与えますか。

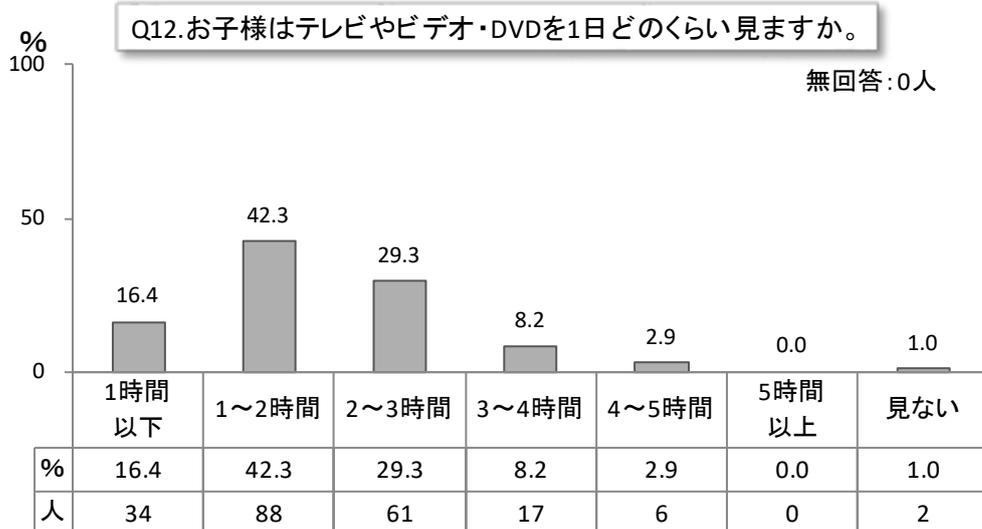
（保育園に行っているお子様は、園以外の場合についてご記入下さい）

1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない



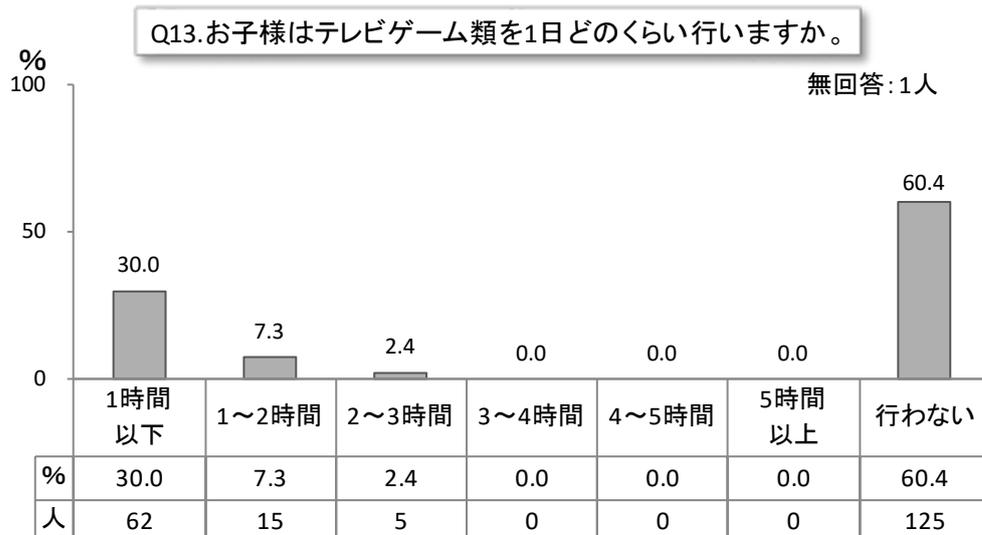
Q12. お子様はテレビやビデオ・DVD を一日どのくらい見ますか。

1. 1 時間以下 2. 1～2 時間 3. 2～3 時間 4. 3～4 時間
5. 4～5 時間 6. 5 時間以上 7. 見ない



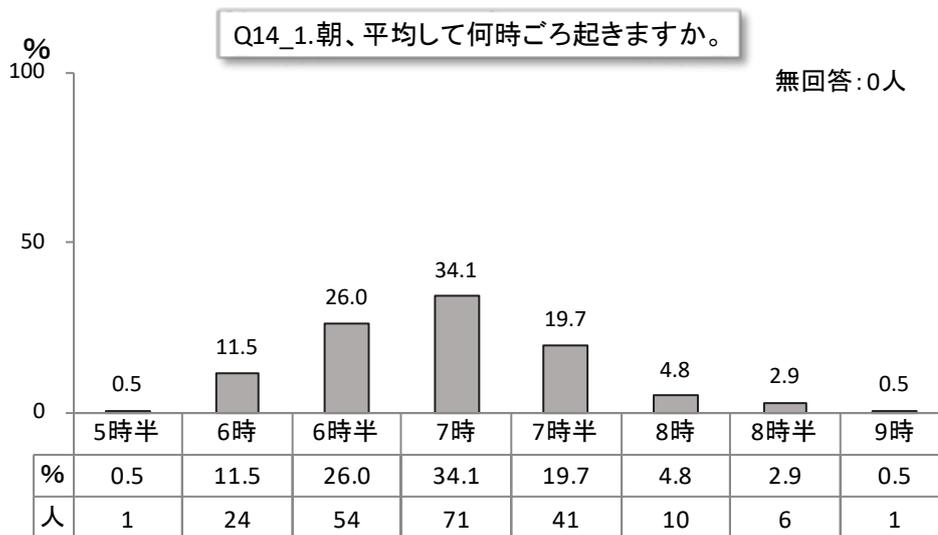
Q13. お子様はテレビゲーム類 (ゲームボーイ・携帯電話のゲーム・コンピューターゲーム等も含む) を一日どのくらい行いますか。

1. 1 時間以下 2. 1～2 時間 3. 2～3 時間 4. 3～4 時間
5. 4～5 時間 6. 5 時間以上 7. 行わない

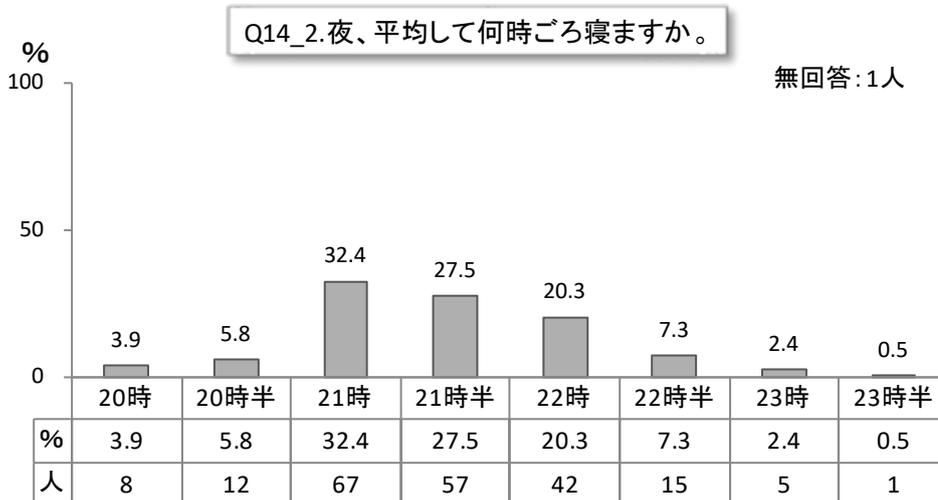


Q14. お子様の起床・就寝についてうかがいます。

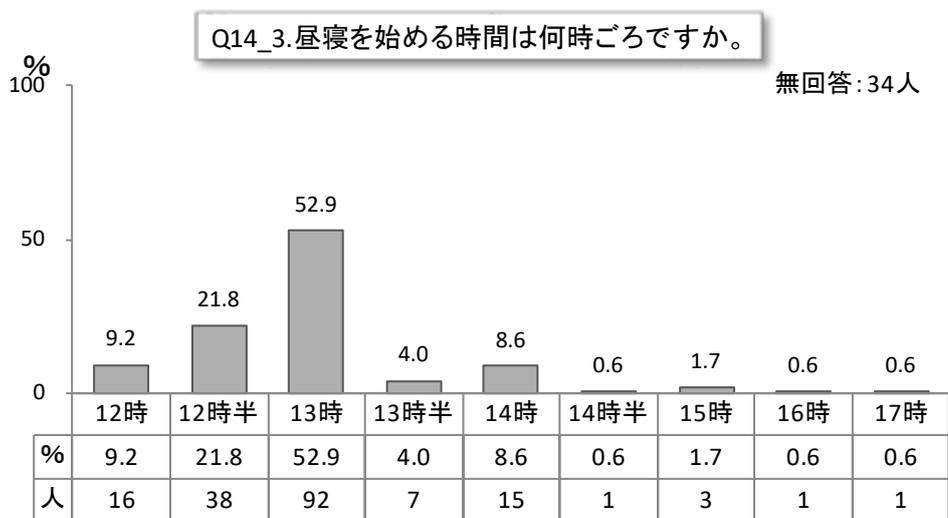
14-1. 朝、平均して何時ごろ起きますか () 時 () 分ころ



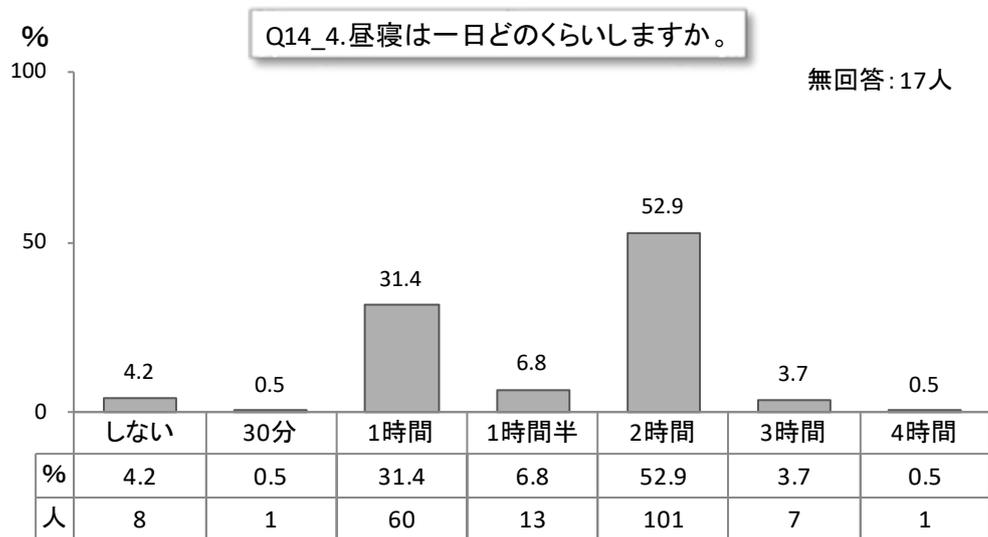
14-2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか () 時 () 分ころ



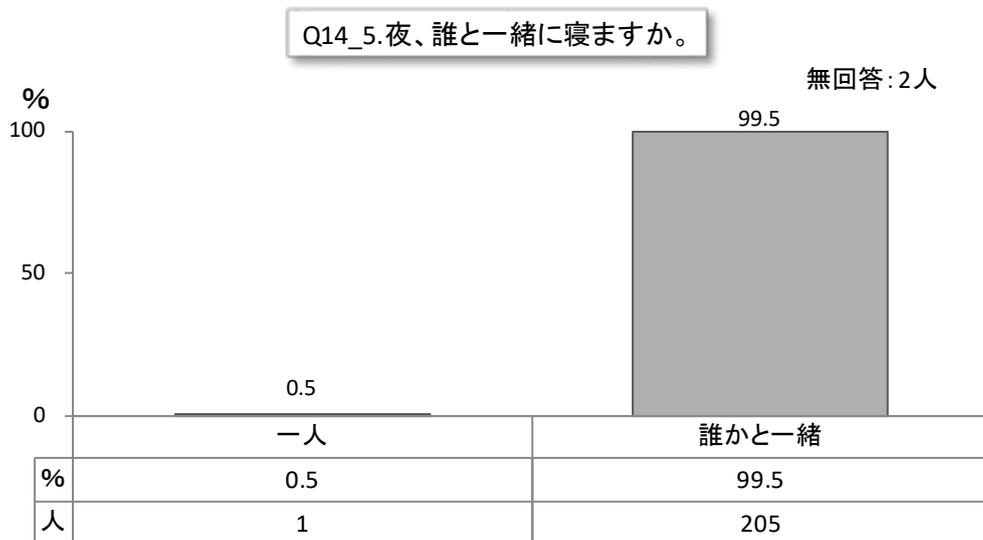
14-3. 昼寝を始める時間は何時ごろですか () 時 () 分ころ



14-4. 昼寝は一日どのくらいしますか () 時間位

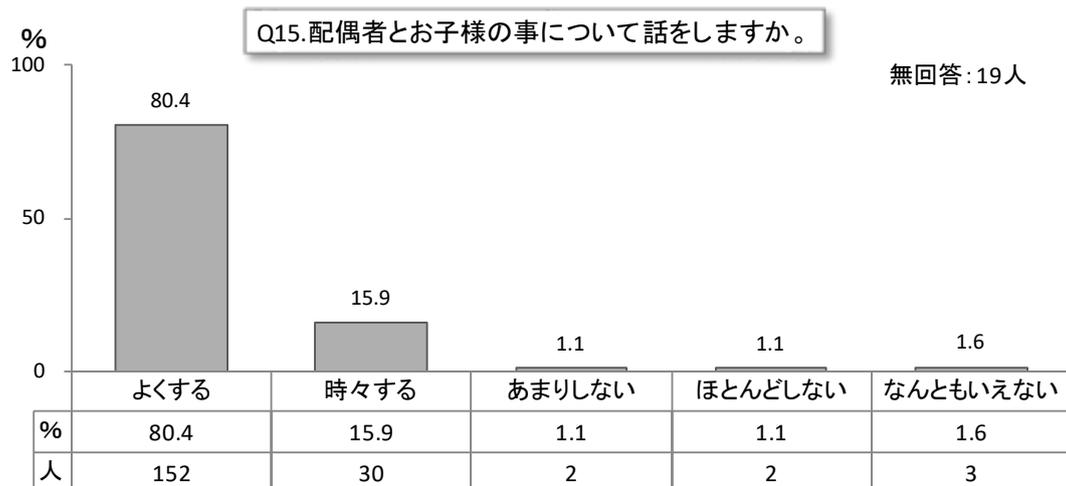


14-5. 夜、誰と一緒に寝ますか (誰 :)



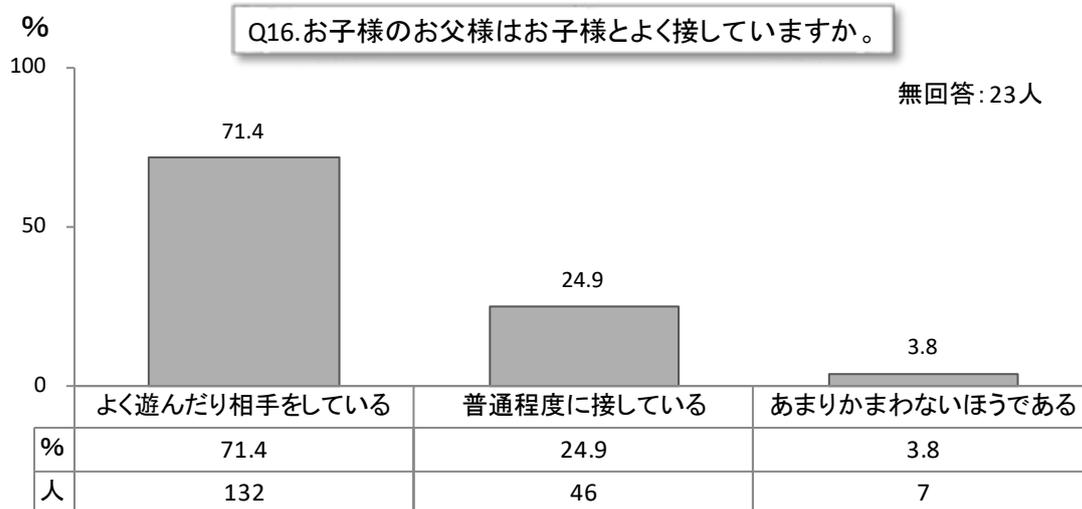
Q15. あなたは配偶者とお子様の事について話をしますか。

1. よくする
2. 時々する
3. あまりしない
4. ほとんどしない
5. なんともいえない



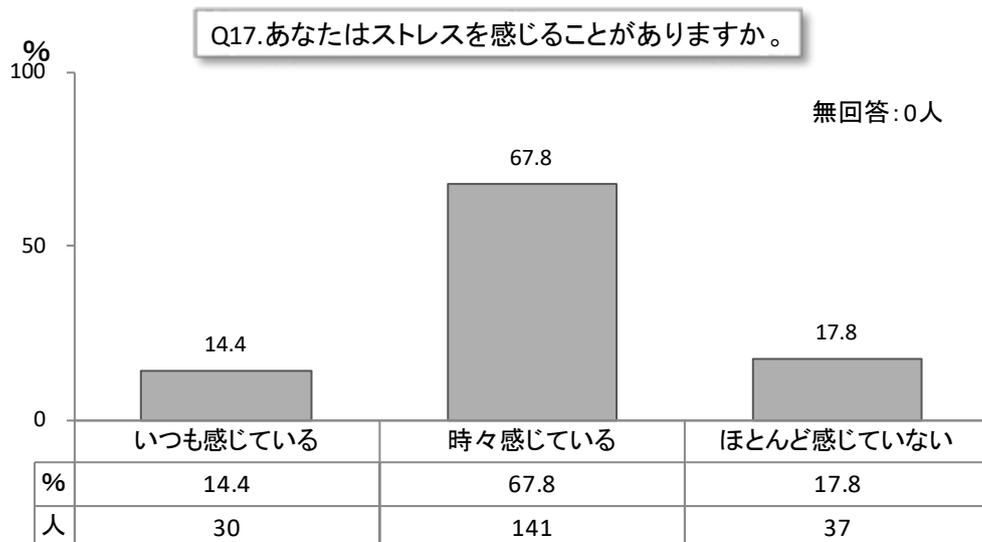
Q16. お子様のお父様はお子様とよく接していますか。

1. よく遊んだり、相手をしている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわないほうである



Q17. あなたはストレスを感じるがありますか。

1. いつも感じている
2. 時々感じている
3. ほとんど感じていない



Q18. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることにすべてに○をつけて下さい。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

1. 家庭での人間関係

①義父母 ②父母 ③配偶者 ④その他 ()

2. 家庭以外での人間関係

①職場 ②隣近所 ③その他 ()

3. 育児に関して

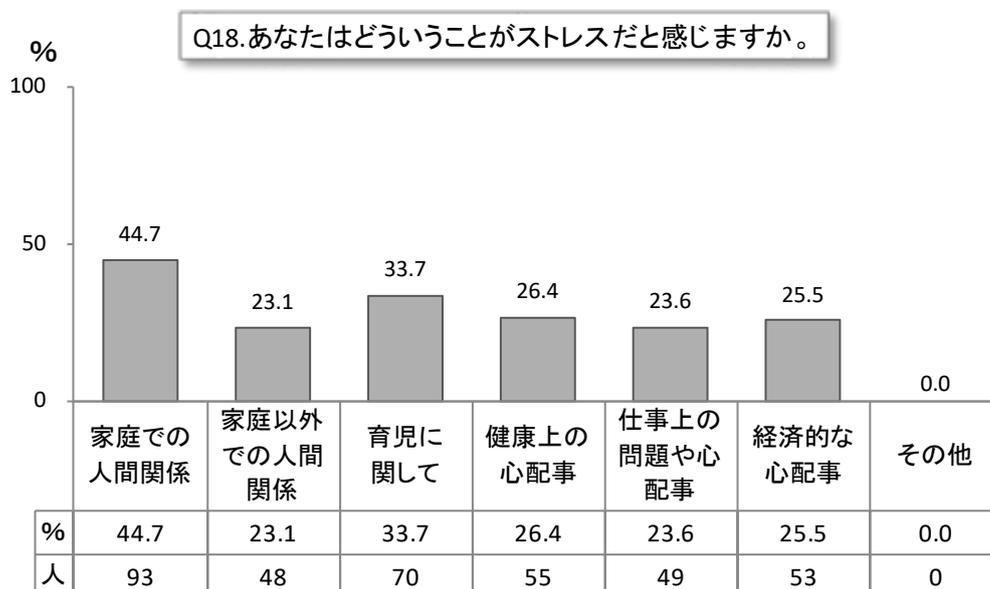
4. 健康上の心配事

①自分自身 ②子ども ③子ども以外の家族 ④その他 ()

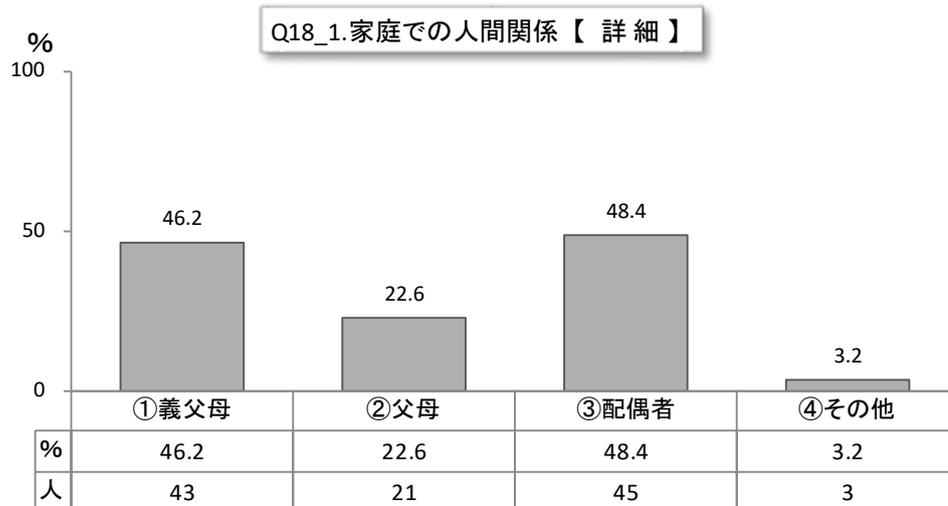
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)

6. 経済的な心配事

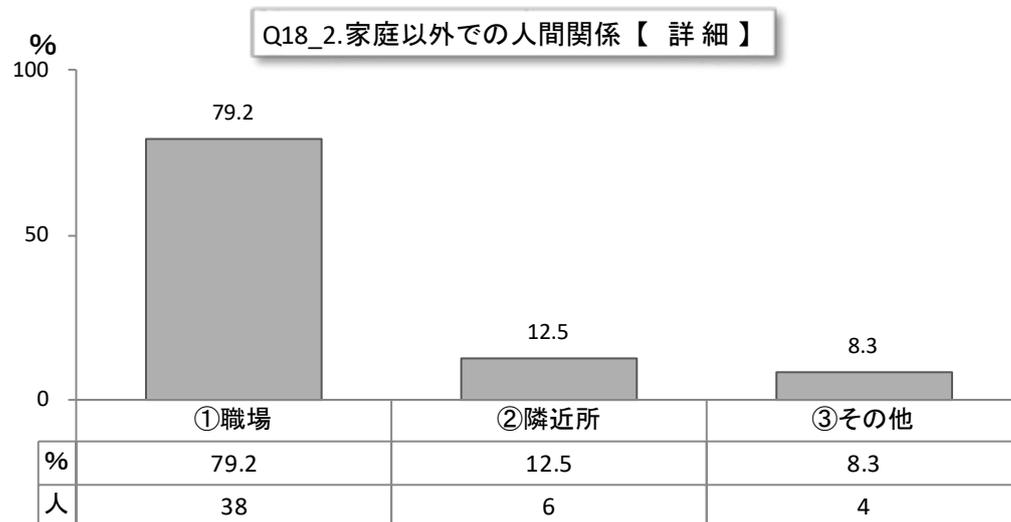
7. その他 ()



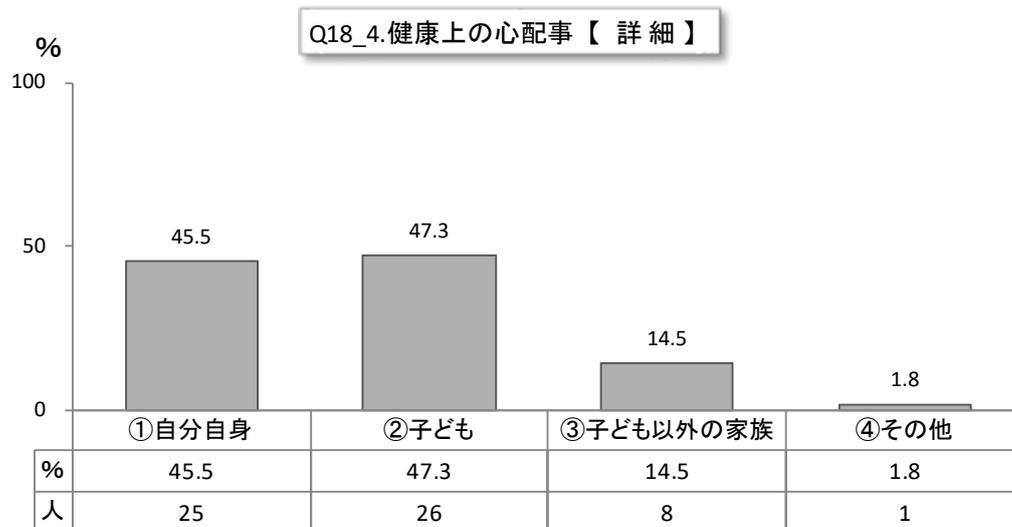
(◎と○の数 複数回答あり)



(◎と○の数 複数回答あり)



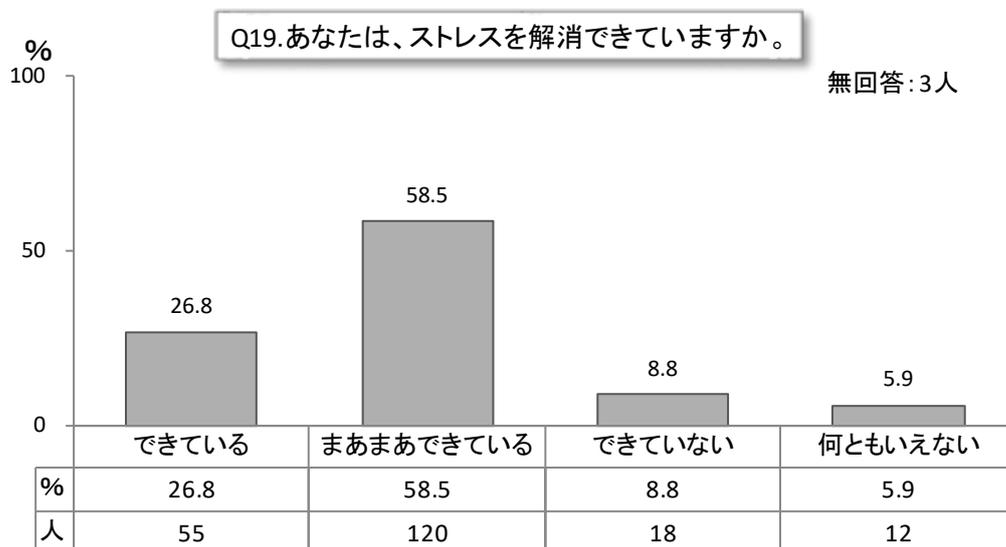
(◎と○の数 複数回答あり)



(◎と○の数 複数回答あり)

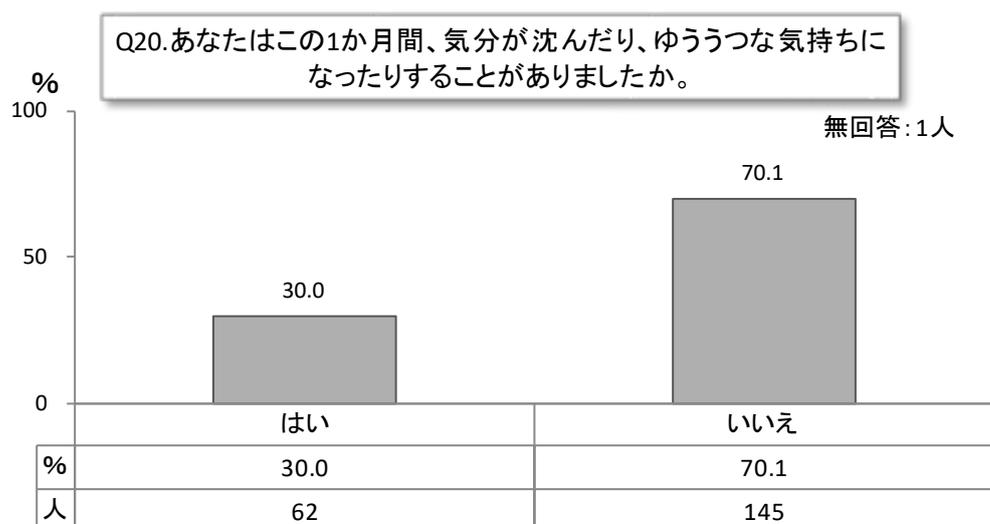
Q19. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている
2. まあまあできている
3. できていない
4. 何ともいえない



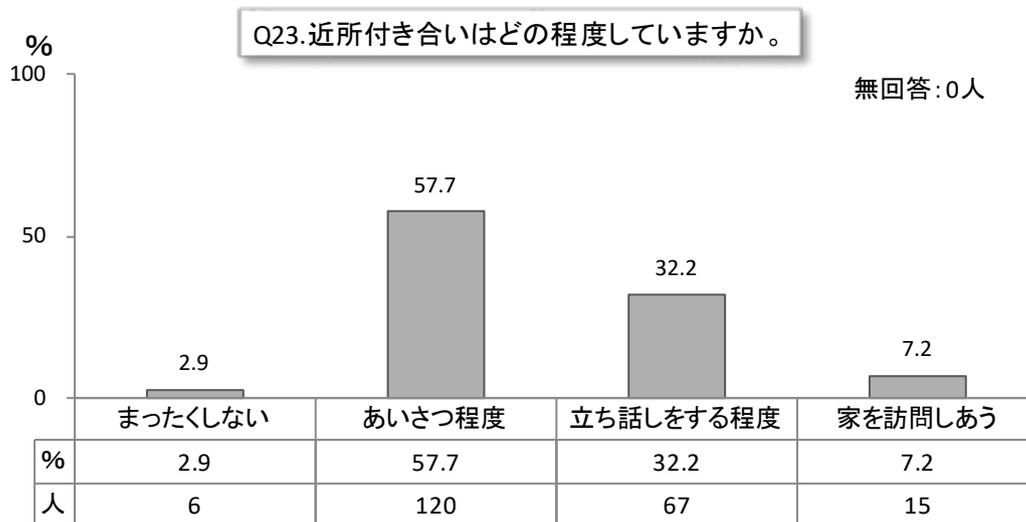
Q20. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

1. はい
2. いいえ



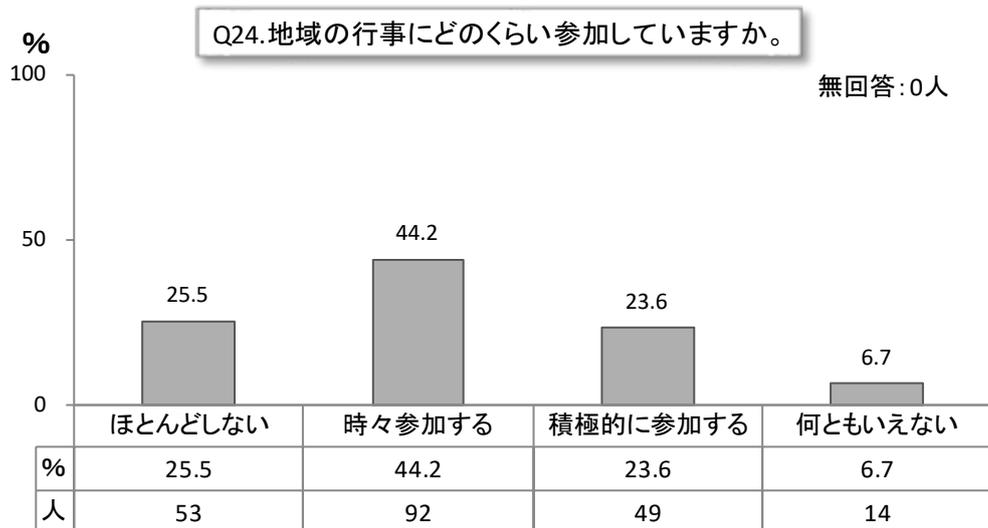
Q23. 近所付き合いはどの程度していますか。

1. まったくしない
2. あいさつ程度
3. 立ち話しをする程度
4. 家を訪問しあう



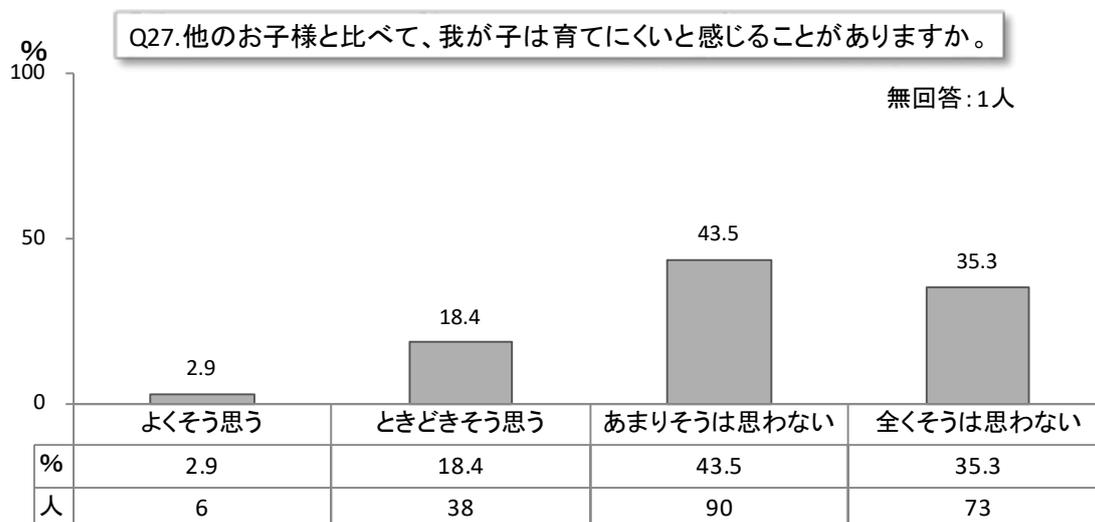
Q24. 地域の行事（区や組の行事）にどのくらい参加していますか。

1. ほとんどしない
2. 時々参加する
3. 積極的に参加する
4. 何ともいえない



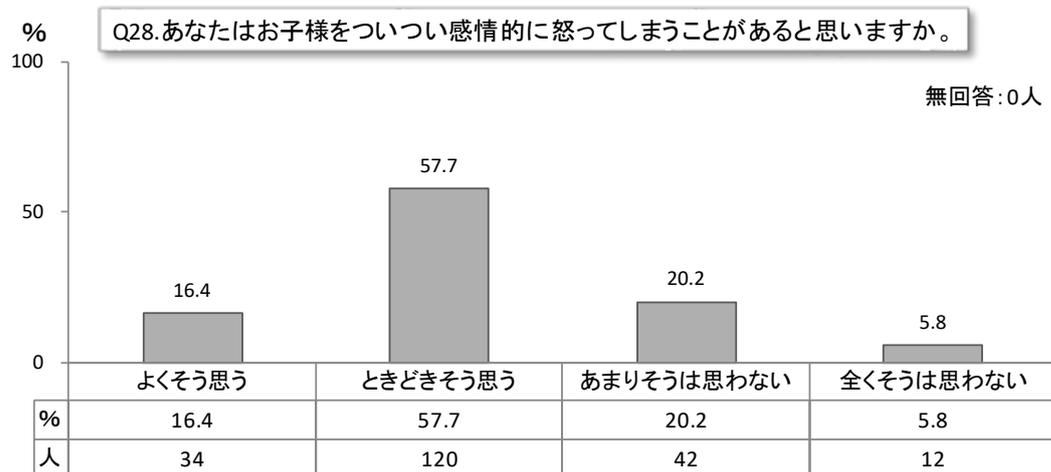
Q27. あなたは他のお子様と比べて、(我が子は) 育てにくいと感じることがありますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない



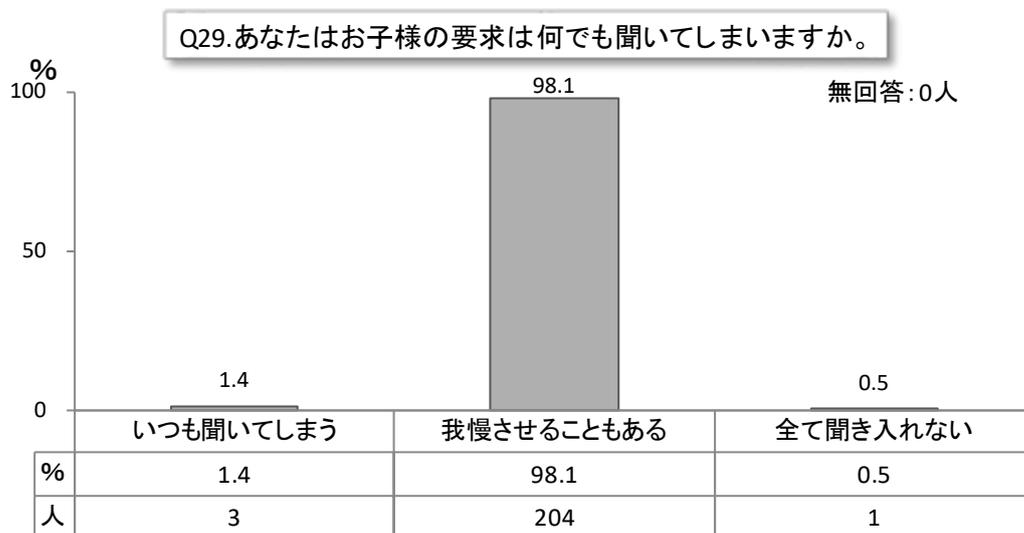
Q28. あなたはお子様をつい感情的に怒ってしまうことがあると思いますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない



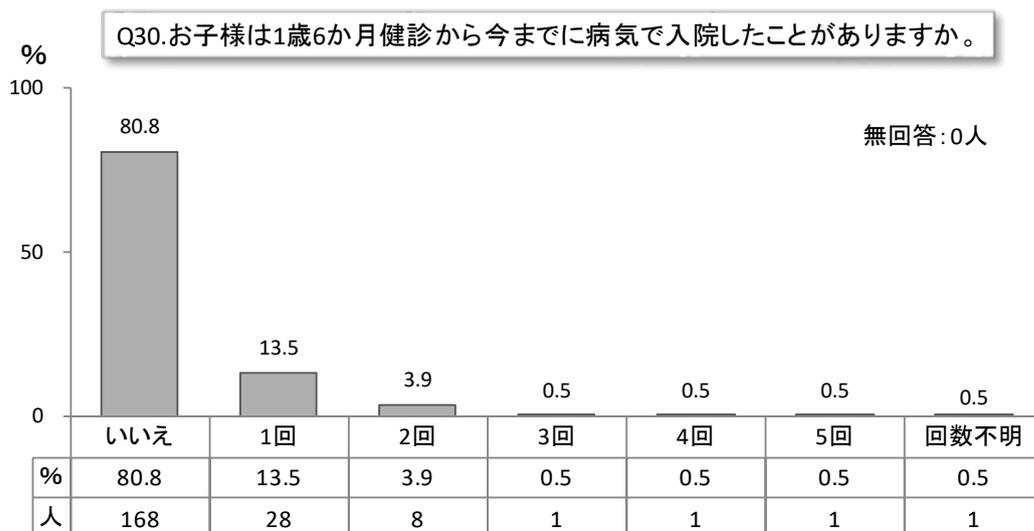
Q29. あなたはお子様の要求は何でも聞いてしまいますか。

1. いつも聞いてしまう
2. 我慢させることもある
3. 全て聞き入れない



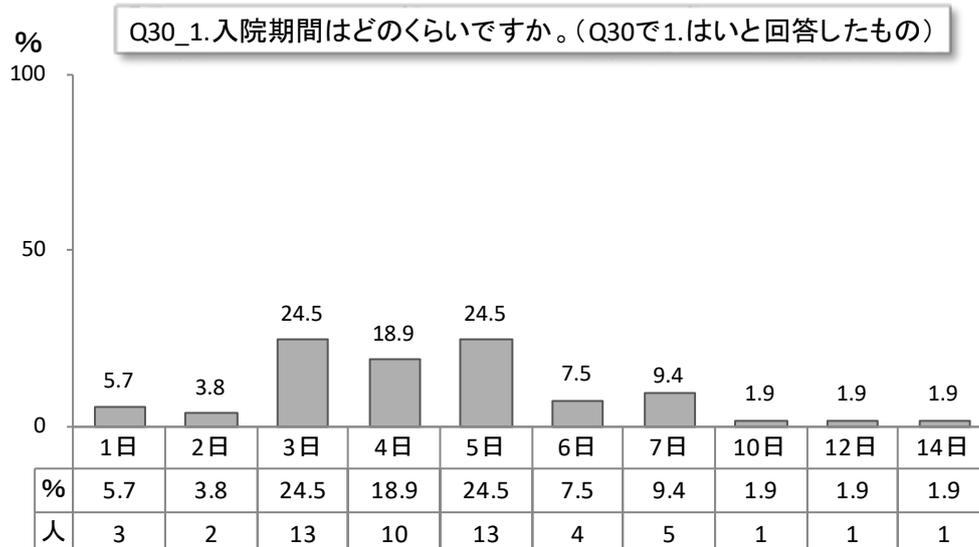
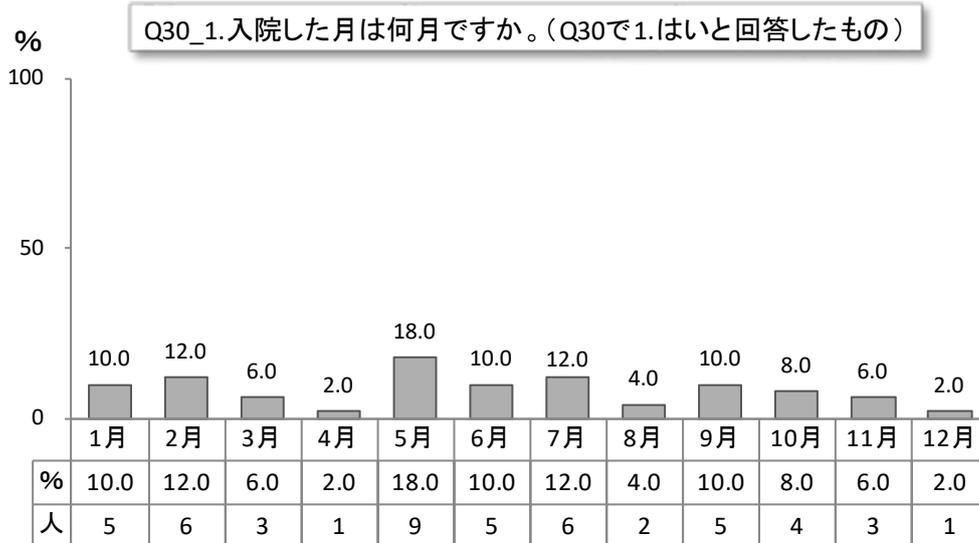
Q30. お子様は、1歳6か月健診から今までに病気で入院したことがありますか。

1. はい (回)
2. いいえ



30-1. 上記で「1. はい」と答えた方は、その時の詳しい内容をご記入下さい

	1回目	2回目	3回目
入院年月日	年 月 日頃	年 月 日頃	年 月 日頃
入院期間	(日間)	(日間)	(日間)
病名	()	()	()
医療機関名	()	()	()



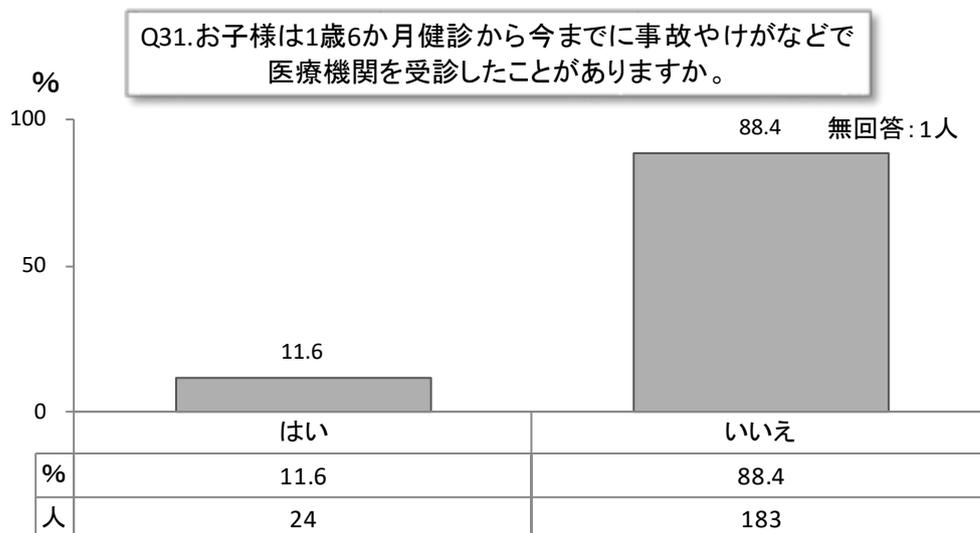
IV. 調査結果 (3.3 歳児健診時)

入院病名	人
肺炎	17
熱性けいれん	6
急性胃腸炎	4
急性気管支炎	4
気管支喘息	3
川崎病	2
腸重積	2
イレウス	1
溶連菌	1
感冒	1
アナフィラキシー	1
停留嚥丸	1
心房中隔欠損症	1
整形外科	1
突発性発疹	1
発熱	1
ロタウイルス	1
顔面神経麻痺	1
泣き入りひきつけ	1
骨折	1
耳ろう孔手術	1
中耳炎	1
低血糖	1

Q31. お子様は、1歳6か月健診から今までに事故やけがなどで医療機関を受診したことがありますか。

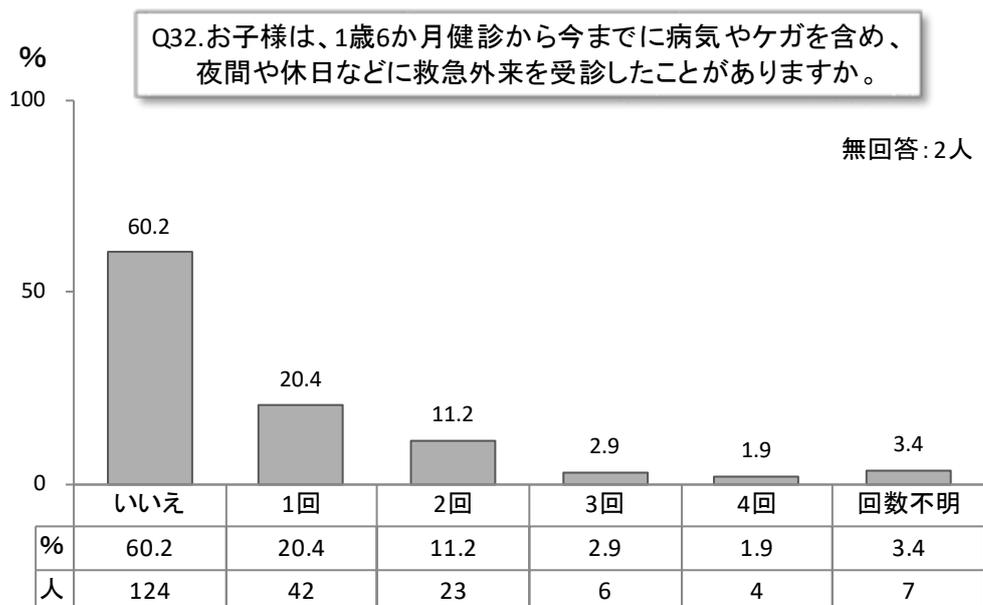
(注：タバコを飲んだ・頭をぶつけた・やけどした・窒息・おぼれた・いろいろなけがなど。受診しても何も治療を受けなかった場合も含みます)

1. はい
2. いいえ



Q32. お子様は、1歳6か月健診から今までに病気やケガを含め、夜間や休日などに救急外来を受診したことがありますか。

1. はい (回)
2. いいえ



32-1. その時の病名と医療機関名は

病名 (またはその症状)	医療機関名
()	()
()	()
()	()
()	()

救急病名	人
発熱	19
急性胃腸炎	14
風邪	12
インフルエンザ	7
クループ	4
切創	4
食物アレルギー	4
熱性けいれん	3
腹痛	3
嘔吐	2
手足口病	2
気管支炎	2
頭部打撲	2
肘内障	2
気管支喘息	1
じんましん	1
熱傷	1
便秘	1
溶連菌	1
アナフィラキシー	1
突発性発疹	1
湿疹	1
ロタウイルス	1
膀胱炎	1
虫刺症	1
骨折	1
流行性耳下腺炎	1
誤飲	1
転落	1
耳痛	1

今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、自由にお書きください。



以上です。ご協力ありがとうございました。

IV. 調査結果（3.3 歳児健診時）

IV-4.5 歳児健診時

IV. 調査結果（4.5 歳児健診時）

Q1. あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。

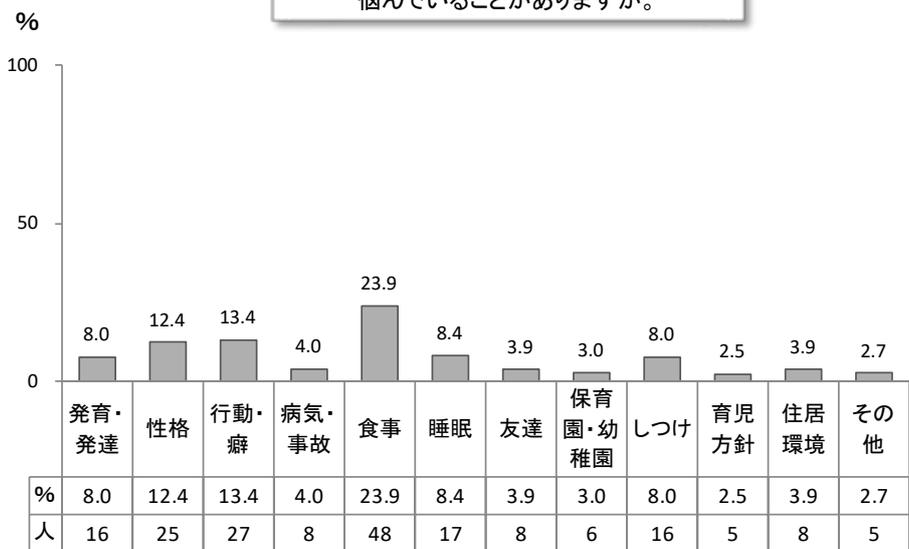
- ①発育・発達のこと 1. ない 2. ある ()
- ②性格のこと 1. ない 2. ある ()
- ③行動・癖のこと 1. ない 2. ある ()
- ④病気・事故のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑤食事のこと 1. ない 2. ある ()

あると答えた方はどのようなことですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

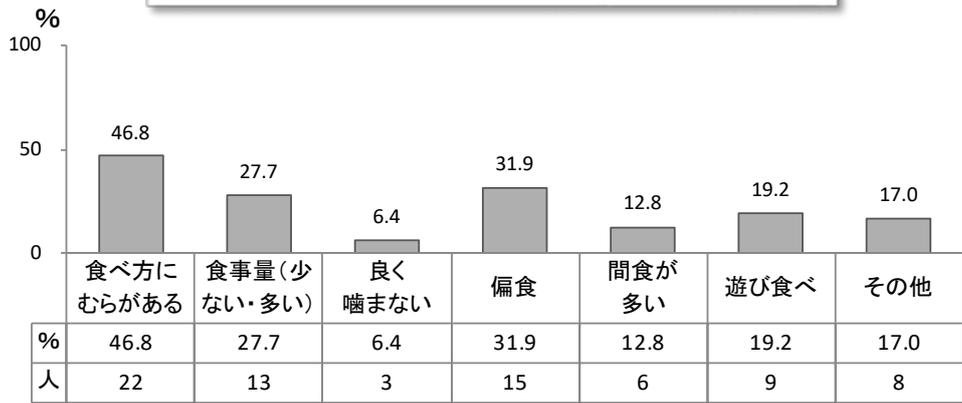
- 1. 食べ方にむらがある 2. 食事量 (少ない・多い) 3. 良く噛まない
- 4. 偏食 5. 間食が多い 6. 遊び食べ 7. その他 ()

- ⑥睡眠のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑦お友達のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑧保育園・幼稚園について 1. ない 2. ある ()
- ⑨しつけについて 1. ない 2. ある ()
- ⑩祖父母との育児方針 1. ない 2. ある ()
- ⑪住居環境のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑫その他 1. ない 2. ある ()

Q1.あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。

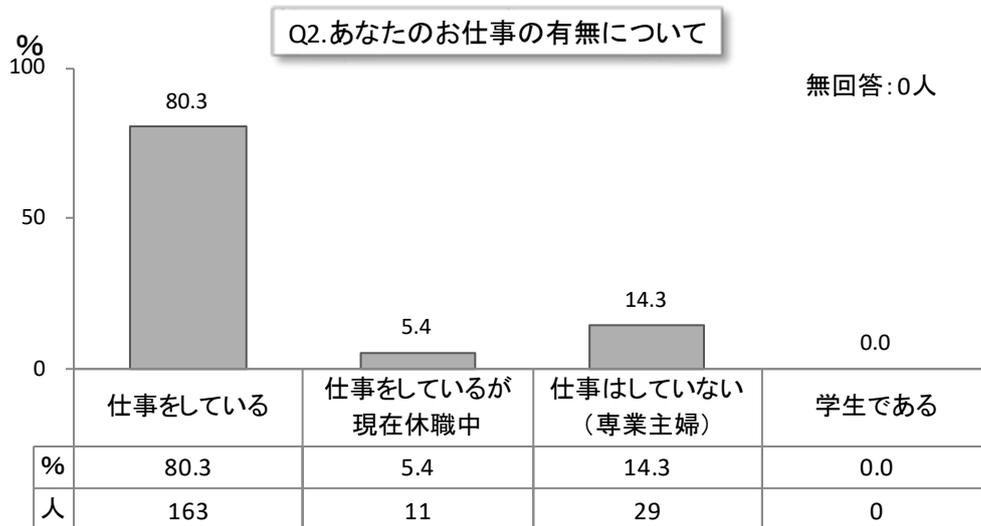


Q1.食事の事で悩んでいると答えた方48名の内訳(複数回答)



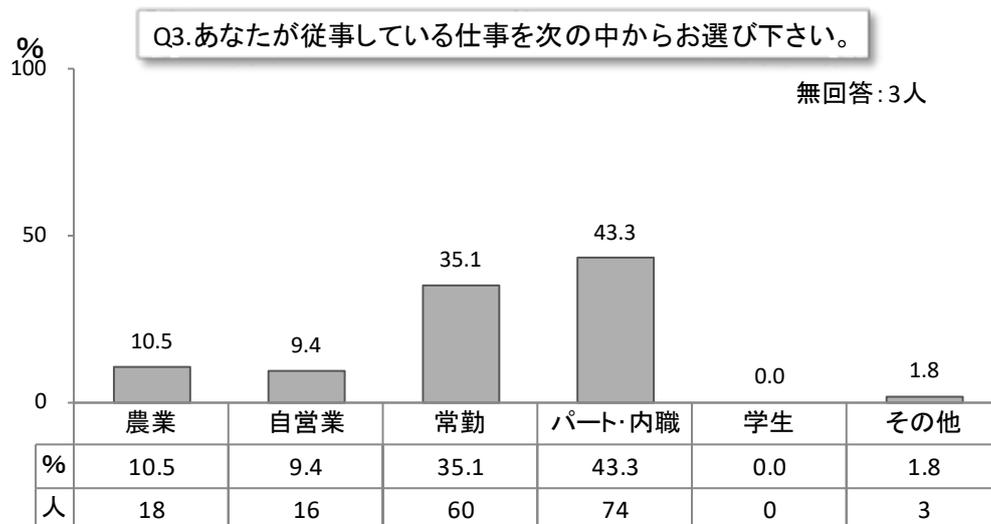
Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選び下さい。

- 1. 仕事をしている
 - 2. 仕事はしているが現在休職中である
 - 3. 仕事はしていない (専業主婦である)
 - 4. 学生である
- 3. 4. と答えた方は
Q4. へお進みください

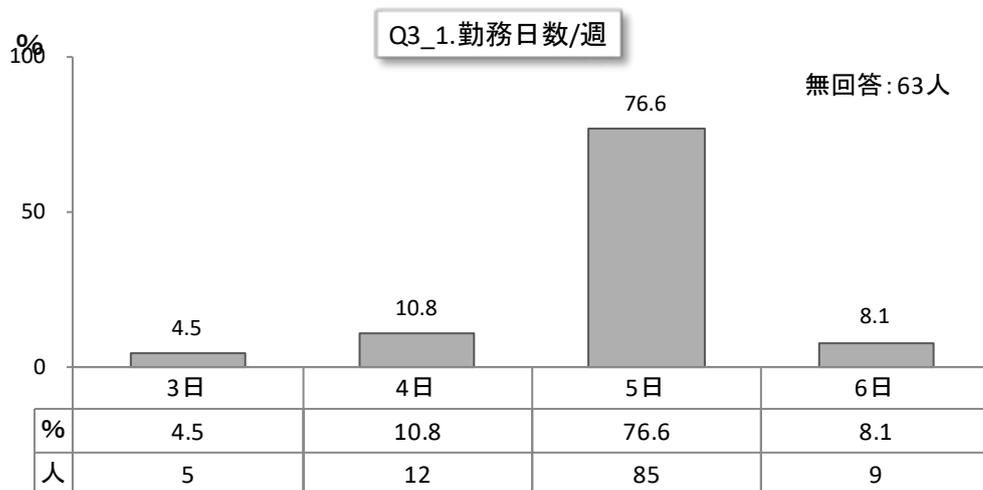
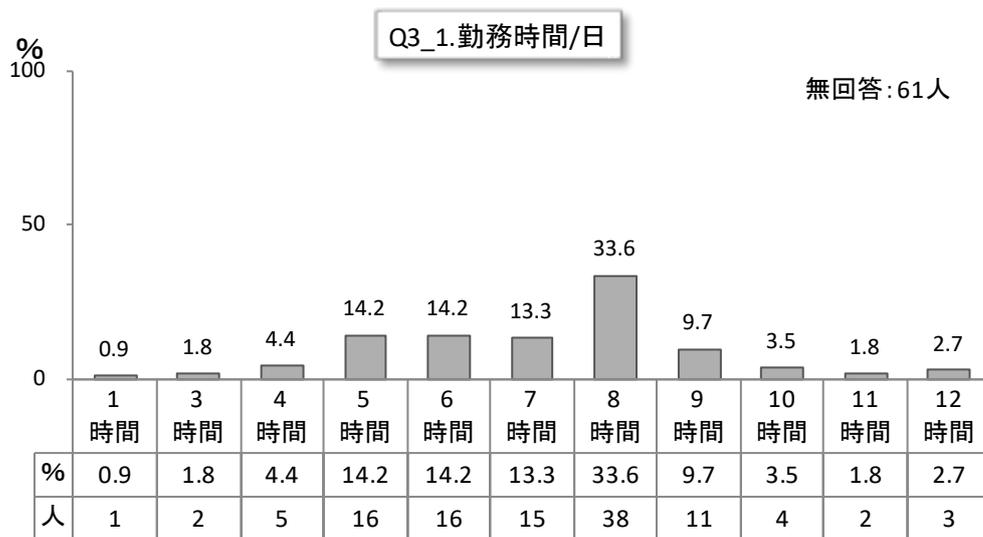


Q3. あなたが従事している仕事を次の中からお選び下さい。

- 1. 農業
- 2. 自営業
- 3. 常勤
- 4. パート・内職
- 5. 学生
- 6. その他 ()

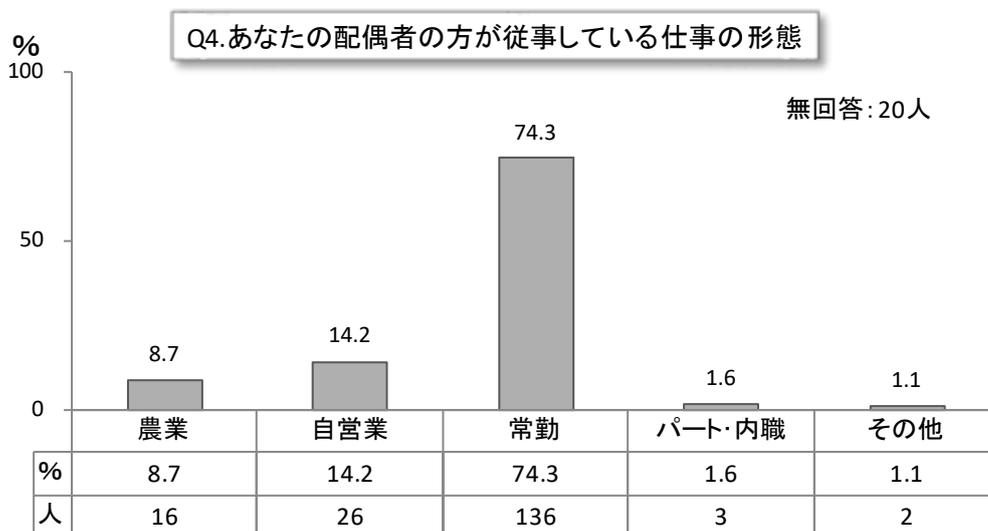


3-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

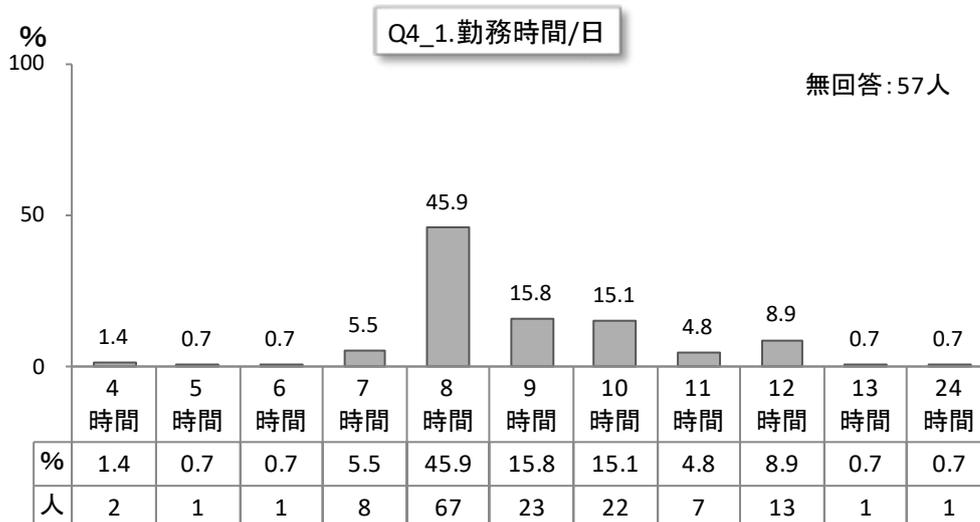


Q4. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中からお選び下さい。

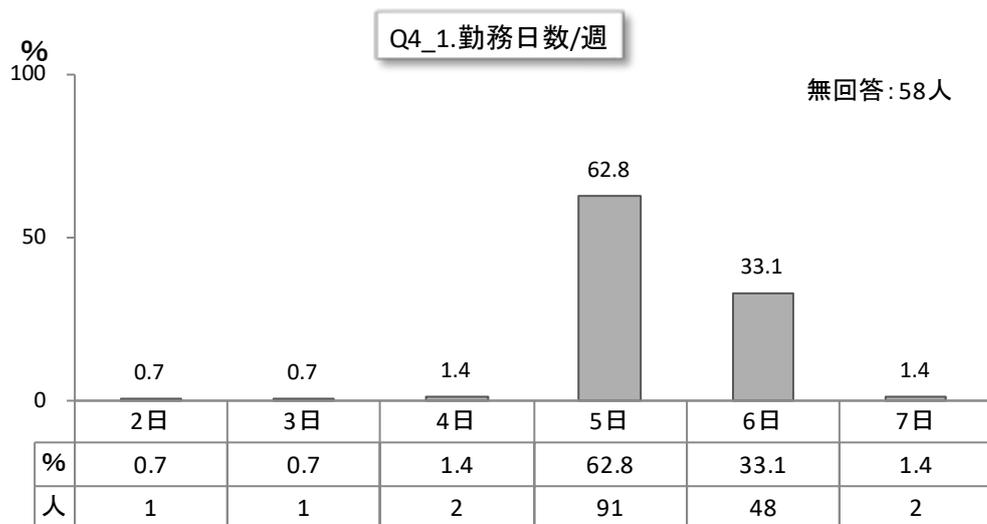
1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
5. その他 ()



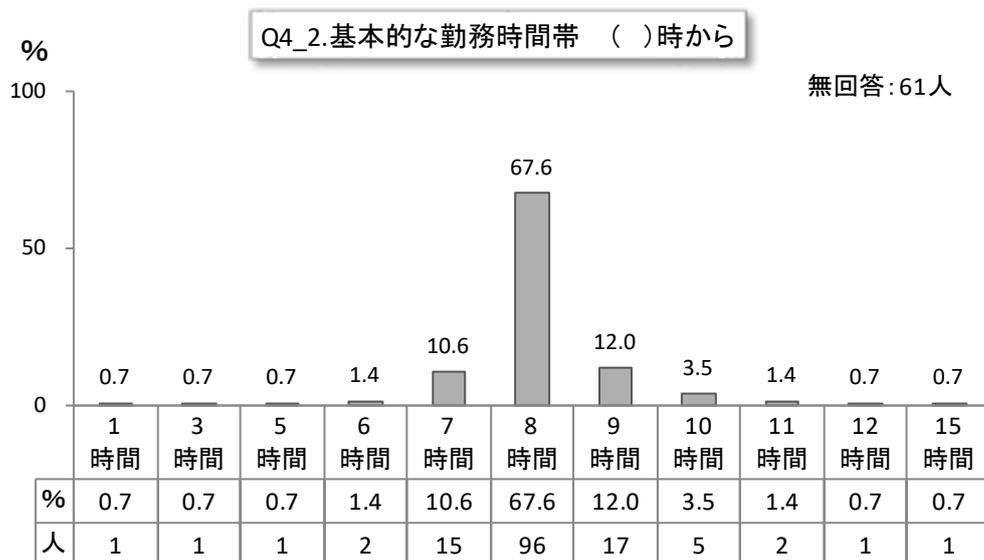
4-1. 仕事をする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

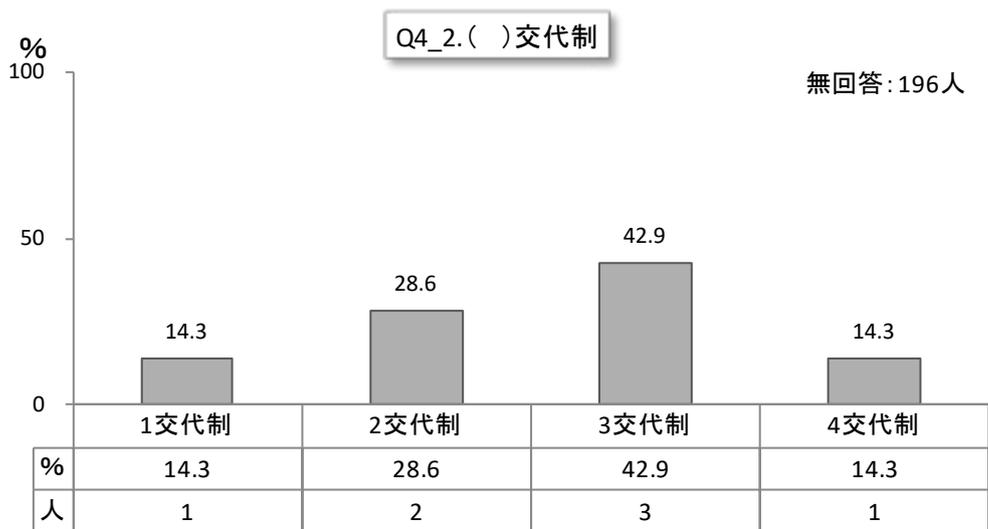
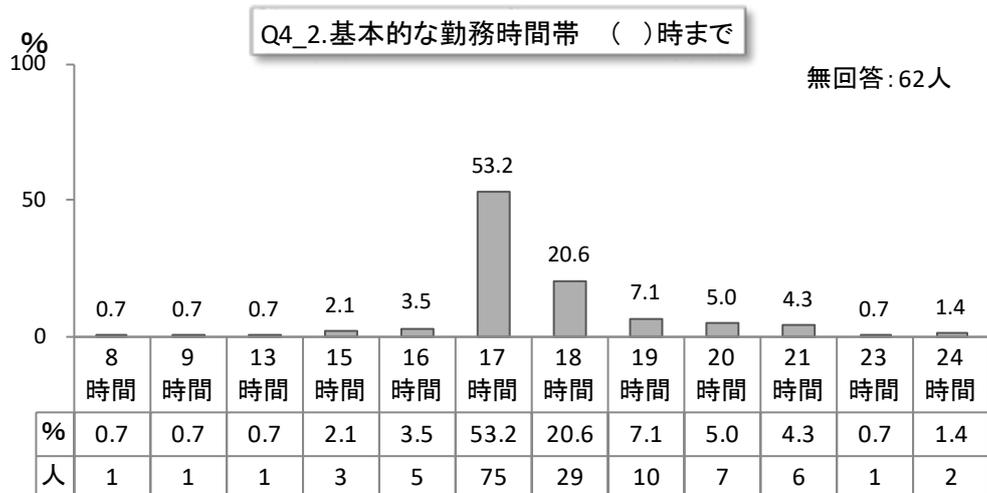


IV. 調査結果 (4.5 歳児健診時)



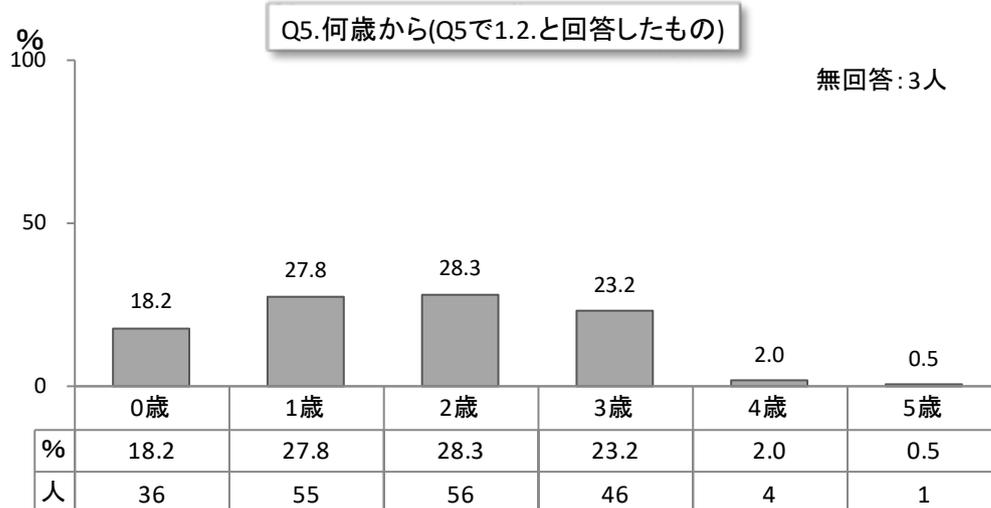
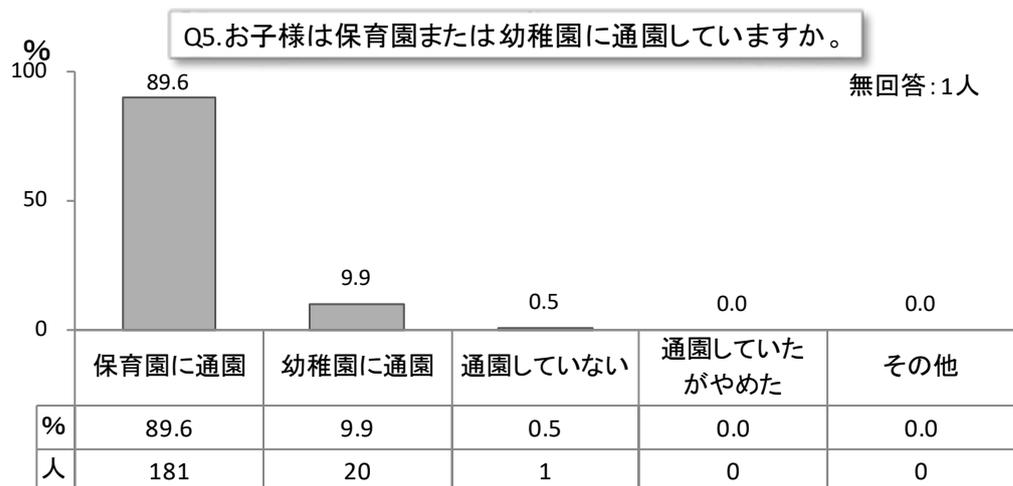
4-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。 () 時～ () 時 () 交代制





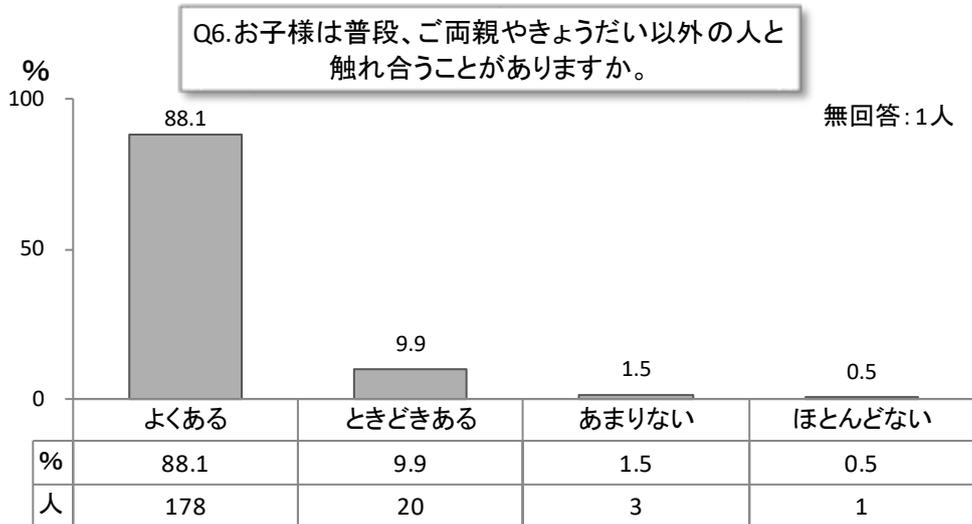
Q5. お子様は保育園または幼稚園に通園していますか。

1. 保育園に通園している (歳から)
2. 幼稚園に通園している (歳から)
3. 通園していない
4. 通園していたがやめた
5. その他 ()



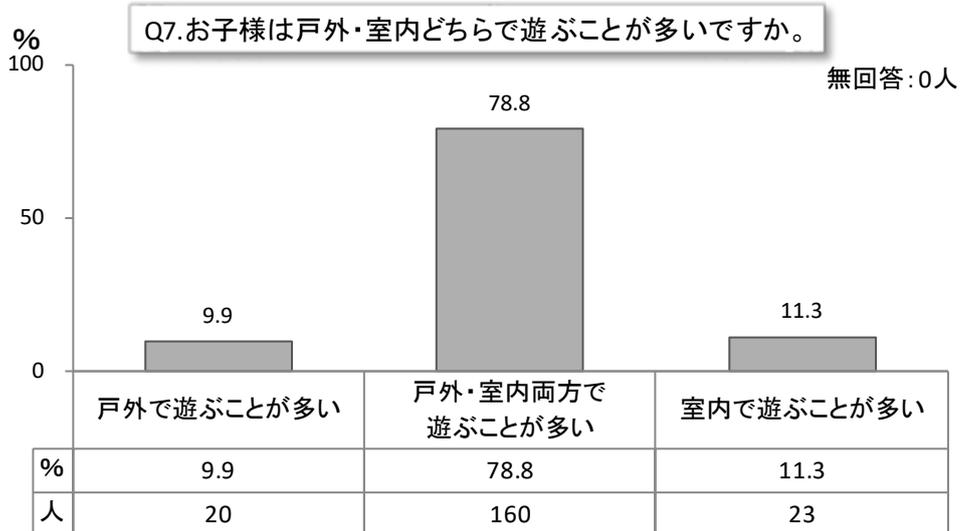
Q6. お子様は普段ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. ほとんどない



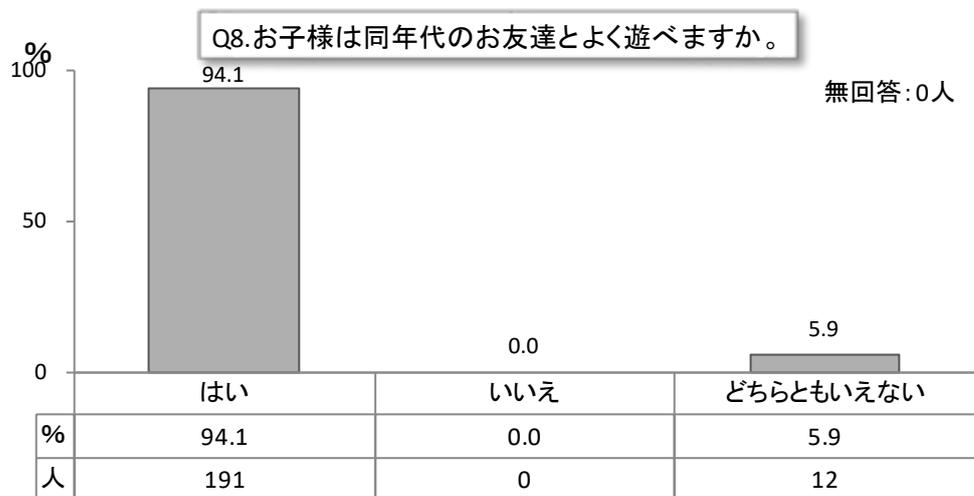
Q7. お子様は戸外・室内どちらで遊ぶことが多いですか。

1. 戸外で遊ぶことが多い。
2. 戸外・室内両方で遊ぶことが多い。
3. 室内で遊ぶことが多い。



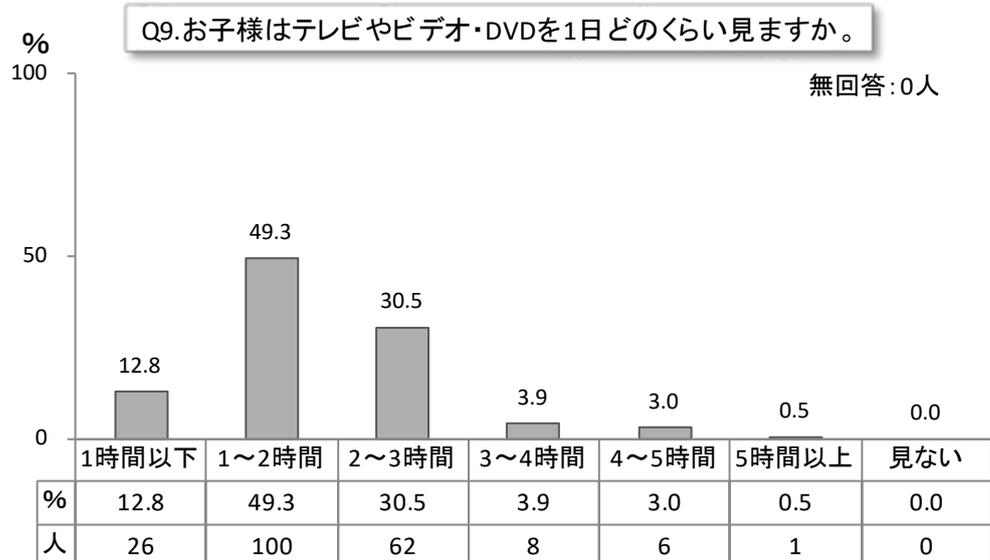
Q8. お子様は同年代のお友達とよく遊べますか。

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない



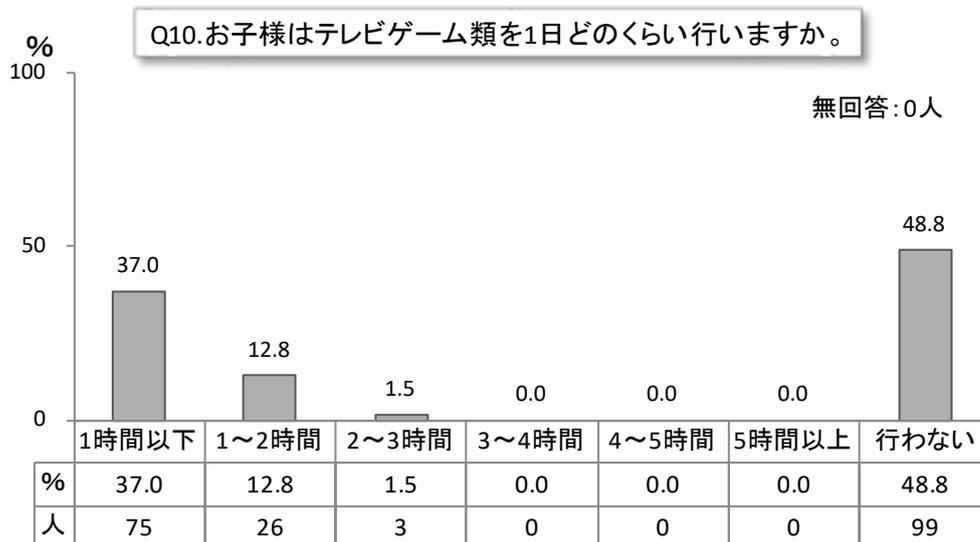
Q9. お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか。

1. 1時間以下 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3～4時間
5. 4～5時間 6. 5時間以上 7. 見ない



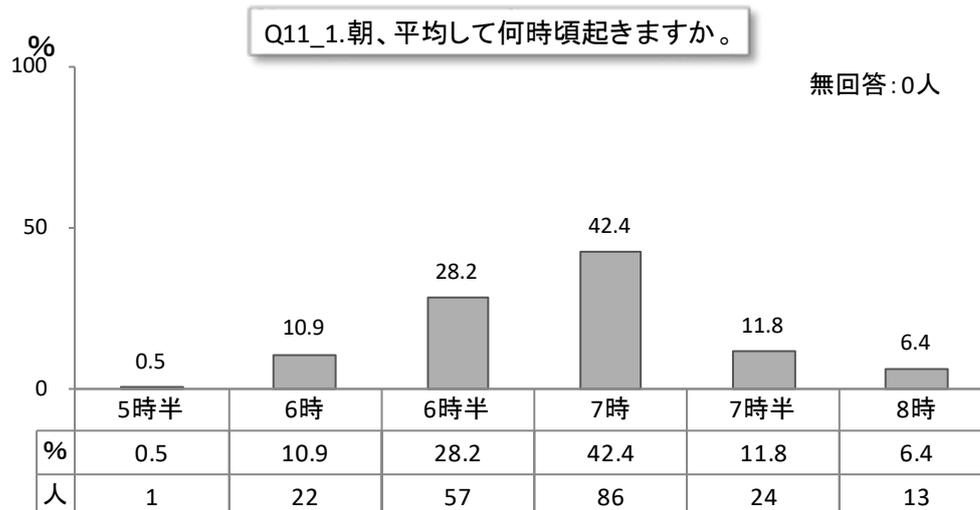
Q10. お子様はテレビゲーム、テレビゲーム類 (ゲームボーイ・携帯電話のゲーム・コンピューターゲーム等も含む) を一日どのくらい行いますか。

1. 1時間以下 2. 1~2時間 3. 2~3時間 4. 3~4時間
5. 4~5時間 6. 5時間以上 7. 行わない

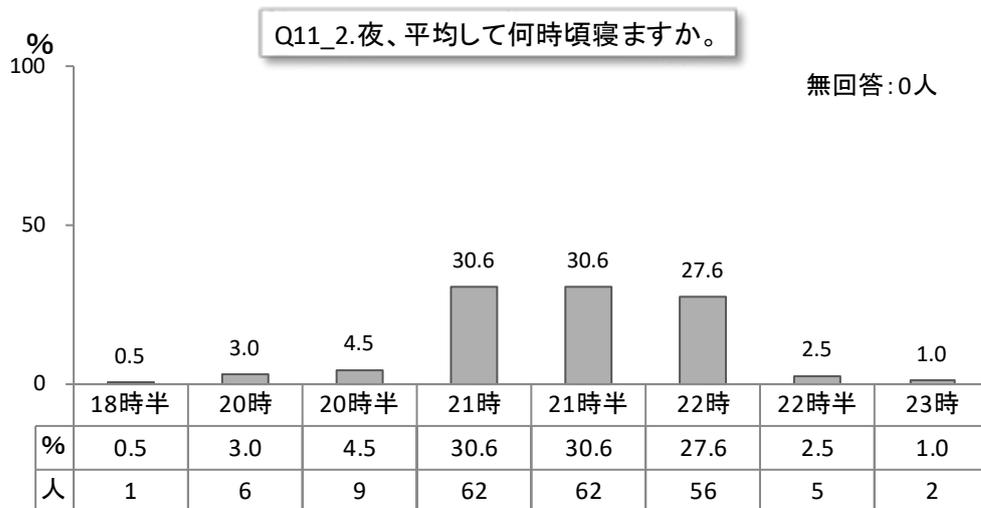


Q11. お子様の起床・就寝についてうかがいます。

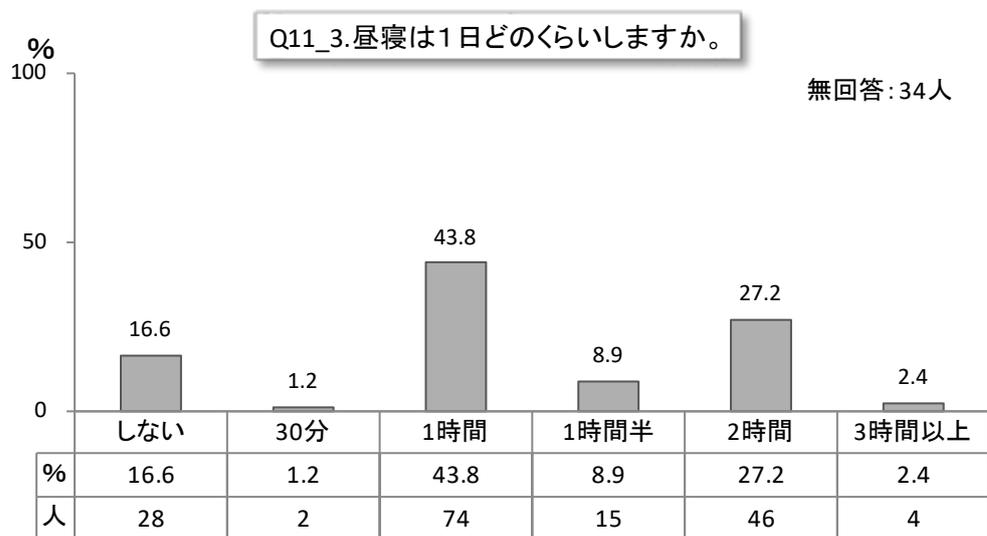
11-1. 朝、平均して何時頃起きますか () 時 () 分ころ



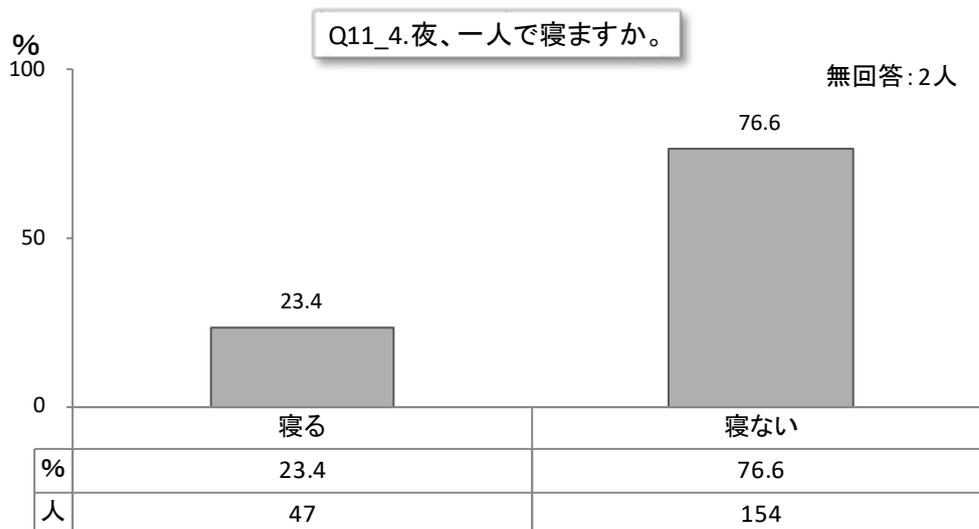
11-2. 夜、平均して何時頃寝ますか （ ）時（ ）分ころ



11-3. 昼寝は一日どのくらいしますか （ ）時間位



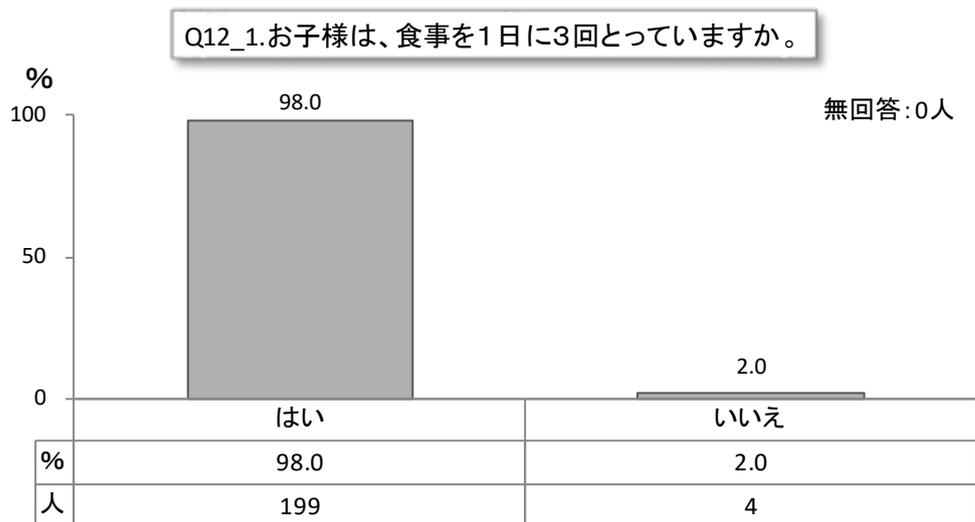
11-4. 夜、一人で寝ますか → ①寝る ②寝ない (誰と:)



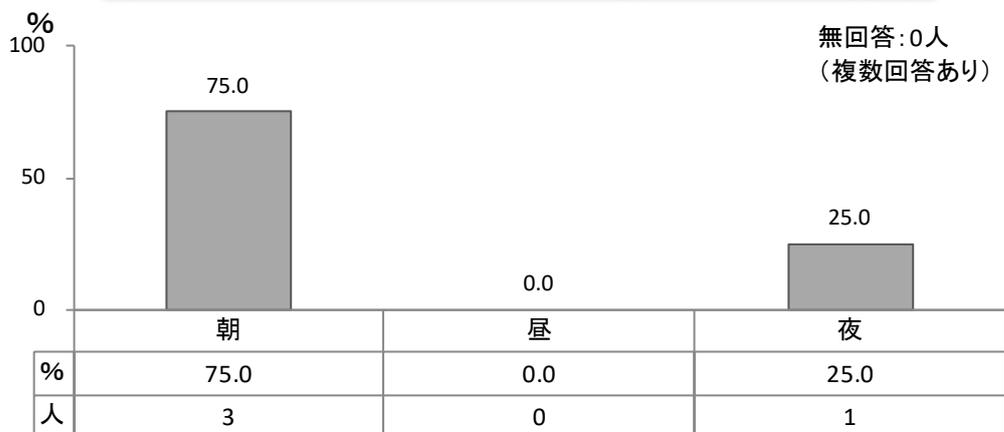
Q12. お子様の食事について伺います。

12-1. お子様は、食事を1日に3回とっていますか。

1. はい
2. いいえ (いつ食べないことが多いですか: 朝・昼・夜)



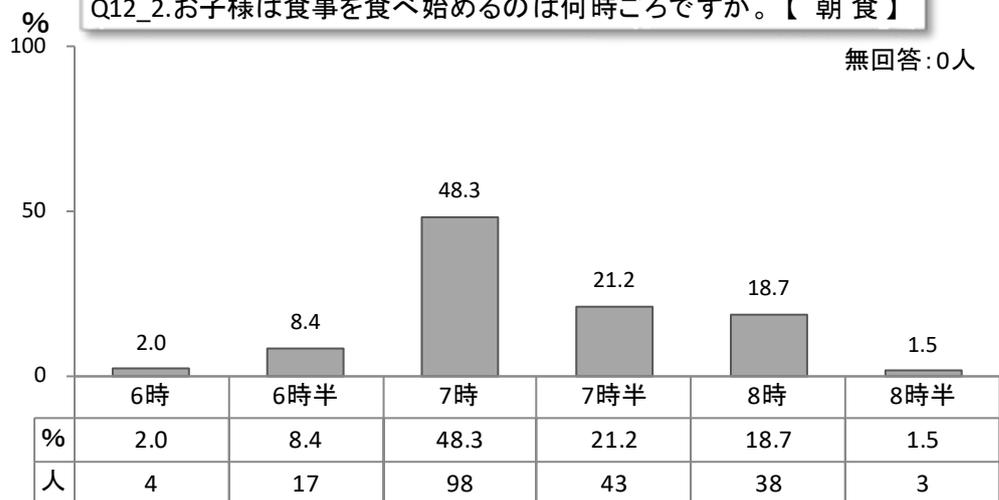
Q12_1.いつ食べないことが多いですか(Q12_1.で2と回答したもの)。

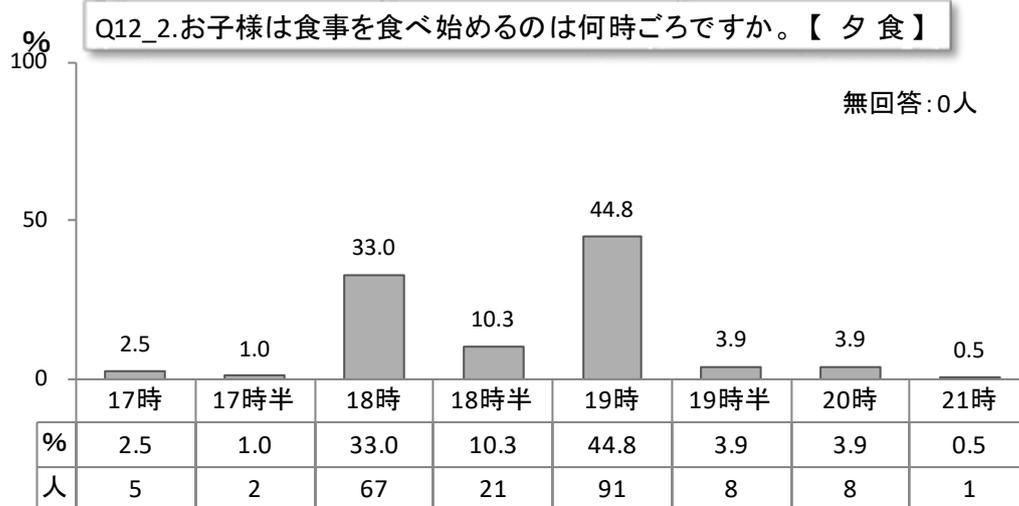
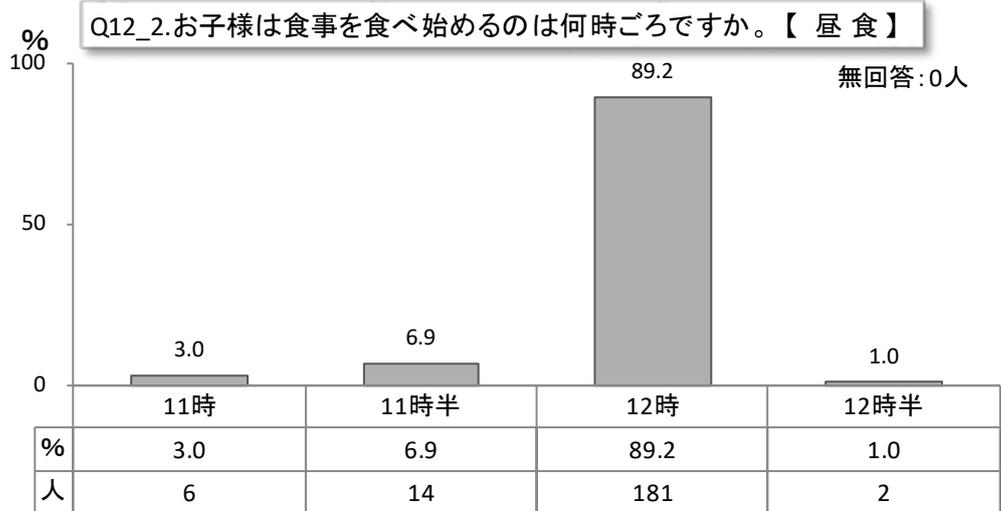


12-2. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べるのは何時ごろですか。平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

朝食 () 時 ころ
 昼食 () 時 ころ
 夕食 () 時 ころ

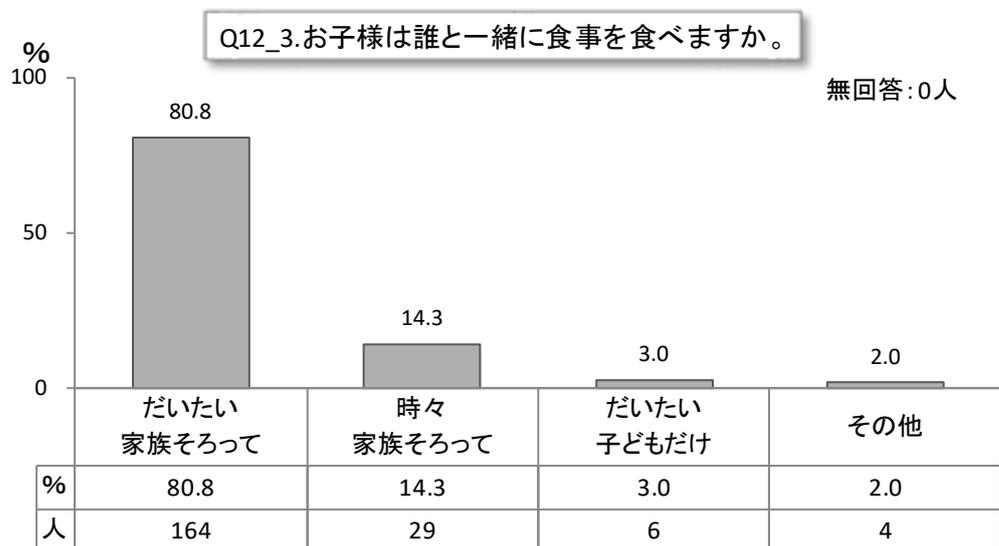
Q12_2.お子様は食事を食べ始めるのは何時ごろですか。【朝食】





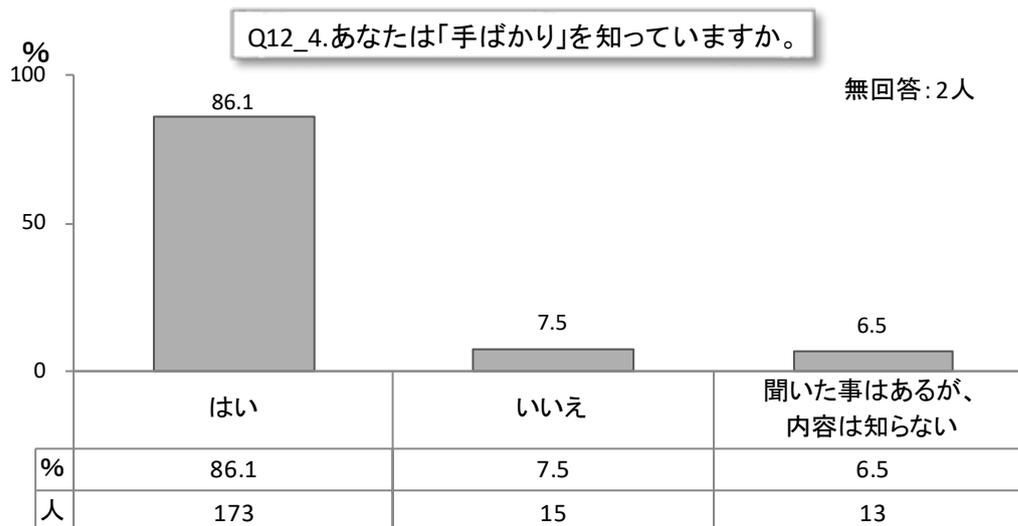
12-3. お子様は誰と一緒に食事を食べますか。

1. だいたい家族そろって
2. 時々家族そろって
3. だいたい子どもだけ
4. その他 ()



12-4. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

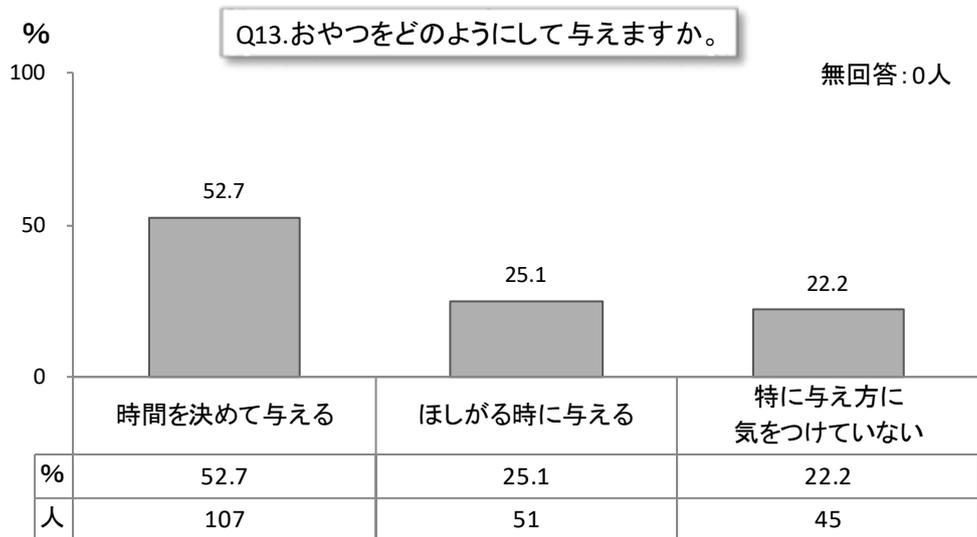
1. はい
2. いいえ
3. 聞いた事はあるが、内容は知らない



Q13. お子様のおやつ (食事以外のおかし、飲物、果物など) はどのようにして与えますか。

(保育園に行っているお子様は、園以外の場合についてご記入下さい)

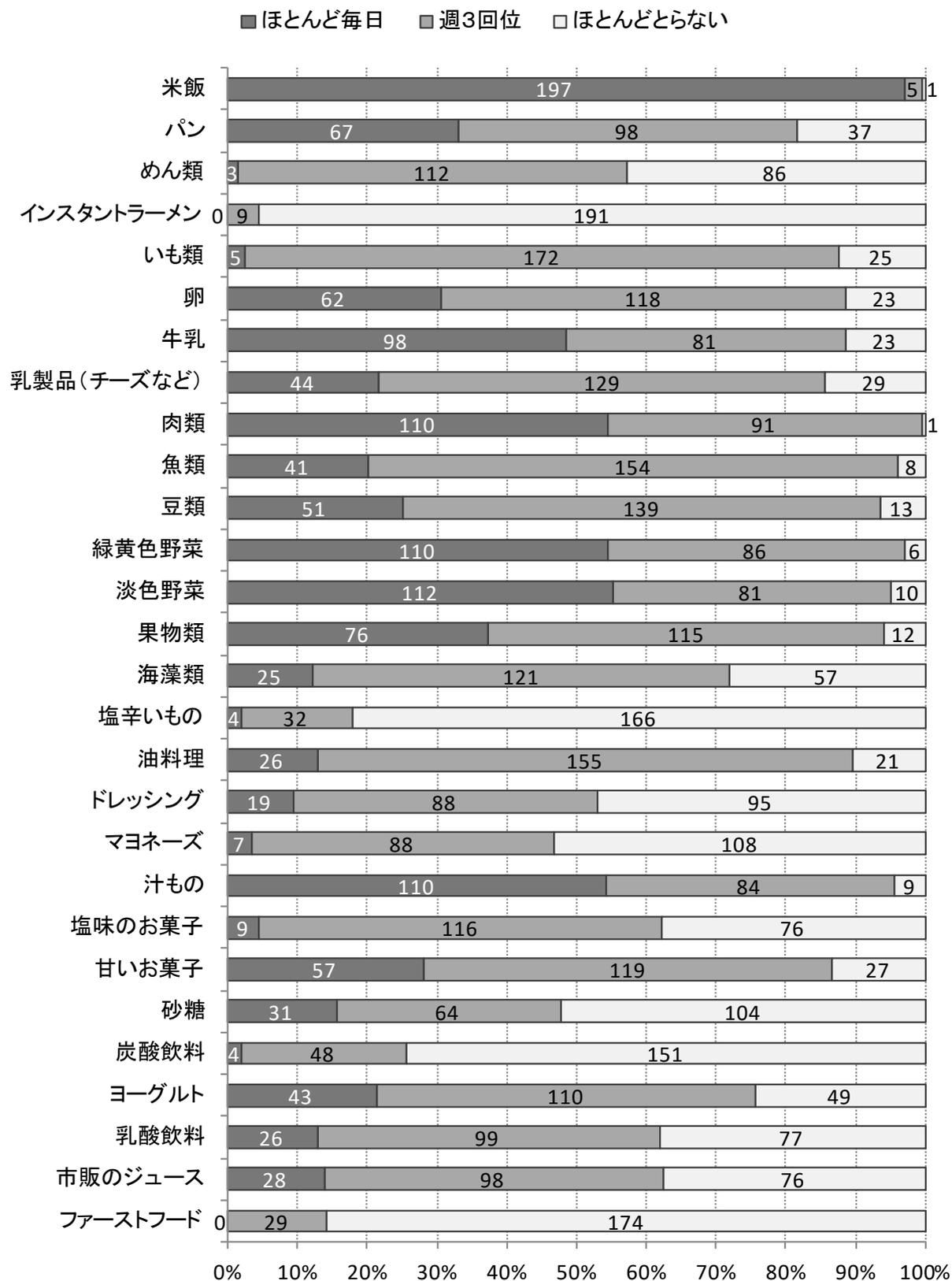
1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない



Q14. お子様の食事について、核当する番号に○をつけて下さい。

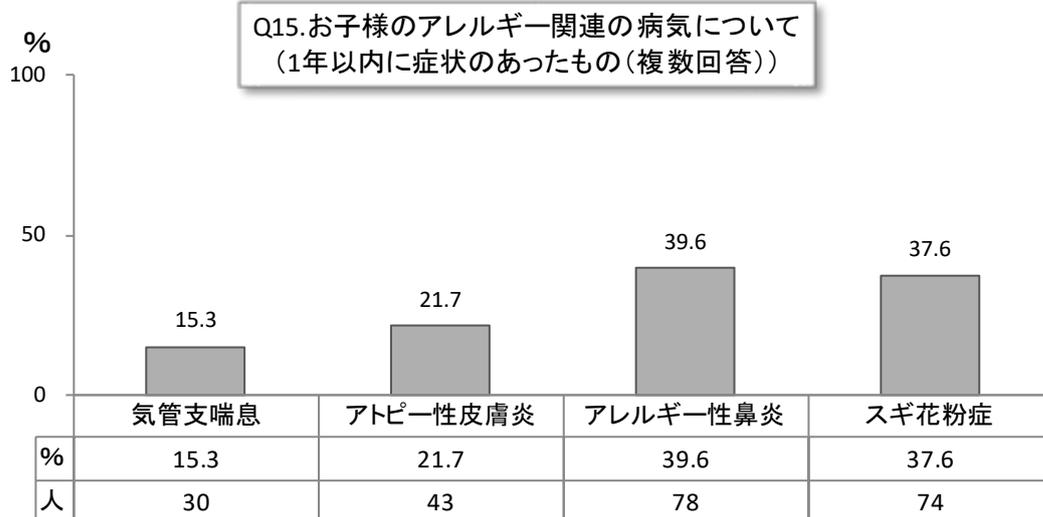
	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に 入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

Q14. お子様の食事について該当する番号に○をつけて下さい。

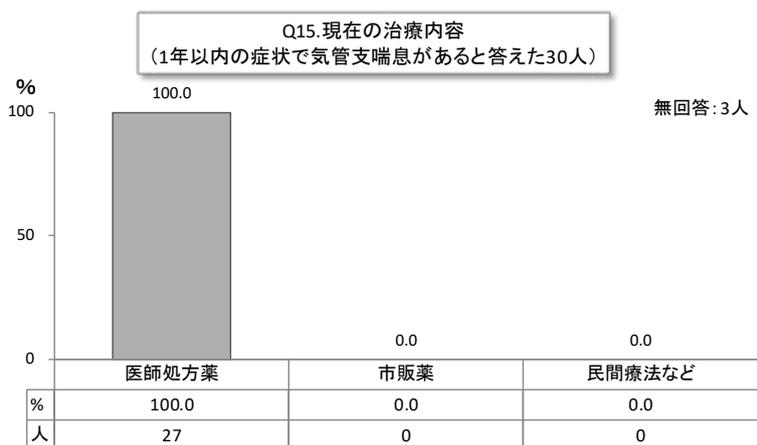
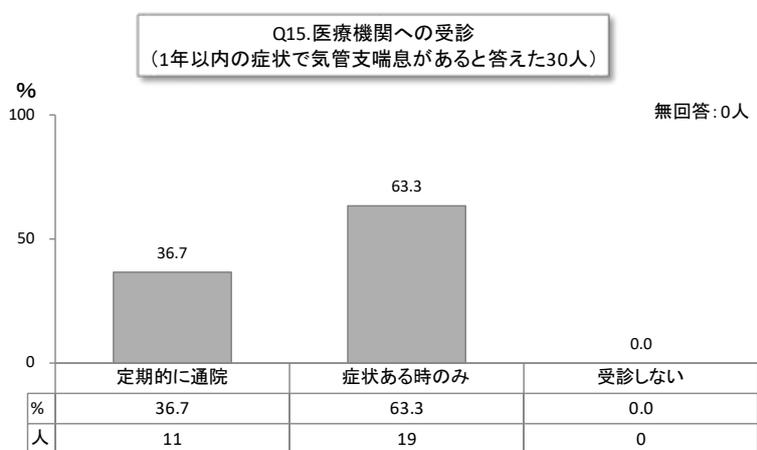
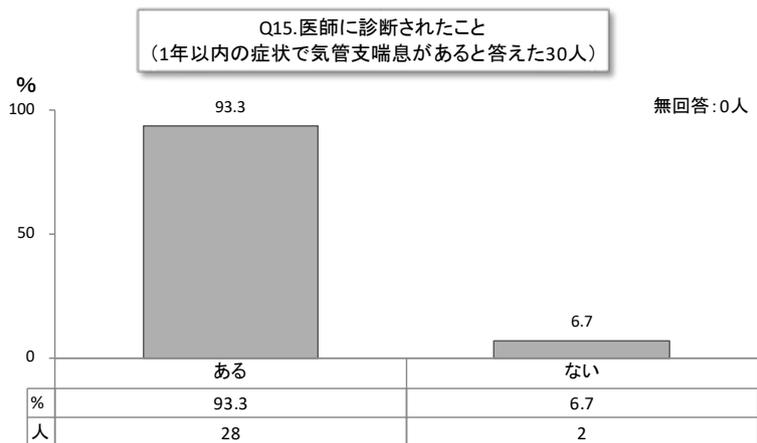


Q15. お子様のアレルギー関連の病気について、該当する番号に○をつけて下さい。

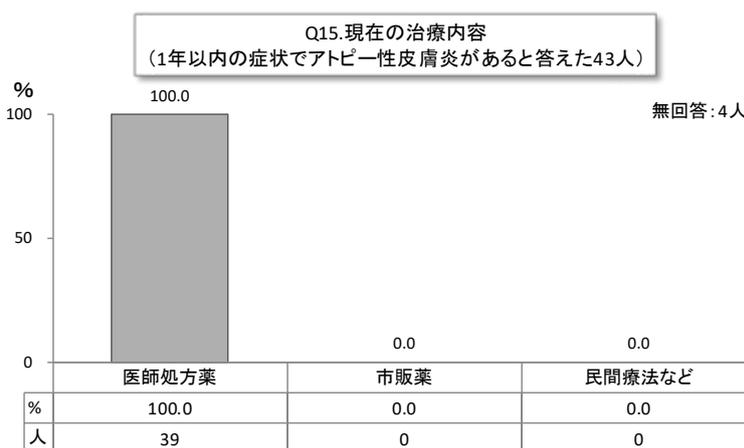
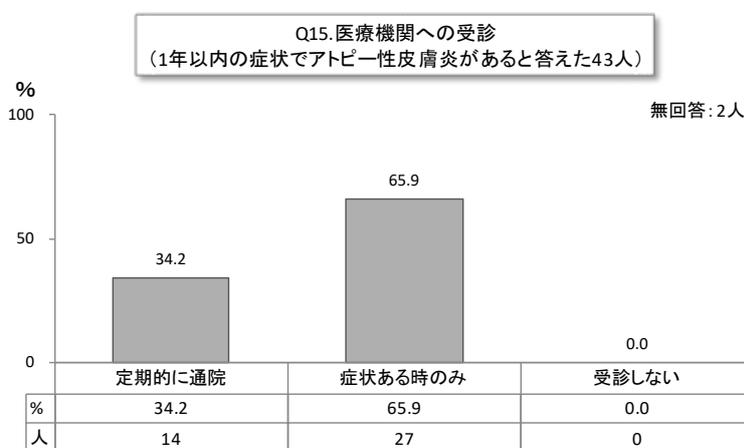
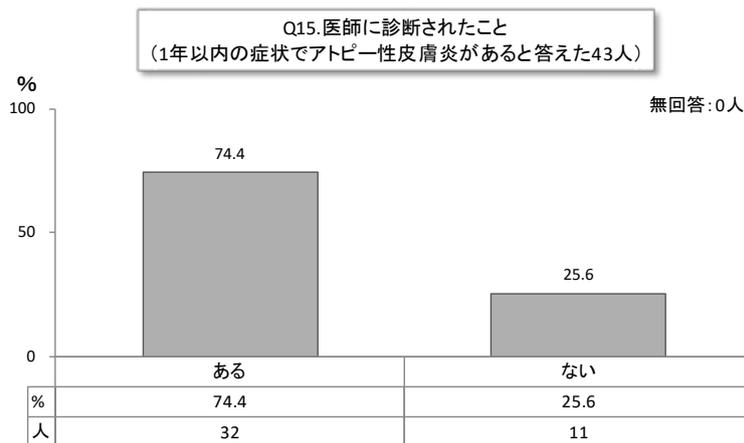
	1年以内の症状	医師に診断されたこと	医療機関への受診	現在の治療内容
気管支喘息	1 ある 2 ない (ゼーゼー・ヒューヒュー)	1 ある 2 ない	1 定期的に通院 2 症状ある時のみ 3 受診しない	1 医師処方薬 2 市販薬 3 民間療法など
アトピー性皮膚炎	1 ある 2 ない (かゆみを伴った湿疹)	1 ある 2 ない	1 定期的に通院 2 症状ある時のみ 3 受診しない	1 医師処方薬 2 市販薬 3 民間療法など
アレルギー性鼻炎(花粉症含む)	1 ある 2 ない (カゼ以外のくしゃみ・鼻水・鼻づまり)	1 ある 2 ない	1 定期的に通院 2 症状ある時のみ 3 受診しない	1 医師処方薬 2 市販薬 3 民間療法など
スギ花粉症(スギ花粉の時期の鼻炎)	1 ある 2 ない (カゼ以外のくしゃみ・鼻水・鼻づまり)	1 ある 2 ない	1 定期的に通院 2 症状ある時のみ 3 受診しない	1 医師処方薬 2 市販薬 3 民間療法など



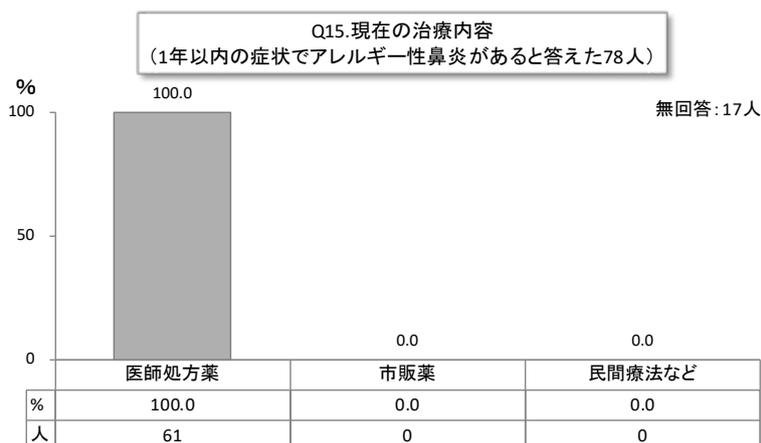
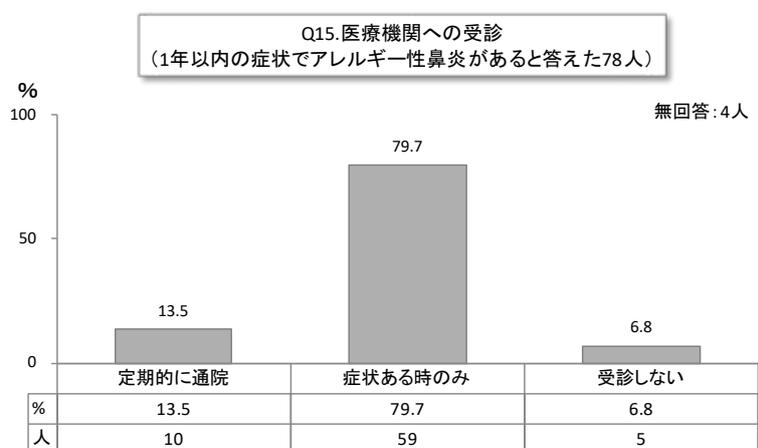
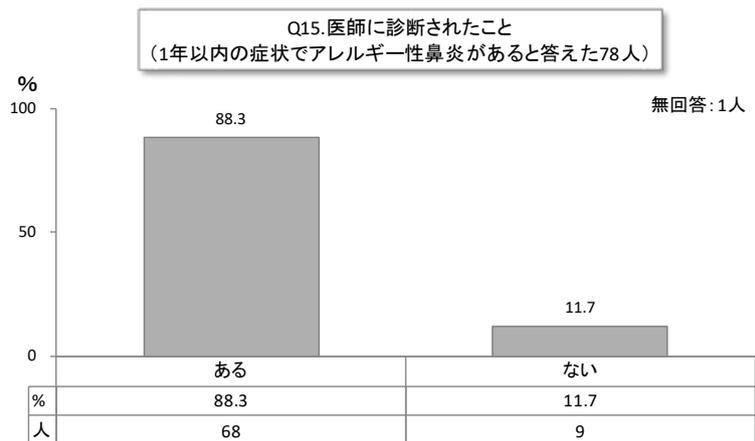
IV. 調査結果 (4.5 歳児健診時)



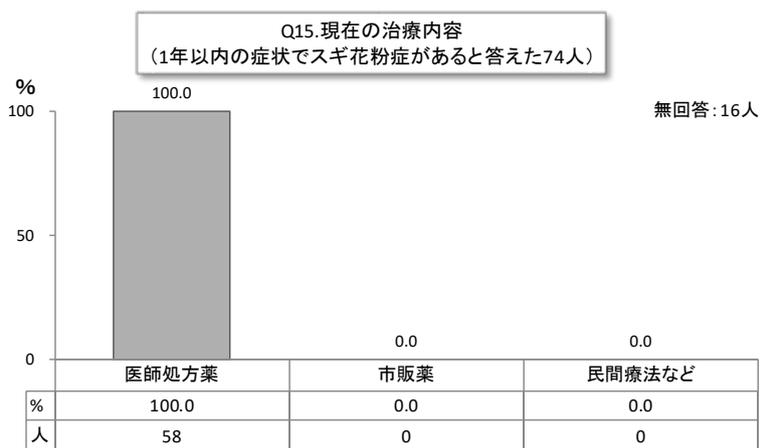
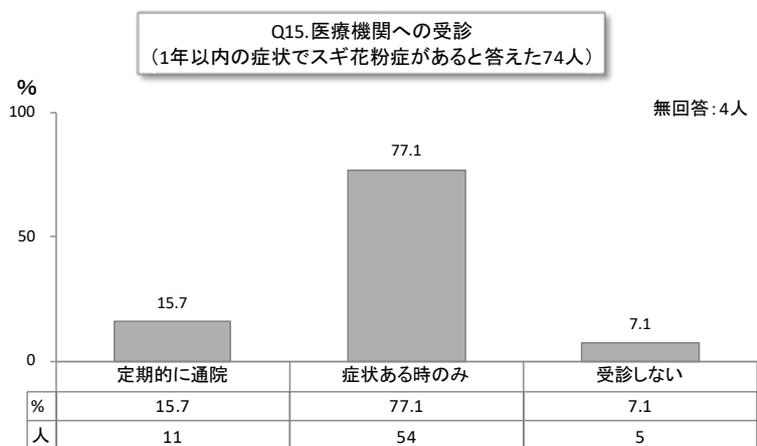
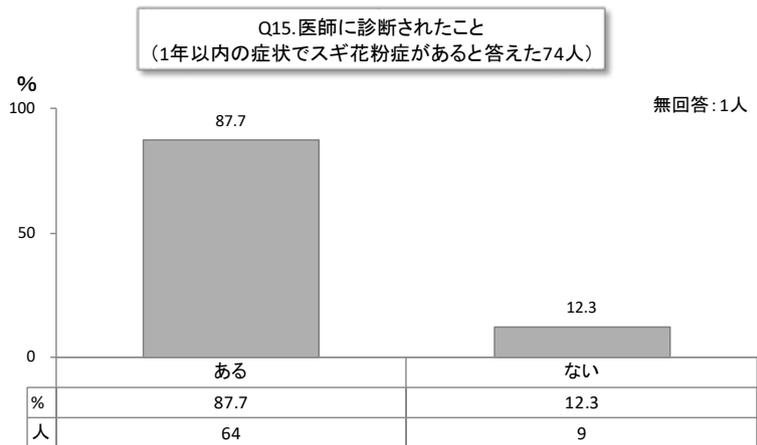
IV. 調査結果 (4.5 歳児健診時)



IV. 調査結果 (4.5 歳児健診時)



IV. 調査結果 (4.5 歳児健診時)



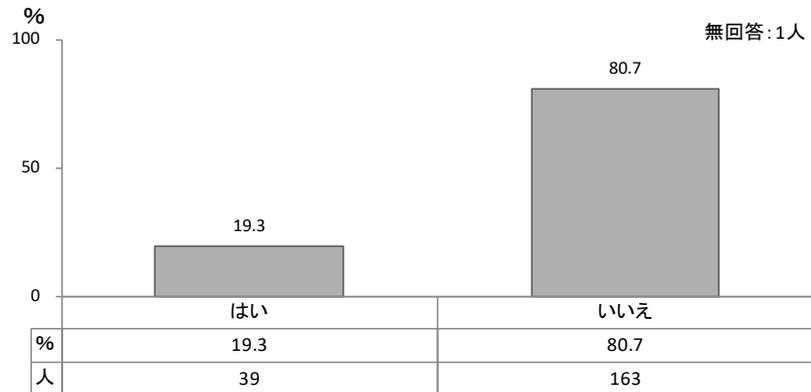
Q16. お子様は、食物アレルギーを起こしたことがありますか。

1. はい

2. いいえ

→2. と答えた方は Q18. へお進みください

Q16. お子様は食物アレルギーを起こしたことがありますか。

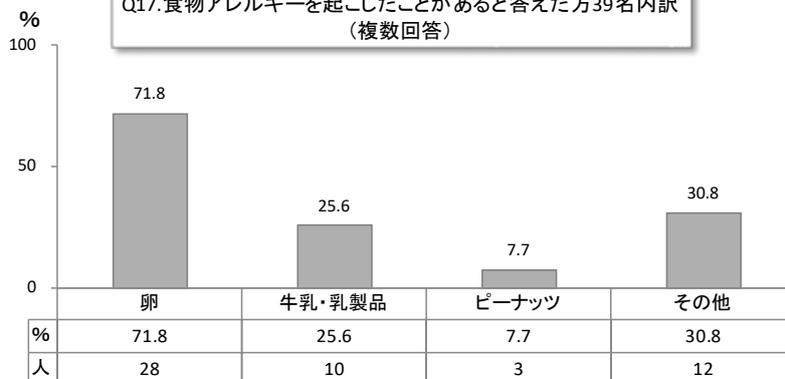


Q17. 食物アレルギーについて、アレルギー症状（じんましん・唇の腫れなど）を起こす食物で該当する番号に○または数字を記入して下さい。

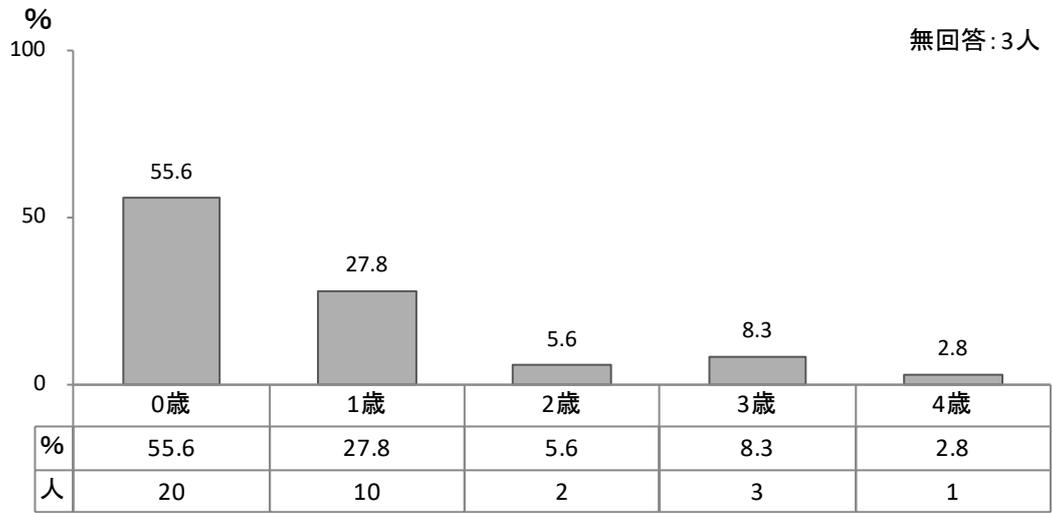
	初めて症状があった年齢	医師に診断されたこと	今も食べると症状が出る
1 卵	() 歳 () カ月	1 ある	1 はい 2 いいえ → () 歳から食べられる 3 分からない
2 牛乳・乳製品		2 ない	
3 ピーナッツ			
4 その他 ()			

*複数のアレルギー原因食物がある場合は欄外に記入をお願いします。

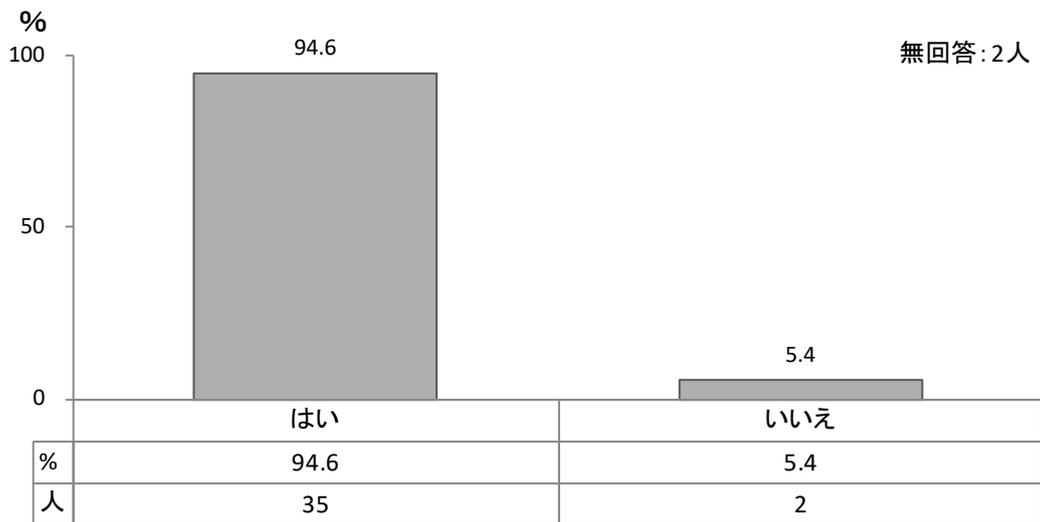
Q17. 食物アレルギーを起こしたことがあると答えた方39名内訳 (複数回答)



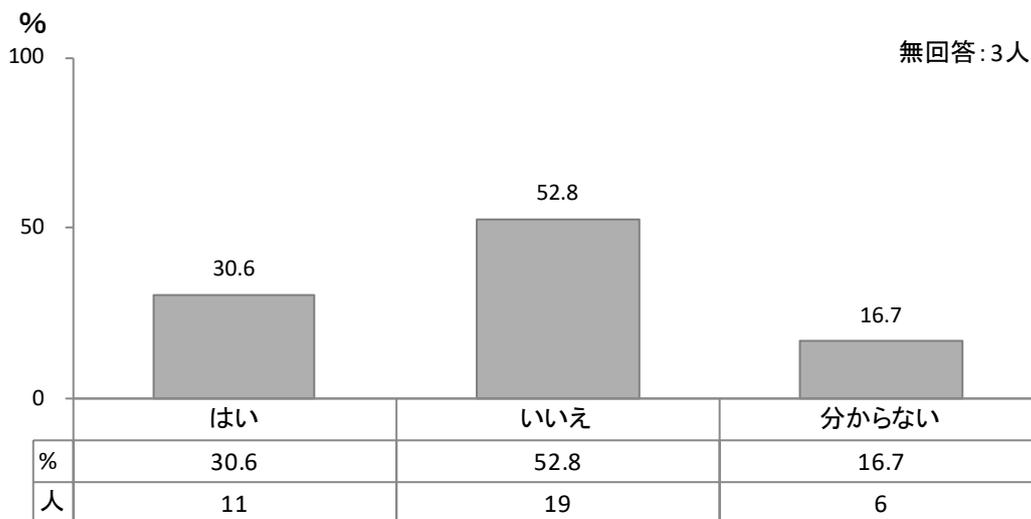
Q17.初めて症状があった年齢



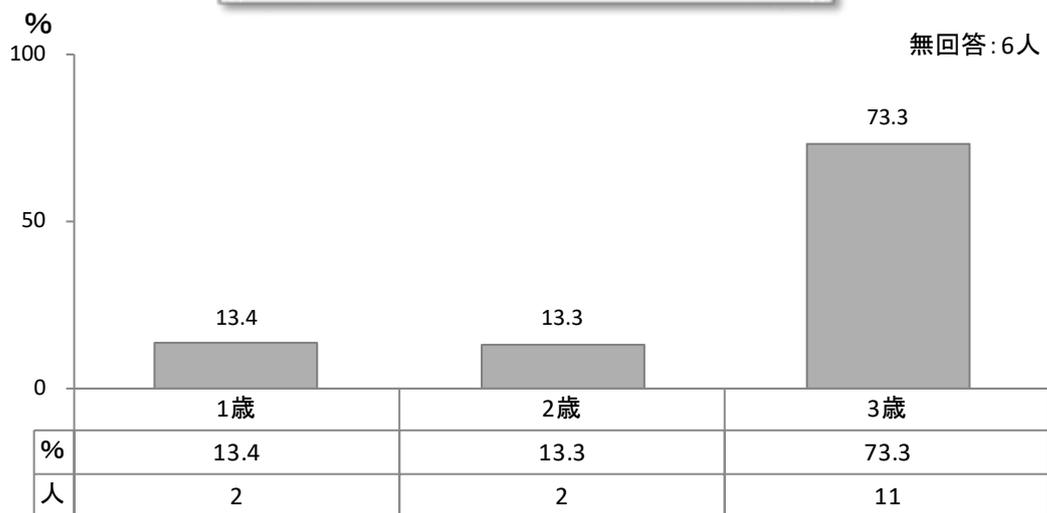
Q17.医師に診断されたこと



Q17. 今も食べると症状が出る

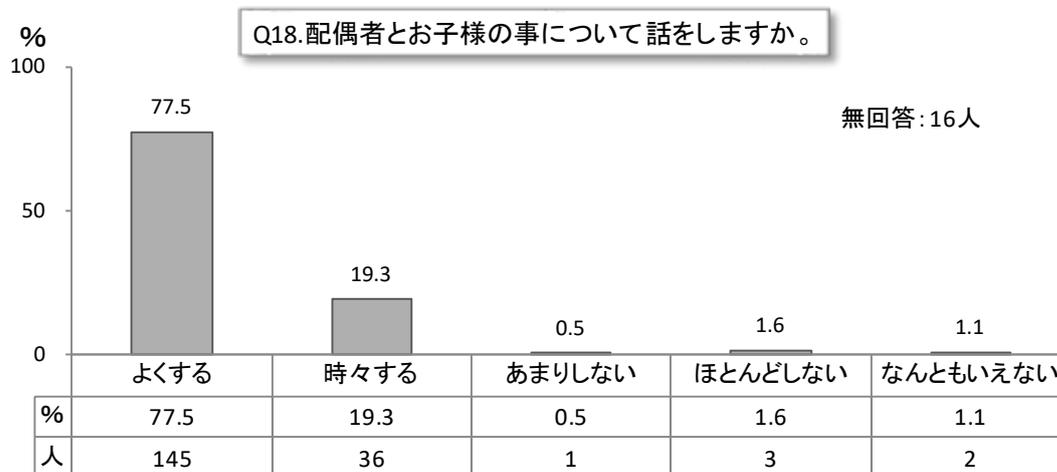


Q17. 何歳から食べられるか
(今も食べると症状が出るでいいえと答えた19名)



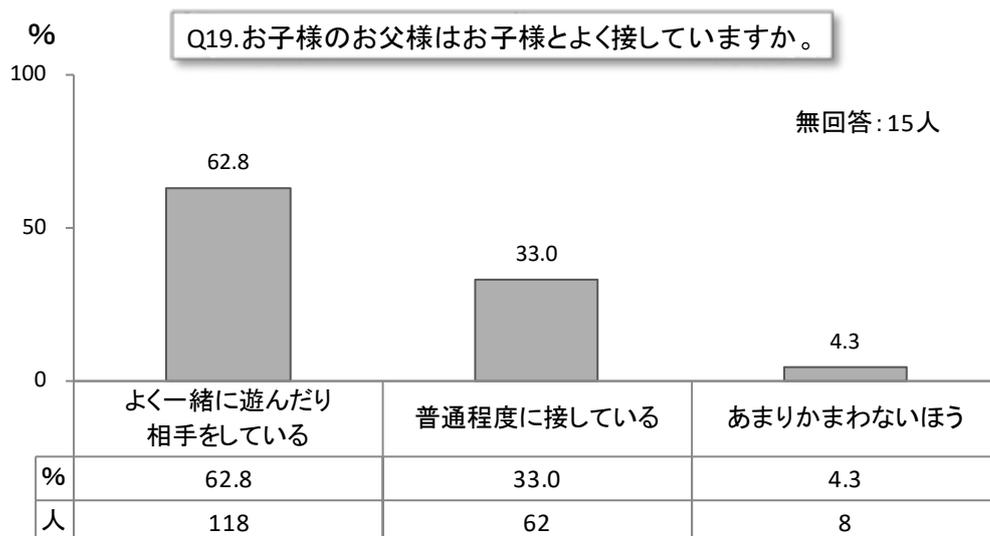
Q18. あなたの配偶者とお子様の事について話をしますか。

1. よくする
2. 時々する
3. あまりしない
4. ほとんどしない
5. なんともいえない



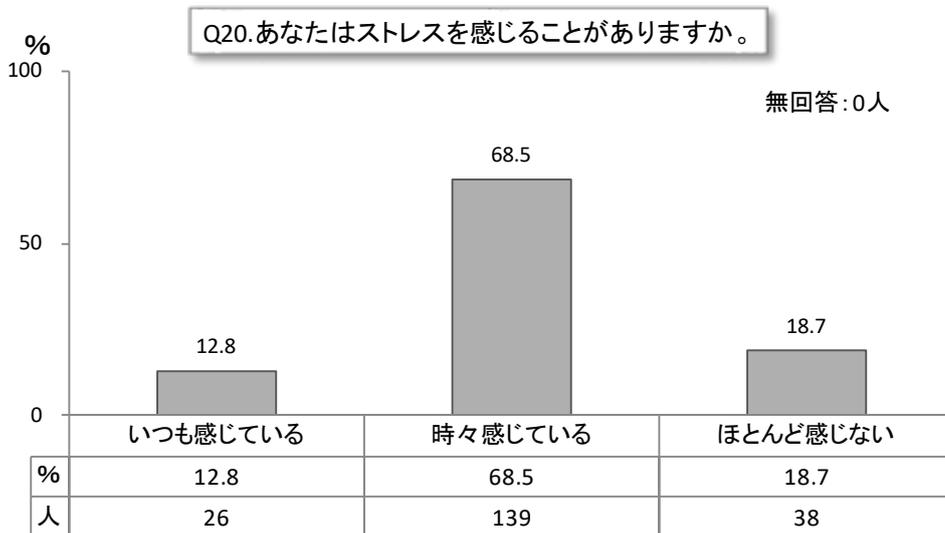
Q19. お子様のお父様はお子様とよく接していますか。

1. よく一緒に遊んだり、相手をしてあげている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわないほうである



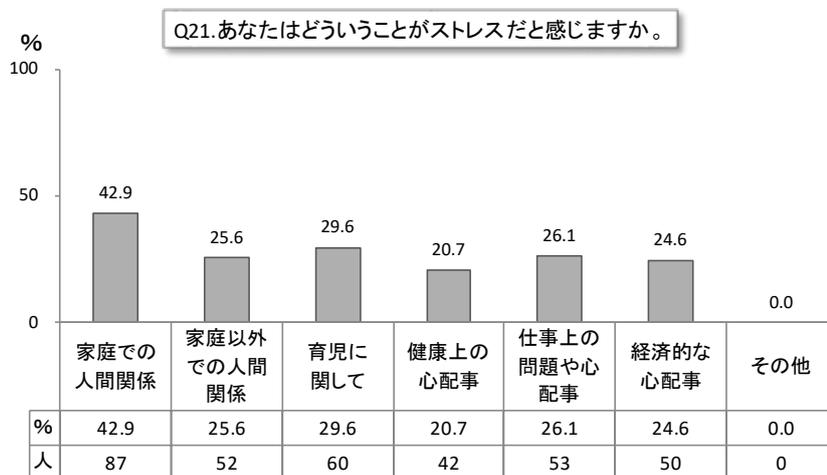
Q20. あなたはストレスを感じるがありますか。

1. いつも感じている
2. 時々感じている
3. ほとんど感じない

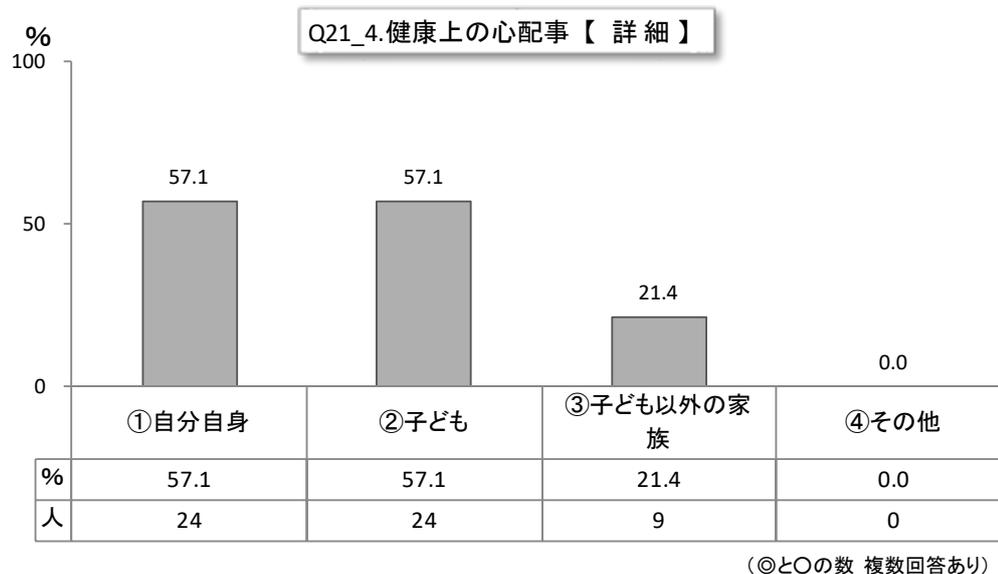
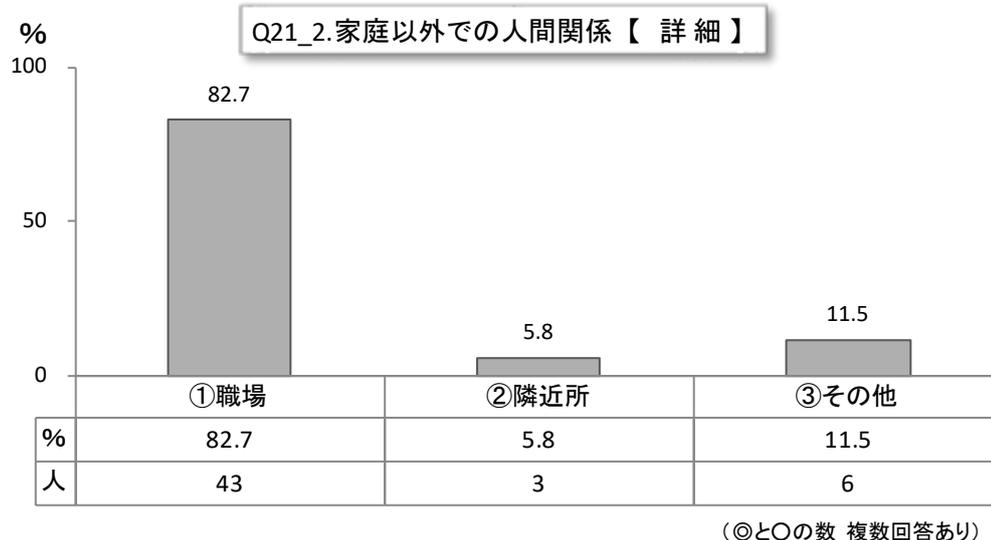
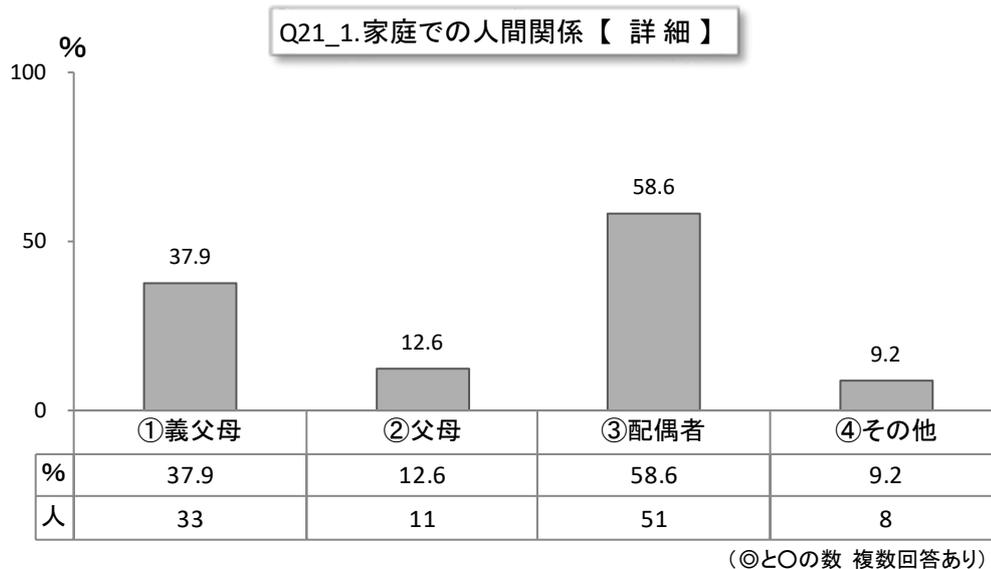


Q21. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることにすべてに○をつけて下さい。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

1. 家庭での人間関係
 - ①義父母
 - ②父母
 - ③配偶者
 - ④その他 ()
2. 家庭以外での人間関係
 - ①職場
 - ②隣近所
 - ③その他 ()
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事
 - ①自分自身
 - ②子ども
 - ③子ども以外の家族
 - ④その他 ()
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 ()

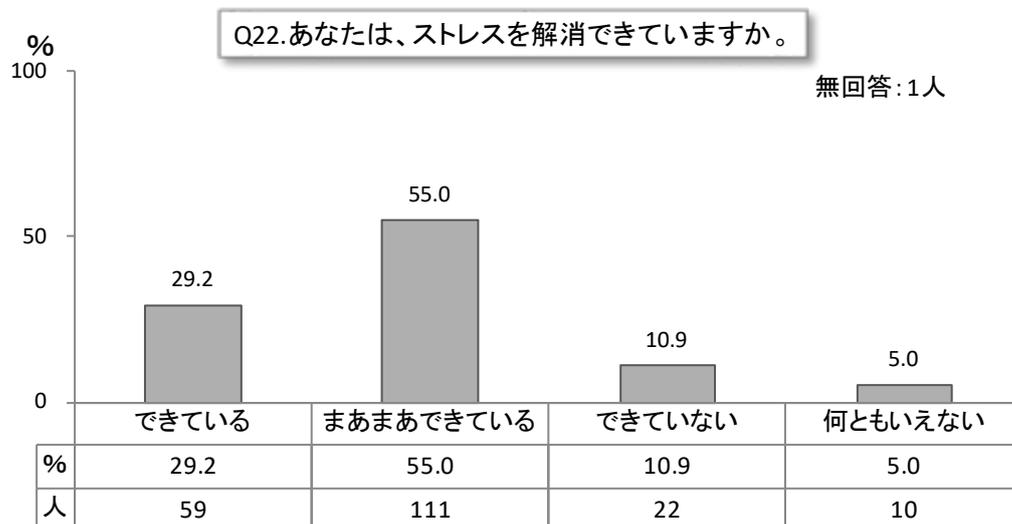


(◎と○の数 複数回答あり)



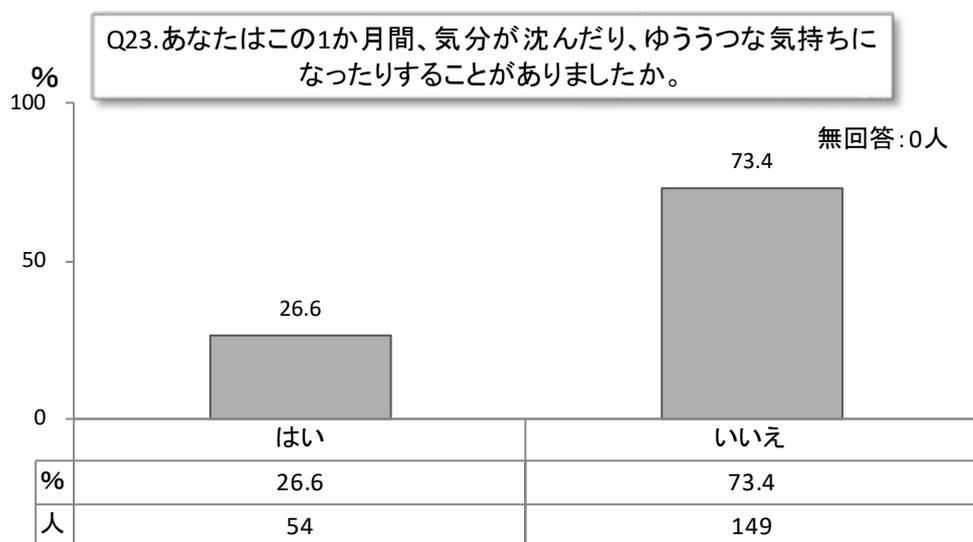
Q22. あなたは、ストレスを解消できていますか。

- 1. できている
- 2. まあまあできている
- 3. できていない
- 4. 何ともいえない



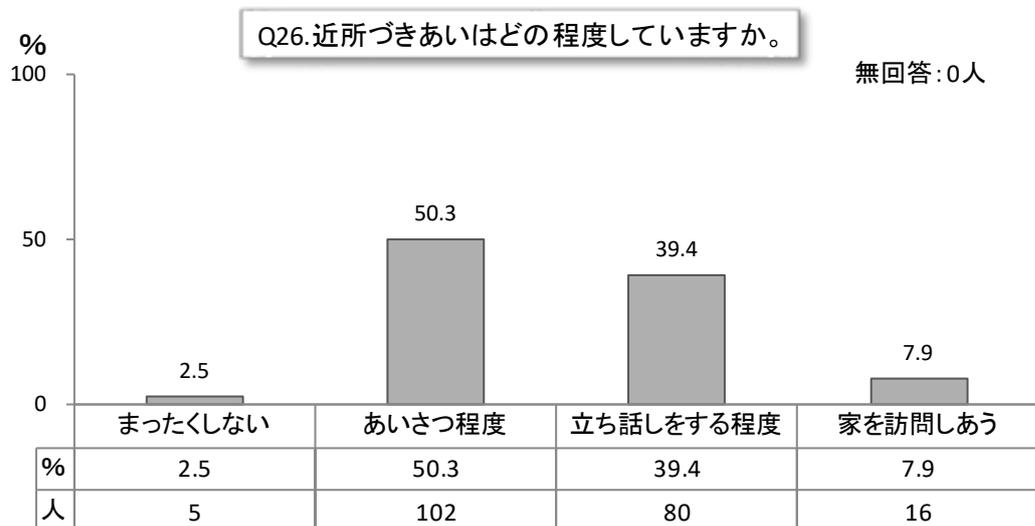
Q23. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

- 1. はい
- 2. いいえ



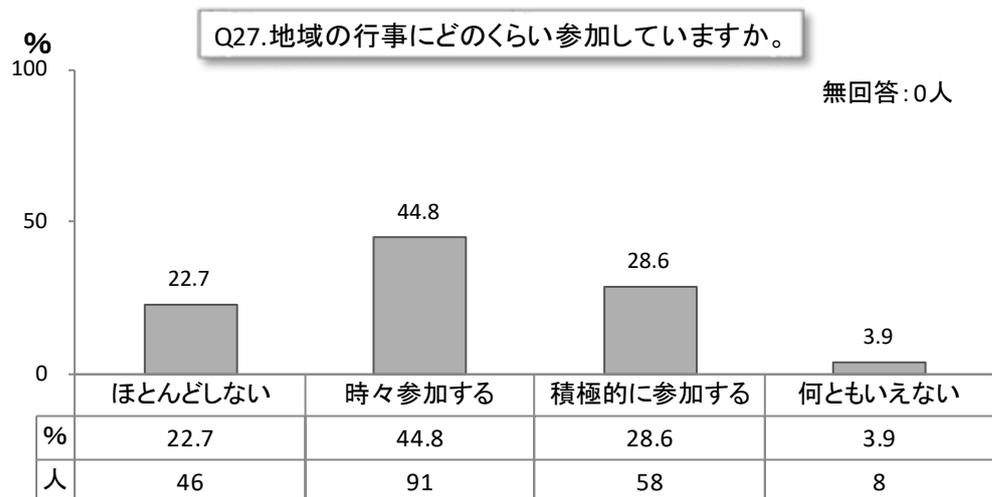
Q26. 近所付き合いはどの程度していますか。

1. まったくしない
2. あいさつ程度
3. 立ち話しをする程度
4. 家を訪問しあう



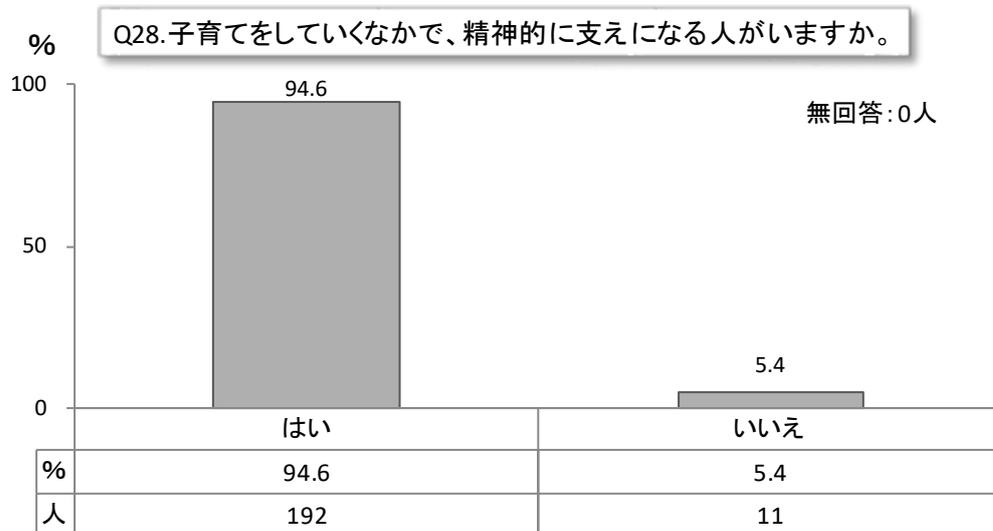
Q27. 地域の行事（区や組の行事）にどのくらい参加していますか。

1. ほとんどしない
2. 時々参加する
3. 積極的に参加する
4. 何ともいえない



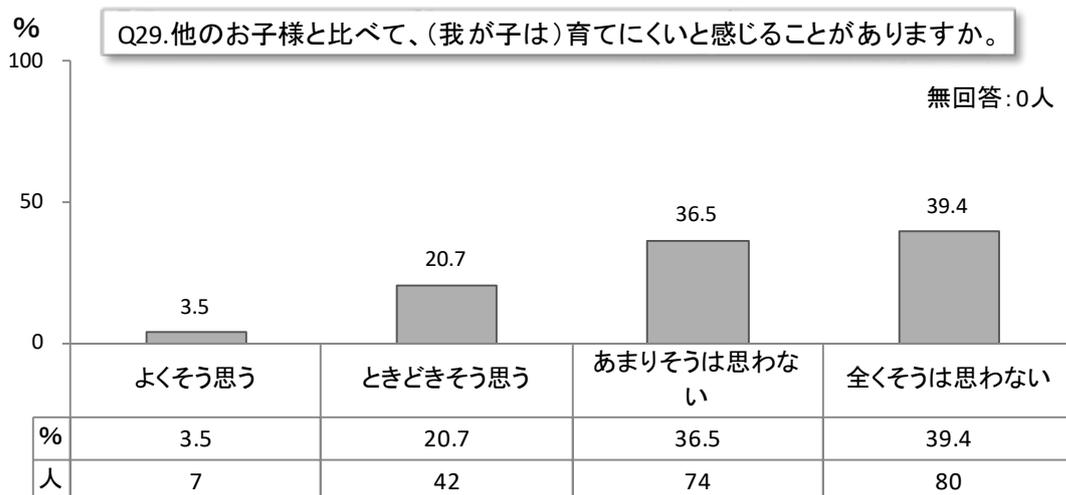
Q28. 子育てをしていくなかで、あなたにとって精神的に支えになる人がいますか。

1. はい 2. いいえ



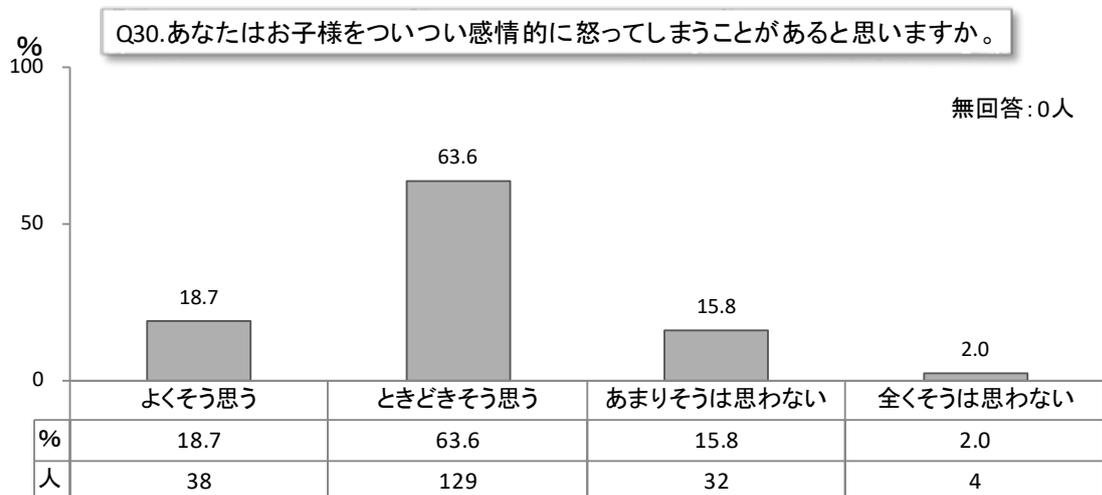
Q29. あなたは他のお子様と比べて、(我が子は) 育てにくいと感じることがありますか。

1. よくそう思う 2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない 4. 全くそうは思わない



Q30. あなたはお子様をじっくり感情的に怒ってしまうことがあると思いますか。

- 1. よくそう思う
- 2. ときどきそう思う
- 3. あまりそうは思わない
- 4. 全くそうは思わない



今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、自由にお書きください。

以上です。御協力ありがとうございました。

V. 調査票

母子健康手帳の交付を受けられる方へ (H22～)

妊娠おめでとうございます。新しい生命の誕生に向け、期待に胸をふくらませていることと思います。

さて、甲州市（健康増進課）では皆様方が妊娠中の生活を健やかに送れますように、様々な方面から健康支援に努めております。より健やかにお子様のご誕生を迎えられるよう、皆様方と一緒に考えていくために、アンケート調査を行っています。このアンケートの結果は、山梨大学医学部社会医学講座の先生方の協力を得てまとめ、皆様の妊娠中の健康支援に役立たせると共に、将来妊娠される方々の保健指導にも生かしていきたいと思っております。

記入された個々の内容に関しては、秘密が守られますので、ありのままにお答えください。

甲州市役所 健康増進課
世帯 _____
個人 _____

注：妊娠された本人以外の方が母子健康手帳を受け取る場合は、窓口の指示により本アンケート用紙を家庭に持ち帰り、必ず本人が記入したうえで早急に健康増進課まで届けてください。
(記入法：各質問に対し、該当する番号に○印や記入をしてください。)

氏名 _____
出生予定日 年 月 日 _____
記入年月日 年 月 日 _____

Q1. あなたのお仕事の有無について次の中からお選びください。

- 1. 仕事をしている
- 2. 仕事はしているが現在休職中である
- 3. 仕事はしていない（専業主婦である）
- 4. 学生である

→3. 4 と答えた方は
Q3. へお進みください

Q2. Q1で1. 2. と答えた方のみお答えください。

あなたが従事している仕事の形態を次からお選びください。

- 1. 農業
 - 2. 自営業
 - 3. 常勤
 - 4. パート・内職
 - 5. その他 ()
- 2-1. 仕事をされる時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

Q3. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

- 1. 農業
 - 2. 自営業
 - 3. 常勤
 - 4. パート・内職
 - 5. その他 ()
- 3-1. 仕事をされる時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務
- 3-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。 () 時～ () 時 () 交代制

Q4. 妊娠とわかった時の気持ちにはどんなでしたか。

SQ1. あなた自身 ↓

- 1. うれしかった
- 2. なんとなく照れくさかった
- 3. 特になんとも感じなかった
- 4. 困ったと思った
- 5. その他 ()

SQ2. 夫 ↓

- 1. うれしかった
 - 2. なんとなく照れくさかった
 - 3. 特になんとも感じなかった
 - 4. 困ったと思った
 - 5. その他 ()
1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

Q5. 今回の妊娠は計画的な妊娠ですか。

Q6. 子どもは全部で何人くらい希望しますか。

- 6-1. 自分は ① () 人 ② わからない
- 6-2. 夫は ① () 人 ② わからない

Q7. あなたはタバコを吸いますか。

- 1. 吸う (一日平均__本、今まで__年間吸っている)
- 2. 妊娠する前からやめていた (以前一日平均__本、今まで__年間吸った)
- 3. 妊娠を契機にやめた (以前一日平均__本、今まで__年間吸った)
- 4. 以前から全く吸わない

Q8. Q7で1. と答えた方のみお答えください。

あなたはタバコの本数を減らしたい、あるいはやめたいと思っていますか。

- 1. いつも思っている 2. ときどき思う 3. 思わない

Q9. あなたの夫はタバコを吸いますか。

- 1. 吸う (一日平均__本)
- 2. 妊娠する前からやめていた
- 3. 妊娠を契機にやめた
- 4. 以前から全く吸わない

Q10. ご主人以外の同居のご家族の中で、喫煙される方はいますか。

- 1. いない 2. いる (どなたですか?)

Q11. あなたはお酒を飲みますか。

- 1. 飲む (月平均__日、__年間飲んでいる)
- 2. 妊娠する前からやめていた (以前、月平均__日、__年間飲んでいました)
- 3. 妊娠を契機にやめた (以前、月平均__日、__年間飲んでいました)
- 4. 以前から全く飲まない

Q15. 妊娠前、以下に挙げる食品について、普通1週間にどのくらい食べていましたか。当てはまる箇所には○をつけてください。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップスなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

(Q11で1と答えた方のみお答えください。)
 H1-1. 飲むお酒の種類は何ですか。一番多いものひとつに○をつけて、一回に飲むお酒の量を記入してください。

1. ビール (大びん__本)
2. 日本酒 (__合)
3. ワイン (__合)
4. ウイスキー・ブランデー (水割り__杯)
5. しょうちゅう (水割り等__杯)
6. その他 ()

H1-2. あなたは、お酒をひかえたり、やめようと思っていますか。

1. いつも思っている
2. ときどき思う
3. 思わない

Q12. 妊娠前、通常の1週間で運動(体力の維持・向上を目的として、計画的・意図的に実施するウォーキングやスポーツなど)を、1週間にどのくらい行いましたか。

1. ほとんどしない
2. 1時間未満
3. 1～2時間未満
4. 2～6時間未満
5. 6時間以上

12-1. 行っているという方はどのような内容ですか。具体的に書きください。
 ()

Q13. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

1. はい
2. いいえ
3. 聞いた事はあるが、内容は知らない

Q14. 妊娠前の食事に関してうかがいます。

※妊娠前とは、おおよそ妊娠する1年前くらい前までのこととお考えください。

14-1. 栄養のバランスを考えていましたか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

14-2. カロリーをとりすぎないようにしていましたか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

14-3. 野菜をたべるようにしていましたか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

14-4. 食品を選ぶ時、無農薬・添加物などを意識して選んでいましたか。

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

14-5. 朝食を食べていましたか。

1. 毎日食べる
2. 週3～5回
3. 週1～2回
4. 食べない

Q16. 妊娠前のあなたの平日（土、日を除く）の起床・就寝時間についてうかがいます。

1. 朝、平均して何時ごろ起きますか () 時ころ
2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか () 時ころ
3. 平均して何時時間寝ますか () 時間位

Q17. 現在ストレスを感じることはありませんか。

1. いつも感じている
2. 時々感じている
3. ほとんど感じていない

Q18. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることすべてに○をつけてください。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

1. 家庭での人間関係
 - ①義父母 ②父母 ③夫 ④その他 ()
2. 家庭以外での人間関係
 - ①職場 ②隣近所 ③その他 ()
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事
 - ①自分自身 ②子ども ③子ども以外の家族 ④その他 ()
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 ()

Q19. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている
2. まあまあできている
3. できていない
4. 何ともいえない

Q20. 近所づきあいはどの程度していますか。

1. まったくしない
2. あいさつ程度
3. 立ち話しをする程度
4. 家を訪問しあう

Q21. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか？

1. はい
2. いいえ

Q22. あなたはこの1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか？

1. はい
2. いいえ

以上です。ご協力ありがとうございました。

1歳6ヵ月か月児健康診査に来られる保護者の皆様へ (H22へ)

1歳6ヵ月を迎えられたお子様のご様子はいかがでしょうか。ご家族の愛情にはぐくまれ、健やかにご成長のことと思います。

さて甲州市(健康増進課)では、お子様が心身ともに一層健やかにご成長されますよう、保護者の皆様と一緒に考えていくために、1歳6ヵ月児に関するアンケート調査を行っています。

このアンケートの結果は山梨大学医学部社会医学講座の先生方の協力を得てまとめ、お子様のこれからの健康支援に役立つ大切なものです。また記入された内容につきましては、固く秘密がまもられますので、どうぞご安心の上、ありのままにお答えください。

甲州市役所 健康増進課
世帯 _____
個人 _____

【この調査用紙は、保護者様ご自身で記入の上、健診会場にお持ち下さい。】
(記入法：各質問の該当する番号に○印や記入をしてください。)

記入年月日 → ()年()月()日 記入者続柄【 父 母 その他() 】
お子様のお名前 () 生年月日 ()年()月()日生

Q1. あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。

- ①発育・発達のこと 1. ない 2. ある ()
- ②性格のこと 1. ない 2. ある ()
- ③行動・癖のこと 1. ない 2. ある ()
- ④病気・事故のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑤食事のこと 1. ない 2. ある ()

あると答えた方はどのようなことですか当てはまるもの全てに○を付けてください。

- ① 食べ方にむらがある 2. 食事量(少ない・多い) 3. 丸のみ(良く噛まない)
- ④ 偏食 5. 間食が多い 6. 遊び食べ 7. その他 ()
- ⑥ 睡眠のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑦ お友達のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑧ しつけについて (トイレトレーニング含む) 1. ない 2. ある ()
- ⑨ 保育園・幼稚園について 1. ない 2. ある ()
- ⑩ 祖父母との育児方針 1. ない 2. ある ()
- ⑪ 住居環境のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑫ その他 1. ない 2. ある ()

Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選びください。

- 1. 仕事をしている
 - 2. 仕事はしているが現在休職中である
 - 3. 仕事はしていない(専業主婦である)
 - 4. 学生である
- 3, 4と答えた方は
Q4へお進みください

Q3. Q2で1, 2と答えた方のみお答えください。

あなたが従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

- 1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
 - 5. その他 ()
- 3-1. 仕事をされる時間はどのくらいですか。 1日 ()時間 週 ()日勤務

Q4. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

- 1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
 - 5. その他 ()
- 4-1. 仕事をされる時間はどのくらいですか。 1日 ()時間 週 ()日勤務
- 4-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。()時～()時 ()交代制

Q5. たばこについてお答えください。

5-1. 現在あなたはたばこを吸っていますか。

- 1. はい
- 2. いいえ

5-2. 現在あなたの配偶者はたばこを吸っていますか。

- 1. はい
- 2. いいえ

Q6. お子様は保育所に通園していますか。

- 1. 通園している ()歳 ()月から
- 2. 通園していない

Q7. お子様は普段ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

- 1. よくある 2. ときどきある
- 3. あまりない 4. ほとんどない

Q8. お子様は戸外で遊んだり散歩することがありますか。

- 1. よくある 2. ときどきある
- 3. あまりない 4. ほとんどない

Q9. お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか。

- 1. 1時間以下 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3～4時間
- 5. 4～5時間 6. 5時間以上 7. 見ない

Q16. お子様の食事について、該当する番号に○をつけて下さい。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップスなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に 入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

Q10. お母様は、お子様とおんぶやだっこなどスキンシップをしていますか？お母様とお母様以外の人についてそれぞれお答えください。

- 10-1. お母様とはどうですか
1. よくある
 2. ときどきある
 3. あまりない
 4. ほとんどない
- 10-2. お母様以外の人とはどうですか
1. よくある
 2. ときどきある
 3. あまりない
 4. ほとんどない

Q11. お子様の起床・就寝など睡眠の様子についてうかがいます。

- 11-1. 朝、平均して何時ごろ起きますか () 時 () 分
- 11-2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか () 時 () 分
- 11-3. 起床を始める時間は何時ごろですか () 時 () 分
- 11-4. 起床は一日どのくらいですか () 時間位
- 11-5. 夜、誰と一緒に寝ますか (誰 :)

Q12. あなたは配偶者とお子様のことについて話をしますか。

1. よくする
2. 時々する
3. あまりしない
4. ほとんどしない
5. なんともいえない

Q13. お子様のお父様はお子様とよく接していますか。

1. よく一緒に遊んだり、相手をしてあげている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわないうほうである

Q14. お子様の食事について伺います。

14-1. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べるのは何時ごろですか？平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

- 朝食 () 時 () 分
- 昼食 () 時 () 分
- 夕食 () 時 () 分

14-2. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

1. はい
2. いいえ
3. 聞いた事はあるが、内容は知らない

Q15. お子様のおやつ (食事以外のおかし、飲物、果物など) をどのようにして与えますか。(保育園に行っているお子様は、園以外の場合についてご記入下さい)

1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時と与える
3. 特に与え方に気をつけていない

- Q25. 子育てをしていくなかで、あなたにとって誰か精神的に支えになる人がいますか。
 1. はい 2. いいえ
- Q26. あなたは他のお子様と比べて、(我が子は) 育てにくいと感じることがありますか。
 1. よくそう思う
 2. ときどきそう思う
 3. あまりそうは思わない
 4. 全くそうは思わない
- Q27. あなたはお子様をいつい感情的に怒ってしまうことがあると思えますか。
 1. よくそう思う
 2. ときどきそう思う
 3. あまりそうは思わない
 4. 全くそうは思わない
- Q28. あなたはお子様の要求は何でも聞いてしまいますか。
 1. いつも聞いてしまう
 2. 我慢させることもある
 3. 全て聞き入れない
- Q29. お子様は、生まれてから今までに病気で入院したことがありますか。
 1. はい () 回
 2. いいえ

29-1. 上記で「1. はい」と答えられた方は、その時の詳しい内容をご記入ください

入院年月日	1回目			2回目			3回目		
	年	月	日	年	月	日	年	月	日
入院期間	()	()	()	()	()	()	()	()	()
病名	()	()	()	()	()	()	()	()	()
医療機関名	()	()	()	()	()	()	()	()	()

- Q30. お子様は、生まれてから今までに事故やけがなどで医療機関を受診したことがありますか。
 (注：タバコを飲んだ・頭をぶつけた・やけどをした・窒息・おぼれた・いろいろなけがなど。受診しても何も治療を受けなかった場合も含まれます)
 1. はい
 2. いいえ

- Q17. あなたはストレスを感じることはありませんか。
 1. いつも感じている 2. 時々感じている 3. ほとんど感じていない
- Q18. あなたはどういうことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることに○をつけてください。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。
 1. 家庭での人間関係
 ①義父母 ②父母 ③配偶者 ④その他 ()
 2. 家庭以外での人間関係
 ①職場 ②隣近所 ③その他 ()
 3. 育児に関して
 4. 健康上の心配事
 ①自分自身 ②子ども ③子ども以外の家族 ④その他 ()
 5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
 6. 経済的な心配事
 7. その他 ()

- Q19. あなたは、ストレスを解消できていますか。
 1. できている 2. まあまあできている 3. できていない 4. 何ともいえない
- Q20. あなたは、子どもを育てることが楽しいと思えますか。
 1. よくそう思う
 2. ときどきそう思う
 3. あまりそう思わない
 4. 全くそう思わない

- Q21. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか？
 1. はい 2. いいえ

- Q22. あなたはこの1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか？
 1. はい 2. いいえ

- Q23. 近所付き合いはどの程度していますか。
 1. まったくしない 2. あいさつ程度 3. 立ち話をする程度 4. 家を訪問しあう

- Q24. 地域の行事 (区や組の行事) にどのくらい参加していますか。
 1. まったくしない 2. ほとんどしない 3. 時々参加する 4. 積極的に参加する

Q31. お子様は、生まれてから今までに病気やケガを含め、夜間や休日などに救急外来を受診したことがありますか。

1. はい (回)
2. いいえ

31-1. その時の病名と医療機関名は

病名 (またはその症状)	医療機関名
() () ()	() () ()
() () ()	() () ()
() () ()	() () ()
() () ()	() () ()

今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

以上です。ご協力ありがとうございました。

Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選び下さい。

- 1. 仕事をしている
 - 2. 仕事はしているが現在休職中である
 - 3. 仕事はしていない (専業主婦である) → 3. 4. と答えた方は
 - 4. 学生である
- Q4. へお進みください

Q3. あなたが従事している仕事の形態を次の中からお選び下さい。

- 1. 農業
 - 2. 自営業
 - 3. 常勤
 - 4. パート・内職
 - 5. その他 ()
- 3-1. 仕事をすする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務

Q4. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

- 1. 農業
 - 2. 自営業
 - 3. 常勤
 - 4. パート・内職
 - 5. その他 ()
- 4-1. 仕事をすする時間はどのくらいですか。 1日 () 時間 週 () 日勤務
- 4-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。() 時～() 時 () 交代制

Q5. お子様は保育所または幼稚園に通園していますか。

- 1. 保育所に通園している (歳から)
- 2. 幼稚園に通園している (歳から)
- 3. 通園していないが、これから通園させたい (歳から)
- 4. ずっと通園させないつもりである
- 5. わからない/なんともいえない
- 6. その他

Q6. お子様は普段、ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない

Q7. お子様は戸外で遊んだり散歩することがありますか。

- 1. よくある
- 2. ときどきある
- 3. あまりない
- 4. ほとんどない

Q8. お子様は同年代の子どもに興味や関心をもちますか。

- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. どちらともいえない

3 歳児健康診査に来られる保護者様へ (H22～)

3 歳を迎えられたお子様のご様子はいかがでしょうか。ご家族の方の愛情にはぐくまれ、健やかにご成長のことと思います。

さて甲州市 (健康増進課) では、お子様が心身ともに一層健やかにご成長されますよう、保護者の皆様と一緒に考えていくために、3 歳児に関するアンケート調査を行っています。

この調査の結果は山梨大学医学部社会医学講座の先生方の協力を得てまとめ、お子様の今後の健康支援に生かされる大切なものです。また記入された内容につきましては、固く秘密がまもられますので、どうぞご安心の上、ありのままにお答え下さい。

甲州市役所 健康増進課
世帯 _____
個人 _____

[この調査用紙は、保護者様ご自身で記入の上、健診会場にお持ち下さい。]
(記入法：各質問の該当する番号に○印や記入をしてください。)

記入年月日 → () 年 () 月 () 日 記入者続柄【 父 母 その他 () 】
お子様のお名前 () 生年月日 () 年 月 日生

Q1. あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。

- ①発育・発達のこと 1. ない 2. ある ()
- ②性格のこと 1. ない 2. ある ()
- ③行動・癖のこと 1. ない 2. ある ()
- ④病気・事故のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑤食事のこと 1. ない 2. ある ()

あると答えた方はどのようなことですか当てはまるもの全てに○を付けてください。

- 1. 食べ方にむらがある
- 2. 食量 (少ない・多い)
- 3. 良く噛まない
- 4. 偏食
- 5. 間食が多い
- 6. 遊び食べ
- 7. その他 ()
- ⑥睡眠のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑦お友達のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑧保育園・幼稚園について 1. ない 2. ある ()
- ⑨しつけについて 1. ない 2. ある ()
- ⑩祖父母との育児方針 1. ない 2. ある ()
- ⑪住居環境のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑫その他 1. ない 2. ある ()

Q10. お子様の食事について伺います。

Q9. お子様の食事について、該当する番号に○をつけてください。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップスなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に 入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

10-1. お子様は、食事を1日に3回とっていますか。

1. はい
2. いいえ (いつ食べないことが多いですか： 朝 ・ 昼 ・ 夜)

10-2. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べ始めるのは何時ごろですか？平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

- 朝食 () 時 ころ
昼食 () 時 ころ
夕食 () 時 ころ

10-3. お子様は誰と一緒に食事を食べますか。

1. だいたい家族そろって
2. 時々家族そろって
3. だいたい子どもだけ
4. その他 ()

10-4. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

1. はい
2. いいえ
3. 聞いた事はあるが、内容は知らない

Q11. お子様のおやつ (食事以外のおかし、飲物、果物など) はどのようなように与えますか。(保育園に行っているお子様は、園以外の場合についてご記入下さい)

1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない

Q12. お子様はテレビやビデオ・DVDを一日どのくらい見ますか。

1. 1時間以下
2. 1~2時間
3. 2~3時間
4. 3~4時間
5. 4~5時間
6. 5時間以上
7. 見ない

Q13. お子様はテレビゲーム類 (ゲームボーイ・携帯電話のゲーム・コンピュータゲーム等も含む) を一日どのくらい行いますか。

1. 1時間以下
2. 1~2時間
3. 2~3時間
4. 3~4時間
5. 4~5時間
6. 5時間以上
7. 行わない

Q14. お子様の起床・就寝についてうかがいます。

- 14-1. 朝、平均して何時ごろ起きますか () 時 () 分 ころ
14-2. 夜、平均して何時ごろ寝ますか () 時 () 分 ころ
14-3. 昼寝を始める時間は何時ごろですか () 時 () 分 ころ
14-4. 昼寝は一日どのくらいしますか () 時間位
14-5. 夜、誰と一緒に寝ますか (誰：)

- Q22. あなたは、子どもを育てることが楽しいと思いますか。
1. よくそう思う
 2. ときどきそう思う
 3. あまりそうは思わない
 4. 全くそうは思わない
- Q23. 近所付き合いはどの程度していますか。
1. まったくしない
 2. あいさつ程度
 3. 立ち話をする程度
 4. 家を訪問しあう程度
- Q24. 地域の行事(区や組の行事)にどのくらい参加していますか。
1. ほとんどしない
 2. 時々参加する
 3. 積極的に参加する
 4. 何ともいえない
- Q25. あなたには、子ども連れで親同士が集まれる場所がありますか。
1. はい
 2. いいえ
- Q26. 子育てをしていくなかで、あなたにとって精神的に支えになる人がいますか。
1. はい
 2. いいえ
- Q27. あなたは他のお子様と比べて、(我が子は)育てにくいと感じることがありますか。
1. よくそう思う
 2. ときどきそう思う
 3. あまりそうは思わない
 4. 全くそうは思わない
- Q28. あなたはお子様をいつい感情的に怒ってしまうことがありますか。
1. よくそう思う
 2. ときどきそう思う
 3. あまりそうは思わない
 4. 全くそうは思わない
- Q29. あなたはお子様の要求は何でも聞いてしまいますか。
1. いつも聞いてしまう
 2. 我慢させることもある
 3. 全て聞き入れない

- Q15. あなたは配偶者とお子様の事について話をしますか。
1. よくする
 2. 時々する
 3. あまりしない
 4. ほとんどしない
 5. なんともいえない
- Q16. お子様のお父様はお子様とよく接していますか。
1. よく遊んだり、相手をしている
 2. 普通程度に接している
 3. あまりかまわないうほうである
- Q17. あなたはストレスを感じることがありますか。
1. いつも感じている
 2. 時々感じている
 3. ほとんど感じていない
- Q18. あなたはどういうことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることすべてに○をつけて下さい。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。
1. 家庭での人間関係
 - ①義父母
 - ②父母
 - ③配偶者
 - ④その他 ()
 2. 家庭以外での人間関係
 - ①職場
 - ②隣近所
 - ③その他 ()
 3. 育児に関して
 4. 健康上の心配事
 - ①自分自身
 - ②子ども
 - ③子ども以外の家族
 - ④その他 ()
 5. 仕事上の問題や心配事(内容・地位など)
 6. 経済的な心配事
 7. その他 ()
- Q19. あなたは、ストレスを解消できていますか。
1. できている
 2. まあまあできている
 3. できていない
 4. 何ともいえない
- Q20. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか?
1. はい
 2. いいえ
- Q21. あなたはこの1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか?
1. はい
 2. いいえ

Q30. お子様は、1歳6か月健診から今までに病気で入院したことがありますか。

1. はい (回)
2. いいえ

30-1. 上記で「1. はい」と答えた方は、その時の詳しい内容をご記入下さい

	1回目	2回目	3回目
入院年月日	年 月 日頃	年 月 日頃	年 月 日頃
入院期間	(日間)	(日間)	(日間)
病名	()	()	()
医療機関名	()	()	()

Q31. お子様は、1歳6か月健診から今までに事故やけがなどで医療機関を受診したことがありますか。

(注：タバコを飲んだ・頭をぶつけた・やけどした・窒息・おぼれた・いろいろなけがなど。受診しても何も治療を受けなかった場合も含みます)

1. はい
2. いいえ

223

Q32. お子様は、1歳6か月健診から今までに病気やケガを含め、夜間や休日などに救急外来を受診したことがありますか。

1. はい (回)
2. いいえ

32-1. その時の病名と医療機関名は

病名 (またはその症状)	医療機関名
()	()
()	()
()	()

今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

7 以上です。ご協力ありがとうございました。

5 歳児健康診査に来られる保護者様へ (H30～)

5 歳を迎えられたお子様のご様子はいかがでしょうか。ご家族の愛情にはぐくまれ、健やかにご成長のことと思います。

さて甲州市 (健康増進課) では、お子様が心身ともに一層健やかにご成長されますよう、保護者の皆様と一緒に考えていくために、5 歳児に関するアンケート調査を行っています。

この調査の結果は、山梨大学医学部社会医学講座の先生方の協力を得てまとめ、お子様の今後の健康支援に生かされる大切なものです。また記入された内容につきましては、固く秘密がまもられますので、どうぞご安心の上、ありのままにお答え下さい。

甲州市役所 健康増進課
世帯 _____
個人 _____

【この調査用紙は、保護者様ご自身で記入の上、健診会場にお持ち下さい。】
(記入法：各質問の該当する番号に○印や記入をしてください。)

記入年月日 → 平成()年()月()日 記入者続柄【 父 母 その他() 】
お子様のお名前 () 生年月日 () 年 月 日生

Q1. あなたは育児のことで現在解決できずに悩んでいることがありますか。

- ①発育・発達のこと 1. ない 2. ある ()
- ②性格のこと 1. ない 2. ある ()
- ③行動・癖のこと 1. ない 2. ある ()
- ④病気・事故のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑤食事のこと 1. ない 2. ある ()

あると答えた方はどのようなことですか当てはまるもの全てに○を付けてください。

- ① 食べ方にむらがある 2. 食事も (少ない・多い) 3. 良く噛まない
- ④ 偏食 5. 間食が多い 6. 遊び食べ 7. その他 ()
- ⑥ 睡眠のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑦ お友達のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑧ 保育園・幼稚園について 1. ない 2. ある ()
- ⑨ しつけについて 1. ない 2. ある ()
- ⑩ 祖父母との育児方針 1. ない 2. ある ()
- ⑪ 住居環境のこと 1. ない 2. ある ()
- ⑫ その他 1. ない 2. ある ()

Q2. あなたのお仕事の有無について次の中からお選び下さい。

- 1. 仕事をしている
 - 2. 仕事はしているが現在休職中である
 - 3. 仕事はしていない (専業主婦である)
 - 4. 学生である
- 3. 4. と答えた方は
Q4. へお進みください

Q3. あなたが従事している仕事を次の中からお選び下さい。

- 1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
 - 5. 学生 6. その他 ()
- 3-1. 仕事をされる時間はどのくらいですか。 1 日 () 時間 週 () 日勤務

Q4. あなたの配偶者の方が従事している仕事の形態を次の中からお選びください。

- 1. 農業 2. 自営業 3. 常勤 4. パート・内職
 - 5. その他 ()
- 4-1. 仕事をされる時間はどのくらいですか。 1 日 () 時間 週 () 日勤務
4-2. 基本的な勤務時間帯は何時ですか。() 時～() 時 () 交代制

Q5. お子様は保育園または幼稚園に通園していますか。

- 1. 保育園に通園している (歳から)
- 2. 幼稚園に通園している (歳から)
- 3. 通園していない
- 4. 通園していたがやめた
- 5. その他 ()

Q6. お子様は普段ご両親やきょうだい以外の人と触れ合うことがありますか。

- 1. よくある 2. ときどきある
- 3. あまりない 4. ほとんどない

Q7. お子様は戸外・室内どちらで遊ぶことが多いですか。

- 1. 戸外で遊ぶことが多い。
- 2. 戸外・室内両方で遊ぶことが多い。
- 3. 室内で遊ぶことが多い。

Q8. お子様は同年代のお友達とよく遊べますか。

- 1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

Q9. お子様はテレビやビデオ・DVD を一日どのくらい見ますか。

- 1. 1 時間以下 2. 1～2 時間 3. 2～3 時間 4. 3～4 時間
- 5. 4～5 時間 6. 5 時間以上 7. 見ない

Q14. お子様の食事について、該当する番号に○をつけて下さい。

	ほとんどとらない	週3回位	ほとんど毎日
米飯	1	2	3
パン	1	2	3
めん類 (インスタントラーメン以外)	1	2	3
インスタントラーメン (カップラーメン含む)	1	2	3
いも類	1	2	3
卵	1	2	3
牛乳	1	2	3
乳製品 (チーズなど)	1	2	3
肉類	1	2	3
魚類	1	2	3
豆類 (豆腐・納豆などを含む)	1	2	3
緑黄色野菜 (ピーマン・にんじんなど)	1	2	3
淡色野菜 (きゅうり・キャベツなど)	1	2	3
果物類	1	2	3
海藻類	1	2	3
塩辛いもの (つくだに・漬け物など)	1	2	3
油料理(フライ・肉炒めなど)	1	2	3
ドレッシング	1	2	3
マヨネーズ	1	2	3
汁もの (味噌汁・すましなど)	1	2	3
塩味のお菓子 (ポテトチップスなど)	1	2	3
甘いお菓子 (砂糖を含むもの)	1	2	3
砂糖 (コーヒー・紅茶に 入れるものを含む)	1	2	3
炭酸飲料	1	2	3
ヨーグルト	1	2	3
乳酸飲料 (ヤクルトなど)	1	2	3
市販のジュース (スポーツ飲料含む)	1	2	3
ファーストフード (ハンバーガー・ ホットドッグ・肉まんなど)	1	2	3

Q10. お子様はテレビゲーム類 (ゲームボーイ・携帯電話のゲーム・コンピュータゲーム等も含む) を一日どのくらい行いますか

1. 1時間以下 2. 1~2時間 3. 2~3時間 4. 3~4時間
5. 4~5時間 6. 5時間以上 7. 行わない

Q11. お子様の起床・就寝についてうかがいます。

- 11-1. 朝、平均して何時頃起きますか () 時 () 分 () 分
11-2. 夜、平均して何時頃寝ますか () 時 () 分 () 分
11-3. 昼寝は一日どのくらいしますか () 時間位
11-4. 夜、一人で寝ますか → ①寝る ②寝ない (誰と:)

Q12. お子様の食事について伺います。

12-1. お子様は、食事を1日に3回とっていますか。

1. はい
2. いいえ (いつ食べないことが多いですか: 朝・昼・夜)

12-2. お子様の1日の食事の時間についてうかがいます。それぞれの食事を食べるのは何時ごろですか? 平日と休日で異なる場合は平日のことをお書きください。

- 朝食 () 時 () ころ
昼食 () 時 () ころ
夕食 () 時 () ころ

12-3. お子様は誰と一緒に食事を食べますか。

1. だいたい家族そろって 2. 時々家族そろって
3. だいたい子どもだけ 4. その他 ()

12-4. あなたは「手ばかり」を知っていますか。

1. はい 2. いいえ 3. 聞いた事はあるが、内容は知らない

Q13. お子様のおやつ (食事以外のおかし、飲物、果物など) はどのようなようにして与えますか。

(監育園に行っているお子様は、園以外の場合についてご記入下さい)

1. 時間を決めて与える
2. ほしがる時に与える
3. 特に与え方に気をつけていない

Q15. お子様のアレルギー関連の病気について、該当する番号に○をつけて下さい。

	1年以内の症状	医師に診断されたこと	医療機関への受診	現在の治療内容
気管支喘息	1 ある 2 ない (ゼーゼー・ヒューヒュー)	1 ある 2 ない	1 定期的に通院 2 症状ある時のみ 3 受診しない	1 医師処方薬 2 市販薬 3 民間療法など
アトピー性皮膚炎	1 ある 2 ない (かゆみを伴った湿疹)	1 ある 2 ない	1 定期的に通院 2 症状ある時のみ 3 受診しない	1 医師処方薬 2 市販薬 3 民間療法など
アレルギー性鼻炎(花粉症含む)	1 ある 2 ない (カゼ以外のくしゃみ・鼻水・鼻づまり)	1 ある 2 ない	1 定期的に通院 2 症状ある時のみ 3 受診しない	1 医師処方薬 2 市販薬 3 民間療法など
スギ花粉症(スギ花粉の時期の鼻炎)	1 ある 2 ない (カゼ以外のくしゃみ・鼻水・鼻づまり)	1 ある 2 ない	1 定期的に通院 2 症状ある時のみ 3 受診しない	1 医師処方薬 2 市販薬 3 民間療法など

Q16. お子様は、食物アレルギーを起こしたことがありますか。

1. はい
2. いいえ →2. と答えの方はQ18. へお進みください

Q17. 食物アレルギーについて、アレルギー症状(じんましん・唇の腫れなど)を起こす食物で該当する番号に○または数字を記入して下さい。

	初めて症状があった年齢	医師に診断されたこと	今も食べると症状が出る
1 卵	() 歳	1 ある 2 ない	1 はい 2 いいえ → () 歳から食べられる 3 分からない
2 牛乳・乳製品	() カ月		
3 ビーナッツ			
4 その他 ()			

*複数のアレルギー原因食物がある場合は欄外に記入をお願いします。

Q18. あなたの配偶者とお子様の事について話をしますか。

1. よくする
2. 時々する
3. あまりしない
4. ほとんどしない
5. なんともいえない

Q19. お子様のお父様はお子様とよく接していますか。

1. よく一緒に遊んだり、相手をしてあげている
2. 普通程度に接している
3. あまりかまわわないほうである

Q20. あなたはストレスを感じることがありますか。

1. いつも感じている
2. 時々感じている
3. ほとんど感じない

Q21. あなたはどのようなことがストレスだと感じますか。ストレスだと感じることすべてに○をつけて下さい。その中で一番強くストレスを感じることに◎をつけてください。

1. 家庭での人間関係
①義父母 ②父母 ③配偶者 ④その他 ()
2. 家庭以外での人間関係
①職場 ②隣近所 ③その他 ()
3. 育児に関して
4. 健康上の心配事
①自分自身 ②子ども ③子ども以外の家族 ④その他 ()
5. 仕事上の問題や心配事 (内容・地位など)
6. 経済的な心配事
7. その他 ()

Q22. あなたは、ストレスを解消できていますか。

1. できている 2. まあまあできている 3. できていない 4. 何ともいえない

Q23. あなたはこの1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか？

1. はい 2. いいえ

Q24. あなたはこの1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか？

1. はい 2. いいえ

Q25. あなたは、子どもを育てることが楽しいと思いますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない

Q26. 近所付き合いはどの程度していますか。

1. まったくしない
2. あいさつ程度
3. 立ち話しをする程度
4. 家を訪問しあう

Q27. 地域の行事 (区や組の行事) にどのくらい参加していますか。

1. ほとんどしない
2. 時々参加する
3. 積極的に参加する
4. 何ともいえない

Q28. 子育てをしていくなかで、あなたにとって精神的に支えになる人がいますか。

1. はい
2. いいえ

Q29. あなたは他のお子様と比べて、(我が子は) 育てにくいと感じることがありますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない

Q30. あなたはお子様をついつい感情的に怒ってしまうことがあると思いますか。

1. よくそう思う
2. ときどきそう思う
3. あまりそうは思わない
4. 全くそうは思わない

今、子育てしている中で関心があること、行政への要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

以上です。御協力ありがとうございました。

VI. 個別研究

原著

1 ■ Mitsuya Yamakita, Miri Sato, Kohta Suzuki, Daisuke Ando, Zentaro Yamagata: Sex Differences in Birth Weight and Physical Activity in Japanese Schoolchildren. *Journal of Epidemiology* 28(7): 331–335. 2018.7



Original Article

J Epidemiol 2018;28(7):331-335

Sex Differences in Birth Weight and Physical Activity in Japanese Schoolchildren

Mitsuya Yamakita¹, Miri Sato², Kohta Suzuki³, Daisuke Ando⁴, and Zentaro Yamagata^{2,5}

¹College of Liberal Arts and Sciences, Kitasato University, Sagami-hara, Kanagawa, Japan

²Center for Birth Cohort Studies, Graduate School Department of Interdisciplinary Research, University of Yamanashi, Yamanashi, Japan

³Department of Health and Psychosocial Medicine, Aichi Medical University School of Medicine, Aichi, Japan

⁴Division of Human Sciences, Faculty of Education, Graduate School Department of Interdisciplinary Research, University of Yamanashi, Yamanashi, Japan

⁵Department of Health Sciences, Basic Science for Clinical Medicine, Division of Medicine, Graduate School Department of Interdisciplinary Research, University of Yamanashi, Yamanashi, Japan

Received April 26, 2017; accepted August 3, 2017; released online February 24, 2018

ABSTRACT

Background: Lower birth weight (BW) is associated with increased chronic disease risk later in life. Previous studies suggest that this may be mediated principally via physical activity (PA). However, the association between BW and PA in children has not been clarified. The purpose of this study was to examine the association between BW and PA in school-aged children in Japan.

Methods: Participants were children from a prospective birth cohort study (Project Koshu) who were born from 1996 through 2002 in rural Japan. BWs were obtained from the Maternal and Child Health Handbook. Data on PA during childhood were collected using a self-reported questionnaire when participants were 9–15 years of age in July 2011. Analysis of covariance was used to evaluate exercise duration; Poisson regression analysis was used to evaluate if the recommended PA amount was met.

Results: Data from 657 children (boys: 54.8%, follow-up rate: 77.6%) were analyzed. Compared with the normal BW group, only girls in the low-BW group had significantly lower PA level (normal BW, 11.4 [standard error, 1.0] hours/week; low BW, 5.8 [standard error, 3.6] hours/week, $P = 0.010$), and were more likely to not meet the recommended PA level (prevalence ratio 1.57; 95% CI, 1.14–2.16).

Conclusion: Low BW was associated with a lower PA level in school-aged girls but not boys. Earlier consideration of BW may be an important public health strategy to prevent physical inactivity in school-aged girls.

Key words: birth weight; physical activity; school-aged children

Copyright © 2018 Mitsuya Yamakita et al. This is an open access article distributed under the terms of Creative Commons Attribution License, which permits unrestricted use, distribution, and reproduction in any medium, provided the original author and source are credited.

INTRODUCTION

Physical activity (PA) is one of the most important contributors to maintaining optimal health, and considerable evidence suggests that sufficient PA has the potential to prevent numerous diseases and provide health benefits to people of all ages.^{1–4} Studies suggest that school-age PA influences adult PA and health status in later life.^{5–8} PA promotion may be effective if initiated in childhood or earlier in life.

However, globally, 81% of school-going children and adolescents aged 11–17 years do not meet the recommended guideline⁹ of at least 60 minutes of moderate-to-vigorous PA daily.¹ Among Japanese children, no representative data is available on whether PA levels are being met according to the official national PA guidelines.^{10,11} According to the Japan sports agency survey, which assessed adequacy of PA based on other criteria (420 min/week), 44.3% of boys and 67.3% of girls in 5th grade (aged 10–11 years) and 15.8% of boys and 39.5% of girls in the second year of junior high (aged 13–14 years) engaged in

exercise for less than 420 min per week, not including that in physical education classes.¹² Hence, the majority of Japanese school-aged children do not achieve PA recommendations.

Therefore, to develop effective public strategies promoting PA in children and adolescents, a better understanding of its intrinsic and extrinsic determinants is required. To date, a broad range of factors has been investigated, including interpersonal, demographic, biological, psychological, social, cultural, and environmental factors.^{13–16} In addition, recently, it has been suggested that birth weight (BW) is associated with PA later in life.^{17–19} Numerous epidemiological studies substantiated a close association between low BW and an increased risk of chronic diseases.^{20–22} A meta-analysis suggested a lower probability of undertaking leisure-time PA in adolescent and adults with a low or high BW,²³ which indicated that the association between BW and higher risk of metabolic diseases in adulthood could partly be explained by lower rates of PA in childhood.^{19,23} Meanwhile, not all studies have consistently confirmed the association between BW and PA among children and adolescents.²⁴ Moreover, to the

Address for correspondence: Mitsuya Yamakita, College of Liberal Arts and Sciences, Kitasato University, Sagami-hara, Kanagawa, Japan (e-mail: yamakita@kitasato-u.ac.jp).

DOI <https://doi.org/10.2188/jea.JE20170078>

HOME PAGE <http://jeaweb.jp/english/journal/index.html>

331

2 ■ 山北満哉, 安藤大輔, 佐藤美理, 秋山有佳, 鈴木康太, 山縣然太郎: 子どものスポーツ活動とGrit(やり抜く力)の関連: 横断研究. 日本健康教育学会誌. 26(4):353-362. 2018. 4

原 著

子どものスポーツ活動とGrit(やり抜く力)の関連: 横断研究

山北 満哉^{*1}・安藤 大輔^{*2}・佐藤 美理^{*3}
秋山 有佳^{*4}・鈴木 孝太^{*5}・山縣然太郎^{*3,*4}

目的: 小学5年生を対象にスポーツ活動とGritの関連を検討することを目的とした。

方法: 本研究は2015年12月に山梨県甲州市で実施した横断研究であり, 対象者は市内の小学5年生全員(287名)とした。子ども用8項目のGrit尺度の合計点であるGrit得点, 及び2つの下位尺度得点(根気得点と一貫性得点)を算出し, 評価に用いた。スポーツ活動の実施の有無は, 運動やスポーツに関する習い事の記載の有無により, 活動あり群となし群に分類し, さらに記載されたスポーツ種目をチームで試合を行う種目(団体種目)とそれ以外(個人種目)に分類した。Grit得点, 及び根気得点, 一貫性得点を目的変数, スポーツ活動の実施の有無及び種目のタイプを説明変数として, 家庭の社会経済状況を共変数とした共分散分析を行った。また, 日本語版子ども用8項目のGrit尺度の因子構造, 及び信頼性, 妥当性の検討を行った。

結果: 日本語版子ども用8項目のGrit尺度は成人用と同様に2因子構造(根気と一貫性)を示し, 信頼性(Cronbach α : 根気尺度=0.77, 一貫性尺度=0.69), 構成概念妥当性が確認された(RMSEA=0.076, CFI=0.957, TLI=0.925)。男子の根気得点において, 活動あり群[推定周辺平均(標準誤差): 3.3(0.07)]は活動なし群[3.0(0.11)]と比較して有意に高い値を示した。また, 種目の分類別に検討した男子の根気得点の比較では, 団体種目群[3.4(0.08)]が活動なし群[3.0(0.11)]に比して有意に高い値を示した。一方で, Grit得点と一貫性得点, 及び女子の全ての得点において有意な差は示されなかった。

結論: スポーツ活動を実施している小学5年生男子の根気得点が高いことが示された。今後は, 幼少期の社会背景を含めたより詳細な調査, 及び縦断的な検討を行うことにより因果関係を特定することが必要である。

[日健教誌, 2018; 26(4): 353-362]

キーワード: スポーツ, Grit, 児童, 非認知能力, 妥当性・信頼性

I 緒 言

身体活動は子どもの肥満予防やメンタルヘルスの向上など, 心身の健康に好影響を及ぼすことが広く知られている¹⁻³⁾。学校に通う子どもの場合, 主な身体活動の機会として, 通学や休み時間, 体育, 放課後学童保育での活動, スポーツクラブでの活動などが挙げられる^{4,5)}。その中でも特に定期的なスポーツクラブでの活動を含む余暇の身体活動は成人期以降の運動習慣に持ち越されることが示されており⁶⁾, 子どもの頃のスポーツ活動経験

*1 北里大学一般教育部人間科学教育センター健康科学単位

*2 山梨大学大学院総合研究部教育学域人間科学系

*3 山梨大学大学院総合研究部出生コホート研究センター

*4 山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座

*5 愛知医科大学衛生学講座

連絡先: 山北満哉

住所: 〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1-15-1

北里大学一般教育部人間科学教育センター健康科学単位

TEL: 042-778-8041

E-mail: yamakita@kitasato-u.ac.jp

学会・研究会等

第 121 回日本小児科学会学術集会. 2018 年 4 月 20 日～22 日. 福岡国際会議場（福岡）

3 ■ 小島令嗣、山縣然太郎: 中学生におけるインターネット依存の経年推移 甲州思春期調査 3 年間の集計より

中学生におけるインターネット依存の経年推移 甲州思春期調査 3 年間の集計より

小島令嗣、山縣然太郎

山梨大学大学院総合研究部社会医学講座

【目的】 中学生におけるインターネット依存（internet addiction 以下、IA）およびインターネット利用内容の経年推移、生活習慣などとの関連などを検討することを目的とした。

【方法】 2014～2016 年に甲州市の中学生を対象に、IA に関する自記式質問紙調査を行った。質問項目は IA（Young の Internet Addiction Test、カットオフ値 40 点）、利用内容、うつ傾向、就寝時刻などとし、3 年間の推移および IA と生活習慣などとの関連を検討した。

【結果】 各年約 1000 人弱が対象となった。IA ありの割合は男女とも学年が上がるごとに多くなり、男子では経年変化はわずかであったが、女子では減少傾向であった（2016 年 3 年生 男子 18.8%、女子 21.8%）。利用内容は動画（2016 年、男子 76.4%、女子 82.1%）、ゲーム（同、男子 70.7%、女子 61.0%）、LINE（同、男子 48.2%、女子 62.9%）が多く、利用している割合は増加傾向であった。IA の割合は、抑うつ傾向（同、男子 48.6% vs 14.3%、女子 50.0% vs 13.1%）、就寝時刻が 0 時以降（同、男子 29.3% vs 15.5%、女子 40.6% vs 11.0%）であると、有意に高かった。

【考察】 急速なスマートフォンなどの普及に伴い、利用内容が変化してきており、また IA と生活習慣やメンタルヘルスとの関連が明らかとなった。

会員外研究協力者 佐藤美理、秋山有佳

第 60 回日本小児神経学会学術集会. 2018 年 5 月 31 日～6 月 2 日. 幕張メッセ (千葉)
4 ■ 溝呂木園子、佐藤美理、秋山有佳、横道洋司、山縣然太郎、金村英秋、相原正男 : 5 歳時の発達障害に関連する 1 歳 6 ヶ月および 3 歳時の生活関連因子に関する長期縦断調査

5 歳時の発達障害に関連する 1 歳 6 ヶ月および 3 歳時の生活関連因子に関する
長期縦断調査

Birth cohort study of relative life style factors for developmental
disorder in 5-aged children

溝呂木園子¹、佐藤美理²、秋山有佳¹、横道洋司¹、山縣然太郎^{1,2}、
金村英秋³、相原正男⁴

¹ 山梨大学大学院総合研究部社会医学講座 ² 山梨大学大学院総合研究部出生コホート
研究センター ³ 山梨大学小児科 ⁴ 山梨大学大学院総合研究部

【背景】 5 歳時に発達障害が疑われた児において、幼児期早期に睡眠や食事の問題を認めていたことを本学会で報告した。昨年の検討では、健診受診時からの追跡で、両親の情報をを用いた調整が不十分であった。そこで今回は、出生時から 5 歳児健診までを追跡し、両親の学歴情報等も得て検討した。

【目的】 出生コホートを用いて 1 歳 6 ヶ月および 3 歳時の生活習慣のうち、5 歳児健診で発達障害疑いとなることに関連している因子を明らかにすること。

【方法】 A 県 B 市と共同で行っている母子保健縦断調査において、2002 年 4 月から 2010 年 3 月に出生した児を対象とした。母子管理票より両親の情報を、1 歳 6 ヶ月、3 歳の各健診時の問診票より児の生活習慣の情報を入手した。5 歳児健診では、問診票や行動観察に加えて、園の巡回相談の情報も加え小児神経科医が診察を担当し、発達障害が疑われるか否かを総合的に判定した。この判定結果をアウトカムとして 1 歳 6 ヶ月および 3 歳時の生活習慣との関連を検討した。

【結果】 対象期間に出生した 1774 人のうち、5 歳児健診まで追跡可能であった 1385 人 (78.0%) を解析対象とした。5 歳児健診で発達障害が疑われた児は 242 人 (17.5%) であった。このうち、1 歳 6 ヶ月時と関連していた因子は、男児 (オッズ比 (OR) : 2.2、95% 信頼区間 (CI) : 1.4 - 3.5)、睡眠時間 9 時間未満 (OR: 8.3、95%CI : 3.4 - 20.3) で、3 歳時では、食事の悩みあり (OR: 1.9、95%CI : 1.3-3.0) と関連を認めたが、短時間睡眠や睡眠の悩みとの関連は認めなかった。

【考察】5歳時に発達障害が疑われた児においては、1歳6ヵ月時で睡眠の問題、3歳時では食事の問題を抱えていることが推察された。発達障害児が睡眠や食事の問題を並存しやすい可能性が、一般集団の出生コホートからも裏付けられた。

第 21 回運動疫学会. 2018 年 6 月 23 日～24 日. 早稲田大学（東京）

5 ■山北満哉, 安藤大輔, 佐藤美理, 秋山有佳, 鈴木孝太, 山縣然太郎: 子どものスポーツ活動と先延ばし傾向の関連: 横断研究

子どものスポーツ活動と先延ばし傾向の関連: 横断研究

山北満哉¹、安藤大輔²、佐藤美理²、秋山有佳²、鈴木孝太³、山縣然太郎²

¹北里大学、²山梨大学、³愛知医科大学

【背景・目的】先延ばし傾向は、目先の利益にとらわれて本来やるべきことを後回しにする特性であり、肥満者や喫煙者、及びギャンブル依存者や負債保有者に多いことが報告されている。近年、先延ばし傾向と身体活動の関連も検討されており、先延ばし傾向が強い者で身体活動時間が少ないことが報告されている。しかしながら、これらの報告は海外の成人の身体活動を検討したものであり、運動習慣や性格の形成に重要な時期である子どもを対象として、スポーツ活動との関連を検討した報告はみあたらない。そこで本研究は、子どものスポーツ参加と先延ばし傾向の関連を検討することを目的とした。

【方法】対象者は山梨県甲州市内の小学校（10 校）に所属する小学 4 年生から 6 年生 543 人とし、2017 年 8 月～9 月に実施した質問紙調査に回答し、かつ分析項目に欠損のなかった 515 人（男子 283 人、女子 232 人）を分析対象とした。スポーツ参加の有無は、スポーツ少年団やクラブチームなどの団体に入って運動やスポーツをしているか否かにより評価した。先延ばし傾向は、夏休みの宿題をいつ頃終わらせたかという質問によって評価し、終わり頃にやった者を先延ばし傾向あり、それ以外の者を先延ばし傾向なしとし、2 群に分類した。先延ばし傾向の有無を目的変数、スポーツ参加の有無を説明変数とし、月齢、家庭の社会経済状況、スポーツ以外の習い事の有無、及び自尊感情を調整したポアソン回帰分析によりスポーツ参加の有無と先延ばし傾向の関連を男女別に検討した。

【結果】スポーツを実施していた男子は 77.4%、女子は 56.5%であった。先延ばし傾向にあった割合は男子で 26.1%、女子で 15.9%であった。スポーツ参加の有無と先延ばし傾向の関連を検討した単変量解析では、男子において、スポーツ実施者で先延ばし傾向ありの者が有意に少なかった [Prevalence Ratio (PR): 0.65, 95%CI: 0.43-0.97]。一方で、女子では逆にスポーツ実施者において先延ばし傾向が多い傾向にあった (PR: 1.60, 95%CI: 0.85-3.03)。すべての調整因子を投入した解析では、男女ともに有意な関連はみられなかった (男子 PR: 0.84, 95%CI: 0.54-1.30; 女子 PR: 1.69, 95%CI: 0.92-3.10)。

【結論】本研究では、子どものスポーツ参加と先延ばし傾向に有意な関連はみられなかった。今後、先延ばし傾向の評価方法の検討や、対象者を追加し縦断的検討を行うなど、更なる検証が必要である。

6 ■ 杉田勇人、長田敏希、山北満哉、佐藤美理、秋山有佳、鈴木孝太、山縣然太郎、安藤大輔：小学生の Grit と運動・スポーツ活動の関連—自尊感情関与の可能性：横断研究

小学生の Grit と運動・スポーツ活動の関連—自尊感情関与の可能性：横断研究

杉田勇人¹⁾、長田敏希²⁾、山北満哉³⁾、佐藤美理⁴⁾、秋山有佳⁴⁾、鈴木孝太⁵⁾、
山縣然太郎⁴⁾、安藤大輔⁴⁾

¹⁾ 山梨大学大学院 教育学研究科 ²⁾ 山梨大学 教育人間科学部 ³⁾ 北里大学 一般教育学部 ⁴⁾ 山梨大学大学院 総合研究部 ⁵⁾ 愛知医科大学 衛生学講座

【背景・目的】 近年、非認知的能力の一つである Grit は成功を予測できる気質として注目されており、その下位尺度には、一貫性と根気の 2 つの尺度がある。我々はこれまでに小学生を対象とした研究において、Grit（特に根気尺度）と運動・スポーツ活動の関連を報告している。また、運動・スポーツ活動は自分自身に対する肯定的な感情である、自尊感情と強く関連していることが示唆されている。以上のことから、Grit と運動・スポーツ活動の関連には自尊感情が関与している可能性があるが、自尊感情も含め Grit と運動・スポーツ活動の関連を検討した報告はこれまでにない。そこで本研究は、小学 4, 5, 6 年生を対象に Grit と運動・スポーツ活動の関連に、自尊感情が関与している可能性を検討することを目的とした。

【方法】 対象者は山梨県甲州市の小学校に通う小学 4, 5, 6 年生 539 名とし、質問紙調査に回答の得られた児童のうち、無効回答を除く 513 名（男子 283 名、女子 230 名）を分析対象とした。Grit については、Duckworth らが開発した一貫性・根気の 2 つの下位尺度で構成される 8 項目版の Short Grit 尺度を翻訳し、文言を子供用に修正したものを用いて評価した。自尊感情については、箕浦・成田が妥当性を確認した 2 項目自尊感情尺度を用いた。運動・スポーツの実施の有無については、スポーツ少年団やクラブチームなどの団体に入って、運動やスポーツを「している」「していない」の 2 つの選択肢から回答を得た。Grit 得点とスポーツ実施の有無の関連については対応のない t 検定を行った。また、Grit 得点（各下位尺度）を目的変数、運動・スポーツ実施の有無を説明変数、自尊感情得点を調整変数とした共分散分析を行った。

【結果】 男子において Grit 得点、根気尺度得点は、運動・スポーツを実施しているもので有意に高値であったが、自尊感情得点で調整後には、有意な差は認められなくなった。一方で、女子においては男子と異なり Grit 得点、根気尺度得点は、運動・スポーツ活動の実施の有無による有意な差は認められなかった。

【結論】 男子小学生（4, 5, 6 年生）の Grit と運動・スポーツ活動の関連には、自尊感情が一部関与している可能性が示唆された。しかし、本研究は横断研究であるため、今後は、それら三者間の因果関係を縦断研究において検討する必要がある。

第73回日本体力医学会大会、2018年9月7日～9日、福井市

7 ■ 山北満哉、安藤大輔、佐藤美理、秋山有佳、鈴木孝太、山縣然太郎：小学生における通学方法の違いと肥満の関連

小学生における通学方法の違いと肥満の関連

山北満哉¹、安藤大輔²、佐藤美理²、秋山有佳²、鈴木孝太³、山縣然太郎²

¹北里大学、²山梨大学、³愛知医科大学

【背景】学校への徒歩通学は、子どもの身体活動を増加させることが知られているが、小学生における通学方法と肥満の関連については十分な検討がなされていない。

【目的】小学生を対象に通学方法の違いと肥満の関連を検討すること。

【方法】山梨県甲州市の小学校10校（13校中）の小学4～6年生543人を対象とした。通学方法は質問紙により調査し、徒歩通学（行き帰りともに）と車通学（行き帰りどちらか1つでもバス、保護者の送迎）の2群に分類した。定期健康診断で測定された身長、体重、及び年齢、性、身長別標準体重から肥満度を算出し、20%以上を肥満とした。月齢、週当たりの運動時間、不健康な食習慣、及び家庭の社会経済状況を調整したポアソン回帰分析により、通学方法と肥満の関連を男女別に検討した。

【結果】分析対象とした518人（男子283人、女子235人）のうち、肥満と判定された児童は男子で10.6%、女子で8.2%であり、車通学は男子で8.8%、女子で11.2%であった。男子では、車通学の肥満者割合は徒歩通学と比較して有意に多かった（Prevalence ratio [PR]: 3.60, 95%信頼区間 [CI]: 1.66-7.83）。女子では有意な関連はみられなかった（PR: 1.52, 95%CI: 0.49-4.69）。

【結論】保護者の送迎やバスによる通学は徒歩通学と比較して肥満のリスクとなる可能性が示された。今後は他地域の多くの子どもの対象とした縦断的な検討が必要である。

第 77 回日本公衆衛生学会総会. 2018 年 10 月 24 日～26 日. 福島市

8 ■ 井上みゆき、秋山有佳、山縣然太郎：3 歳児の不慮の事故による医療機関受診と 1 歳 6 ヶ月時の生活要因との関連

3 歳児の不慮の事故による医療機関受診と 1 歳 6 ヶ月時の生活要因との関連

井上みゆき¹、秋山有佳²、山縣然太郎²

¹和歌山県立医科大学保健看護学部、²山梨大学大学院総合研究部社会医学講座

【目的】 幼児期の不慮の事故は長年にわたり死亡原因の 1 つになっており、事故を減少させることは子どもの健康を守る上で大きな課題となっている。しかし、幼児期の不慮の事故による文献は事故原因の実態調査が多く、縦断的に生活要因との関連を検討したものは少ない。そこで本研究は、3 歳児の不慮の事故による医療機関受診と 1 歳 6 ヶ月時の生活要因との関連を明らかにすることを目的とした。

【方法】 山梨県甲州市と共同で実施している母子縦断調査（甲州プロジェクト）において、2010 年 1 月から 2013 年 3 月に生まれ、1 歳 6 ヶ月健診と 3 歳児健診を受診した児を対象とした。健診時の問診票、質問紙調査により児の情報や生活要因を入手した。1 歳 6 ヶ月健診以降 3 歳児健診までに不慮の事故により医療機関受診の有無をアウトカムとし、文献等で関連があるとされている生活要因を独立変数として、単ロジスティック回帰分析で関連を検討したのち、多変量解析を実施した。

【結果】 対象は期間内に甲州市の 1 歳 6 ヶ月健診受診者 644 名、3 歳児健診受診者 645 名で、両方の健診受診者は 563 名であった。追跡率 87% であった。このうち、3 歳児時点で事故・けがによる医療受診ありと回答した者は 85 名、なしと回答した者は 478 名であった。3 歳児の事故・けがによる医療機関受診ありと関連する要因は、性別（男児）（OR : 1.64, 95% CI : 1.01-2.68）、1 歳 6 ヶ月時の事故・ケガによる医療機関受診（あり）（OR : 1.94, 95% CI : 1.09-3.43）、の項目で関連が認められた。

【結論】 3 歳児の事故・ケガによる医療機関受診は男児で多く、1 歳 6 ヶ月時点での子どもの事故・けがによる医療機関受診があると 3 歳児でも事故・けがによる受診が多いことが示唆された。

9 ■ 小島令嗣, 秋山有佳, 佐藤美理, 大岡忠生, 大西一成, 横道洋司, 山縣然太郎 : 5 歳児健診 30 年間の推移～甲州プロジェクトより

中学生におけるネット依存とその関連要因 甲州思春期調査より

小島令嗣, 秋山有佳, 佐藤美理, 大岡忠生, 大西一成, 横道洋司, 山縣然太郎
山梨大学大学院総合研究部社会医学講座

【背景・目的】 甲州市母子保健縦断調査（甲州プロジェクト）は、甲州市の母子保健の現状を把握し、より良い母子保健行政を実施することを目的として、甲州市（旧塩山市）が 1988 年より実施している。山梨大学社会医学講座は本調査に協力しており、本年 30 周年を迎えた。5 歳児健診での調査結果を経年的に記述する。

【方法】 1988 年度から 2011 年度生まれの甲州市 5 歳児健診を受診した児および母親を対象とした（5515 名）。健診前に郵送した自記式質問票を記入してもらい健診時に回収した。質問項目は育児、食習慣、睡眠習慣、母の就業などである。経年的に各質問項目の割合を集計した。

【結果】 育児相談相手、母のストレス、父親の育児参加などは、経年的に大きな変化はみられなかった。食習慣では、インスタントラーメン、ファーストフードの摂取の割合は低下傾向であった。児の起床時刻の大多数は 7 時台～8 時台から 6 時台～7 時台へ移行していた。児の就寝時刻は 22 時台以降の割合が低下傾向となっていた。一方、平均睡眠時間は短くなる傾向がみられた（2001 年度 9 時間 42 分、2011 年度 9 時間 30 分）。母の就業について、就業している割合は上昇傾向であった（1988 年度 6 割、2001 年度 7 割、2011 年度 8 割超）。2000 年度から 2011 年度を対象に睡眠時間を、母の就業有無で検討したところ就業ありで有意に平均睡眠時間が短かった（母の就業あり 9 時間 33 分、就業なし 9 時間 48 分、t 検定 $p < 0.01$ ）。

【考察】 経年的に食習慣は変化しており、地域における保健指導などの影響が考えられた。児の睡眠習慣の変化については、2001 年に日本小児保健協会より「子どもの睡眠に関する提言」が発表され、22 時台以降の就寝割合が低下傾向となっていると考えられた。一方、平均睡眠時間については、母親の就業の影響から短くなっていると考えられた。

10 ■ 秋山有佳、大岡忠生、小島令嗣、佐藤美理、大西一成、横道洋司、山縣然太郎：山梨県甲州市における妊婦の妊娠前の食事内容の変化—甲州プロジェクト 30 年の記録—

山梨県甲州市における妊婦の妊娠前の食事内容の変化

—甲州プロジェクト 30 年の記録—

秋山有佳¹⁾、大岡忠生¹⁾、小島令嗣¹⁾、佐藤美理²⁾、大西一成²⁾、横道洋司¹⁾、
山縣然太郎^{1) 2)}

¹⁾ 山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座

²⁾ 山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター

【目的】甲州市母子保健縦断調査（甲州プロジェクト）は、甲州市（旧塩山市）における妊娠、出産、母子の健康、生活習慣等の母子保健の現状を把握し、今後の母子保健行政に役立てることを目的として、甲州市が 1988 年から実施している調査である。本調査に山梨大学大学院社会医学講座も協力しており、今年で 30 周年を迎える。そこで、本研究では、甲州市における妊婦の妊娠前の食事内容の変化を明らかにすることを目的とした。【方法】対象は、甲州市に母子健康手帳交付申請を行った妊婦である。調査方法は、妊婦の妊娠前の食事内容や喫煙・飲酒、就業、運動、睡眠状況等を含む調査票を母子健康手帳交付申請時に実施した。食事内容は、約 30 種類の食品群および食品について、「ほとんどとらない」「週 3 回位」「ほとんど毎日」の 3 件法で回答を得ている。本研究では食事内容に関する調査が開始された 1990 年度から 2016 年度に生まれた児の母親の妊娠前の食事内容について単純集計を行った。

【結果】甲州市の 1990 年度から 2016 年度の平均出生数は 213 人であり、そのうち各食品群および食品の無回答者を除外した有効回答者数は平均 163 人であった。食品群および食品の摂取頻度の推移の結果は、米飯では「ほとんど毎日」の割合が 1990 年度生まれでは 100%であったが 2016 年度生まれでは 88.5%と減少した。一方、パンについては「ほとんど毎日」の割合が 1994 年度生まれまでは 20%以下であったが、それ以降は 20%以上と上昇した。また、果物については「ほとんど毎日」の割合が、1990 年度生まれでは 56.5%であったが、2016 年度生まれでは 17.6%と大きく減少した。海藻類は「ほとんど毎日」の割合が 17.4%（1990 年度生まれ）から 8.5%（2016 年度生まれ）、魚介類は 31.9%（1990 年度生まれ）から 16.8%（2016 年度生まれ）と減少した。一方で肉類については、17.4%（1990 年度生まれ）から 43.5%（2016 年度生まれ）と倍増した。

【結論】甲州プロジェクトが開始されて以降約 30 年の間に、妊婦の妊娠前の食事内容には変化がみられた。米飯の摂取頻度は減少し、パンの摂取頻度はわずかに上昇していた。また、果物、海藻類、魚介類の摂取頻度は減少し、肉類は上昇していた。今後は対象者である妊婦の児のデータを用い、妊娠前の食事内容と児の出産時の状況、その後の発達等との関連を検討していく。

11 ■大岡忠生、秋山有佳、小島令嗣、佐藤美理、大西一成、横道洋司、山縣然太郎：1歳6ヶ月児の睡眠と母親の就労の関連について～甲州プロジェクト30年の記録～

1歳6ヶ月児の睡眠と母親の就労の関連について～甲州プロジェクト30年の記録～

大岡忠生¹⁾ 秋山有佳¹⁾ 小島令嗣¹⁾ 佐藤美理²⁾ 大西一成²⁾ 横道洋司¹⁾ 山縣然太郎¹⁾²⁾

¹⁾山梨大学大学院総合研究部医学域 社会医学講座

²⁾山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター

【目的】甲州市母子保健縦断調査（甲州プロジェクト）は、1988年から山梨県甲州市が実施し、山梨大学大学院社会医学講座が協力している縦断調査であり、本年で開始から30年を迎える。国内外において幼児の睡眠時間確保の重要性が指摘されているが、本研究では縦断調査における1歳6か月児調査の結果を用いて、日本で近年増加している母親の就労と幼児の睡眠時間との関連について検討を行う。

【方法】研究対象は、1988年から2015年までに甲州プロジェクトに参加した母親のうち、1歳6か月児健診時に自身の就労状況と児の睡眠に関する質問に答えた4366人である。質問紙では、当時の母親の就労の有無と就労種別（自営業 or 常勤 or パート・内職）、児の起床時間と就寝時間が尋ねられた。主要解析では、母親の就労の有無と児の起床時間、就寝時間、睡眠時間（起床時間から就寝時間を差し引いたもの）を比較した。比較に際して、起床時間は8時、就寝時間は22時、睡眠時間は10時間を域値とした二値変数として扱い、解析を行った。副次的解析では、母親の就労種別ごとに児の睡眠状況を比較した。各群の比較については χ^2 検定（ $\alpha=0.05$ ）を用いた。

【結果】母親非就労群（ $n=2281$; 52.2%）の児の平均起床時刻は7時27分、平均就寝時刻は21時32分、平均睡眠時間は9時間55分であった。これに対し、母親就労群（ $n=2085$; 47.8%）の児の平均起床時刻は7時5分、平均就寝時刻は21時23分、平均睡眠時間は9時間43分であった。主要解析において、8時前に起床する児の割合は、母親就労群で有意に高く（80.8% vs 62.6%; $p<0.001$ ）、22時前に就寝する児の割合も母親就労群で有意に高かった（67.3% vs 56.3%; $p<0.001$ ）。毎日10時間以上睡眠する児の割合は、母親非就労群で有意に高かった（49.2% vs 64.5%; $p<0.001$ ）。副次的解析では、常勤で働く母親において、自営業やパート・内職で働く母親よりも、朝8時前に起床する児の割合が高く（86.4% vs 71.40% vs 79.45%）、毎日10時間以上睡眠する児の割合は低かった（41.2% vs 58.9% vs 52.4%）。

【結論】就労する母親の児は、就労しない母親の児よりも起床時間と就寝時間が早く、睡眠時間が短くなる傾向が認められた。また、常勤で働く母親の児ではその傾向が顕著であった。就労する母親、特に常勤で働く母親において、児の睡眠時間に関する更なる検討と対策が望まれる。

12 ■ 山北満哉, 安藤大輔, 佐藤美理, 秋山有佳, 鈴木孝太, 山縣然太郎：小学生の先延ばし傾向と肥満の関連

小学生の先延ばし傾向と肥満の関連

山北満哉¹、安藤大輔²、佐藤美理³、秋山有佳⁴、鈴木孝太⁵、山縣然太郎^{3,4}

¹北里大学一般教育部人間科学教育センター健康科学単位、²山梨大学大学院総合研究部教育学域人間科学系、³山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター、⁴山梨大学大学院総合研究部医学域基礎医学系社会医学講座、⁵愛知医科大学医学部衛生学講座

【目的】先延ばし傾向は、目先の利益にとらわれて本来やるべきことを後回しにする特性であり、肥満者や喫煙者、及びギャンブル依存者や負債保有者に多いことが報告されている。わが国においても、先延ばし傾向が強い者で肥満者が多いことが報告されている。しかしながら、これらの報告は成人を対象とした報告であり、子どもを対象とした報告はみあたらない。そこで本研究は、小学生の先延ばし傾向と肥満の関連を検討することを目的とした。

【方法】山梨県甲州市内の小学校10校（13校中）に所属する小学4年生～6年生543人を対象として、2017年8月～9月に質問紙調査を実施した。先延ばし傾向は、夏休みの宿題をいつ頃終わらせたかという質問によって評価し、先延ばし傾向あり群（どちらかというところ終わり頃、終わり頃、期限を過ぎてから、宿題をやらなかったと回答した者）と先延ばし傾向なし群（最初の頃、どちらかというところ最初の頃、毎日ほぼ均等にやると回答した者）に分類した。肥満は定期健康診断で測定された身長、体重、及び平成2年度の文部省学校保健統計調査に基づく年齢別、性別、身長別標準体重から肥満度を算出し、20%以上を肥満と判定した。月齢、週当たりの運動時間、不健康な食習慣、及び家庭の社会経済状況を調整したポアソン回帰分析により、先延ばし傾向と肥満の関連を男女別に検討した。

【結果】すべての分析項目に回答のあった最終的な対象者は513人（男子282人、女子231人）であった。そのうち、先延ばし傾向であった児童は男子で75人（26.6%）、女子で38人（16.5%）であり、肥満と判定された児童は男子で30人（10.6%）、女子は19人（8.2%）であった。すべての関連因子を調整した解析の結果、男女ともに先延ばし傾向と肥満の間に有意な関連はみられなかった（男子：PR: 0.87, 95%CI: 0.40-1.92；女子：PR: 0.96, 95%CI: 0.28-3.26）。

【結論】本研究では、小学生の先延ばし傾向と肥満に関連がみられなかった。しかしながら、先延ばし傾向の評価方法や対象者数など、検討すべき課題が残るため、今後はそれらの点を再考した更なる検証が必要である。

第 77 回日本矯正歯科学会学術大会. 2018 年 10 月 30 日～11 月 1 日. パシフィコ横浜(横浜)
13 ■ 荒木美祐、保田裕子、小川卓也、姜順花、山懸 然太郎、藤原 武男、森山 啓司：
日本の思春期児童における不正咬合と口腔関連 QoL との関連について

日本の思春期児童における不正咬合と口腔関連 QoL との関連について

Association between malocclusion and oral health-related quality of life in Japanese
adolescents

荒木美祐¹、保田裕子¹、小川卓也¹、姜順花¹、山懸然太郎^{2,3}、藤原武男⁴、森山啓司¹

¹ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面矯正学分野

² 山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター

³ 山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座

⁴ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科国際健康推進医学分野

【目的】近年、不正咬合と口腔関連 Quality of Life (QoL) の関連について多くの報告が認められるが、対象とする地域や年齢が異なるため一定の見解が得られていない。また、日本の一般集団における思春期児童を対象とした報告は少ない。そこで今回われわれは、山梨県甲州市において、不正咬合が口腔関連 QoL に与える影響について統計学的検討を加えたので報告する。

【資料および方法】山梨県甲州市立中学校全 5 校に在籍し、健康診断の欠席者を除く矯正歯科治療歴のない全ての生徒 760 名（男子: 401 名、女子: 359 名）を対象とした。各校の学校歯科健診時に矯正歯科医が口腔内診査を行い、矯正治療必要度指標（Index of Orthodontic Treatment Need: IOTN）に準じて不正咬合の診査を行った。また、口腔関連 QoL については、4 つの質問領域（口腔内症状、機能障害、精神面への影響、社会面への影響）から構成されている Child Perception Questionnaire (CPQ) を用いて評価を行った。解析については、カイ二乗検定および t 検定を行った。

【結果および考察】不正咬合の発症率は 56. 3%であった。不正咬合と口腔関連 QoL の関連性について、CPQ の合計点において有意な関連性が認められた (P=0. 02)。また、CPQ の各 4 項目のうち、口腔内症状 (P=0. 009)、社会面への影響 (P=0. 046) との間に関連性が認められた。さらに、男女別に分けて検討したところ、女子において、不正咬合と口腔内症状 (P=0. 01) および社会面への影響 (P=0. 001) との間に関連性が認められた。

【結論】今回の一般集団の中学生を対象とした調査により、不正咬合を有するものにおいて口腔関連 QoL の低下との関連性が認められるという結果を得ることができた。

第 29 回日本疫学会学術総会. 2019 年 1 月 30 日～2 月 1 日. 国立がんセンター（東京）
14 ■小島令嗣, 佐藤美理, 秋山有佳, 大岡忠生, 横道洋司, 山縣然太郎: 幼少期から思春期にかけての起床・就寝時刻の軌跡とその関連因子 甲州市母子保健縦断調査より

幼少期から思春期にかけての起床・就寝時刻の軌跡とその関連因子

甲州市母子保健縦断調査より

小島令嗣¹⁾、佐藤美理²⁾、秋山有佳¹⁾、大岡忠生¹⁾、横道洋司¹⁾、山縣然太郎^{1) 2)}

¹⁾ 山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座

²⁾ 山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター

【背景・目的】子どもの睡眠習慣は発達において重要であるが、日本は諸外国と比較して就寝時刻が遅く、睡眠時間が短いと報告されている。幼少期から思春期にかけての睡眠に関する軌跡の群化とその関連因子の検討を目的とした。

【方法】甲州市の 1993 年から 2001 年生まれの 1563 名を対象に、1 歳半、3 歳、5 歳、10 歳～15 歳時に起床・就寝時刻を縦断調査で尋ね、起床・就寝時刻の軌跡パターンをセミパラメトリック混合モデルにて群化した。群化した軌跡パターンを目的変数、生まれ年や幼少期の母の就業、妊娠初期の睡眠習慣、通園、テレビ視聴時間、兄や姉の有無、農家であるかなどを説明変数とした多項ロジスティック回帰分析を行った。

【結果】起床時刻は 3 群（早起き群 8.1%、通常群 48.5%、幼少期遅起き群 43.4%）に分かれ、就寝時刻は 4 群（早寝群 21.6%、通常群 29.5%、幼少期遅寝群 39.5%、遅寝群 9.3%）に分かれた。起床時刻は通常群を参照群としたところ、生まれ年が近年ほど早起き群と関連していた。また 1 歳半の通園と兄や姉がいることが幼少期遅寝群と負の関連があり、妊娠初期の遅い就寝は幼少期遅寝群と正の関連があった。就寝時刻は通常群を参照群としたところ、兄や姉がいることが早寝群と負の関連があった。また長いテレビ視聴と妊娠初期の遅い就寝は、幼少期の遅い就寝と正の関連があり、兄や姉がいることと農家であることは幼少期の遅い就寝と負の関連があった。

【結論】兄や姉がいることや母の睡眠習慣、生まれ年が睡眠の軌跡の主な関連因子であった。

15 ■ 秋山有佳, 小島令嗣, 佐藤美理, 大岡忠生, 横道洋司, 山縣然太郎: 妊娠前の母親の炭水化物摂取状況と児の低出生体重との関連—甲州市母子保健縦断調査より—

妊娠前の母親の炭水化物摂取状況と児の低出生体重との関連

—甲州市母子保健縦断調査より—

秋山有佳¹⁾、小島令嗣¹⁾、佐藤美理²⁾、大岡忠生¹⁾、横道洋司¹⁾、山縣然太郎^{1) 2)}

¹⁾ 山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座

²⁾ 山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター

【背景】近年、国内外で炭水化物を制限する食事が注目されている。成人を対象とした研究では、体重減少だけでなく疾病リスクの低減等、有効的な結果が報告されている一方、低炭水化物食を長期的に続けた場合の体への悪影響も危惧されているがその研究結果は一致していない。また、成人を対象とした研究はいくつかみられるものの、子どもや健康な妊婦を対象とした研究はほとんど行われていない。特に妊婦の食生活は胎児の発育や出生後の児の成長にも影響することから、妊婦の炭水化物摂取状況と出生時の状況との関連を検討することは意義深い。

【目的】妊娠前の母親の炭水化物摂取状況と児の低出生体重との関連について検討する。

【方法】本研究では、山梨県甲州市において1988年に開始され現在も継続中である甲州市母子保健縦断調査のデータを用いた。対象は、甲州市に母子健康手帳交付申請を行った妊婦から出生した児である。調査方法は、妊婦の妊娠前の食事内容や喫煙、就業、ストレス状況等を含む調査票を母子健康手帳交付申請時に実施した。また、児の出生体重については出生時の情報を得た。分析方法は、児の出生体重(2,500g未満、2,500g以上)を目的変数、炭水化物摂取状況を説明変数、母親の妊娠前のBMI、年齢、学歴、就業、喫煙、ストレス状況、児の性別、出生順位、在胎週数を調整変数とし、ロジスティック回帰分析を行った。炭水化物摂取状況については、「米飯」「パン」「めん類」「いも類」「砂糖」について、「ほとんどとらない」「週3回位」「ほとんど毎日」の3件法で回答を得ており、「ほとんどとらない」を1点、「週3回位」を2点、「ほとんど毎日」を3点とし、各項目の合計を算出し、5分位に分けた。

【結果】使用変数の情報が全てそろっている児3,009名を解析対象とし、そのうち、2,500g未満の児は228名(7.6%)であった。多変数ロジスティック回帰分析の結果、母親の炭水化物摂取状況と児の出生体重には有意な関連はみられなかった(第5五分位(多い)と比較し、第1五分位(少ない)、オッズ比:1.05、95%信頼区間:0.58-1.90、第2五分位:1.07、0.60-1.92、第3五分位:1.03、0.58-1.82、第4五分位:1.23、0.70-2.18)。

【結論】妊娠前の母親の炭水化物摂取状況と児の低出生体重とは有意な関連は認められなかった。

16 ■ 佐藤美理, 鈴木孝太, 小島令嗣, 秋山有佳, 山縣然太郎：インターネット依存尺度の中学生の回答における男女差の検討

インターネット依存尺度の中学生の回答における男女差の検討

佐藤美理¹⁾、鈴木孝太²⁾、小島令嗣³⁾、秋山有佳³⁾、山縣然太郎^{1),3)}

¹⁾ 山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター

²⁾ 愛知医科大学医学部衛生学講座 ³⁾ 山梨大学大学院総合研究部社会医学講座

【背景】Young's Internet Addiction Test : IAT は、インターネット依存度を判定するスクリーニングテストであり、簡便で広く使用されている自記式質問票である。

【目的】中学生を対象として IAT を用いて、インターネット依存 (IA) 傾向が中程度・高程度となる際に、判別能力の高い項目を男女別に検討することを目的とした。

【方法】2017 年 7 月に甲州市の全中学校 1 年生から 3 年生を対象に、児童生徒の心の健康と生活習慣に関する調査を行った。IAT は、20 項目から構成され、「全くない」(1 点) から「いつもある」(5 点) までの 5 段階評価で、100 点満点中、40 点以上 70 点未満を中程度の IA 傾向、70 点以上を高程度の IA 傾向ありとしている。本研究では、中程度以上を IA 依存傾向有りとして、傾向有り群を判別する項目を男女別に判別分析ステップワイズ法を用いて抽出した。また、IAT の 20 項目を因子分析により分類し、判別分析で選択された項目がどのような分布をしているかを確認することにより、男女の回答傾向の違いを検討した。

【結果】対象者は、919 人 (男子 466 人、女子 453 人) であり、IAT に欠損値がない 883 人 (男子 439 人、女子 444 人) を対象とした。IA 依存傾向有りだと判断された児は、男子 68 人、女子 85 人であった。男女別に判別分析を行ったところ、男子では 7 項目、女子では 8 項目が抽出された。また、IAT20 項目を因子分析 (プロマックス回転) により 4 因子構造を確定した。第 1 因子は、メンタルや生活に関するもので、第 2 因子は、タイムマネジメントに関するもの、第 3 因子は、インターネット使用による生活への悪影響であり、第 4 因子はインターネット使用を隠す行為であった。男子で抽出された 7 項目は、第 1 因子及び第 2 因子にのみ分布しており、一方で女子では、第 1, 2 因子に加えて、2 項目から構成されている第 3 因子の両方が抽出されていた。男女で、共通の抽出項目は、3 項目のみであった。

【結論】中学生において、ネット使用における男女の違いが明らかとなった。インターネット使用の問題点を注意喚起する場合に、男女でアプローチの方法を変えることが有効である可能性が示唆された。

17 ■ 姜順花、保田裕子、小川卓也、佐藤美理、山縣然太郎、藤原武男、森山啓司：母親の妊娠初期の喫煙習慣とその子どもの永久歯先天性欠如の関連性 - 甲州市母子保健長期縦断調査より

母親の妊娠初期の喫煙習慣とその子どもの永久歯先天性欠如の関連性

- 甲州市母子保健長期縦断調査より

姜順花¹ 保田裕子¹ 小川卓也¹ 佐藤美理⁴ 山縣然太郎^{3,4} 藤原武男² 森山啓司¹

¹ 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 顎顔面矯正学分野

² 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 国際健康推進医学分野

³ 山梨大学大学院総合研究部医学 社会医学講座

⁴ 山梨大学大学院総合研究部附属 出生コホート研究センター

【背景】永久歯の先天性欠如は人種、民族でも異なるが 1.6%-9.6%と広範囲に認められる疾患であり、遺伝的要因、環境的要因ならびにその二つの相互作用によって発症するとされている。永久歯の歯胚発生はそのほとんどが胎生期に開始するとされており、永久歯の先天性欠如は妊娠期の環境要因の影響が疑われるが、未だ明確な知見は得られておらず、さらに一般集団を対象に追跡して調査した研究は行われていない。

本研究では山梨県甲州市の一般集団を対象にした、妊婦コホート研究のデータを用い、妊娠期の環境要因とその子どもの永久歯先天性欠如の発症との関連性を検討した。

【方法】山梨県甲州市で行われている甲州市母子保健長期縦断調査のデータを用いて、1996年度から1998年度、および2000年度から2002年度の間に出生し、母親の妊娠初期から追跡可能な子ども、およびその母親を研究対象者とした。妊娠届出時に母親が回答した自記式の質問票から妊娠中の環境要因(母親の妊娠中の喫煙習慣、飲酒習慣、朝食欠食の頻度、BMI、および父親の喫煙習慣)を調査した。また、永久歯先天性欠如の有無に関しては、中学校における学校歯科健診にて、矯正歯科医師3名が不正咬合の疫学的指標の Index of Orthodontic Treatment Need を用い、視診にて調査した。妊娠期の環境要因と、子どもの永久歯先天性欠如との関連性については、多変量ロジスティック回帰分析を行い、共変量として妊娠期の環境要因、母親の出産年齢、BMI、子どもの性別を用いた。

【結果】妊娠期から中学生まで追跡可能であったのは772人であった。永久歯の先天性欠如が疑われる子どもの割合は4.9%であった。妊娠期の環境要因、母親の出産年齢、子どもの性別を調整後、母親による妊娠初期の喫煙は、子どもの永久歯先天性欠如のリスクが4.37倍(Adjusted Odds Ratio:4.37, 95%信頼区間:1.23-15.57)であった。母親のBMIを調整すると関連性は認められなかった。したがってこの関連は、母親の肥満を媒介している可能性が考えられる。

【結論】本調査により、日本における一般集団において、母親の妊娠中の喫煙習慣と、その子どもの永久歯先天性欠如の発症との関連性が示唆された。

平成 30 年度
甲州市母子保健調査報告書

令和 2 年 3 月 発行

山梨大学大学院総合研究部医学域 社会医学講座
山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター
〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

編集・発行 株式会社プリメドジャパン